

病院年報

第26卷「2016」



伊東隆雄 飾窓 1951 豊橋市民病院蔵

愛知県 **豊橋市民病院**

「病院年報」

表紙題字 名譽院長 故 森 泰 樹

序



院長 加藤 岳人

2016年の病院年報をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当院は、20年前の病院建設の膨大な借入金と当時の高金利のため、長らく赤字経営に苦しんできました。さまざまな経営努力によってようやく2010年度に黒字化に成功し、以後安定した収支の均衡を維持しています。さらに、地方公営企業の会計制度が変更されたことで、2014年度決算において累積欠損金が解消されました。これらの収支状況と地域医療への貢献が認められ、昨年度の自治体立優良病院表彰に続き、2017年度総務大臣賞を受賞することができました。

安定した経営のもと、昨年「高度放射線棟」を開設し、長年の懸念事項であった放射線治療器の老朽化を空白期間なしに更新することができました。PET-CT、SPECT-CTの運用にはじまり、2台の最新式放射線治療器が無事稼働し、当医療圏の放射線診療の拠点への第一歩を踏み出すことができました。

さらに、今年度は「高度放射線棟」の開設によってできた院内スペースを利用し、職員用当直室と仮眠室の増室、NICUの拡張、外来治療センターの増床が現在進行中であり、秋にはMRIの更新、新年には総合病院情報システム（電子カルテ）のグレードアップが予定されています。これらの設備投資や最新機器の導入は、年々変化する医療と地域のニーズに応えるべく、病院が進歩、発展するために必要な計画の一部であります。

2014年に義務付けられた地域医療構想では、人口予測と病床機能報告制度によって将来必要な病床機能が分析され、地域の病床転換や削減が提起されています。この問題は国の制度誘導によってさらに推進されると予測されますが、当院は今後もいくつかの設備投資を計画しており、引き続き「(高度)急性期病院」としての役割を果たしていきたいと考えています。

さてこの年報は、当院各部署の1年間の活動内容や業績を整理したものです。当院の使命である急性期病院としての実績が報告されています。職員各位は年報に示された成績をもとに1年間を振り返り、今後の抱負や目標達成に向け改善に取り組んでいただきたいと思います。

最後に、膨大な業績をまとめられた医療情報課企画推進グループとドクタークラークの皆さんに深く感謝します。

豊橋市民病院の理念

信頼に応える技術、人に優しい思いやりのある心、

地域に開かれた安らぎのある病院

豊橋市民病院の基本方針

1. 地域に開かれた信頼のある病院、患者に優しい思いやりのある医療を目指します。
2. 地域の基幹病院としてふさわしい高度な医療を提供するとともに、特殊医療、救急医療等を積極的に受け持ちます。
3. 基幹病院としての役割を担いながら、他の医療機関との間の有機的な連携のもとに当院の行うべき医療活動を推進します。
4. 医学及び医療技術の研鑽に努めるとともに、医学・医療の進歩に寄与します。
5. 研修医、医学部学生、看護学生、コメディカル、救急救命士などの教育を積極的に行います。
6. 地域住民の保健知識の普及に努め、健康増進活動に参加します。
7. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます。
8. 安全医療の推進に努めます。

患者の権利と責任

豊橋市民病院は、十分に説明され、理解し納得した上での同意を基本姿勢として、患者さんと信頼関係で結ばれた医療を目指しています。ここに患者さんの権利と責任について明らかにし、病院と患者さんが協力して理想的な医療を行うために以下のことを確認します。

1. 最善の医療を受ける権利

患者さんは、生命の尊重と人間愛に基づいた最善の医療を受ける権利を有します。

2. 知る権利

患者さんは、病名、症状、予後、検査と治療の内容と危険性、薬の効果と副作用などについて十分に理解できるまで説明を受けることができます。医師は、薬の治験など、研究途上にある医療行為を行う場合には事前に患者さんに説明をする義務があります。患者さんは、治療に要する見込みの費用や、要した費用の明細について説明を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によりご家族、代理の方に説明することがあります。

3. 自己決定の権利

患者さんは、緊急時などの場合を除き、十分な情報と医療従事者の助言を得た上で、ご自分の意志により、検査、治療などの医療行為に同意、選択或いは拒否する権利を有し、その場合に医学的にどのような結果になるかを知らされる権利を有します。

また、患者さんは担当医などの医療従事者を選択すること、紹介状を請求して別の病院にかかわること及び患者さんの求める他の医師の意見を聞くことができます。

4. プライバシーが保護される権利

患者さんは、個人の情報を直接医療にかかわる医療従事者以外の第三者に開示されない権利を有します。また、私的なことに干渉されない権利を有します。

5. 参加と共同の責任

これらの権利を守るため、患者さんは医療従事者と力を合わせて医療に参加、協力する責任があります。

目 次

I	沿革	1
II	現況	3
	1. 施設の概要	3
	2. 承認事項・診療科の状況	4
	3. 病床の状況	4
	4. 機構図	5
	5. 職員数	6
	6. 病棟別病床数	6
	7. 施設案内	7
	8. 指定医療機関及び専門医研修施設等	8
III	患者動向	11
	1. 入院科別患者数	11
	2. 外来科別患者数	12
	3. 病棟別患者数	13
	4. 救急外来センター来院方法別受診状況	13
	5. 救急外来センター受診後の動向	14
	6. 救急入院センター・集中治療センター患者数	14
	7. 地域別患者割合	14
	8. 紹介・逆紹介患者数及び率	15
	9. 手術件数	15
	9-2. 腹腔鏡・胸腔鏡・関節鏡手術件数	16
	10. 分娩件数	16
IV	疾病統計	17
	1. 入院患者の疾病分類別（大分類）患者数	17
	2. 死亡症例	17
	3. 悪性新生物新患者数	18
V	診療業務概要、活動報告	19
	総合内科	19
	呼吸器内科・アレルギー内科	20
	消化器内科	22
	循環器内科	25
	腎臓内科	28
	糖尿病・内分泌内科	30
	神経内科	32
	血液・腫瘍内科	34
	一般外科・小児外科・肛門外科	37
	呼吸器外科	43
	心臓外科・血管外科	45
	移植外科	47
	整形外科	49
	リウマチ科	52
	脊椎外科	55
	脳神経外科	57

小児科	60
小児科（新生児部門）	62
産婦人科	63
産婦人科（生殖医療）	70
女性内視鏡外科	72
耳鼻いんこう科	73
眼科	75
皮膚科	78
泌尿器科	80
放射線科	83
麻酔科（ペインクリニック）	86
リハビリテーション科	90
病理診断科	92
臨床検査科	93
歯科口腔外科	95
医療安全管理室	98
卒後臨床研修センター	100
救急外来センター	102
救急入院センター	104
集中治療センター	106
周産期母子医療センター（母体・胎児部門）	107
周産期母子医療センター（新生児部門）	108
総合生殖医療センター	109
リハビリテーションセンター	110
血液浄化センター	111
予防医療センター	112
輸血・細胞治療センター	115
感染症管理センター	117
外来治療センター	119
手術センター	121
口唇口蓋裂センター	123
患者総合支援センター	124
入院支援センター	127
診療技術局	130
放射線技術室	131
中央臨床検査室	137
リハビリテーション技術室	147
臨床工学室	150
栄養管理室	159
薬局	162
看護局	168
事務局	180
医師事務作業補助者	187
VI 研究・業績	191
VII 院内委員会の活動記録	243

I 沿 革

I 沿 革

明治21 (1888) 年	6月	私立豊橋慈善病院として開業
明治35 (1902) 年	6月	社団法人豊橋病院と改組
昭和7 (1932) 年	6月	社団法人豊橋病院を買収して、市立豊橋病院を開院
昭和21 (1946) 年	7月	豊橋市立豊橋市民病院と改称
昭和26 (1951) 年	7月	豊橋市民病院改称 (医療法による総合病院に指定)
昭和46 (1971) 年	3月	人工腎臓センター新設
昭和57 (1982) 年	3月	救命救急センター完成 (地下1階、地上6階)
	3月	リハビリテーションセンター完成 (地下1階、地上3階)
平成5 (1993) 年	4月	「臨床研修病院」の指定
平成8 (1996) 年	5月	豊橋市民病院桜ヶ岡分院を統合し、青竹町地内に移転
	5月	健診センター新設
	6月	病診連携室新設
	11月	「地域災害医療センター」の指定 (災害拠点病院の指定)
平成9 (1997) 年	12月	(財)日本医療機能評価機構より「病院機能評価」の認定を受ける
平成10 (1998) 年	4月	輸血センター新設
	7月	「地域周産期母子医療センター」の認定を受ける
平成11 (1999) 年	4月	「第2種感染症指定医療機関」の指定
	4月	不妊センター新設
平成12 (2000) 年	8月	許可病床数 910 床に変更
平成13 (2001) 年	4月	人工腎臓センターを血液浄化センターに変更
平成14 (2002) 年	4月	「へき地医療拠点病院」の指定
	4月	未熟児センターを新生児医療センターに変更
	8月	治験管理センターを設置
平成15 (2003) 年	2月	(財)日本医療機能評価機構より2回目の「病院機能評価 (一般病院)」の認定を受ける
	4月	感染症管理センターを設置
	8月	「地域がん診療拠点病院」の指定
平成16 (2004) 年	4月	健診センターを予防医療センターに変更
平成17 (2005) 年	4月	機構改革により医療安全管理室の設置
	6月	「DPC (診断群分類による包括医療制度) 調査協力病院」の認定を受ける
平成18 (2006) 年	4月	院内保育所開設
	5月	外来治療センターを設置
	6月	「DPC対象病院」に認定されDPC制度による診療報酬請求の開始
平成19 (2007) 年	12月	(財)日本医療機能評価機構より3回目の「病院機能評価 (審査体制区分4)」の認定を受ける
平成20 (2008) 年	2月	「地域がん診療連携拠点病院」の指定 (2回目)
平成21 (2009) 年	2月	「豊橋市民病院改革プラン」を策定
平成22 (2010) 年	4月	患者総合支援センター開設
	5月	病院総合情報システム (電子カルテシステム) 稼働

	7月	「7対1看護基準」の取得
平成23（2011）年	2月	「豊橋市民病院改革プラン（改訂版）」を策定
	12月	「NPO法人卒後臨床研修評価機構」の認定を受ける〔認定期間 2011.12.1～2013.11.30〕
平成24（2012）年	4月	許可病床数836床に変更（一般病床811床・結核病床15床・感染症病床10床）
	12月	（財）日本医療機能評価機構より4回目の「病院機能評価（審査体制区分6）」の認定を受ける
平成25（2013）年	10月	手術支援ロボットシステム「ダヴィンチ」を導入
	11月	救命救急センターを、救急外来センター、救急入院センター及び集中治療センターに変更
	12月	地域連携登録医制度の導入
	12月	「NPO法人卒後臨床研修評価機構」の更新認定〔認定期間 2013.12.1～2017.11.30〕
平成26（2014）年	2月	「第2次豊橋市民病院改革プラン」を策定
	4月	許可病床数820床に変更（一般病床800床・結核病床10床・感染症病床10床）
	4月	総合周産期母子医療センター及びバースセンター開設
	9月	「地域医療支援病院」の名称承認を受ける
	10月	輸血センターを輸血・細胞治療センターに変更
平成27（2015）年	3月	「地域がん診療連携拠点病院」の指定（3回目）
	5月	入院支援センターを設置
平成28（2016）年	4月	許可病床数800床に変更（一般病床780床・結核病床10床・感染症病床10床）
	4月	「DPC医療機関群Ⅱ群」の指定を受ける
	10月	高度放射線棟開設

Ⅱ 現 況

Ⅱ 現 況

平成29年3月31日

1. 施設の概要

所在地	豊橋市青竹町字八間西50番地	
施設規模	敷地面積（企業会計財産）	92,204.52㎡
	建物延面積	62,025.35㎡
	建物	地上9階 鉄骨・鉄筋コンクリート造
	診療部門	13,621.75㎡
	病棟部門	21,376.79㎡
	(感染症病床422.78㎡を含む)	
	救命救急センター	2,620.90㎡
	(集中治療室1,451.72㎡を含む)	
	新生児医療センター	525.55㎡
	リハビリテーションセンター	818.97㎡
	血液浄化センター	418.03㎡
	予防医療センター	199.15㎡
	外来治療センター	257.60㎡
	患者総合支援センター	235.15㎡
	高度放射線棟	4,129.09㎡
	サービス部門	10,946.79㎡
	管理部門	6,062.50㎡
	特別高圧変電所	813.08㎡

2. 承認事項・診療科の状況

(1) 承認事項

開業開始年月日	法適用年月日	法適用区分	救急告示の有無
昭和7年6月1日	昭和39年4月1日	当然財務	有(30床) (平成23年7月5日)

(2) 診療科

総合内科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科
アレルギー内科	感染症内科	腎臓内科	糖尿病・内分泌内科
神経内科	血液・腫瘍内科	一般外科	呼吸器外科
先天性心臓外科	成人心臓外科	血管外科	小児外科
肛門外科	移植外科	整形外科	リウマチ科
脊椎外科	形成外科	脳神経外科	小児科
小児科(新生児)	産婦人科	産婦人科(生殖医療)	女性内視鏡外科
耳鼻いんこう科	眼科	皮膚科	泌尿器科
放射線科	こころのケア科	麻酔科(ペインクリニック)	救急科
リハビリテーション科	病理診断科	臨床検査科	歯科口腔外科

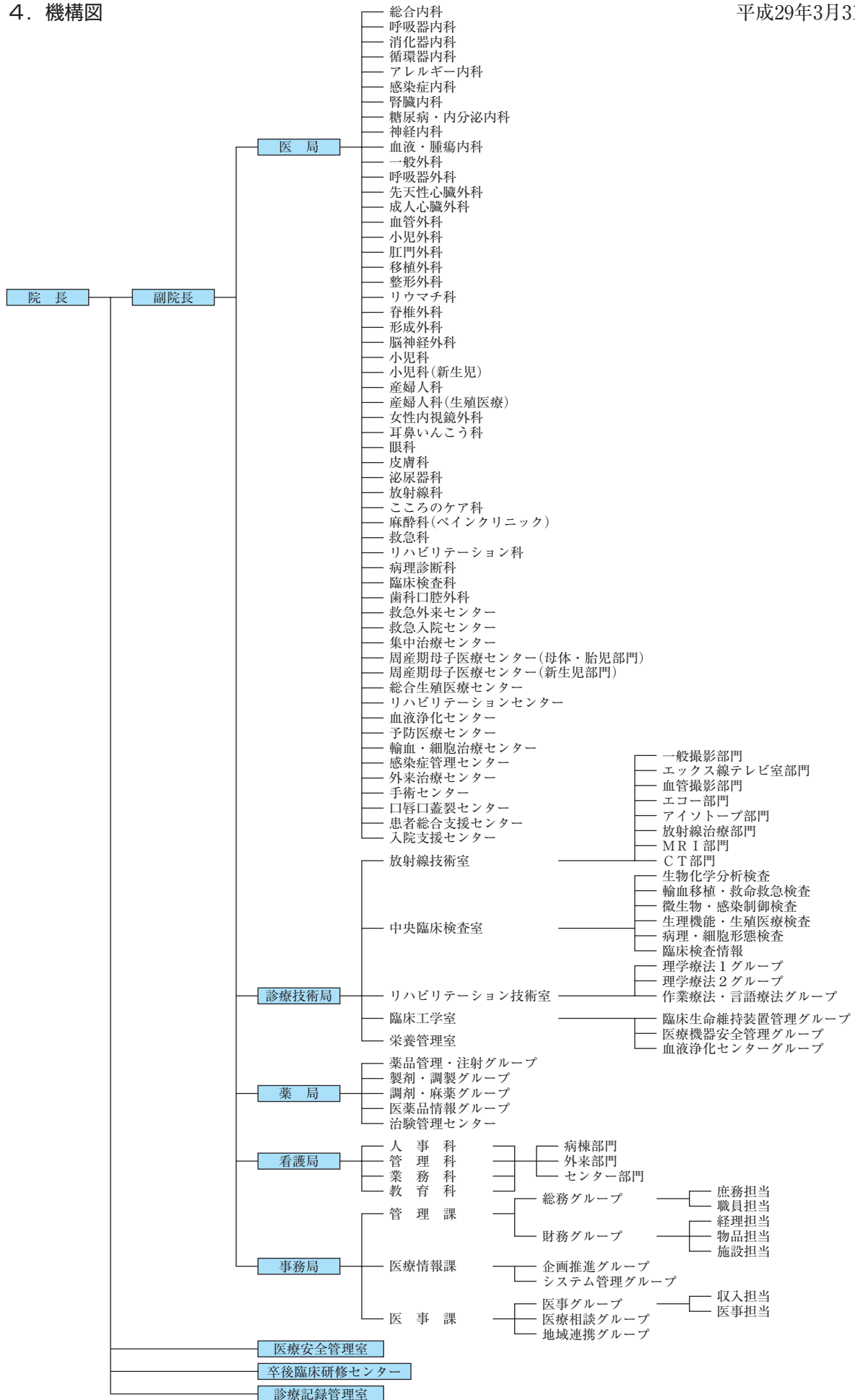
3. 病床の状況

許可病床数	一般	精神	結核	感染症	合計
	780床	—	10床	10床	800床

特定入院料算定病床	救急入院	ICU	MFICU	NICU	小児(NMC)	小児(東2)
	24床	6床	6床	12床	23床	43床

4. 機構図

平成29年3月31日



5. 職員数

平成29年3月31日

区 分		人数(人)
医 師 職	医 師	180
	研 修 医	36
医療技術職	薬 剤 師	48
	臨床検査技師	56
	臨床工学技士	15
	放射線技師	45
	歯科衛生士	5
	理学療法士	23
	作業療法士	11
	言語聴覚士	6
	視能訓練士	6
	栄 養 士	11

区 分		人数(人)
看護保健職	看 護 師	804
	准 看 護 師	27
	保 健 師	2
一般行政職	管 理 課	24
	医 療 情 報 課	8
	医 事 課	17
	医療安全管理室	2
	医 局	1
技能労務職	事務労務職助手	2
そ の 他 臨 時 職 員	助手(病棟助手等)	79
	ドクタークラーク	21
	外来クラーク	20
	その他(事務等)	57
計		1,506

6. 病棟別病床数

平成29年3月31日

区 分	許可(稼働)病床	病 床 内 訳(床)
東病棟 2階	43床	小児科35 小児外科4 耳鼻いんこう科(小児)4
〃 3階	50床	循環器内科28 呼吸器外科8 心臓・血管外科9 腎臓内科5
東病棟 4階	50床	パースセンター20 婦人科6 MFICU6 産科18
西病棟 4階		
東病棟 5階	46床	一般外科37 消化器内科7 移植外科2
〃 6階	52床	消化器内科47 呼吸器内科5
〃 7階	49床	呼吸器内科34 耳鼻いんこう科15
〃 8階	51床	整形外科・リウマチ科48 産婦人科(生殖医療)3
〃 9階	47床	糖尿病・内分泌内科11 産婦人科20 眼科16
西病棟 2階	44床	脳神経外科26 神経内科10 腎臓内科8
〃 3階	30床	集中治療6 救急入院24
〃 5階	46床	一般外科33 皮膚科10 消化器内科3
〃 6階	50床	消化器内科47 糖尿病・内分泌内科3
〃 7階	52床	呼吸器内科44 歯科口腔外科8
〃 8階	46床	泌尿器科35 整形外科11
〃 9階	49床	血液・腫瘍内科49
南病棟 1階	40床	神経内科24 整形外科・リウマチ科16
〃 2階	20床	結核10 感染症10
新生児医療センター	35床	NICU12 GCU23
計	800床	

診療科別病床数

呼 吸 器 内 科	83床	呼 吸 器 外 科	8床	眼 科	16床
消 化 器 内 科	104	小 児 外 科	4	皮 膚 科	10
循 環 器 内 科	28	移 植 外 科	2	泌 尿 器 科	35
腎 臓 内 科	13	整 形 外 科	75	歯 科 口 腔 外 科	8
糖 尿 病・内 分 泌 内 科	14	形 成 外 科	0	集 中 治 療	6
神 経 内 科	34	脳 神 経 外 科	26	救 命 救 急	24
血 液・腫 瘍 内 科	49	小 児 科	70	感 染 症 病 棟	10
一 般 外 科	70	産 婦 人 科	73	結 核 病 棟	10
心 臓 外 科・血 管 外 科	9	耳 鼻 い ん け ん 科	19		
				計	800

7. 施設案内

平成29年3月31日

名称	各階	主な施設
診療棟	1階	総合内科 呼吸器内科・アレルギー内科 消化器内科 循環器内科 腎臓内科 神経内科 血液・腫瘍内科 整形外科 脊椎外科 リウマチ科 形成外科 産婦人科（生殖医療）・総合生殖医療センター 放射線科 一般外科 小児外科 呼吸器外科 移植外科 心臓外科 血管外科 肛門外科 麻酔科（ペインクリニック） 脳神経外科 泌尿器科 救急外来センター 救急外来・入院受付 外来治療センター 患者総合支援センター がん相談支援センター 入院支援センター エックス線撮影室 CT室 テレビカメラ室 MRI室 内視鏡・エコー室 薬局 医事課 総合案内所 防災センター
	2階	こころのケア科 皮膚科 糖尿病・内分泌内科 耳鼻いんこう科 産婦人科 小児科 病理診断科 臨床検査科 歯科口腔外科・口唇口蓋裂センター 眼科 血液浄化センター 予防医療センター 中央臨床検査室 感染症管理センター 輸血・細胞治療センター 薬局 臨床工学室 中央滅菌材料室 中央倉庫 カルテ室 中央監視室 レストラン 売店
	3階	新生児医療センター 手術センター 院長室 医療安全管理室 副院長室 医局長室 医局 看護局長室 人事科 管理科 業務科 教育科 事務局長室 管理課 医療情報課 医学情報室 診療記録管理室 講堂 応接室 会議室 当直室 仮眠室 電話交換室 サーバ室 職員食堂
管理棟	1階	院内保育所
	2階	情報研修室 レセプト点検室
	3階	研修医室
更衣棟	1階	清掃控室 委託業者用更衣室
	2階	組合事務所 更衣室
東病棟	1階	栄養管理室
	2階	小児科 小児外科 耳鼻いんこう科（小児）
	3階	呼吸器外科 心臓外科 血管外科 循環器内科 腎臓内科
	4階	産婦人科 バースセンター
	5階	一般外科 消化器内科 移植外科
	6階	消化器内科 呼吸器内科
	7階	呼吸器内科 耳鼻いんこう科
	8階	整形外科 産婦人科（生殖医療） リウマチ科
	9階	糖尿病・内分泌内科 産婦人科 眼科
西病棟	1階	リハビリテーションセンター 解剖室 霊安室 喫茶室
	2階	脳神経外科 神経内科 腎臓内科
	3階	集中治療センター（ICU） 救急入院センター
	4階	産婦人科 母体胎児集中治療室
	5階	一般外科 皮膚科 消化器内科
	6階	消化器内科 糖尿病・内分泌内科
	7階	呼吸器内科 歯科口腔外科
	8階	泌尿器科 整形外科
	9階	血液・腫瘍内科
南病棟	1階	整形外科 神経内科 リウマチ科
	2階	結核病床 感染症病床
高度放射線棟	1階	放射線治療室 CTシミュレーター室 腔内照射室 アイソトープ検査室 PET-CT検査室 ガンマカメラ室 SPECT-CT室
	2階	シミュレーション研修センター 治験管理センター 医薬品情報室 モニタリング室 ME 機材室 空調機械室 屋上庭園
	3階	備蓄倉庫 電気室

8. 指定医療機関及び専門医研修施設等

(1) 機関指定

- ・ 保険医療機関
- ・ 労災保険指定病院
- ・ 更生医療指定病院
- ・ 育成医療指定病院
- ・ 母体保護法指定医
- ・ 被爆者一般疾病医療機関
- ・ 児童福祉施設（助産施設）
- ・ エイズ治療拠点病院
- ・ 日本病院会・優良短期人間ドック施設
- ・ 救命救急センター
- ・ 地域がん診療連携拠点病院
- ・ 総合周産期母子医療センター
- ・ 特定不妊治療指定医療機関
- ・ 難病指定医療機関
- ・ 救急病院
- ・ 生活保護法等指定医療機関
- ・ 養育医療指定病院
- ・ 結核指定医療機関
- ・ 身体障害者福祉法指定医
- ・ 公害医療機関
- ・ 基幹型臨床研修病院
- ・ 単独型臨床研修施設（歯科）
- ・ 災害拠点病院
- ・ 第二種感染症指定医療機関
- ・ へき地医療拠点病院
- ・ DMAT指定医療機関
- ・ 地域医療支援病院
- ・ 指定小児慢性特定疾病医療機関

(2) 施設基準届出事項

○基本診療料

- ・ 一般病棟入院基本料（7対1入院基本料）
- ・ 結核病棟入院基本料（7対1入院基本料）
- ・ 総合入院体制加算3
- ・ 超急性期脳卒中加算
- ・ 診療録管理体制加算2
- ・ 医師事務作業補助体制加算2（20対1）
- ・ 急性期看護補助体制加算（50対1）
- ・ 看護職員夜間配置加算
- ・ 療養環境加算
- ・ 重症者等療養環境特別加算
- ・ 無菌治療室管理加算1
- ・ 栄養サポートチーム加算
- ・ 医療安全対策加算1
- ・ 感染防止対策加算1・感染防止対策地域連携加算
- ・ 患者サポート体制充実加算
- ・ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ・ ハイリスク妊娠管理加算
- ・ ハイリスク分娩管理加算
- ・ 呼吸ケアチーム加算
- ・ データ提出加算2
- ・ 退院支援加算2
- ・ 退院支援加算3
- ・ 認知症ケア加算
- ・ 精神疾患診療体制加算
- ・ 救命救急入院料1
- ・ 救命救急入院料注3に掲げる加算
- ・ 救命救急入院料注7に掲げる小児加算
- ・ 特定集中治療室管理料4
- ・ 特定集中治療室管理料注2に掲げる小児加算
- ・ 新生児特定集中治療室管理料1
- ・ 総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児集中治療室管理料）
- ・ 小児入院医療管理料2・小児入院医療管理料注2の加算
- ・ 地域歯科診療支援病院歯科初診料
- ・ 歯科外来診療環境体制加算
- ・ 歯科診療特別対応連携加算

○特掲診療料関係

- ・ 高度難聴指導管理料
- ・ 糖尿病合併症管理料
- ・ がん性疼痛緩和指導管理料
- ・ がん患者指導管理料1
- ・ がん患者指導管理料2
- ・ がん患者指導管理料3
- ・ 移植後患者指導管理料（臓器移植後）
- ・ 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- ・ 緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））
上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）
下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）
- ・ 乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算1）
- ・ 経皮的中隔心筋焼灼術
- ・ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術

- ・糖尿病透析予防指導管理料
- ・院内トリアージ実施料
- ・外来放射線照射診療料
- ・開放型病院共同指導料(Ⅰ)
- ・がん治療連携計画策定料
- ・肝炎インターフェロン治療計画料
- ・薬剤管理指導料
- ・医療機器安全管理料1
- ・医療機器安全管理料2
- ・医療機器安全管理料(歯科)
- ・歯科治療総合医療管理料
- ・持続血糖測定器加算
- ・H P V 核酸検出
- ・H P V 核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
- ・検体検査管理加算(Ⅰ)
- ・検体検査管理加算(Ⅳ)
- ・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- ・時間内歩行試験及びシャトルウォーキング
- ・ヘッドアップティルト試験
- ・皮下連続式グルコース測定
- ・長期継続頭蓋内脳波検査
- ・神経学的検査
- ・小児食物アレルギー負荷検査
- ・内服・点滴誘発試験
- ・センチネルリンパ節生検(片側)
- ・ポジトロン断層撮影
- ・ポジトロン断層撮影・コンピューター断層複合撮影
- ・CT 撮影及び MRI 撮影
- ・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- ・外来化学療法加算1
- ・無菌製剤処理料
- ・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・がん患者リハビリテーション料
- ・歯科口腔リハビリテーション料2
- ・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1
- ・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1
- ・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1
- ・硬膜外自家血注入
- ・透析液水質確保加算1
- ・下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- ・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算
- ・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
- ・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
- ・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術
- ・腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術
- ・腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術
- ・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
- ・体外衝撃波胆石破碎術
- ・腹腔鏡下肝切除術
- ・腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術
- ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- ・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
- ・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
- ・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
- ・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
- ・同種死体腎移植術
- ・生体腎移植術
- ・腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術
- ・膀胱水圧拡張術
- ・腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術
- ・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
- ・人工尿道括約筋植込・置換術
- ・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
- ・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
- ・腹腔鏡下仙骨靱帯固定術
- ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
- ・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
- ・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
- ・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
- ・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
- ・輸血管理料Ⅰ
- ・輸血適正使用加算、貯血式自己血輸血管理体制加算
- ・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- ・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- ・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
- ・麻酔管理料(Ⅰ)
- ・麻酔管理料(Ⅱ)
- ・放射線治療専任加算
- ・外来放射線治療加算
- ・高エネルギー放射線治療
- ・画像誘導放射線治療加算
- ・1回線量増加加算
- ・定位放射線治療
- ・病理診断管理加算1

骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)

・口腔病理診断管理加算1
・クラウン・ブリッジ維持管理料

(3) 専門医研修施設等

・日本内科学会専門医教育病院
・日本呼吸器学会専門医認定施設
・日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医認定施設
・日本アレルギー学会準教育研修施設
・日本消化器病学会専門医認定施設
・日本消化器内視鏡学会専門医指導施設
・日本消化器がん検診学会認定医指導施設
・日本肝臓学会認定施設
・日本循環器学会専門医研修施設
・日本高血圧学会認定研修施設
・日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設
・日本腎臓学会専門医研修施設
・日本透析医学会専門医認定施設
・日本糖尿病学会糖尿病専門医認定教育施設
・日本内分泌学会内分泌代謝科専門医認定教育施設
・日本甲状腺学会認定専門医施設
・日本神経学会専門医教育施設
・日本血液学会認定研修施設
・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
・日本外科学会専門医指定施設
・日本消化器外科学会専門医指定修練施設(認定施設)
・日本乳癌学会乳腺専門医認定施設
・日本乳房オンコプラステックサージャー学会インプラト実施施設(一次・二期再建)
・日本乳房オンコプラステックサージャー学会エキスパンダー実施施設(一次再建)
・呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設(基幹施設)
・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定修練施設(関連施設)
・日本がん治療認定医機構認定研修施設

・下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会認定実施施設
・日本大腸肛門病学会専門医認定施設
・日本静脈経腸栄養学会NST実地修練認定教育施設
・日本整形外科学会専門医研修施設
・日本手外科学会認定研修関連施設
・日本リウマチ学会専門医教育施設
・日本脳神経外科学会専門医研修病院
・日本脳卒中学会認定研修教育病院
・日本小児科学会専門医研修支援施設
・日本周産期・新生児医学会周産期(新生児)専門医基幹施設
・日本産科婦人科学会専攻医指導施設
・日本周産期・新生児医学会周産期(母体・胎児)専門医基幹施設
・日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
・日本生殖医学会専門医認定研修施設
・日本産科婦人科学会生殖補助医療実施登録施設
・日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
・日本眼科学会専門医研修施設
・日本皮膚科学会専門医研修施設
・日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設
・放射線科専門医修練機関
・日本核医学会専門医教育病院
・日本麻酔科学会専門医認定病院
・日本病理学会専門医認定施設
・日本臨床細胞学会専門医教育研修施設
・日本口腔外科学会認定専門医研修施設

(4) 研修施設等(名称・認定団体)

①放射線技術室

マンモグラフィ検診施設認定
日本消化器がん検診学会認定指導施設

マンモグラフィ検診精度管理中央委員会
日本消化器がん検診学会

②中央臨床検査室

日本臨床検査標準協議会精度保障施設
日本臨床細胞学会認定施設
認定臨床微生物検査技師制度研修施設
認定輸血検査技師制度指定施設
骨髓検査技師認定制度研修施設
日本病理学会研修認定施設
臨床輸血看護師制度指定研修施設
日本輸血・細胞治療学会 I&A 認証施設

日本臨床検査標準協議会
日本臨床細胞学会
日本臨床微生物学会
日本輸血細胞治療学会
日本検査血液学会
日本病理学会
日本輸血・細胞治療学会
日本輸血・細胞治療学会

③栄養管理室

NST(栄養サポートチーム)稼働施設
「栄養サポートチーム専門療法士」認定教育施設
NST 稼働施設

日本静脈経腸栄養学会
日本静脈経腸栄養学会
日本栄養療法推進協議会

Ⅲ 患者動向

Ⅲ 患者動向

1. 入院科別患者数

区 分	平成28年度				平成27年度				平成26年度			
	延患者数 (人)	1日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)	延患者数 (人)	1日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)	延患者数 (人)	1日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)
内 科	116,715	320	46.2	7,075	117,602	321	45.5	7,080	119,018	326	46.0	6,912
総合内科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
呼吸器内科	23,606	65	20.2	1,517	26,498	72	22.5	1,556	28,152	77	23.7	1,577
消化器内科	41,656	114	35.7	2,615	39,676	108	33.7	2,584	40,222	110	33.8	2,560
循環器内科	8,326	23	7.1	917	8,328	23	7.1	899	10,155	28	8.5	1,000
アレルギー内科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
感染症内科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
腎臓内科	4,809	13	4.1	339	5,752	16	4.9	403	6,779	19	5.7	326
糖尿病・内分泌内科	3,201	9	2.8	259	3,228	9	2.7	282	3,964	11	3.3	271
神経内科	17,025	46	14.6	822	17,066	47	14.5	732	14,190	39	11.9	632
血液・腫瘍内科	16,784	46	14.4	575	15,633	43	13.3	601	14,022	38	11.8	519
結 核	1,308	4	1.1	31	1,421	4	1.2	23	1,534	4	1.3	27
外 科	23,198	64	9.2	2,040	24,124	66	9.3	2,125	25,004	68	9.7	1,978
呼吸器外科	1,889	5	0.7	198	2,263	6	0.9	202	4,032	11	1.6	305
心臓・血管外科	3,474	9	1.4	193	3,456	9	1.3	178				
移植外科	736	2	0.3	70	752	2	0.3	58	627	2	0.2	59
整形外科	24,191	66	9.6	1,225	23,740	66	9.2	1,356	24,319	67	9.4	1,365
形成外科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	207	1	0.1	49
脳神経外科	12,070	33	4.8	635	10,973	30	4.2	635	10,691	29	4.1	581
小 児 科	19,303	53	7.6	1,831	21,744	59	8.4	2,016	20,739	57	8.0	1,825
産 婦 人 科	19,352	53	7.6	2,448	20,096	55	7.8	2,493	19,936	55	7.7	2,521
耳鼻いんこう科	7,861	21	3.1	643	7,921	22	3.1	662	6,675	18	2.6	506
眼 科	4,742	13	1.9	908	5,797	16	2.2	1,017	6,326	17	2.5	962
皮 膚 科	4,957	14	2.0	264	4,467	12	1.7	259	4,033	11	1.6	214
泌尿器科	11,870	32	4.7	1,018	13,078	36	5.1	1,121	14,217	39	5.5	1,047
放射線科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	1
麻 酔 科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
リハビリテーション科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
こころのケア科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
歯科口腔外科	2,390	7	0.9	431	2,720	7	1.1	458	2,668	7	1.0	424
計 ①	252,748	692	100.0	18,979	258,733	707	100.0	19,660	258,492	708	100.0	18,749
前 年 度 ②	258,733	707	-	19,660	258,492	708	-	18,749	265,485	727	-	18,318
比較 (① - ②)	△5,985	△15	-	△681	241	△1	-	911	△6,993	△19	-	431

2. 外来科別患者数

区 分	平成28年度				平成27年度				平成26年度			
	延患者数 (人)	1日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)	延患者数 (人)	1日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)	延患者数 (人)	1日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)
内 科	156,651	643	34.1	13,814	166,843	687	34.4	15,677	163,083	668	33.7	16,012
総合内科	8,038	33	5.1	1,601	9,264	38	5.6	2,062	10,436	43	6.4	2,622
呼吸器内科	23,665	97	15.1	2,293	25,739	106	15.4	2,500	24,417	100	15.0	2,517
消化器内科	50,170	206	32.0	5,183	54,084	223	32.4	5,858	50,799	208	31.1	5,763
循環器内科	16,206	67	10.3	1,143	16,981	70	10.2	1,252	17,446	72	10.7	1,344
アレルギー内科	24	0	0.0	5	206	1	0.1	5	166	1	0.1	2
感染症内科	11	0	0.0	0	7	0	0.0	0	41	0	0.0	0
腎臓内科	12,695	52	8.1	612	13,315	55	8.0	728	12,794	52	7.8	425
糖尿病・内分泌内科	19,639	81	12.5	1,072	20,227	83	12.1	1,107	20,343	83	12.5	1,118
神経内科	12,010	49	7.7	1,450	12,615	52	7.6	1,700	12,127	50	7.4	1,778
血液・腫瘍内科	14,193	58	9.1	455	14,405	59	8.6	465	14,514	59	8.9	443
外 科	34,494	142	7.5	2,260	35,284	145	7.3	2,622	34,081	140	7.0	2,438
呼吸器外科	2,606	11	0.6	309	2,444	10	0.5	357	4,772	20	1.0	612
心臓・血管外科	2,864	12	0.6	205	2,674	11	0.6	305				
移植外科	1,394	6	0.3	47	1,232	5	0.3	38	1,120	5	0.2	58
整形外科	40,600	167	8.8	4,604	45,790	189	9.4	5,531	46,591	191	9.6	5,684
形成外科	2,075	9	0.5	305	2,175	9	0.4	414	6,565	27	1.4	1,736
脳神経外科	11,536	47	2.5	1,928	12,205	50	2.5	2,130	13,043	53	2.7	2,115
小児科	29,490	121	6.4	2,631	32,610	134	6.7	3,335	32,050	131	6.6	3,291
産婦人科	40,557	167	8.8	2,391	46,056	190	9.5	2,908	48,302	198	10.0	2,958
耳鼻いんこう科	24,921	103	5.4	3,195	25,503	105	5.3	3,891	23,351	96	4.8	3,803
眼 科	26,421	109	5.8	2,440	25,763	106	5.3	2,750	28,321	116	5.8	2,775
皮 膚 科	26,045	107	5.7	3,334	26,726	110	5.5	4,225	24,637	101	5.1	3,577
泌尿器科	26,374	109	5.7	1,775	27,537	113	5.7	2,164	27,152	111	5.6	2,114
放射線科	12,768	53	2.8	666	11,203	46	2.3	627	10,778	44	2.2	674
こころのケア科	457	2	0.1	47	465	2	0.1	29	1,502	6	0.3	29
麻 酔 科	270	1	0.1	201	285	1	0.1	221	237	1	0.1	194
リハビリテーション科	4,717	19	1.0	24	5,338	22	1.1	31	5,572	23	1.2	38
歯科口腔外科	15,325	63	3.3	3,065	14,559	60	3.0	3,189	13,192	54	2.7	3,015
計 ①	459,565	1,891	100.0	43,241	484,692	1,995	100.0	50,444	484,349	1,985	100.0	51,123
前 年 度 ②	484,692	1,995	-	50,444	484,349	1,985	-	51,123	484,505	1,986	-	53,313
比較 (①-②)	△25,127	△104	-	△7,203	343	10	-	△679	△156	△1	-	△2,190

3. 病棟別患者数

区 分	平成28年度		平成27年度		平成26年度	
	延患者数(人)	1日平均(人)	延患者数(人)	1日平均(人)	延患者数(人)	1日平均(人)
東 病 棟 2 階	10,586	29	12,488	34	12,485	34
西 病 棟 2 階	15,880	43	16,329	45	16,253	45
東 病 棟 3 階	16,244	44	16,481	45	16,980	47
西 病 棟 3 階	4,752	13	5,032	14	5,296	14
東 病 棟 4 階	6,642	18	6,661	18	6,655	18
西 病 棟 4 階	6,630	18	6,664	18	6,854	19
東 病 棟 5 階	15,570	43	15,641	43	15,904	44
西 病 棟 5 階	16,261	44	16,772	46	16,588	45
東 病 棟 6 階	18,831	51	18,377	50	18,622	51
西 病 棟 6 階	17,900	49	18,075	49	18,304	50
東 病 棟 7 階	16,714	46	17,473	48	17,470	48
西 病 棟 7 階	16,849	46	17,579	48	17,464	48
東 病 棟 8 階	17,187	47	16,807	46	16,626	46
西 病 棟 8 階	15,919	43	16,950	46	17,295	47
東 病 棟 9 階	14,678	40	15,412	42	16,451	45
西 病 棟 9 階	16,391	45	15,694	43	14,513	40
新生児医療センター	10,318	28	11,009	30	9,536	26
南 病 棟 1 階	14,088	38	13,908	38	13,662	37
南 病 棟 2 階	1,308	4	1,421	4	1,534	4
計	252,748	691	258,773	707	258,492	708

4. 救急外来センター来院方法別受診状況

来院方法	入外区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度	
		患者数(人)	合計に占める比率(%)	患者数(人)	合計に占める比率(%)	患者数(人)	合計に占める比率(%)
救 急 車	外来	3,324	12.8	3,484	11.5	3,843	12.5
	入院	3,134	12.1	3,237	10.7	3,072	10.0
	計	6,458	24.9	6,721	22.3	6,915	22.4
ドクターヘリ 防災ヘリ	外来	19	0.1	6	0.0	17	0.1
	入院	42	0.2	40	0.1	41	0.1
	計	61	0.2	46	0.2	58	0.2
ウォークイン	外来	16,637	64.1	20,583	68.1	21,282	69.0
	入院	2,796	10.8	2,853	9.4	2,582	8.4
	計	19,433	74.9	23,436	77.6	23,864	77.4
合 計	外来	19,980	77.0	24,073	79.7	25,142	81.5
	入院	5,972	23.0	6,130	20.3	5,695	18.5
	計	25,952	100.0	30,203	100.0	30,837	100.0

5. 救急外来センター受診後の動向

受診後	平成28年度			平成27年度			平成26年度		
	患者数 (人)	うち、救急搬入数 (人)	比 率 (%)	患者数 (人)	うち、救急搬入数 (人)	比 率 (%)	患者数 (人)	うち、救急搬入数 (人)	比 率 (%)
帰 宅	19,947	3,316	16.6	24,042	3,464	14.4	25,108	3,830	15.3
入 院	5,781	2,988	51.7	5,923	3,076	51.9	5,475	2,902	53.0
転 院	33	27	81.8	31	26	83.9	34	30	88.2
死 亡	191	188	98.4	207	201	97.1	220	211	95.9
計	25,952	6,519	25.1	30,203	6,767	22.4	30,837	6,973	22.6

※救急搬入とは、救急車、ドクターヘリ、防災ヘリのこと

6. 救急入院センター・集中治療センター患者数

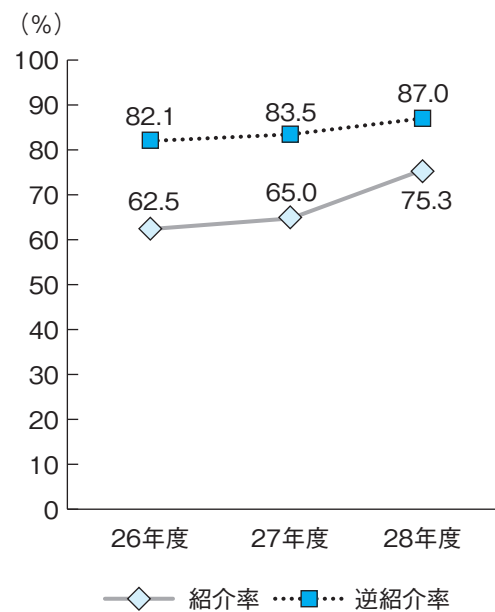
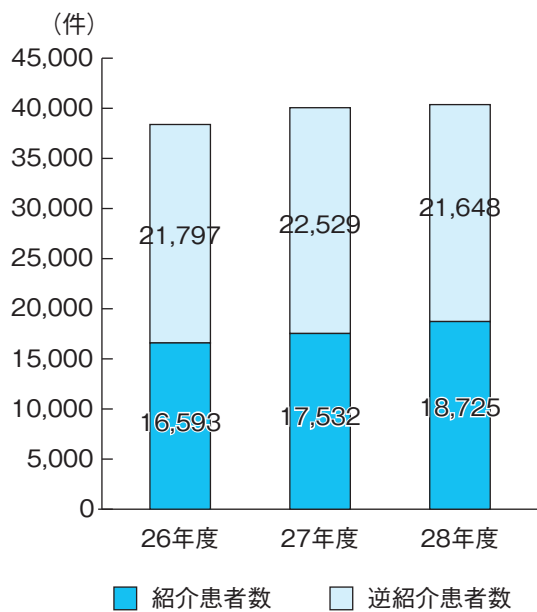
区 分	病床数 (床)	実患者数 (人)	延患者数 (人)	平均在院日数 (日)	1日当たり患者数 (人)
内 科	11	1,351	1,993	1.5	5
外 科	11	436	716	1.6	2
心臓血管・呼吸器外科	3	222	692	3.1	2
脳 神 経 外 科	5	506	939	1.9	3
そ の 他	—	304	567	1.9	2
計	30	2,819	4,907	1.7	14
内訳:集中治療センター	6	569	1,581	2.8	4

7. 地域別患者割合

(%)

区 分	入 院			外 来		
	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
豊 橋 市	72.1	72.1	72.0	71.4	71.2	71.1
豊 川 市	10.2	10.0	10.2	11.2	11.4	11.8
蒲 郡 市	3.5	3.5	4.0	3.6	3.6	3.7
田 原 市	7.2	7.3	6.6	7.3	7.3	7.0
新 城 市	2.5	2.6	2.8	2.5	2.6	2.6
その他	県内	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0
	県外	2.3	2.4	2.3	1.9	1.8
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

8. 紹介・逆紹介患者数及び率



9. 手術件数

区 分		平成 28 年度		平成 27 年度		平成 26 年度	
		件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)
外科	一般外科	1,443	99.9	1,444	95.4	1,448	95.6
	心臓血管・呼吸器外科	305	91.9	332	166.0	244	122.0
	小児外科	125	90.6	138	93.2	130	87.8
	肛門外科	36	100.0	36	138.5	16	61.5
整形外科		1,317	95.1	1,385	93.8	1,470	99.5
リウマチ科		45	136.4	33	100.0	26	78.8
形成外科		7	87.5	8	10.3	67	85.9
脳神経外科		309	89.8	344	116.6	326	110.5
産婦人科		1,702	97.1	1,752	106.8	1,736	105.9
耳鼻いんこう科		410	99.8	411	130.1	376	119.0
皮膚科		106	105.0	101	118.8	84	98.8
泌尿器科		498	87.8	567	112.1	555	109.7
眼科		956	88.4	1,081	123.0	1,089	123.9
歯科口腔外科		400	97.6	410	111.1	387	104.9
その他		128	93.4	137	108.7	159	126.2
計		7,787	95.2	8,179	106.3	8,113	105.5

9-2. 腹腔鏡・胸腔鏡・関節鏡手術件数

区 分		平成 28 年度		平成 27 年度		平成 26 年度	
		件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)
外科	一般外科	409	115.2	355	116.8	370	121.7
	(内:ダヴィンチ)	17	63.0	27	-	3	-
	心臓血管・呼吸器外科	118	92.2	128	109.4	112	95.7
	小児外科	82	130.2	63	331.6	58	305.3
整形外科		95	94.1	101	79.5	103	81.1
リウマチ科		0	-	1	-	-	-
産婦人科		426	83.9	508	224.8	440	194.7
(内:先進医療、自費診療)		14	66.7	21	262.5	16	200.0
(内:ダヴィンチ)		7	-	0	-	8	-
泌尿器科		118	96.7	122	116.2	116	110.5
(内:ダヴィンチ)		58	111.5	52	346.7	28	186.7
その他		7	70.0	10	142.9	7	100.0
計		1,255	97.4	1,288	142.2	1,206	133.1

10. 分娩件数

区 分		平成 28 年度		平成 27 年度		平成 26 年度	
		件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)
産婦人科		933	93.3	1,000	104.4	958	103.1

IV 疾病統計

IV 疾病統計

1. 入院患者の疾病分類別（大分類）患者数

(人)

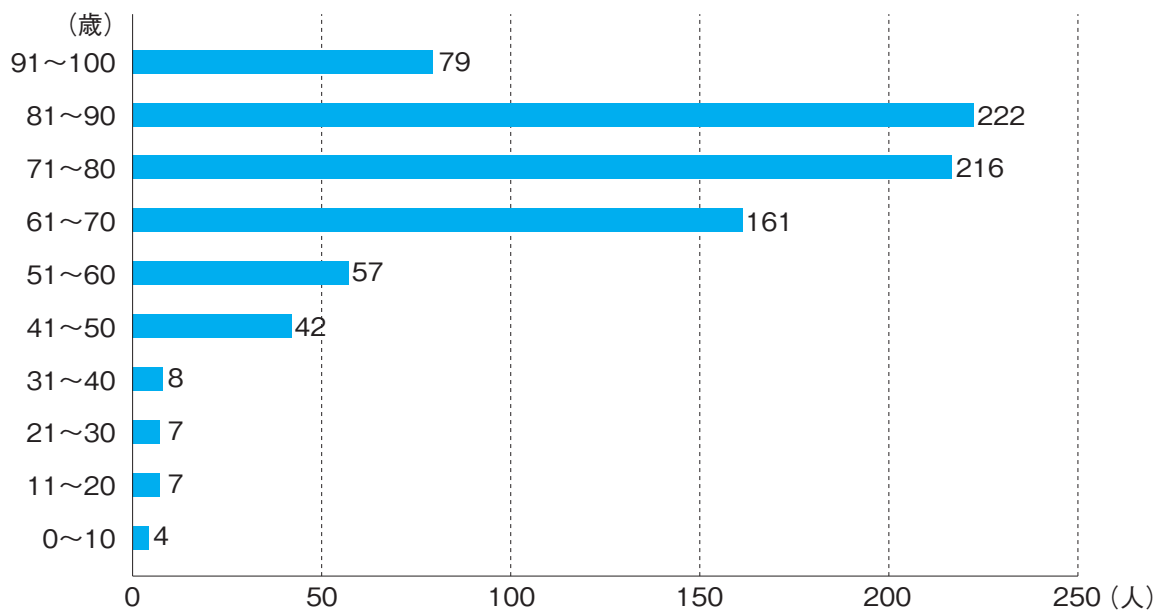
MDC2桁	疾患名	2016年	2015年	2014年
01	神経系疾患	1,248	1,218	990
02	眼科系疾患	875	1,012	946
03	耳鼻咽喉科系疾患	639	648	522
04	呼吸器系疾患	2,132	2,391	2,098
05	循環器系疾患	1,099	1,050	1,055
06	消化器系、肝臓・胆道・膵臓疾患	3,971	4,056	3,793
07	筋骨格系疾患	617	660	644
08	皮膚・皮下組織の疾患	392	406	303
09	乳房の疾患	184	195	148
10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	592	501	478
11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	1,453	1,615	1,422
12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	1,866	1,855	1,788
13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	685	694	610
14	新生児疾患、先天性奇形	626	600	592
15	小児疾患	194	267	241
16	外傷・熱傷・中毒	902	967	947
17	精神疾患	9	6	10
18	その他	216	228	224
計		17,700	18,369	16,811

※DPC対象患者より集計

2. 死亡症例

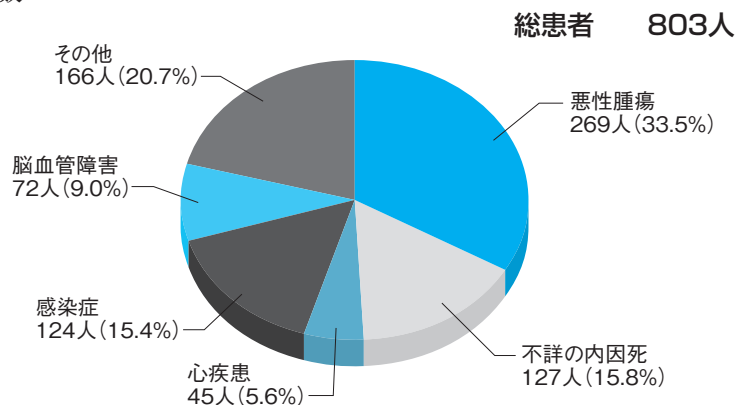
(1)年代別年間死亡患者数

総数：803人



(2) 24時間以内の死亡患者数・・・・・・・・・・94人

(3) 死亡要因上位件数



※死亡診断書・検案書の「直接死因」より集計

3. 悪性新生物新患者数

部 位	診断年症例 (件)		
	2016年	2015年	2014年
口腔・咽頭	52	76	63
食道	44	45	56
胃	232	241	275
大腸	354	344	339
(結腸)	(230)	(206)	(216)
(直腸)	(124)	(138)	(123)
肝臓	72	54	73
胆嚢・胆管	34	40	37
膵臓	75	64	87
喉頭	27	14	24
肺	225	271	246
骨・軟部	3	2	1
皮膚 (黒色腫を含む)	128	103	79
乳房	166	191	137
子宮頸部	93	97	87
子宮体部	72	58	61
子宮	0	0	2
卵巣	38	45	32
前立腺	178	197	177
膀胱	82	112	93
腎・他の尿路	75	73	73
脳・中枢神経系	55	48	36
甲状腺	30	23	31
悪性リンパ腫	106	77	85
多発性骨髄腫	23	18	28
白血病	52	31	41
他の造血器腫瘍	36	45	30
その他	56	71	60
計	2,308	2,340	2,253

※がん診療連携拠点病院院内がん登録全国集計への報告件数

V 診療業務概要・ 活動報告

～解説～

①概要について

1年間の活動内容等を掲載しています。

②新規登録疾患について

2016年に登録した病名を診療科別に抽出し、ICD-10（国際疾病分類）3桁で集計を行い円グラフで掲載しています。

1. 抽出条件：
 - ① 2016年1月1日～2016年12月31日に受診した患者。
 - ② 診療科別で対象患者に主病名登録した病名（疑いは除外）を抽出。
 - ③ ICD-10 3桁で集計、上位を表記し、それ以下はその他と表記。
2. 留意事項：
 - ① 複数の病名が登録されている患者については病名ごとに集計（延べ）。
 - ② 比率については小数点第2位 四捨五入。

③活動報告について

この項目は、各々の希望に応じた資料を掲載しています。

V 診療業務概要、活動報告

総合内科

1. 概要

高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病は狭心症や心筋梗塞など虚血性心疾患の強力な危険因子であるため、総合内科では特に糖尿病をメインに、さらに内臓脂肪の過剰蓄積・耐糖能障害・高血圧・高中性脂肪血症を併せ持つメタボリックシンドロームも含めて診療を行ってきた。

1996年来、総合内科では糖尿病・耐糖能障害、高血圧症、脂質異常症などの外来診療と糖尿病体験入院を行ってきたが、糖尿病・内分泌内科新設に伴い、2010年4月より総合内科の入院病床は無くなった。現在、糖尿病外来や教育入院などの糖尿病診療は主に糖尿病・内分泌内科にて行われている。

2010年4月以降は、新規を除く糖尿病、高血圧症、脂質異常症、肥満症などの外来診療を継続するとともに、原因不明の発熱、専門科に振り分けられない初診患者の診療を行っている。

(部長 鳥居 俊男)

2. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	8,384人	年間外来新患者数	1,776人
年間入院患者数	0人	年間入院新患者数	0人

呼吸器内科・アレルギー内科

1. 概要

2016年度は、副部長3名（竹山、菅沼、真下）、医員4名（倉橋、高橋、米田、飯島）の、専任スタッフ7名で診療を行った。

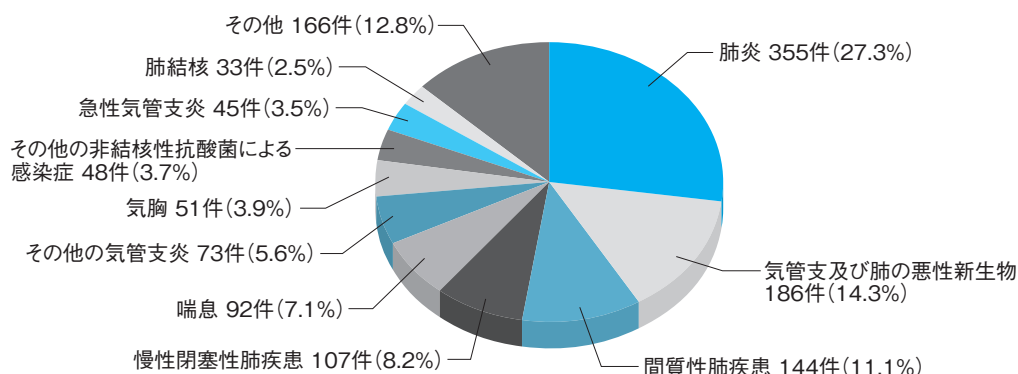
患者中心の医療を心掛け、外来・病棟看護師、薬剤師、リハビリテーション技師と協力して診療に当たっている。また、呼吸器外科医師、放射線科医師とも連携を密にし、治療方針決定のために定期的に合同でカンファレンスを行っている。

日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本アレルギー学会の教育認定施設として、研修医や専攻医の教育に当たるばかりでなく、スタッフ一同もより良い医療ができるよう日々研鑽を積んでいる。また、東三河地区の地域がん診療連携拠点病院の役割を担い、名古屋大学呼吸器内科の関連病院として臨床研究にも努めている。

（部長 菅沼 伸一）

2. 新規登録疾患

総数：1,300件



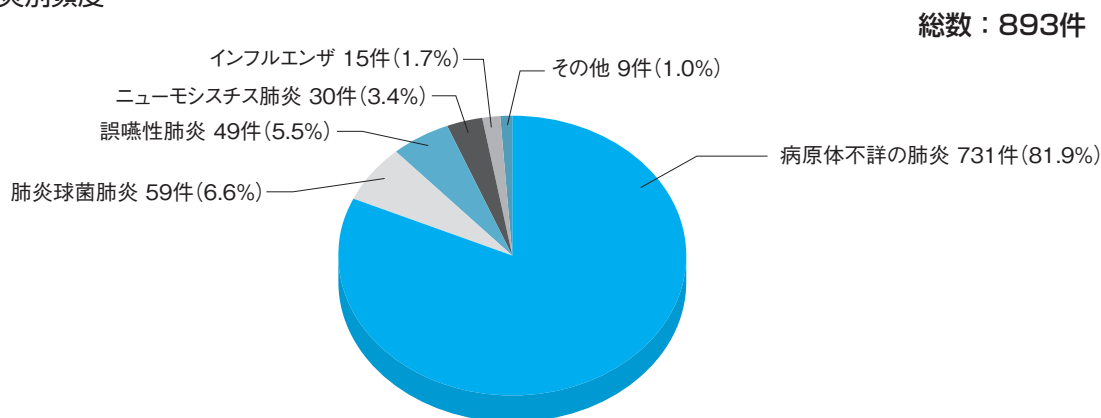
疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
肺炎	肺炎, 詳細不明	287	J189
	肺炎レンサ球菌による肺炎	31	J13
気管支及び肺の悪性新生物	気管支及び肺の悪性新生物,気管支又は肺,部位不明	180	C349
	胸腺の悪性新生物	3	C37
間質性肺疾患	間質性肺疾患, 詳細不明	104	J849
	肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患	30	J841
慢性閉塞性肺疾患	慢性閉塞性肺疾患, 詳細不明	57	J449
	肺気腫, 詳細不明	29	J439
喘息	喘息, 詳細不明	91	J459
その他の気管支炎	気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの	37	J40
	詳細不明の慢性気管支炎	36	J42
気胸	気胸, 詳細不明	25	J939
	その他の自然気胸	24	J931
その他の非結核性抗酸菌による感染症	非結核性抗酸菌感染症, 詳細不明	42	A319
	肺非結核性抗酸菌感染症	5	A310
急性気管支炎	急性気管支炎, 詳細不明	43	J209
肺結核	肺結核,細菌学的又は組織学的確認の記載がないもの	21	A162
	詳細不明の呼吸器結核,細菌学的又は組織学的確認の記載がないもの	8	A169

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	23,445人	年間外来新患者数	2,206人
年間入院患者数	22,539人	年間入院新患者数	1,435人

(2) 肺炎別頻度



(3) 科指定5疾患

	疾患名	件数(件)		疾患名	件数(件)
1	肺炎	893	4	肺癌	212
2	気管支喘息	296	5	慢性閉塞性肺疾患	128
3	間質性肺炎	245		計	1,774

消化器内科

1. 概要

浦野副院長を筆頭とする6名のスタッフ、専攻医7名、後期研修医1～2名と、さらに岡村前院長の協力を得て診療に当たっている。

山田、山本が消化管、浦野、内藤が肝臓、藤田、松原が胆道・膵臓を担当し、

- ① 消化器癌のX線・内視鏡・US診断
- ② 食道・胃・大腸腫瘍に対する内視鏡的治療の検討
- ③ IBDに対する内科的治療
- ④ 胆道・膵疾患に対するEUS(-FNA)、造影US・EUS、ERCP(-IDUS)の成績向上における検討
- ⑤ ERCP後膵炎の予防における検討
- ⑥ 閉塞性黄疸に対するERCP（経乳頭の内視鏡）下と、EUS（超音波内視鏡）下治療の成績
- ⑦ ウイルス性肝炎の治療と長期経過観察
- ⑧ 肝癌の画像診断と内科的治療-TACE、RFA、リザーバーを用いた化学療法など

を主な研究テーマとしている。

一方、全消化器領域に対応すべく日常診療に従事しており、嚥下困難患者に対する内視鏡的胃瘻造設術の依頼にも随時対応している。

この他、食道胃静脈瘤、胃・十二指腸潰瘍、大腸憩室などからの急性消化管出血に対するEIS、EVLやクリッピング止血、内因性肝出血や壊死性膵炎に対するIVR、急性胆道炎に対するERCP、PTBD、PTGBD、EUS下ドレナージ、そして劇症肝炎や重症急性膵炎など重症消化器疾患に対する集中治療を積極的に行い、地域の救命救急医療に貢献している。

学会発表並びに若手医師に対する教育・指導も重要視しており、2016年には日本内科学会東海支部、日本超音波医学会中部地方会において、それぞれ優秀演題賞、新人賞を受賞した。

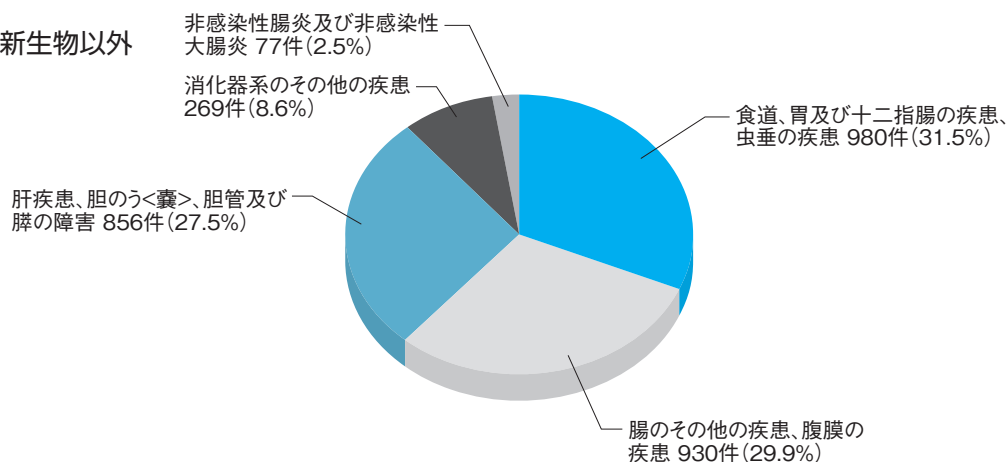
（第一部長 浦野 文博）

（文責 第四部長 松原 浩）

2. 新規登録疾患

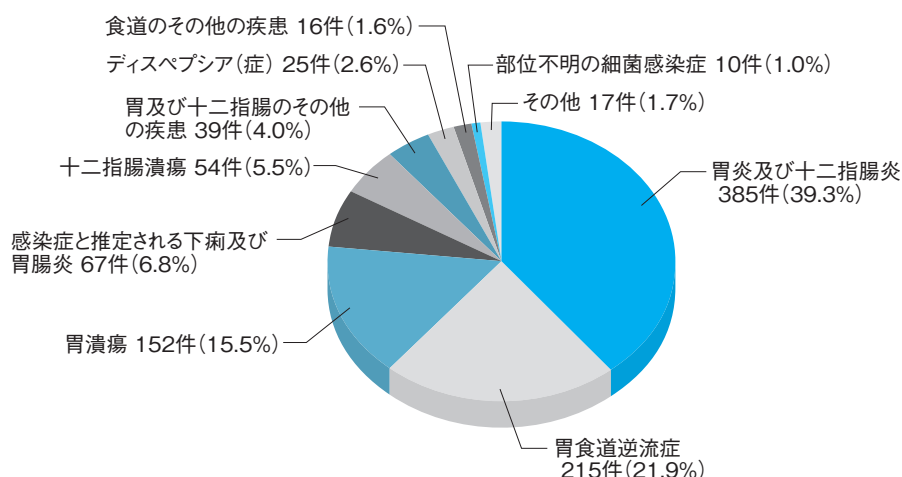
総数：3,112件

(1) 新生物以外

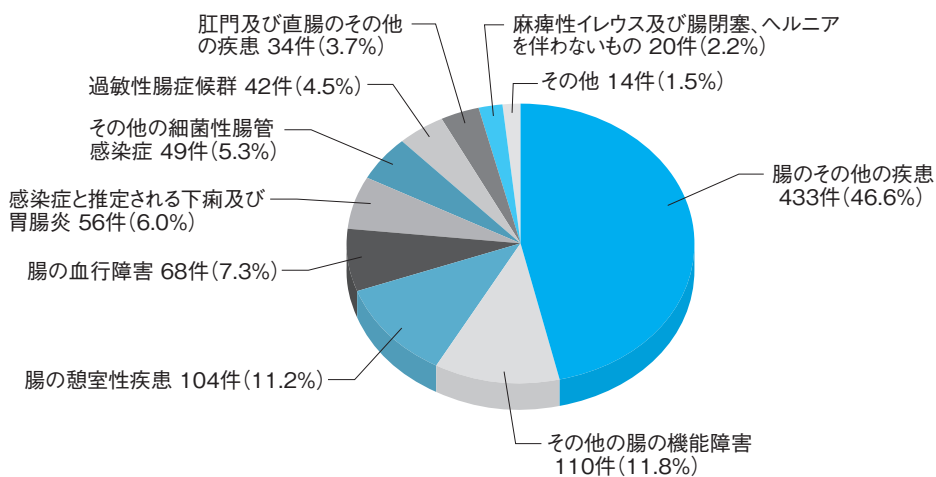


上位3位の詳細

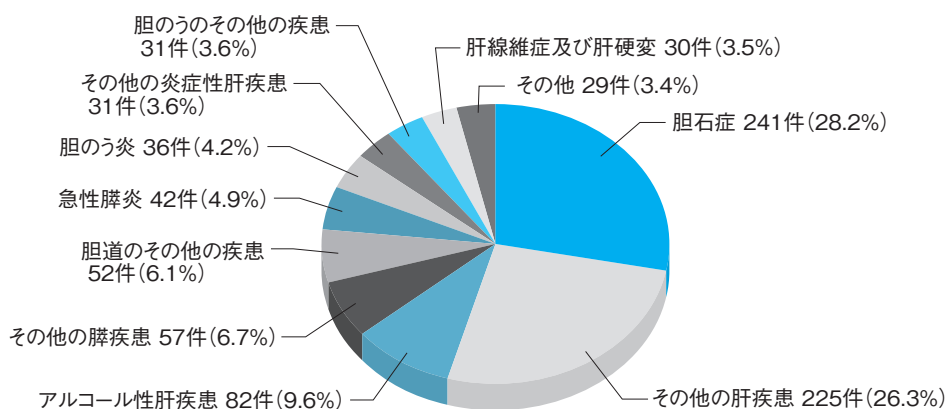
①食道、胃及び十二指腸の疾患、虫垂の疾患：980件



②腸のその他の疾患、腹膜の疾患：930件

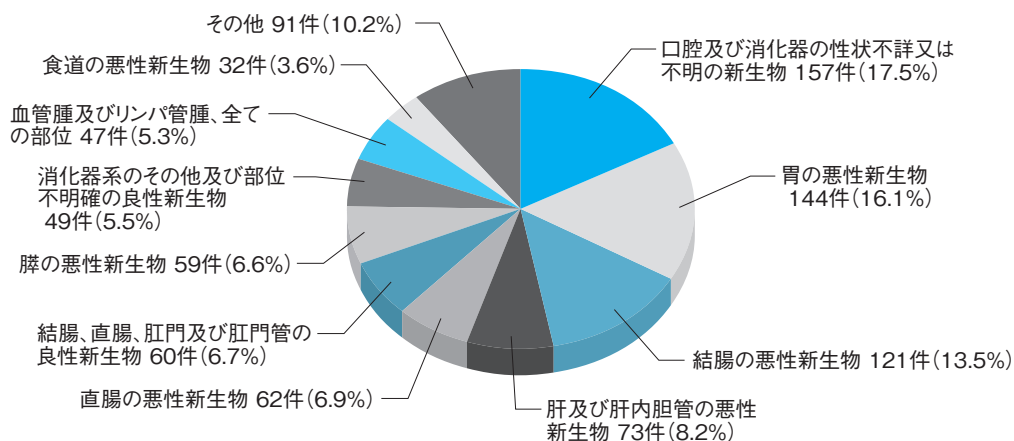


③肝疾患、胆のう、胆管及び膵の障害：856件



(2) 新生物

総数：895件



3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	51,048人	年間外来新患者数	5,318人
年間入院患者数	41,682人	年間入院新患者数	2,599人

(2) 当科で経験した主な疾患の新規症例数

胃癌	204例
大腸癌	288例
	(深達度分類 ssないしal以深：mp：sm：m 131：30：47：80)
肝細胞癌	40例
	(進行度分類 I：II：III：IV 7：18：10：5)
	(JIS 0：1：2：3：4：5 6：12：16：4：2：0)
膵癌	53例
胆道癌	30例

(3) 主な検査治療実績

胃内視鏡検査	6,839件
大腸内視鏡検査	4,374件
消化管超音波内視鏡検査	95件 (うち穿刺生検4件)
内視鏡的粘膜下層切開剥離術	胃89件、大腸55件
胆膵超音波内視鏡検査	368件 (うち穿刺生検52件)
内視鏡的逆行性胆管膵管造影	598件
腹部血管造影検査	204件
うち動脈塞栓術	138件
動注化学療法	26件
リザーバー留置による動注化学療法	3件
ラジオ波焼灼術	38件

循環器内科

1. 概要

2016年は、心血管/造影カテーテル検査を725件（うち緊急検査143件）に施行した。経皮的冠動脈インターベンションは202例（成功率93.9%）で、そのうち、血管内超音波を180例に、ステント留置術は160例に施行した。再狭窄防止のための薬剤溶出性バルーンが使用可能となり11件に使用した。また、血行動態の悪い症例には、大動脈内パンピングを21例に施行した。心原性ショック例・心停止例（来院時心肺停止も含む）には、経皮的心肺補助装置を装着した（9例）。一方、不整脈診断の為の心臓電気生理学的検査を56例に、カテーテルアブレーションを35例に施行した。64列多列検出器CTによる冠動脈CT検査を142例に施行した。

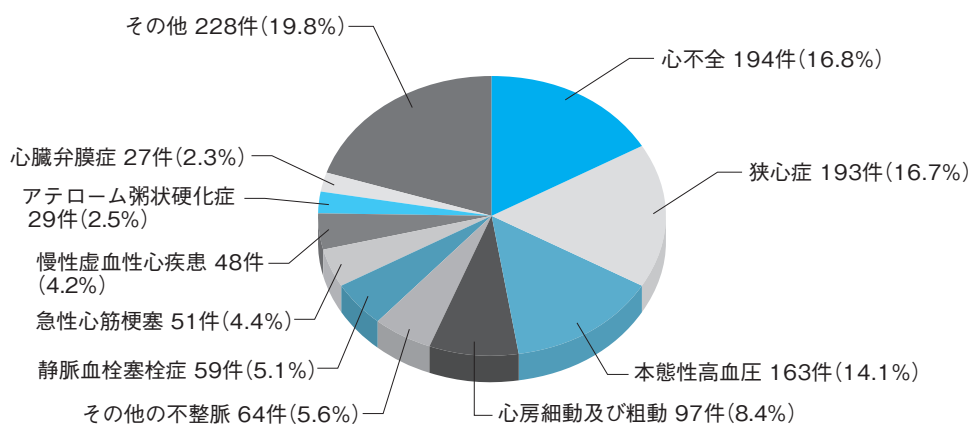
2016年4月11日付で澤崎貴子が産休に入った。

2016年9月9日より、急性心筋梗塞が疑われる患者の救急搬送の際、救急車からの12誘導心電図伝送が開始となった。

（第二部長 成瀬 賢伸）

2. 新規登録疾患

総数：1,153件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
心不全	うっ血性心不全	92	I500
	心不全, 詳細不明	92	I509
狭心症	狭心症, 詳細不明	135	I209
	その他の型の狭心症	25	I208
本態性高血圧	本態性(原発性)高血圧(症)	163	I10
心房細動及び粗動	心房細動及び粗動	97	I48
その他の不整脈	心室性早期脱分極	28	I493
	洞不全症候群	10	I495
静脈血栓塞栓症	下肢のその他の深在血管の静脈炎及び血栓(性)静脈炎	59	I802
急性心筋梗塞	前壁の急性貫壁性心筋梗塞	18	I210
	下壁の急性貫壁性心筋梗塞	18	I211
慢性虚血性心疾患	陳旧性心筋梗塞	40	I252
	虚血性心筋症	3	I255
アテローム粥状硬化症	全身性及び詳細不明のアテローム硬化(症)	21	I709
	(四) 肢の動脈のアテローム硬化(症)	8	I702
心臓弁膜症	大動脈弁狭窄(症)	21	I350
	大動脈弁閉鎖不全(症)	5	I351

3. 活動報告

(1) 患者状況

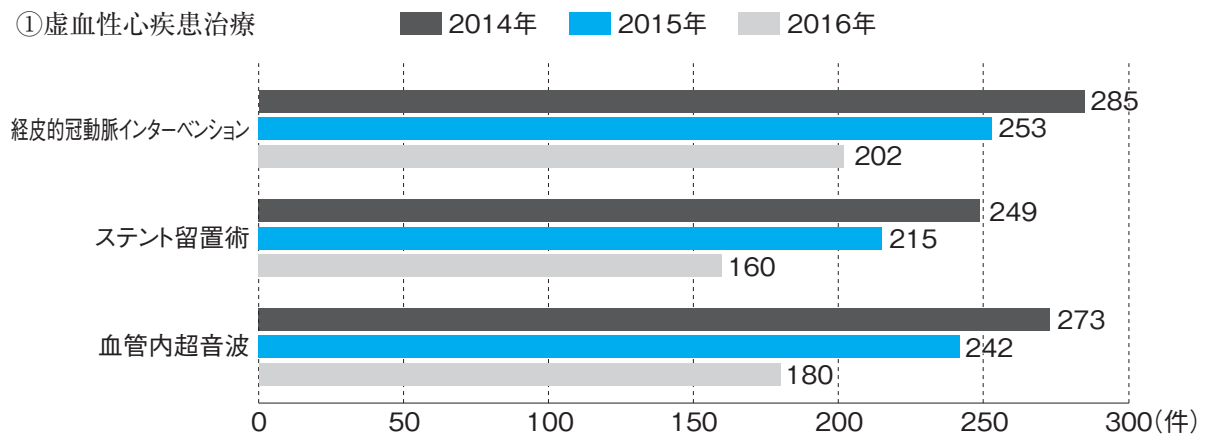
年間外来患者数	16,234人	年間外来新患者数	1,140人
年間入院患者数	8,343人	年間入院新患者数	925人

(2) 科指定4疾患

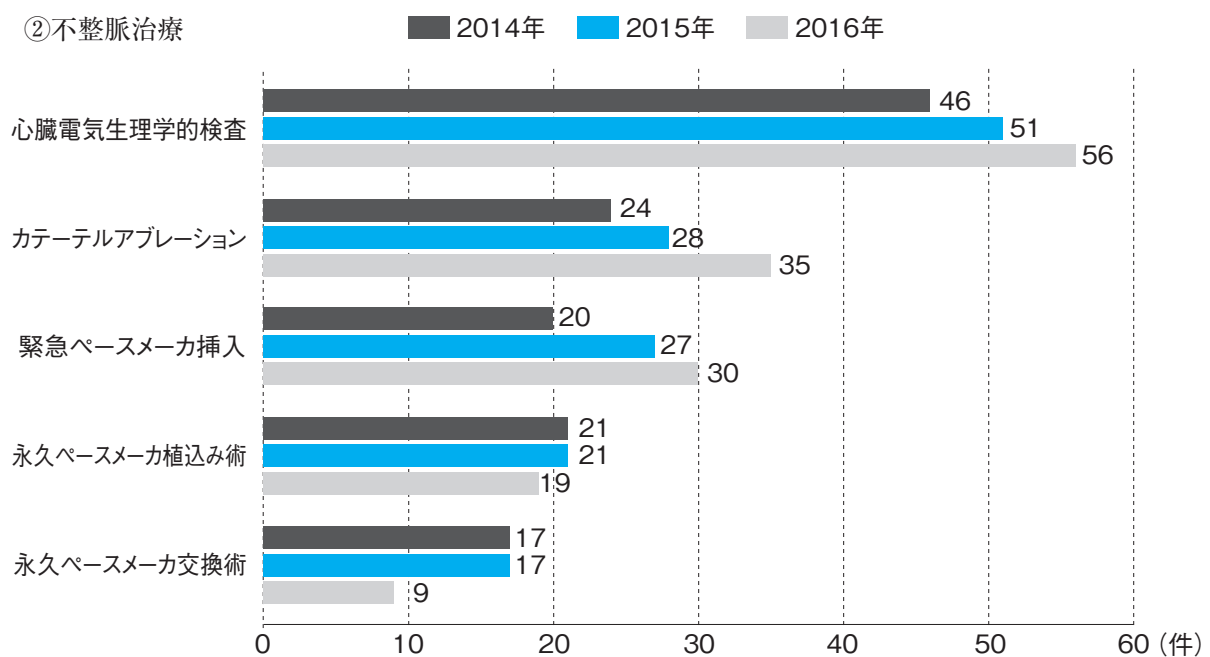
	疾患名	件数(件)		疾患名	件数(件)
1	心不全	552	4	肺血栓塞栓症	35
2	狭心症	386		計	1,115
3	急性心筋梗塞	142			

(3) 治療実績

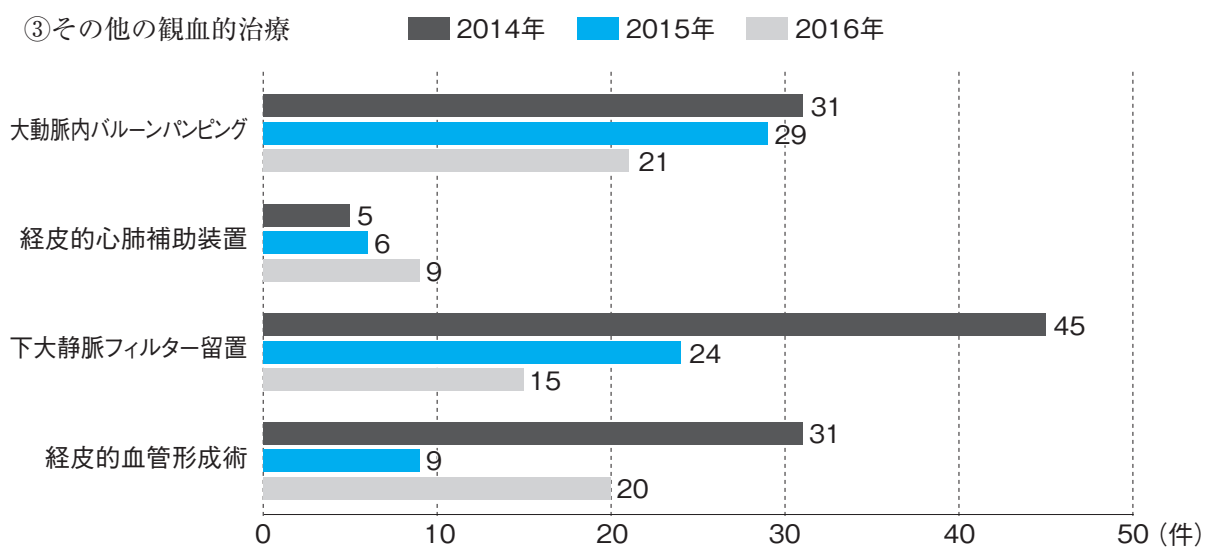
①虚血性心疾患治療



②不整脈治療



③その他の観血的治療



腎臓内科

1. 概要

当科の主な診療領域は、腎炎・ネフローゼ症候群・腎不全（腎後性腎不全は除く）などの内科的腎臓病一般の他に、透析を含む血液浄化である。尿路結石・腫瘍・感染症は、取り扱っていない。また、透析患者のシャントトラブルも扱っていない。

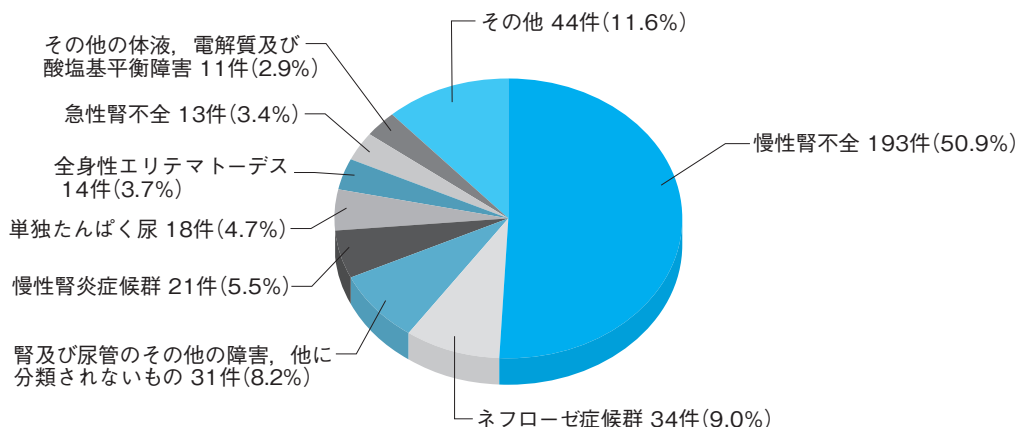
当院は東三河地域の基幹病院であるが、その中で常勤医師数からして内科の中で一番小さな科であるものの、多種多様な病態の診療に携わっている。実際、急性腎不全（AKI）を始めとする重症患者の血液浄化の依頼やコンサルトは多く、維持透析患者の合併症や保存期の慢性腎不全（CKD）患者の治療にも関わっている。

腎炎やネフローゼ症候群には、名古屋大学腎臓内科の御支援の下、積極的に腎生検を行い、診断・治療に役立てている。末期腎不全に対しては、スタッフ不足から新規の通院透析患者は受け入れられないものの、移植外科と連携して腎移植には対応可能である。その他に、MEや看護師の協力により、血漿交換・免疫吸着・持続的血液ろ過透析（CHDF）などを病態に応じて施行している。

(部長 山川 大志)

2. 新規登録疾患

総数：379件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
慢性腎不全	慢性腎不全, 詳細不明	177	N189
	末期腎疾患	16	N180
ネフローゼ症候群	ネフローゼ症候群, 詳細不明	34	N049
腎及び尿管のその他の障害, 他に分類されないもの	腎及び尿管の障害, 詳細不明	30	N289
慢性腎炎症候群	慢性腎炎症候群, 詳細不明	21	N039
単独たんぱく尿	単独たんぱく尿	18	R80
全身性エリテマトーデス	全身性エリテマトーデス, 詳細不明	12	M329
急性腎不全	急性腎不全, 詳細不明	13	N179
その他の体液, 電解質及び酸塩基平衡障害	低カリウム血症	6	E876

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	12,866人	年間外来新患者数	628人
年間入院患者数	4,982人	年間入院新患者数	350人

(2) 科指定5疾患

	疾患名	件数(件)		疾患名	件数(件)
1	慢性腎不全	326	4	IgA 腎症	10
2	ネフローゼ症候群	77	5	急速進行性糸球体腎炎	10
3	急性腎不全	35		計	458

糖尿病・内分泌内科

1. 概要

当科の診療内容は、糖尿病と各種内分泌・代謝疾患である。日本糖尿病療養指導士15名他の協力で、糖尿病教育入院の他、療養指導外来、フットケア外来、糖尿病透析予防指導外来を設置している。通常のインスリンポンプ療法（CSII）に加え、SAP（CGMつきCSII）療法が増加しつつあり、約半数がSAP療法となっている。年末には新しく保険収載された2週間連続で血糖値を記録できるFlash Glucose Monitoring式のCGMを運用開始した。

日本糖尿病協会の支部として友の会があり、11月の全国糖尿病週間に合わせて院内での啓発活動を実施した。この年は新企画としてアトリウムでのミニ糖尿病教室とポイントラリー形式の参加型展示を行った。

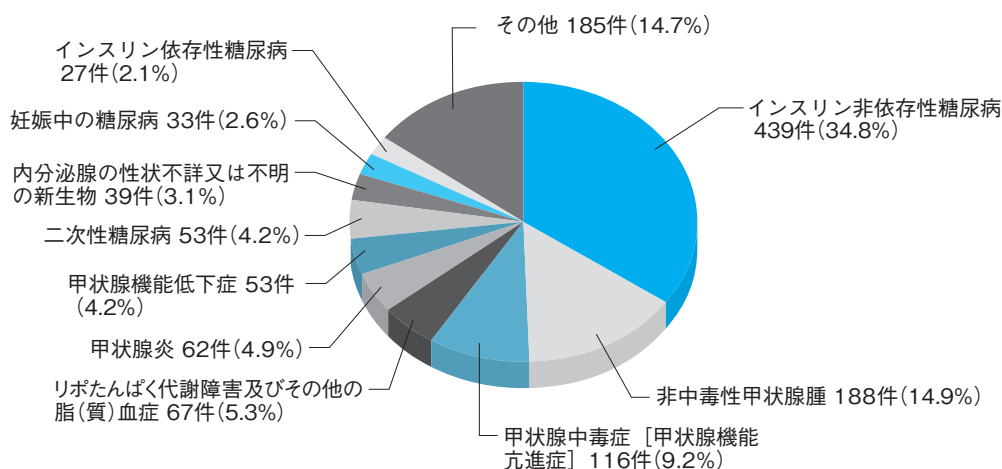
各種内分泌疾患に対しては各種負荷試験、画像診断を元に正確な診断を行い、一般外科、泌尿器科、移植外科、脳神経外科、放射線科などとの密接な連携の元に治療を行っている。放射線科には原発性アルドステロン症に対する選択的副腎静脈サンプリングも依頼している。

人事面では動きがなかった。

(部長 山守 育雄)

2. 新規登録疾患

総数：1,262件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
インスリン非依存性糖尿病	インスリン非依存性糖尿病	394	E11
	インスリン非依存性糖尿病,多発合併症を伴うもの	25	E117
非中毒性甲状腺腫	非中毒性甲状腺腫, 詳細不明	174	E049
	非中毒性単発性甲状腺結節	11	E041
甲状腺中毒症 [甲状腺機能亢進症]	びまん性甲状腺腫を伴う甲状腺中毒症	102	E050
	甲状腺中毒症, 詳細不明	14	E059
リポたんぱく代謝障害及びその他の脂(質)血症	高脂(質)血症, 詳細不明	64	E785
甲状腺炎	自己免疫性甲状腺炎	55	E063
甲状腺機能低下症	甲状腺機能低下症, 詳細不明	51	E039
二次性糖尿病	詳細不明の糖尿病	37	E14
内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物,副腎	22	D441
	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物,甲状腺	14	D440
妊娠中の糖尿病	妊娠中に発生した糖尿病	33	O244
インスリン依存性糖尿病	インスリン依存性糖尿病	24	E10

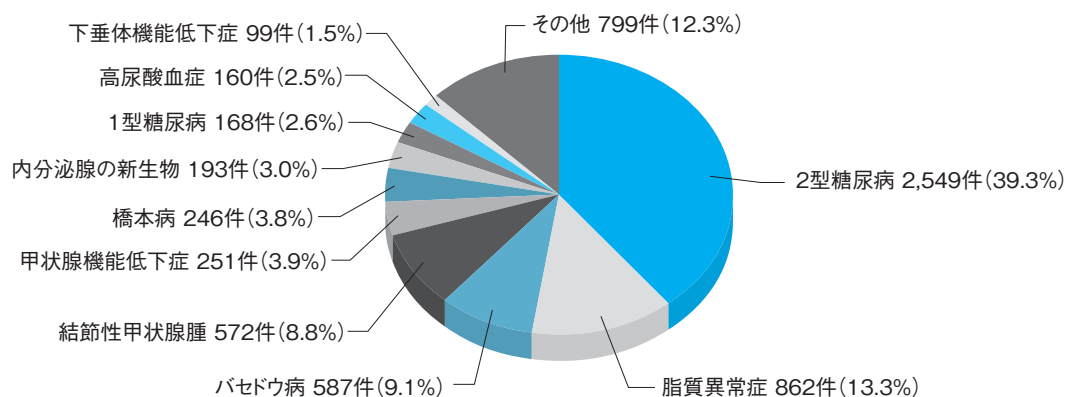
3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	19,591人	年間外来新患者数	1,045人
年間入院患者数	3,024人	年間入院新患者数	248人

(2) 疾患別頻度

総数：6,486件



神経内科

1. 概要

2016年のスタッフは、昨年同様5名で診療に当たった。

総入院患者数は年々増え、2016年は昨年より100人余り増加し、795人であった。また、常に定床をオーバーしており、多くの病棟に入院患者が分散したため、回診が大変であった。今年度の主なトピックは、以下のごとくである。

- ① ギランバレー症候群が多く、例年数名のところ、今年度はフィッシャー症候群を含め14名の入院があった。
- ② 相変わらず高齢者のてんかんが多い。
- ③ 脳表ヘモジデリン沈着症や肥厚性硬膜炎など比較的珍しい例もあった。
- ④ 退院・転院に際し、家族背景や社会的背景の難しい患者が相変わらず多く、患者総合支援センターのお世話になっている。

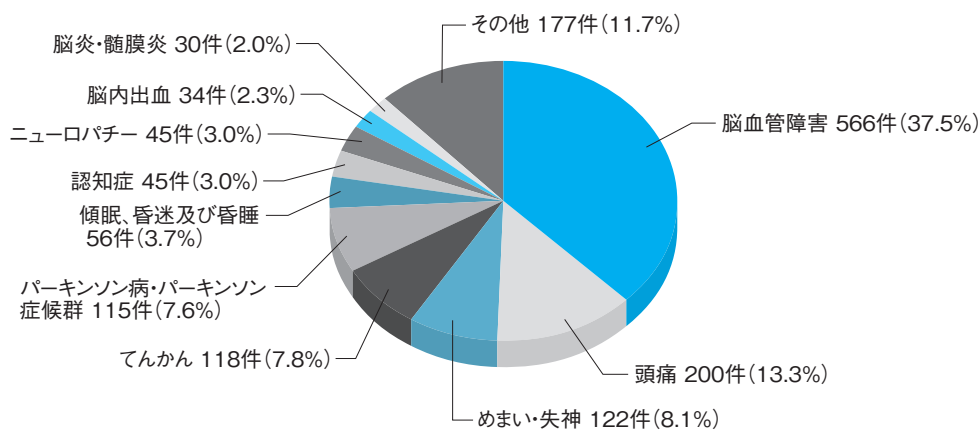
外来の年間受診者総数は8,894人で例年同様、その内初診者数は1,113人と選定療養費の影響でやや減少したものの、紹介状持参の予約外患者が増えており、対応に苦慮している。

(部長 岩井 克成)

(文責 前部長 李野 謙次)

2. 新規登録疾患

総数：1,508件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
脳血管障害	脳動脈の血栓症による脳梗塞	241	I633
	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	118	I634
頭痛	頭痛	159	R51
	緊張性頭痛	22	G442
めまい・失神	めまい感及びよろめき感	106	R42
	失神及び虚脱	16	R55
てんかん	その他のてんかん	47	G408
	てんかん, 詳細不明	43	G409
パーキンソン病・パーキンソン症候群	パーキンソン病	102	G20
傾眠, 昏迷及び昏睡	昏睡, 詳細不明	56	R402
認知症	アルツハイマー病, 詳細不明	28	G309
ニューロパチー	多発(性)ニューロパチー, 詳細不明	24	G629
	ギラン・バレー症候群	14	G610
脳内出血	(大脳)半球の脳内出血, 皮質下	21	I610
脳炎・髄膜炎	脳炎, 脊髄炎及び脳脊髄炎, 詳細不明	7	G049
	急性播種性脳炎	5	G040

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	12,093人	年間外来新患者数	1,488人
年間入院患者数	17,118人	年間入院新患者数	808人

(2) 神経難病6疾患

	疾患名	件数(件)
1	パーキンソン病・パーキンソン症候群	161
2	多系統萎縮症	6
3	脊髄小脳変性症	6
4	筋萎縮性側索硬化症・球脊髄性筋萎縮症	9
5	重症筋無力症	15
6	多発性硬化症	14
	計	211

血液・腫瘍内科

1. 概要

2016年度は5名のスタッフにて、1日約50から60人の外来と、約40から50人の入院に対する診療を行った。疾患の多くは血液腫瘍であり、若年者から高齢者まで対象年齢は幅広い。血液腫瘍は化学療法の効果が期待しやすいことが多く、高齢者であっても可能な範囲で積極的に化学療法を行っている。また、造血幹細胞移植も適応のある症例では行っており、本年度は自己末梢血幹細胞移植を9例に、同種造血幹細胞移植を17例（血縁者間4例、非血縁者間13例）に施行した。

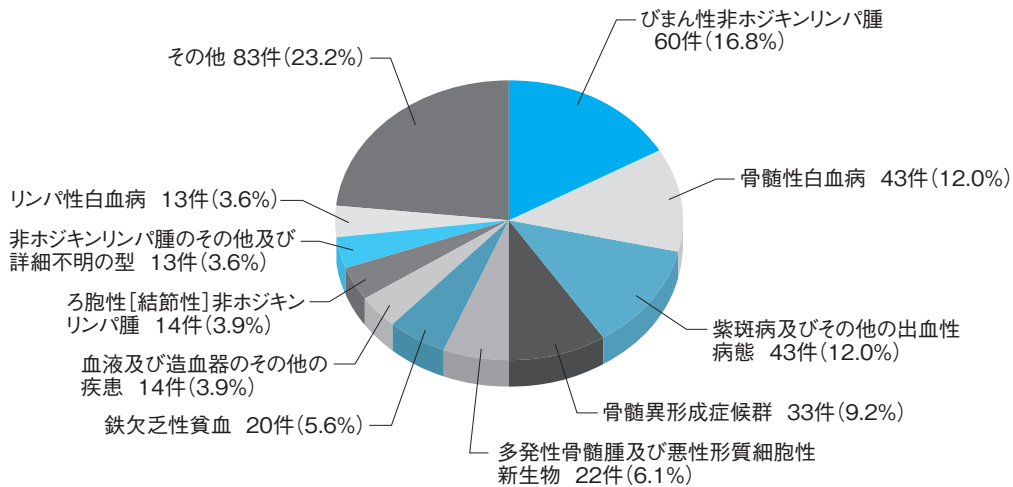
本年度の重点項目として、チーム医療及び耐性菌管理を挙げた。血液腫瘍に対する治療は強力になりやすく、特に同種造血幹細胞移植においては顕著である。そのために様々な合併症が起きやすいが、それらに対応するため、また、治療を円滑に進めるため、他領域専門職種とのチーム医療が望ましく、積極的に実践した。また、治療の安全性のためには感染症管理も重要であり、特に耐性菌管理に注意を払って診療を行った。

(第一部長 杉浦 勇)

(文責 第二部長 倉橋 信悟)

2. 新規登録疾患

総数：358件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
びまん性非ホジキンリンパ腫	大細胞型 (びまん性)	57	C833
骨髄性白血病	急性骨髄性白血病	29	C920,C924
	慢性骨髄性白血病	12	C921
紫斑病及びその他の出血性病態	特発性血小板減少性紫斑病	29	D693
	血小板減少症, 詳細不明	14	D696
骨髄異形成症候群	骨髄異形成症候群, 詳細不明	25	D469
	芽球過剰性不応性貧血	6	D462
多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	多発性骨髄腫	19	C900
鉄欠乏性貧血	鉄欠乏性貧血, 詳細不明	20	D509
血液及び造血器のその他の疾患	真性赤血球増加症	6	D45
	本態性血小板増加症	6	D752
ろ胞性 [結節性] 非ホジキンリンパ腫	中細胞及び大細胞混合型, ろ胞性	9	C821
	ろ胞性非ホジキンリンパ腫, 詳細不明	3	C829
非ホジキンリンパ腫のその他及び詳細不明の型	B細胞リンパ腫, 詳細不明	6	C851
	非ホジキンリンパ腫のその他の明示された型	5	C857
リンパ性白血病	急性リンパ芽球性白血病	8	C910
	成人型T細胞白血病	3	C915
	慢性リンパ球性白血病	2	C911

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	13,984人	年間外来新患者数	445人
年間入院患者数	16,180人	年間入院新患者数	552人

(2) 感染症

延べ総件数：199件

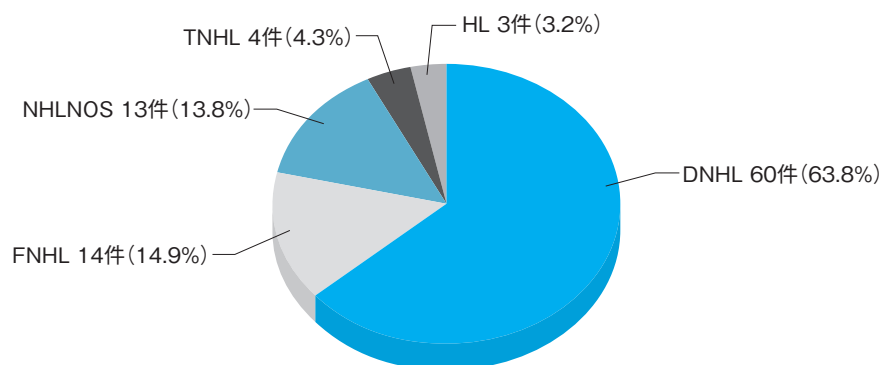
	疾患名	件数(件)		疾患名	件数(件)
1	敗血症	48	5	ヘルペス感染症	19
2	カンジダ症	70	6	ニューモシスチス症	4
3	真菌症	20	7	アスペルギルス症	12
4	サイトメガロウイルス病	26		計	199

(3) 造血幹細胞移植

種類			件数(件)
自家移植			9
同種移植	血縁者間	同胞	2 (骨髄：2 末梢血：0)
		半合致	2
	非血縁者間	骨髄バンク	8
		臍帯血バンク	5

(4) 悪性リンパ腫の組織分類 (ICD10 C81-85)

総件数：94件



略語	疾患名
DNHL	びまん性非ホジキンリンパ腫
FNHL	ろ胞性〔結節性〕非ホジキンリンパ腫
NHLNOS	非ホジキンリンパ腫のその他及び詳細不明の型
TNHL	末梢性及び皮膚T細胞リンパ腫
HL	ホジキン病

一般外科・小児外科・肛門外科

1. 概要

(1) 一般外科・小児外科

2016年の手術総数は1,604件で、そのうち15歳以下の小児手術は163件。全緊急手術は282件(17.6%)。対象疾患は、虫垂炎やヘルニアといった日常的な疾患から甲状腺・消化器・乳腺の悪性腫瘍まで幅広い。

腹腔鏡下手術は、胃癌切除105件中34件(32.4%)、大腸癌切除200件中68件(34%)、肝部分切除16件中8件(50%)肝外側区域切除2件中1件(50%)に対し行われた。最近では、虫垂や成人鼠径ヘルニアに対しても積極的に腹腔鏡を導入し、2016年には、虫垂炎手術127件中38件(30%)、鼠径ヘルニア手術211件中17件(8%)に行われた。2014年11月より直腸癌に対するロボット支援下手術を臨床研究として開始し、2016年には18件行った。また、2015年4月からは早期胃癌に対してもロボット支援手術が開始され2016年は5件行った。

乳癌手術は144件で、乳房温存手術は63件、センチネルリンパ節生検陰性は113件であった。乳腺専門医と形成外科医による乳房全摘同時再建手術(Tissue expander挿入)は4件に行われた。

肝切除30件で、疾患別内訳は、原発性肝癌14、転移性肝癌9、胆道癌5、その他2。

膵頭十二指腸切除は22件で4件が標準的膵頭十二指腸切除で、残り18件は亜全胃温存で行われた。この疾患別内訳は、膵頭部癌10、胆嚢・胆管癌3、乳頭部癌2、乳頭部腺腫2、十二指腸癌2、十二指腸腺腫1、IPMN1、特殊膵炎(IgG4関連疾患)1。

食道癌は5件に根治手術が行われ、3領域郭清が4件、2領域郭清が1件であった。

上部消化管潰瘍穿孔10件のうち非手術的保存療法は6件(60%)だった。

腸閉塞入院は191件のうち45件(23.6%)に手術が施行された。

小児外科手術は名古屋大学小児外科と連携し治療に当たっており、新生児手術は3件であった。

一般外科全体の入院総数は2,171人と昨年の2,203人よりやや減少し、平均入院期間は10.9日とこちらは昨年の11日よりわずかに減少していたがおおむね同様の傾向であった。

(第一部長 平松 和洋)

(2) 肛門外科

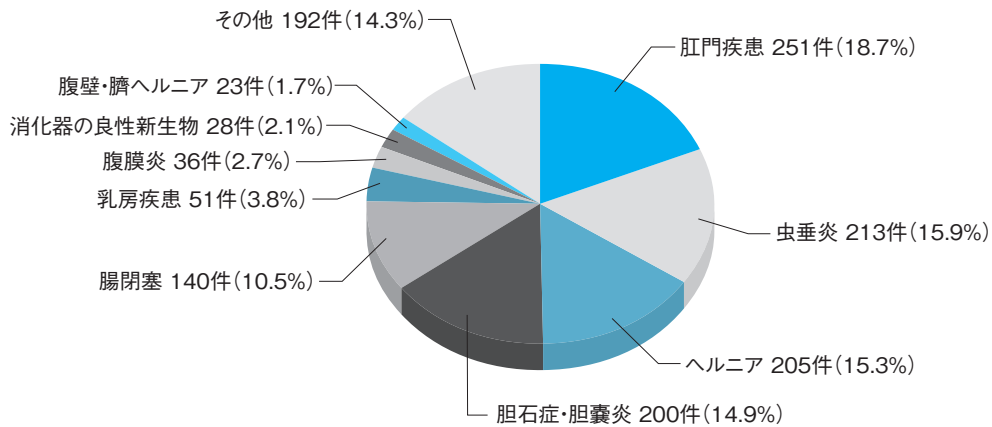
“肛門外科”は当院移転新設に伴い一般外科から離れ、単科(こう門科)と標榜されたが、診療・治療は一般外科と共同で運営している。外科としての外来診療における統計では、悪性疾患治療を除くと痔核を筆頭とした肛門疾患、症状にて受診される患者が多い。肛門というデリケートな部分であることから専門性を必要とした治療においてはやはり専門家での診療・治療を希望される方も多い。肛門外科として標榜している診療日は木曜日の日だけであるが、常勤で外科診療に携わっている利点から、日々肛門外科として診察や治療に当たっている。外来診察の際は、患者が安心して受診できるような応対・環境整備を心掛け、診察で患者に不自由・不快な思いを持たれないように努力している。良性疾患であり、外来処置や生活指導・薬物療法など保存治療に重きを置き、患者の症状によって手術適応を決めている。一方、“ストーマ外来”を認定看護師とともに行っている。

(部長 柴田 佳久)

2. 新規登録疾患

(1) 悪性新生物以外

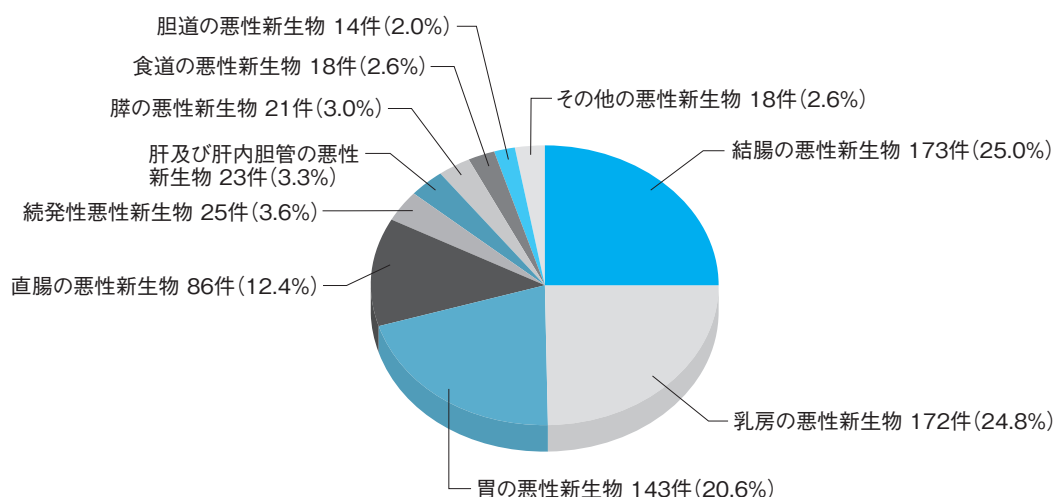
総件数：1,339件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
肛門疾患	合併症を伴わない内痔核	91	I842
	合併症を伴わない痔核, 詳細不明	47	I849
虫垂炎	急性虫垂炎, 詳細不明	112	K359
	汎発性腹膜炎を伴う急性虫垂炎	11	K350
ヘルニア	一側性又は患側不明のそけいヘルニア, 閉塞又はえ疽を伴わないもの	191	K409
胆石症・胆嚢炎	胆のう炎を伴わない胆のう結石	114	K802
	その他の胆のう炎を伴う胆のう結石	24	K801
腸閉塞	閉塞を伴う腸癒着[索条物]、イレウス, 詳細不明	98	K565、K567
乳房疾患	乳房の良性新生物	51	D24
腹膜炎	急性腹膜炎	33	K650
消化器の良性新生物	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物, その他の消化器	11	D377
腹壁・臍ヘルニア	腹壁ヘルニア, 閉塞又はえ疽を伴わないもの	13	K439

(2) 悪性新生物

総件数：693件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
結腸の悪性新生物	結腸の悪性新生物, S状結腸	69	C187
	結腸の悪性新生物, 上行結腸	42	C182
乳房の悪性新生物	乳房の悪性新生物, 乳房, 部位不明	92	C509
	乳房の悪性新生物, 乳房上外側4分の1	35	C504
胃の悪性新生物	胃の悪性新生物, 胃, 部位不明	111	C169
	胃の悪性新生物, 胃体部	17	C162
直腸の悪性新生物	直腸の悪性新生物	86	C20
続発性悪性新生物	肝の続発性悪性新生物	13	C787
	後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物	11	C786
肝及び肝内胆管の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物, 肝癌	20	C220
脾の悪性新生物	脾の悪性新生物, 脾, 部位不明	10	C259
食道の悪性新生物	食道の悪性新生物, 食道, 部位不明	14	C159
胆道の悪性新生物	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物, 肝外胆管	10	C240

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	34,508人	年間外来新患者数	2,373人
年間入院患者数	23,387人	年間入院新患者数	2,052人

(2) 2016年入院概要 (全平均入院期間10.9日)

疾患名	治療法	患者数 (人)	平均入院 期間(日)
イレウス	手術	45	15.2
	保存療法	146	9.5
外傷	手術	11	28.8
	IVR	3	37.7
	保存療法	18	16.7
合併症治療・抗がん剤有害事象	保存療法	95	10.6
その他	手術	22	9.7
	保存療法	46	12.5
その他/ 悪性	手術	5	9.2
	保存療法	1	8
甲状腺/ 良性	手術	10	5.5
	保存療法	0	0
甲状腺/ 悪性	手術	10	5.6
	保存療法	0	0
内分泌	予定手術	0	0
非新生児	手術	143	2.4
	保存療法	12	5.1
腹腔内 癌再発	手術	2	5
	保存・緩和療法	6	10.4
腹膜炎	手術	27	26.8
	保存療法	29	10.3
ヘルニア	手術	218	2.9
	保存療法	3	4
痔核・痔瘻	手術	31	5.7
虫垂	手術	136	4.4
	保存療法	31	8
胃十二指腸/ 良性	手術	4	14.3
	保存療法	6	12.5

疾患名	治療法	患者数 (人)	平均入院 期間(日)
胃十二指腸/ 悪性	手術	124	16.9
	化学療法	7	13.4
	放射線療法	2	28.0
	緩和療法	16	18.8
	保存療法	35	10.7
肝胆膵脾	手術	265	11.0
	保存療法	52	13.3
	緩和療法	8	18.1
	化学療法	13	5.5
	放射線療法・IVR	3	22.0
小・大腸/悪性	手術	245	16.8
	保存療法	21	13.4
	緩和療法	23	26.9
	保存療法	52	13.4
小・大腸/良性	手術	22	21.4
	保存療法	7	8.0
食道/ 悪性	手術	5	19.4
	保存療法	5	9.2
	化学/放治	8	17.6
	緩和療法	1	22.0
食道/ 良性	保存療法	2	34.5
乳腺/ その他	手術	4	6.3
乳腺/ 悪性	手術	149	6.8
	保存療法	17	15.4
	緩和療法	12	12.9
	化学/放治	13	20

(3) 一般外科・小児外科手術数(2016年) 1,604例

①一般外科	1,604	(a)小腸切除	17(1)
全身麻酔	1,208	(b)腸瘻造設	2
脊髄麻酔	114	(c)腸瘻閉鎖	10
局部麻酔	281	(d)腸吻合	1
(ア)甲状腺		(e)結腸直腸切除	10(4)
a 良性疾患		(f)大腸亜全摘	1
(a)部分切除	0	(g)癒着剥離	26(2)
(b)葉切、亜全摘、全摘	10	(h)経肛門／経仙骨	0
b 悪性疾患		(i)単開腹／その他	2
(a)部分切除、亜全摘、他	3	b 悪性疾患	
(b)全摘	10	(a)腸瘻造設	22(1)
(イ)乳 腺		(b)腸吻合	0
a 良性疾患 摘出	7	(c)小腸切除	3(1)
腺管区域切除	1	(d)結腸切除	128(40)
b 悪性疾患	144	(e)直腸切除(高位、低位)	61(24)
(a)定型乳切	0	(f)直腸切斷	11(4)
(b)非定型乳切(Bt+Ax)	30	(g)経肛門／仙骨的切除	0
(c)Bt±SLNB	50	(h)骨盤内臓全摘	1
(d)乳房温存手術±SLNB	63	(i)大腸亜全摘	0
(e)Tm他	1	(j)単開腹／その他	0
(ウ)食 道		(カ)虫垂炎(虫垂／回盲部切除)	127(38)
a 良性疾患	0	(キ)肝/胆/膵/脾	
b 悪性疾患		(a)肝部分切除	16(8)
(a)胸部食道切除	6	(b)肝区域／葉切除	12(1)
(b)その他	0	(c)胆嚢床切除	3
(エ)胃・十二指腸		(d)開腹胆嚢摘出術	14
a 良性疾患		(e)腹腔鏡下胆嚢摘出術	175
(a)胃切除、胃全摘	0	(f)開腹胆管切開術	6
(b)体網充填	7	(g)胆管消化管吻合	1
b 悪性疾患		(h)胆管切除	5
(a)幽門側胃切除	72(29)	(i)膵頭十二指腸切除(PD)	3
(b)胃全摘	33(5)	(j)亜全胃温存PD	19
(c)噴門側胃切除	0	(k)膵尾部切除	12
(d)腹腔鏡下胃切除	34	(l)膵全摘	0
(e)胃腸吻合	8	(m)膵部分切除	1
(f)楔状切除／十二指腸切除	6(2)	(n)膵管空腸吻合	0
(g)PD	0	(o)脾摘	0
(h)試験開腹／その他	4	(p)胃腸吻合	0
(オ)小腸・大腸		(q)単開腹／その他	3
a 良性疾患			

(ク)内分泌	(セ)腹腔内癌再発	15
(a)副甲状腺	(ソ)その他	33
(b)副腎	②小児外科(全例全身麻酔)	163
(ケ)ヘルニア	(ア)新生児手術	3
(a)鼠径大腿	(イ)鼠径ヘルニア	78(73)
(b)腹壁・臍・閉鎖孔など	(ウ)虫垂切除	31(18)
(コ)痔核痔瘻	(エ)精巣固定	13
(カ)局麻手術	(オ)臍形成	9
(a)摘出、生検	(カ)幽門筋切開	1(1)
(b)その他	(キ)その他	28(3)
(シ)外傷／医原性		
(ス)腹膜炎		

()内はその内の鏡視下手術件数

呼吸器外科

1. 概要

心臓と食道、乳がんを除く胸部疾患を対象としている。主対象である肺癌は、死因の第1位で増加の一途をたどっている。ヘビースモーカーの多かった団塊の世代が、肺癌好発年齢の中心を占め、今後しばらく減少する気配は見られない。

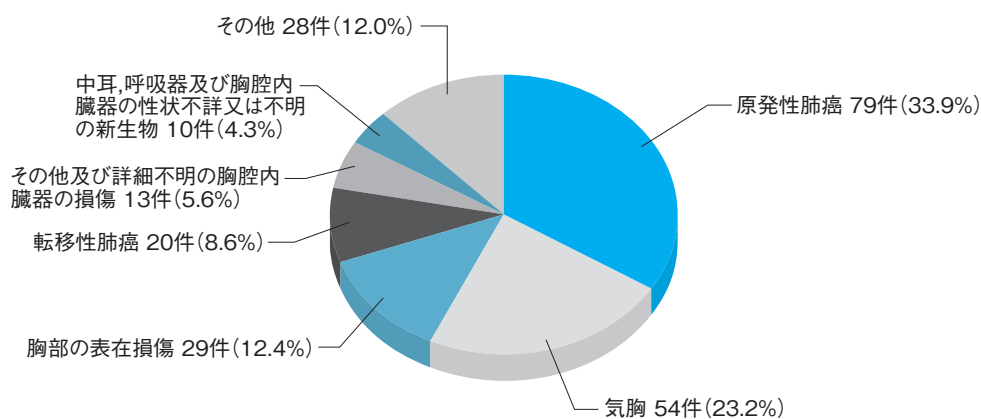
近年では胸腔鏡を用いて開胸創をより小さく、手術浸潤を軽減することで、標準的な肺癌手術でも、手術前日の入院から退院まで5から7日間の治療が可能となっている。残念ながら、定期健診を受けずに進行癌となってから来院されるケースもあり、この場合はすでにリンパ節や他臓器に転移していることも多く、再発の危険が増すばかりか抗癌剤投与や放射線治療の追加が必要となり、経済面や治療時間においても負担が大きくなる。したがって早期発見のため、無症状のうちに受ける住民健診等による定期的なスクリーニングが極めて重要である。

毎週定期的に、呼吸器内科・放射線科と合同カンファレンスを行って、個々の症例に関して治療方針を検討しており、症例ごと病状に適した治療が行えるよう心がけている。

(部長 成田 久仁夫)

2. 新規登録疾患

総数：233件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
原発性肺癌	気管支及び肺の悪性新生物, 気管支又は肺, 部位不明	77	C349
気胸	その他の自然気胸	26	J931
	気胸, 詳細不明	24	J939
胸部の表在損傷	胸部の挫傷	29	S202
転移性肺癌	肺の続発性悪性新生物	20	C780
その他及び詳細不明の胸腔内臓器の損傷	外傷性気胸	4	S270
	外傷性血胸	4	S271
中耳, 呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物	中耳, 呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物, 縦隔	7	D383
	中耳, 呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物, 気管, 気管支及び肺	3	D381

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	2,593人	年間外来新患者数	312人
年間入院患者数	2,207人	年間入院新患者数	206人

心臓外科・血管外科

1. 概要

先天性心疾患：NMCにおいて1kgに満たない小さな子たちに救命的な手術を行っている。以前より一貫して将来を見越した胸筋温存による手術を行っており、この術式を取り入れている施設は全国でもごくわずかである。それ以外の症例については、他院へお連れして手術を行っている。

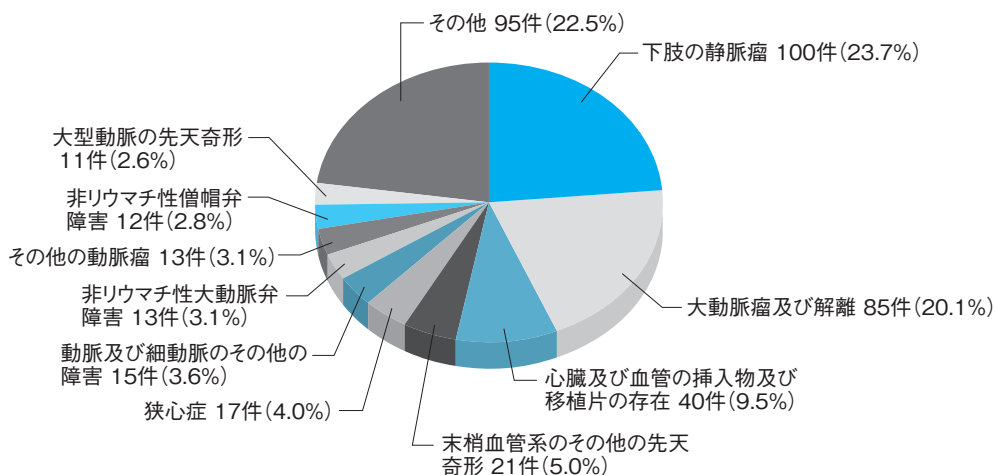
成人心疾患：症例数が多くなくチームの練度が上がらないのが現状であるが、日々のカンファレンスを充実させ一步一步進んでいる。

血管外科：下肢静脈瘤に対して血管内焼灼手術を取り入れてから、2年以上がたち130例を超える方々に施行した。静脈瘤の再開通例はなく海外のデータと比較しても良い成績であると自負している。現在、腹部大動脈瘤に対するステント治療を当院でできるようにするため、ハイブリッド手術室の準備を進めており、多くの方々の協力を得て目標実現に向かっている。

(部長 中山 雅人)

2. 新規登録疾患

総数：422件



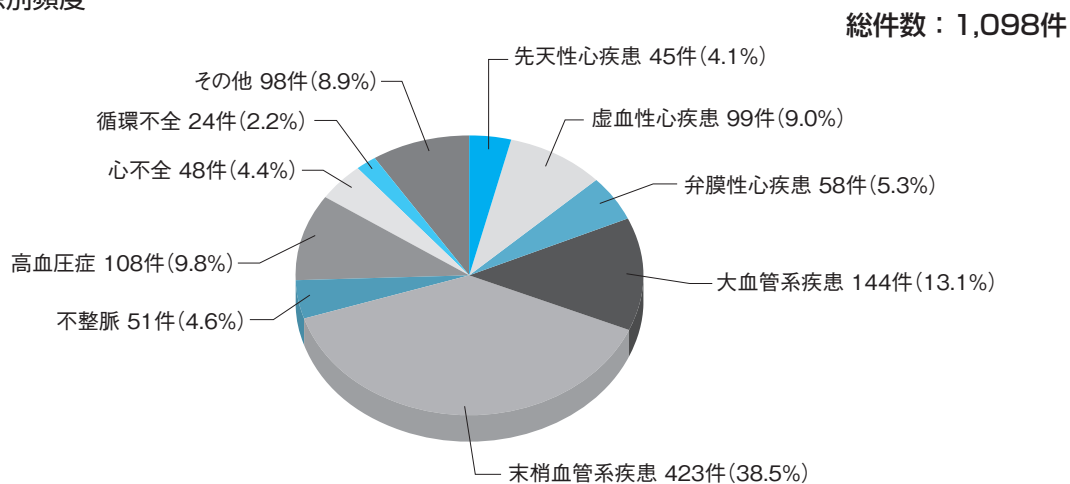
疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
下肢の静脈瘤	潰瘍又は炎症を伴わない下肢の静脈瘤	64	I839
	炎症を伴う下肢の静脈瘤	36	I831
大動脈瘤及び解離	腹部大動脈瘤, 破裂の記載がないもの	46	I714
	大動脈の解離 [各部位]	21	I710
心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在	その他の心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在	30	Z958
末梢血管系のその他の先天奇形	末梢血管系のその他の明示された先天奇形	21	Q278
狭心症	狭心症, 詳細不明	16	I209
動脈及び細動脈のその他の障害	動脈の狭窄	14	I771
非リウマチ性大動脈弁障害	大動脈弁閉鎖不全 (症)	8	I351
その他の動脈瘤	部位不明の動脈瘤	9	I729
非リウマチ性僧帽弁障害	僧帽弁閉鎖不全 (症)	12	I340
大型動脈の先天奇形	動脈管開存 (症)	9	Q250

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	2,806人	年間外来新患者数	241人
年間入院患者数	3,681人	年間入院新患者数	196人

(2) 疾患別頻度



移植外科

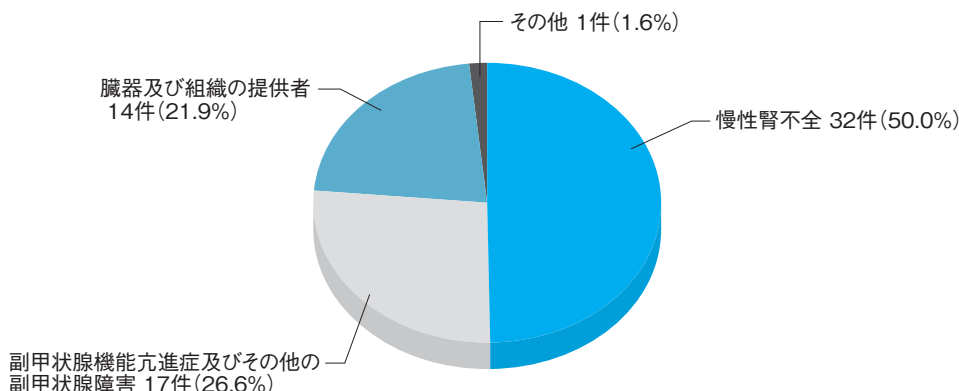
1. 概要

2010年4月より移植外科が標榜されて以来、移植外科医2人体制であったが、2012年5月に大塚聡樹医師（15年間勤務）が異動となり、移植外科医は1名となった。2012年10月からは東三河において唯一の腎移植認定施設となってしまったため、当地域の献腎移植登録患者の待機期間中のフォローアップは当院のみで行っている。また、他院で移植された腎移植患者や肝移植患者の定期通院も受け入れており、東三河だけでなく全国の移植施設との間で病診連携がなされている。2016年の腎移植症例は、生体腎移植8例であったが、生体腎移植目的の紹介患者は年々増加しており、今後、腎移植症例はさらに増えてゆくものと思われる。また、長期透析に伴う二次性副甲状腺機能亢進症に対する副甲状腺手術（11例）も年々増加しており、近隣透析施設との病診連携も密に行われている。

（部長 長坂 隆治）

2. 新規登録疾患

総数：64件



3. 活動報告

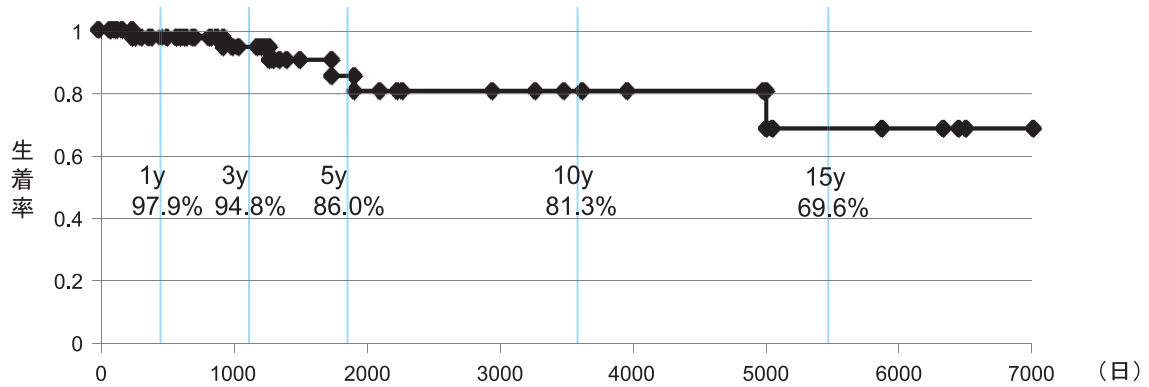
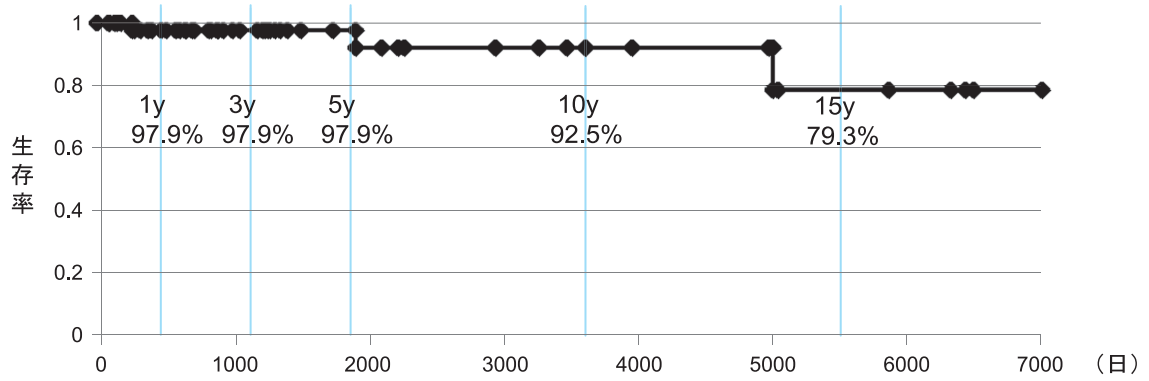
(1) 患者状況

年間外来患者数	1,357人	年間外来新患者数	44人
年間入院患者数	840人	年間入院新患者数	69人

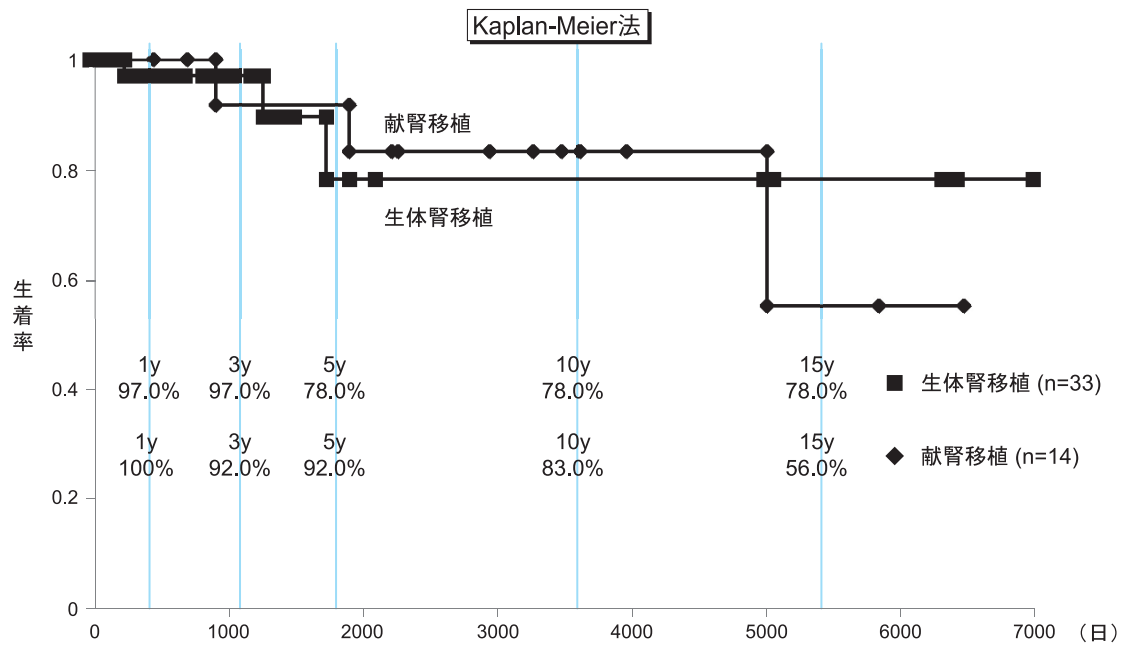
(2) 外来患者の状況（2017年3月1日現在）

	外来種別	患者数（人）		外来種別	患者数（人）
1	腎移植後	76	4	献腎移植登録外来	111
2	肝移植後	6	5	副甲状腺手術後	54
3	脾移植後	1		計	248

(3) 当院腎移植症例の生存率と生着率 (2017年3月1日現在)



(4) 当院腎移植症例の生着率 (生体腎移植 vs 献腎移植) (2017年3月現在)



整形外科

1. 概要

2016年12月31日時点の構成は、常勤医（三重野琢磨、山内健一、藤田護、三矢聡、三矢未来）と専攻医（長谷川純也、福井順、岡田裕也）である。

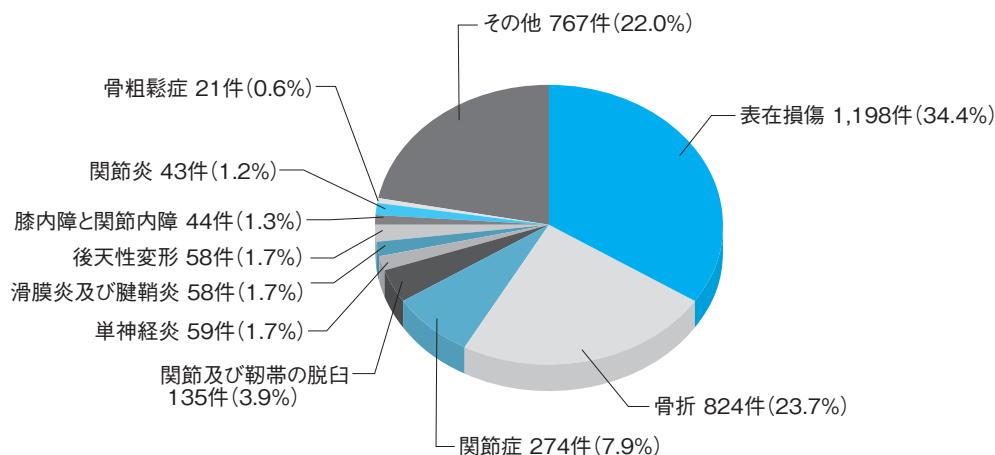
専門外来は小児（三重野）、股関節（山内）、膝・肩関節（藤田）、手（三矢聡）が担当し、月1回で小児（名大：鬼頭准教授）、骨軟部腫瘍（名大：浦川先生）がある。手足の先天異常の手術や切断指の再接着術は三矢聡、膝・肩の鏡視下手術は藤田、人工関節手術は山内と藤田がしている。骨盤骨折に対しても、三矢聡と山内が行っている。大腿骨頸部骨折手術が増え、大腿骨頸部骨折地域連携パスを使用し、市内の回復期病院と連携しているほか、豊橋市こども発達センター「ほいっぷ」に三重野が週1回出張している。

また、名大整形外科と人事交流し、豊橋整形外科研修セミナーを主催した。2月は小児班の三島健一先生、8月は膝・肩班の濱田恭先生の御講演があった。東三整会、三河関節、三河骨軟部、名静会の研究会で近隣の医療機関の医師とも交流を深めている。

（第一部長 山内 健一）
（文責 前部長 三重野 琢磨）

2. 新規登録疾患

総数：3,481件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
表在損傷	頸部の表在損傷, 部位不明	203	S109
	下背部及び骨盤部の挫傷	183	S300
骨折	橈骨遠位端骨折	100	S5250
	大腿骨頸部骨折	80	S7200
関節症	膝関節症, 詳細不明	123	M179
	股関節症, 詳細不明	72	M169
関節及び靭帯の脱臼	膝の(前)(後)十字靭帯の捻挫及びストレイン	27	S835
	半月裂傷, 新鮮損傷	21	S832
単神経炎	手根管症候群	19	G560
	尺骨神経の病変	15	G562
滑膜炎及び腱鞘炎	ばね指	28	M6534
	滑膜炎及び腱鞘炎, 詳細不明	12	M6599
後天性変形	外反変形, 他に分類されないもの	18	M2107
	指の変形	15	M200
膝内障と関節内障	関節拘縮	9	M2459
	関節内障, 詳細不明	6	M2492
関節炎	単(発性)関節炎, 他に分類されないもの	6	M1315
	化膿性関節炎, 詳細不明	6	M0095
骨粗鬆症	骨粗しょう症, 詳細不明	20	M8199

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	29,587人	年間外来新患者数	4,584人
年間入院患者数	22,153人	年間入院新患者数	1,227人

(2) 骨折頻度

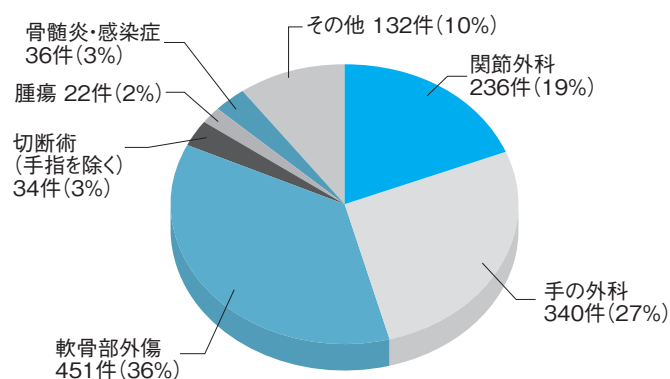
	部 位	件 数 (件)		部 位	件 数 (件)
1	下腿 (足首を含む)	158	5	手首及び手	71
2	大腿骨	157	6	その他	144
3	前腕	156		計	824
4	肩及び上腕	138			

(3) 手術実績

①手術症例件数 1,145件

②麻酔別症例件数 (重複あり)

名 称	件 数 (件)
全身麻酔	246
腰椎麻酔	493
伝達麻酔	374
局所麻酔	305
その他	23
計	1,441



③分野別症例件数（重複あり）

(ア)関節外科

a 人工関節

名 称	件 数 (件)
股関節	107
膝関節	29
肩関節	2
肘関節	1
計	139

b 関節形成術

名 称	件 数 (件)
股関節	3
膝関節	0
肩関節	2
計	5

c 関節鏡視下手術

名 称	件 数 (件)
肩関節	7
膝関節	38
手関節	47
足関節	0
計	92

a + b + c 236件

(イ)手の外科

名 称	件 数 (件)
肘・前腕	141
手関節	39
手指	136
マイクロサージャリー	13
足趾、多合指（趾）	11
計	340

(ウ)骨軟部外傷

名 称	件 数 (件)
鎖骨－上腕	49
骨盤－大腿骨頸部	45
大腿－膝	134
下腿	73
足関節－足	51
抜釘	99
計	451

(エ)切断術（手指を除く） 34件
 (オ)腫瘍 22件
 (カ)骨髄炎・感染症 36件
 (キ)その他 132件
 計 1,251件

リウマチ科

1. 概要

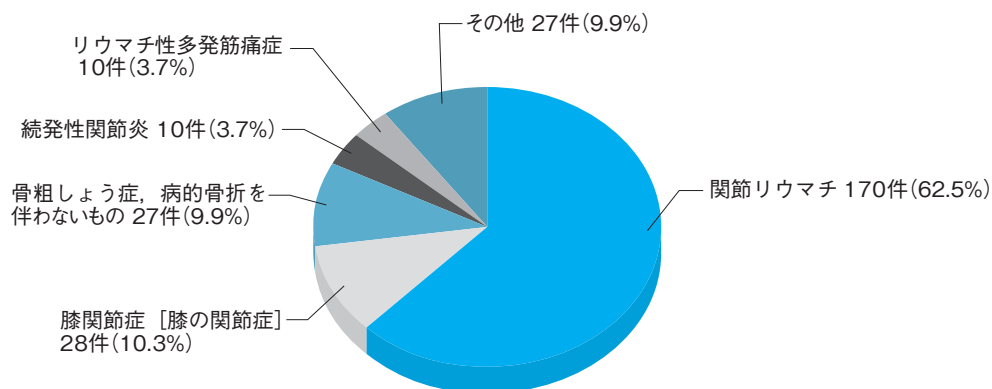
当科は内科的治療を基本とし、整形外科より発展したため外科的治療も行っている。当科の診療の4本柱について記す。2016年度は平野、磯野の2人のリウマチ科常勤医を中心に、研修中の整形外科若手医師の助けも借りて診療に当たっていた。2017年度は磯野の代わりに服部が所属となる。

- ① 関節リウマチ（RA）の薬物治療：MTXを中心とした古典的抗リウマチ薬を早期から使用し、効果不十分例には生物学的製剤やJAK阻害剤を導入し関節破壊の防止に努めている。新薬の治療も行っている。
- ② 各種リウマチ性疾患（強直性脊椎炎、乾癬性関節炎、リウマチ性多発筋痛症、SAPHO症候群）：比較的珍しい疾患群であるが対応し、疾患ごとの適切な治療を行っている。
- ③ 骨粗鬆症の診療：古典的薬剤に加え、新規薬剤（テリパラチド、デノスマブ）が出現し、パラダイムシフトが起こっている。骨折診療の潮流は治療から予防に向かっている。
- ④ RAの外科的治療：長期罹病RA患者には外科的治療が必要であり、薬物治療とのコンビネーションこそが最高の結果をもたらす。人工関節置換術、関節固定術、関節形成術を行っている。

（部長 平野 裕司）

2. 新規登録疾患

総数：272件



3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	12,344人	年間外来新患者数	187人
年間入院患者数	1,401人	年間入院新患者数	58人

(2) 実績

①患者背景

関節リウマチ		
症例数(件)		960
新患者数(各年)(人)		81
性別	男(人)	231
	女(人)	729
	女性率(%)	75.9
平均年齢(歳)		65.6
平均罹病期間(年)		13.7
罹病期間分類(%)	2年以下	14.7
	3年～9年	30.7
	10年以上	54.6
Stage(%)	I	25.5
	II	15.9
	III	23.1
	IV	35.5
Class(%)	1	36.5
	2	49.6
	3	12.4
	4	1.5
RF陽性率(%)		78.2
ACPA陽性率(%)		77.8

②薬物治療

関節リウマチ	
MTX 投与者(人)	620
MTX 投与率(%)	64.6
投与例の平均 MTX 投与量(mg/w)	8.2
GST 投与者(人)	32
GST 投与率(%)	3.3
SASP 投与者(人)	171
SASP 投与率(%)	17.8
TAC 投与者(人)	145
TAC 投与率(%)	15.1
IGU 投与者(人)	98
IGU 投与率(%)	10.2
BUC 投与者(人)	21
BUC 投与率(%)	2.2
PSL 投与率(%)	16.9
投与例の平均 PSL 投与量(mg/day)	4.5
生物学的製剤経験者	326
生物学的製剤経験率(%)	34.0

③リウマチ臨床成績

関節リウマチ		
平均CRP (mg/dl)		0.67
平均DAS28 (ESR)		2.88
DAS28 (ESR) 疾患活動性分類 (%)	High	5.1
	Moderate	27.8
	Low	21.7
	Remission	45.3
平均SDAI		6.2
SDAI疾患活動性分類 (%)	High	2.0
	Moderate	14.1
	Low	37.1
	Remission	46.7
Boolean4 (%)		39.3
平均mHAQ		0.4
mHAQ<0.5 (%)		67.7

④手術件数

術 式	件数(件)
人工膝関節全置換術	19
人工膝関節単顆置換術	2
人工股関節置換術	5
足趾形成術	9
RA 手関節手術	1
足関節固定術	0
その他	3
計	39

⑤骨粗鬆症治療

関節リウマチ患者		件数(件)
骨粗鬆症治療の施行	あり	364
	なし	596
ビタミンD 製剤	エディロール	186
	ワークミン	37
	ロカルトロール	1
	デノタス	53
ビスフォスフォネート製剤	アクトネル	81
	ベネット	1
	ボノテオ	113
	ボナロン (ゼリー含)	13
	ボンビバ	12
SERM	エビスタ	19
	ビビアント	11
PTH 製剤	テリボン	0
	フォルテオ (投与中)	5
	フォルテオ (延べ数)	76
抗 RANKL 抗体	プラリア (投与中)	62
	プラリア (延べ数)	67
その他	グラケー	1

脊椎外科

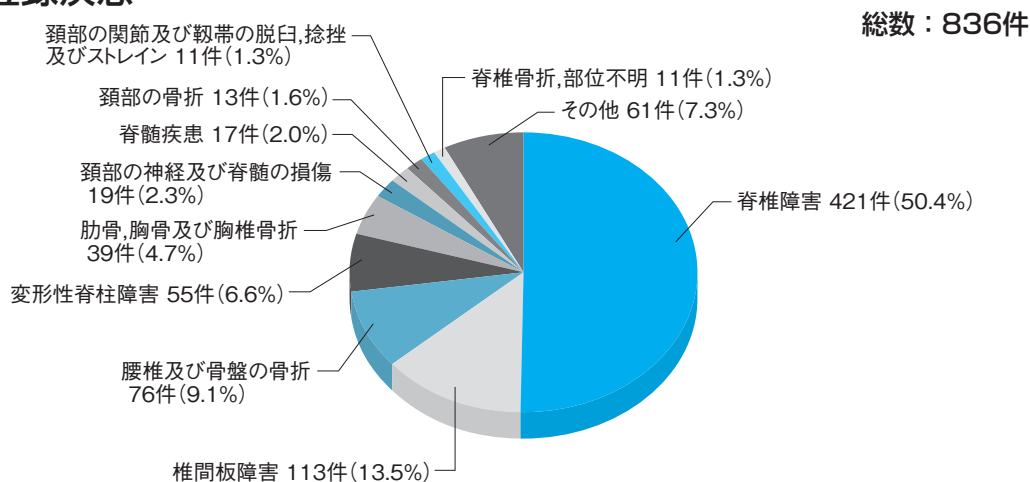
1. 概要

脊椎外科は2005年4月1日より院内標榜科として新設された。現在、脊椎外科医は吉原永武（部長）、宮入祐一2名であり、整形外科スタッフの協力を得ながら診療を行っている。年間200件ほどの手術治療を行っているが、頸髄症、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアが脊椎外科における3大疾患であり、手術例のほとんどを占める。稀な疾患においては、名古屋大学整形外科脊椎グループと連携をとりながら、できるだけ当院内で高いレベルでの治療が行えるよう対処している。また、2014年から手術室にO-arm CTとナビゲーション機器を導入し、より安全性を向上させた手術が可能となっている。

脊椎疾患の治療には、保存的治療と手術的治療を病態に応じて選択し、的確に実施していくことが重要である。保存的治療もさることながら、とりわけ手術的治療が必要な方に対する十分な治療の提供が当院の使命と考えている。当院での治療成績より得られた貴重な医学的知見について、脊椎外科の発展に寄与すべく国内外の学会及び医学雑誌上での発表も行っている。

（部長 吉原 永武）

2. 新規登録疾患



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
脊椎障害	脊柱管狭窄(症)	136	M4806
	その他の脊椎症	102	M4782
椎間板障害	その他の明示された椎間板ヘルニア	88	M512
	その他の頸部椎間板ヘルニア	23	M502
腰椎及び骨盤の骨折	腰椎骨折	76	S3200
変形性脊柱障害	脊椎すべり症	25	M4316
	脊椎分離症	8	M4306
肋骨、胸骨及び胸椎骨折	胸椎骨折	39	S2200
頸部の神経及び脊髄の損傷	頸髄のその他及び詳細不明の損傷	19	S141
脊髄疾患	脊髄疾患、詳細不明	17	G959
頸部の骨折	頸部の骨折、部位不明	11	S1290
頸部の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン	頸椎の捻挫及びストレイン	11	S134
脊椎骨折、部位不明	脊椎骨折、部位不明	11	T08-0

3. 活動報告

(1) 主な対象疾患

腰椎椎間板ヘルニア 腰部脊柱管狭窄症 頸椎症性頸髄症 腰椎迂り症・分離症 頸椎椎間板ヘルニア 後縦靭帯骨化症・黄色靭帯骨化症・黄色靭帯石灰化症 リウマチ脊椎 透析脊椎 脊髄腫瘍・脊椎腫瘍 脊椎感染症 脊椎外傷 その他

(2) 手術実績

術式	件数(件)
頸椎椎弓形成術	35
頸椎椎間孔拡大術	3
頸椎前方除圧固定	6
頸椎後方固定術	11
胸椎除圧固定	2
胸椎椎弓切除	11
椎間板ヘルニア摘出	34
椎弓切除(腰椎除圧術)	67
脊椎固定術	31
胸腰椎前方固定	4
胸腰椎後方固定	16
胸腰椎前方後方同時固定	5
脊椎脊髄腫瘍	5
その他	20
計	250

脳神経外科

1. 概要

当科では各専門領域の医師を配置し、新生児から超高齢者まで脳神経外科疾患のほぼ全ての領域を対象として、可能な限り当院にて治療が完結できるよう努めている。具体的には下記の脳神経外科全般の治療を速やかに行っている。

- ① 悪性脳腫瘍・転移性脳腫瘍の手術及び化学放射線療法
- ② 良性脳腫瘍の摘出
- ③ くも膜下出血に対するクリッピング手術
- ④ 脳動静脈奇形の摘出
- ⑤ 脳出血に対する血腫除去
- ⑥ 脳梗塞を生じた、若しくは生じうる頸動脈狭窄症に対する血腫内膜摘出術
- ⑦ 脳虚血症状を生じた、若しくは脳出血を生じたもやもや病に対する血行再建術
- ⑧ 頭部外傷によって生じた頭蓋内血腫の除去
- ⑨ 正常圧水頭症に対するシャント手術
- ⑩ 顔面けいれん・三叉神経痛に対する神経血管減圧術
- ⑪ 小児の先天奇形水頭症の手術
- ⑫ 脊髄腫瘍の摘出術及び脊髄空洞症の根治術
- ⑬ 脊椎変性疾患の手術
- ⑭ 脳梗塞等後の急性脳腫脹に対する減圧術等

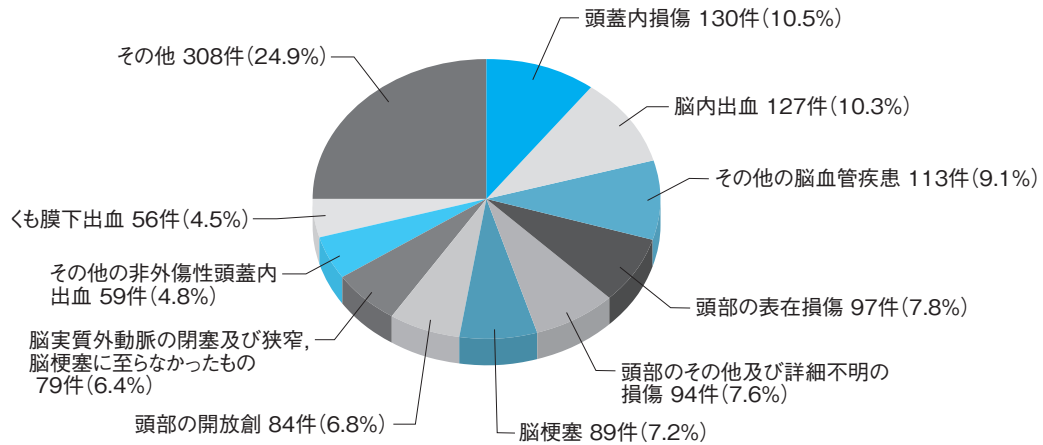
近年の低侵襲手術への傾向を踏まえ、血管内治療（脳動脈瘤コイル塞栓術、頸動脈狭窄ステント拡張術など）や神経内視鏡手術（脳内血腫除去術、経鼻下垂体腫瘍摘出術、水頭症手術など）などの低侵襲かつ最先端の治療の導入も進んでいる。特に最近では、急性期脳梗塞におけるカテーテル血栓除去術を積極的に行い、従来の治療では救えなかった症例に対して良好な成績を築きつつある。また、Navigation システムや電気生理学的モニター（体性感覚誘発電位、運動誘発電位、聴性脳幹反応、顔面神経刺激装置など）を駆使して、術後の神経障害の出現を可能な限り抑えることにも取り組んでいる。

今後の高齢化医療に対しては、「穂の国脳卒中地域連携パス」をさらに発展させて、この地域の円滑な医療連携の向上に努めていきたい。

（第一部長 雄山 博文）

2. 新規登録疾患

総数：1,236件



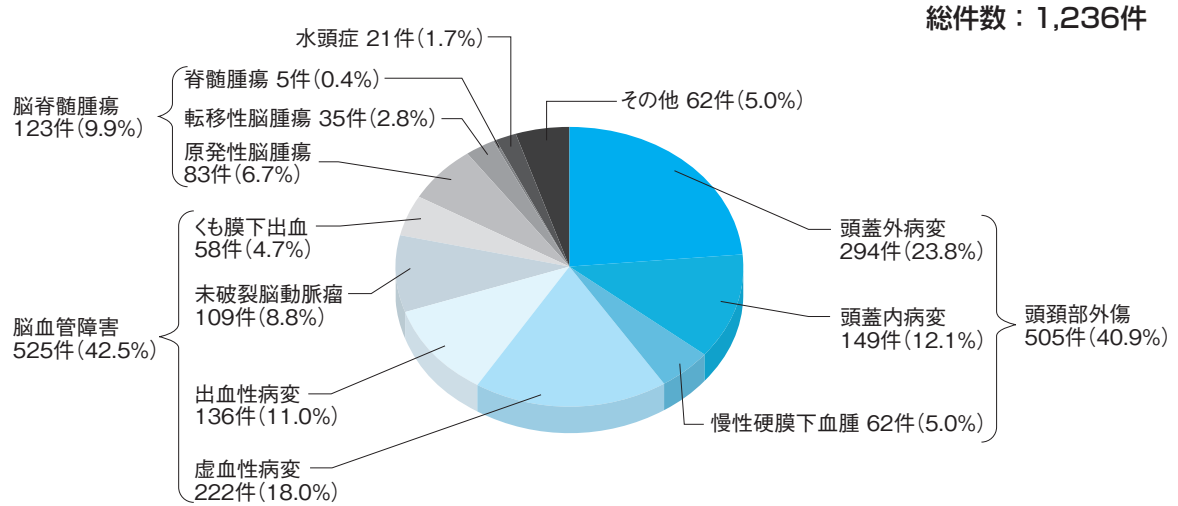
疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
頭蓋内損傷	びまん性脳損傷	26	S062
	外傷性硬膜下出血	18	S065
脳内出血	(大脳)半球の脳内出血, 皮質下	81	I610
	脳内出血, 詳細不明	22	I619
その他の脳血管疾患	脳動脈瘤, 非破裂性	83	I671
	脳血管疾患, 詳細不明	18	I679
頭部の表在損傷	頭皮の表在損傷	97	S000
頭部のその他及び詳細不明の損傷	頭部の詳細不明の損傷	94	S099
脳梗塞	脳梗塞, 詳細不明	40	I639
	脳動脈の血栓症による脳梗塞	22	I633
頭部の開放創	頭皮の開放創	80	S010
脳実質外動脈の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの	頸動脈の閉塞及び狭窄	75	I652
その他の非外傷性頭蓋内出血	硬膜下出血(急性)(非外傷性)	59	I620
くも膜下出血	くも膜下出血, 詳細不明	14	I609
	前交通動脈からのくも膜下出血	12	I602

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	11,605人	年間外来新患者数	1,983人
年間入院患者数	12,233人	年間入院新患者数	654人

(2) 疾患群別に見た症例数



(3) 血管内手術件数

術式	件数(件)
急性期再開通療法	24
脳動脈瘤塞栓術	15
経皮的血管形成術	9
脳動静脈奇形塞栓術	5
硬膜静脈瘻塞栓術	4
その他血管内手術	2
計	59

小児科

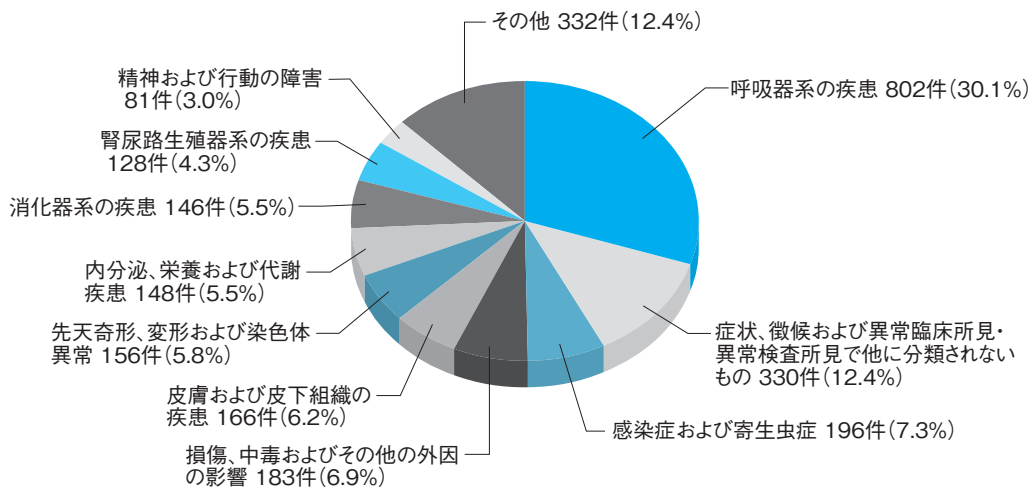
1. 概要

当小児科病棟スタッフは皆、東三河地域の最後の砦を担うという誇りと緊張感を持って日夜対応している。サブスペシャリティとしてはアレルギー疾患、神経疾患、循環器疾患、腎疾患、内分泌疾患、血液腫瘍疾患をカバーし、高度特殊医療を除けば各分野ともに専門施設と比べても引けを取らない医療レベルを提供できている。また、患者には最善の医療を提供すべく、各分野で対応困難な症例については惜しみなく専門施設との連携をとって対応している。このような体制を維持する意義は、極力地域で医療が完結することが患者家族への最高のサービスの一つとなることにある。特に長期入院を必要とする場合、月に何度も専門外来にかかる必要がある場合には切実な問題である。一方で、周囲の一次医療、二次医療、休日夜間診療所の業務、健診医療の充実に支えられてこそ当院が二次、三次医療に集中することが可能であるということも忘れてはならない。

(第二部長 伊藤 剛)

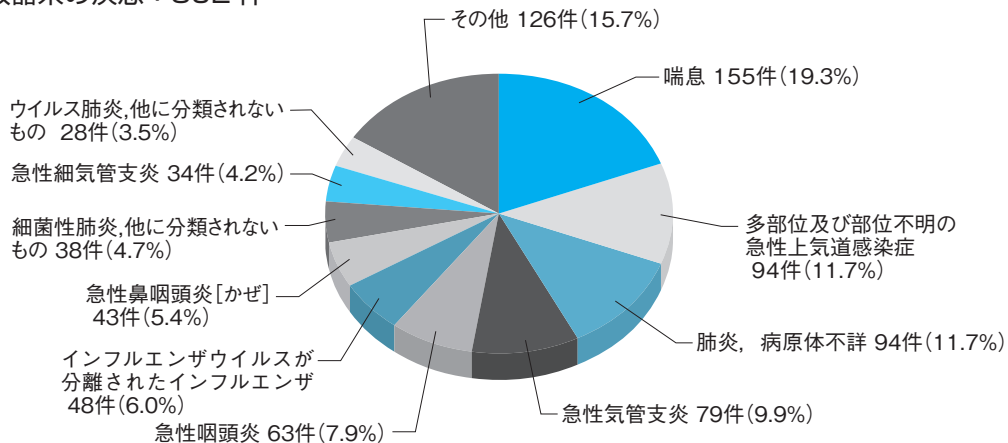
2. 新規登録疾患

総件数：2,668件

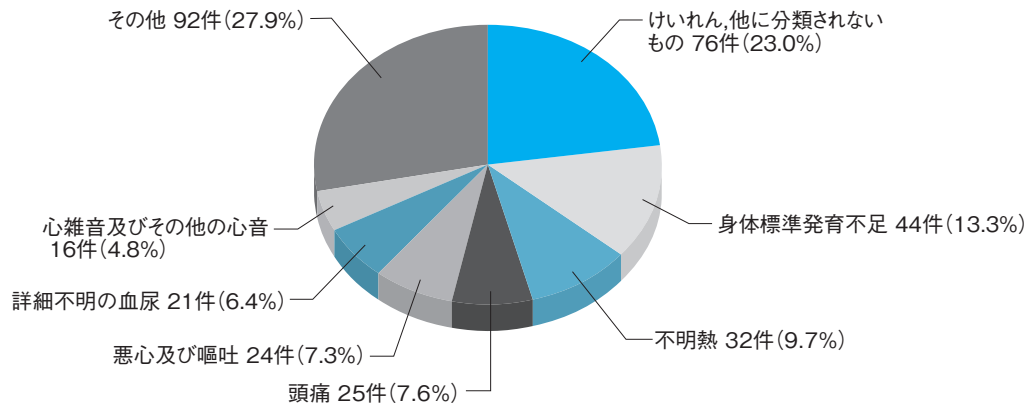


上位3位の詳細

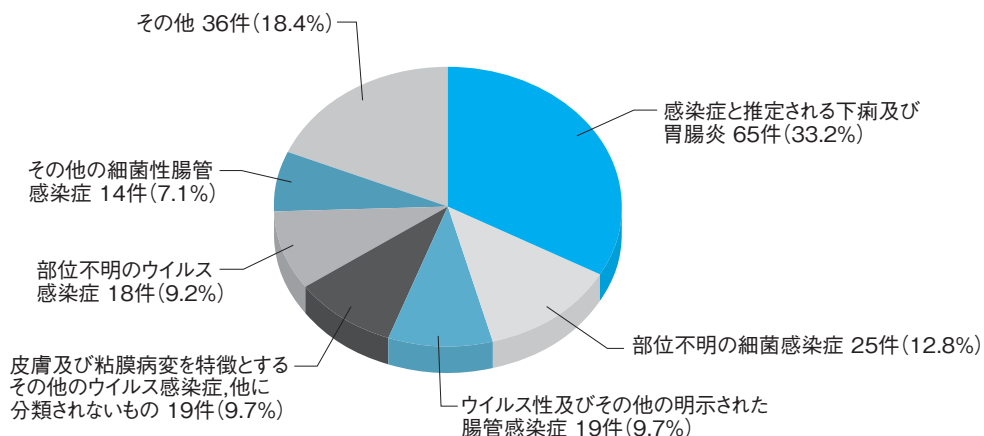
(1) 呼吸器系の疾患：802件



(2) 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの：330 件



(3) 感染症および寄生虫症：196 件



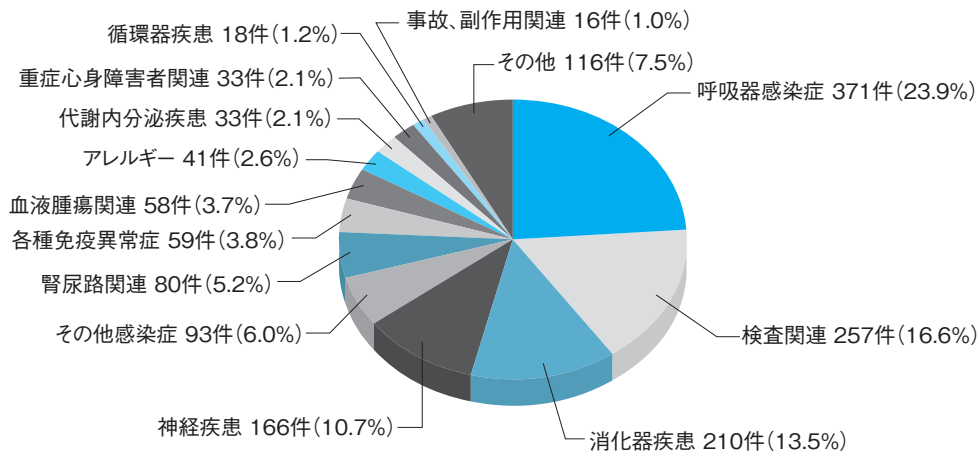
3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	30,341人	年間外来新患者数	2,859人
年間入院患者数	20,498人	年間入院新患者数	1,895人

(2) 入院患者疾患別頻度

総件数：1,551件



小児科（新生児）

1. 概要

当院新生児医療センターは、東三河地区唯一の総合周産期母子医療センターに指定されている。

2016年の入院数は476例で内350例は院内出生であった。126例の院外出生例においては医師が救急車に同乗して搬送しており、診察依頼があったすべての新生児に24時間体制で高度な医療を迅速に提供している。一部の外科的治療が必要な例は他施設への搬送を要する例もあるが、その場合も医師が同乗し責任をもって搬送に当たっている。2016年の死亡例は1名のみと過去最少であり、最先端の医療技術と共に、東三河地区の新生児救命率の向上に貢献している。新生児期の医療面のみではなく、患児発達支援や、両親の心のサポートを医師、看護師、理学療法士、臨床心理士が共同して提供している。

当センターは周産期（新生児）専門医の基幹研修施設に指定されており、若手医師の教育、専門医の育成にも尽力している。

（第二部長 幸脇 正典）

2. 活動報告

(1) 入院患者の出生状況

① 出生体重

出生体重 (g)	症例数 (件)
～ 499	2
500 ～ 749	4
750 ～ 999	15
1000 ～ 1249	9
1250 ～ 1499	19
1500 ～ 1999	59
2000 ～ 2499	140
2500 ～	228
計	476

② 出生在胎

出生在胎週数 (週)	症例数 (件)
22 ～ 23	3
24 ～ 26	8
27 ～ 29	15
30 ～ 32	34
33 ～ 36	155
37 ～ 41	261
42 ～	0
計	476

③ 出生場所

出生院	症例数 (件)
豊橋市民病院	350
小石マタニティークリニック	36
パークベルクリニック	24
マミーローズクリニック	15
中岡レディースクリニック	18
豊川市民病院	8
渡辺マタニティークリニック	5
オレンジベルクリニック	4
愛知厚生連 渥美病院	4
ジュンレディースクリニック 豊橋	2
蒲郡市民病院	2
今泉産婦人科医院	2
ふたば助産院	1
名古屋大学医学部附属病院	1
県外産院	1
病院外出産	3
計	476

(2) 死亡退院例

	在胎週数	出生体重	死亡日齢	死亡原因
1	24 週 1 日	564g	14 日	早発型感染症

産婦人科

1. 概要

総合周産期センター開設後約3年が経過した。手術決定から30分以内に見娩出が要求される超緊急帝王切開は年間19例であった。院内各所の協力により全例30分未満、平均15.3分で娩出できた。周産期死亡は4例で、ここ10年間で最低の水準となった。

婦人科悪性腫瘍のうち子宮体がんは保険収載後、腹腔鏡下手術が標準となった。未だ保険適応外ではあるが、子宮頸がんについても腹腔鏡下手術の症例が増加している。化学療法は外来中心に移行し、開腹手術から腹腔鏡手術への移行もあいまって入院期間短縮に寄与した。

子宮筋腫をはじめとした良性疾患はほぼ腹腔鏡下手術に移行した。術後など安定した患者については近医への逆紹介を推進し外来患者は減少、この効果により、入院や手術により力を入れられる体制へ移行した。手術待機期間はおおむね2から3ヵ月未満となった。

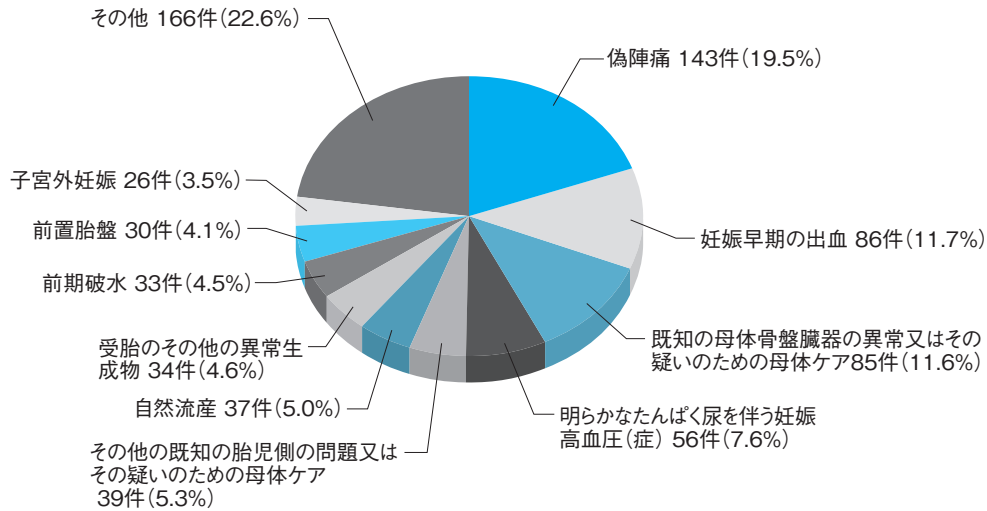
総合生殖センター、女性内視鏡外科を含め産婦人科医師は16名、2016年には3名の医師が産婦人科専門医試験に合格し専門医が11名と充実した。6名の医師は次のサブスペシャリティーの取得に向け研修を行っている。新専門医制度への移行に向けて当院では周産期、腫瘍、生殖、女性ヘルスケアと産婦人科4分野すべてにおいて研修可能な指導体制を整備している。

(第二部長 岡田 真由美)

2. 新規登録疾患

(1) 産科（分娩を除く）

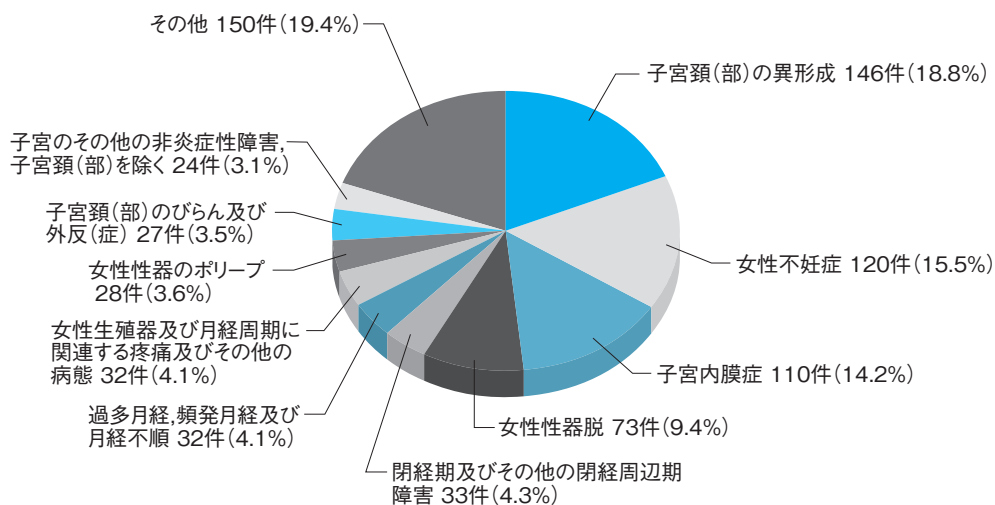
総数：735件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
偽陣痛	妊娠満37週未満の偽陣痛	143	O470
妊娠早期の出血	切迫流産	85	O200
既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	既往手術による子宮瘢痕による母体ケア	77	O342
明らかなたんぱく尿を伴う妊娠高血圧(症)	重症子かん前症	31	O141
	子かん前症, 詳細不明	25	O149
その他の既知の胎児側の問題又はその疑いのための母体ケア	その他の同種免疫のための母体ケア	27	O361
自然流産	自然流産, 完全流産又は詳細不明の流産, 合併症を伴わないもの	29	O039
受胎のその他の異常生成物	稽留流産	31	O021
前期破水	前期破水, 詳細不明	33	O429
前置胎盤	出血を伴う前置胎盤	30	O441
子宮外妊娠	卵管妊娠	15	O001

(2) 婦人科

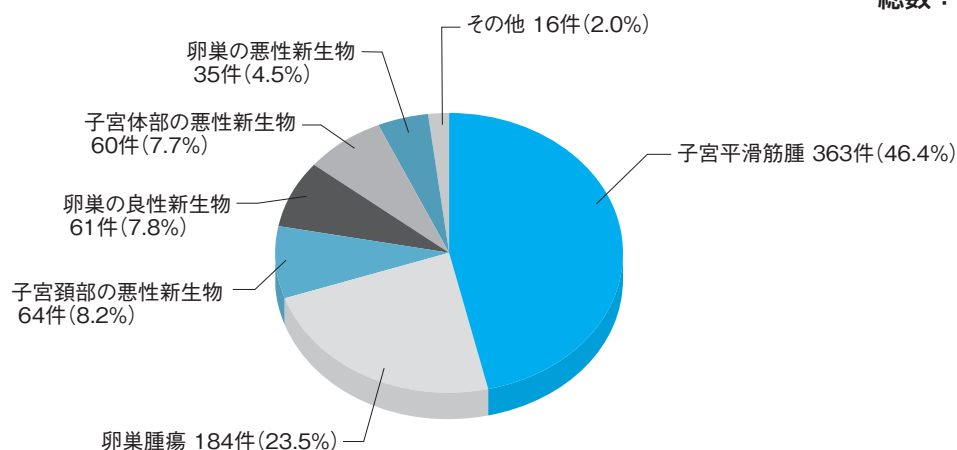
総数：775件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
子宮頸(部)の異形成	子宮頸(部)の異形成, 詳細不明	100	N879
	高度子宮頸(部)の異形成,他に分類されないもの	30	N872
女性不妊症	女性不妊症, 詳細不明	120	N979
子宮内膜症	子宮の子宮内膜症	44	N800
	子宮内膜症, 詳細不明	40	N809
女性性器脱	子宮隆脱, 詳細不明	36	N814
	膀胱瘤	14	N811
閉経期及びその他の閉経周辺期障害	閉経期及び女性更年期状態	23	N951
	閉経後萎縮性膣炎	10	N952
過多月経, 頻発月経及び月経不順	不規則周期を伴う過多月経及び頻発月経	13	N921
	規則的周期を伴う過多月経及び頻発月経	12	N920
女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態	月経困難症, 詳細不明	28	N946
女性性器のポリープ	子宮頸(部)ポリープ	18	N841
子宮頸(部)のびらん及び外反(症)	子宮頸(部)のびらん及び外反(症)	27	N86
子宮のその他の非炎症性障害, 子宮頸(部)を除く	子宮内膜腺様のう胞性増殖症	12	N850

(3) 新生物

総数：783件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
子宮平滑筋腫	子宮平滑筋腫， 部位不明	359	D259
卵巣腫瘍	女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物， 卵巣	184	D391
子宮頸部の悪性新生物	子宮頸部の悪性新生物， 子宮頸（部）， 部位不明	64	C539
卵巣の良性新生物	卵巣の良性新生物	61	D27
子宮体部の悪性新生物	子宮体部の悪性新生物， 子宮体部， 部位不明	52	C549
卵巣の悪性新生物	卵巣の悪性新生物	35	C56

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	41,615人	年間外来新患者数	2,544人
年間入院患者数	19,364人	年間入院新患者数	2,408人

(2) 実績

分娩統計(件)	
正常	421
パースセンター正常	2
選択的帝王切開	219
緊急帝王切開	153
超緊急帝王切開	18
緊急帝王切開 + 子宮摘出	1
鉗子分娩	5
吸引分娩	47
死産	3
未受診正常	2
未受診緊急帝王切開	3
双胎選択帝王切開	30
双胎緊急帝王切開	20
双胎一児死産超緊急帝王切開	1
品胎選択帝王切開	1
計	926
中期中絶	12
中期流産	11
中期中絶帝王切開	1
双胎中期流産	1
計	25
母体搬送	242

産婦人科悪性腫瘍治療症例数(件)	
◎子宮頸部CIN2	計12
円錐切除	11
レーザー蒸散	1
◎子宮頸部CIN3	計58
円錐切除	48
TAH	1
TLH	9
◎子宮頸癌	計62
①子宮頸癌 I A1期円錐切除のみ	1
②子宮頸癌初回手術	32
I A期	6
I A1期	2
I B1期	21
I B2期	1
II A1期	2
③化学療法後手術	3
I B1期	2
II A1期	1
④CCRT後手術	4
II B期	4
⑤CCRT (同時化学放射線療法 放射線科と共同治療)	14
I B2期	1
II A2期	1
II B期	8
III A期	2
IV B期	2
⑥放射線療法 (主に放射線科で治療)	8
I B1期	2
II B期	3
IV A期	3
◎子宮体癌 (癌肉腫含む)	計54
①子宮体癌初回手術	
I A期	35
I B期	9
II 期	1

ⅢA期	3
ⅢB期	1
ⅢC1期	1
ⅣB期	2
②放射線療法（主に放射線科で治療）	2
◎子宮内膜異型増殖症手術	計6
◎卵巣癌	計28
I A期	5
I C1期	6
I C2期	1
I C3期	3
II B期	5
ⅢA期	1
ⅢB期	3
ⅢC期	3
ⅣA期	1
◎卵巣境界悪性腫瘍	計8
I A期	4
I C1期	3
II B期	1
◎子宮平滑筋肉腫 I B期	計2
◎STUMP	計1
◎卵管癌 I A期	計1
◎外陰癌 I A期	計1
◎腹膜癌	計2
◎Krukenberg腫瘍	計3
◎Benign multicystic mesothelioma	計1

化学療法

卵巣癌	57人	のべ337コース
子宮体癌	51人	のべ180コース
子宮頸癌	35人	のべ140コース
腹膜癌	6人	のべ 27コース
卵管癌	2人	のべ 13コース
子宮肉腫	2人	のべ 12コース
陰癌	1人	のべ 3コース

計 154人に対してのべ712コース施行

産婦人科当直帯救急患者数（夜間休日）（件）

経陰分娩	360
緊急帝王切開（超緊急帝王切開含む）	82
その他手術	41

救急外来患者数再診

8:30～17:00（休日のみ）	145
17:00～0:00	187
0:00～8:30	92
計	424

救急外来患者初診

（カッコ内は本来他の施設で診察すべき患者数）

8:30～17:00（休日のみ）	66	(6)
17:00～0:00	166	(14)
0:00～8:30	103	(13)
計	335	(33)

救急外来患者総数……………759

手術総件数(件)

産科

帝王切開術	424
前置胎盤を伴う帝王切開術	22
分娩後子宮全摘術	6
会陰部裂傷縫合・膣壁血腫除去術	5
子宮頸管縫縮術	7

開腹術（良性）

単純子宮全摘出術（膣上部含む）	70
筋腫核出術	15
子宮付属器切除術	58
その他	8

開腹術（悪性）

子宮悪性腫瘍手術	18
うち広汎子宮全摘術	4
うち拡大子宮全摘術	4
子宮付属器悪性腫瘍手術	33
その他（試験開腹術含む）	10

経膣的・外陰部手術

膣式子宮全摘術（前後会陰形成術含む）	4
子宮筋腫核出術	22
円錐切除術（蒸散含む）	69
子宮内膜全面搔把術	20
子宮内容除去術（流産手術）	19
子宮内容除去術（人工妊娠中絶術）	8
胞状奇胎娩出術	9
その他	11

内視鏡手術

子宮鏡手術	6
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	56
うち子宮頸癌	7
うち子宮体癌	32
うち広汎子宮全摘術	12
うち拡大子宮全摘術	13
腹腔鏡下子宮全摘術	132
腹腔鏡下子宮筋腫核出術	20
腹腔鏡下子宮付属器手術	135
腹腔鏡下仙骨膣固定術	26
腹腔鏡下手術その他	1
ロボット支援下手術	7
計	1,201

産婦人科（生殖医療）

1. 概要

世界に先駆けて全受精卵への臨床応用を開始したタイムラプス胚培養も10年目となり、多胎防止を含む生殖補助医療の質的維持を今年も達成できた。国内外の学会での新知見発表には聴衆も多く集まり、若手産婦人科医師や臨床検査技師のモチベーションを高めている。甲木医師が、日本不妊カウンセリング学会で当院4年連続となる優秀賞を受賞した。

2016年は、生殖医療で思うような結果が出ない事の背景としての肥満・痩せへの着目を更に高め、健康な体作りは安全妊娠への必要条件であることの患者向け教育を徹底した。難治性の患者が当院に集中するという理想的な傾向は続いている。このような患者が繰り返し治療を行い、見かけ上の数値を低く抑えているが、他院での不成功例がすんなり成功するなど、スタッフが技術の高さを確認できる機会も多かった。頻回不成功例に肥満や痩せが多いことにも着目し、妊娠分娩の安全性や生涯の健康増進にもつながる健康な体作りを推進できた1年でもあった。

（部長 安藤 寿夫）

2. 活動報告

(1) 生殖補助医療

2016年	刺激周期数	体外受精数	うち、顕微授精	新鮮胚移植	妊娠	融解胚移植	妊娠
1月	27	22	14	17	1	9	0
2月	20	19	11	11	4	8	3
3月	20	17	11	9	4	6	2
4月	20	20	14	11	1	7	2
5月	29	22	17	15	3	6	4
6月	31	27	18	11	3	4	1
7月	28	26	13	11	1	6	2
8月	28	19	9	7	2	8	2
9月	27	23	16	12	2	4	0
10月	30	28	16	15	6	19	4
11月	22	17	8	9	2	10	3
12月	27	24	15	12	2	9	6
計	309	264	162	140	31	96	29
妊娠率					22.1%		30.2%

多胎は1例（単胚移植後）。異所性妊娠0例。

(2) 不妊症妊娠例（カッコ内は多胎妊娠例）

区分	件数(件)
体外受精 - 新鮮胚移植	30(1)
融解胚移植	27(0)
排卵誘発	8(0)
人工授精	7(0)
習慣流産	1(0)
タイミング法・その他	26(0)
計（重複例を除く）	90(1)

生殖医療の成績データは、症例背景など医療機関により異なる要素が多いことから、他の医療機関との単純な比較をすべきではないと付記することが、米国では義務付けられています。

女性内視鏡外科

1. 概要

産婦人科の中で、主に腹腔鏡下手術と子宮鏡下手術全般に関わる手術を担当している。東三河においては、婦人科手術に関して以前より開腹術が中心であったが、良性疾患のほとんどで腹腔鏡下手術への移行が可能となった。この手術は傷も小さく、早期退院、社会復帰が可能な手術で患者にとって負担が少なくなる。2013年に着任して以来、順調に手術件数を伸ばし、2015年度には腹腔鏡下と子宮鏡下手術合わせて400件を超え、愛知県内でも有数の内視鏡下手術件数を誇るまでになった。入院期間は腹腔鏡下手術で5日前後、子宮鏡下手術では3日間である。子宮悪性腫瘍疾患に対しても積極的に本術式を導入し、2013年度には子宮体癌に対する腹腔鏡下手術が可能となり、2014年度には愛知県下で初めて子宮頸癌に対する腹腔鏡下広汎子宮全摘術の先進医療施設として認定された。全国的にも子宮悪性腫瘍に対する腹腔鏡下手術を導入している施設は少ないが、今後は他の地域での啓蒙活動にも力を入れ、さらなる低侵襲化手術の普及を進める。

(部長 梅村 康太)

耳鼻いんこう科

1. 概要

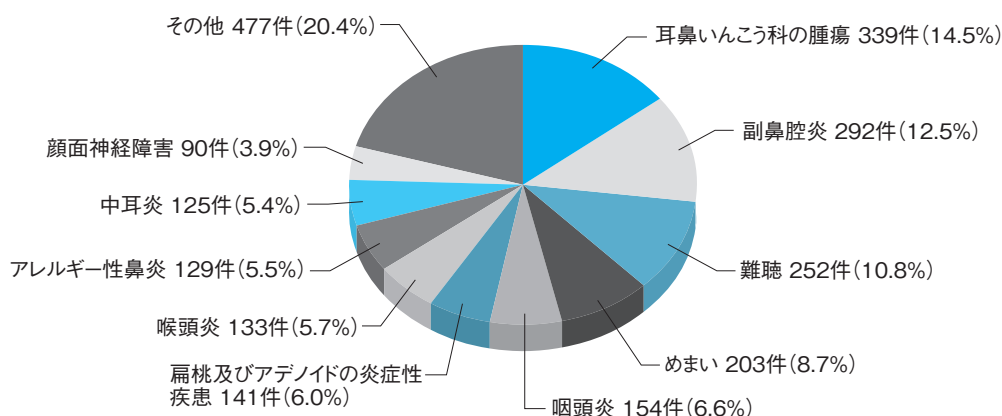
1日の外来受診患者数は約100から110人であった。年間の入院患者数は659人であった。手術室を使用した手術療法は年間398件であった。

中耳炎、めまい、難聴、顔面神経麻痺に対して投薬治療を行い、改善を認めない場合は当院にて外科的治療を行った。また、耳鳴り専門外来を新設し、専門的な治療を開始した。アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、鼻中隔湾曲症に対して、患者さまの病態や希望にあった治療（手術療法や投薬治療）を行った。慢性扁桃炎や睡眠時無呼吸症候群に対して、口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術を行った。また鼻出血、急性扁桃炎、喉頭蓋炎などの救急疾患については、重症度に合わせて入院治療を行った。咽頭・喉頭・甲状腺・唾液腺などの良性腫瘍に対しては、適応を定めて手術療法を行った。悪性腫瘍に対しては、それぞれの患者の状況に合わせて、根治と機能温存のバランスを取り、手術療法、化学療法、放射線療法の3者を組み合わせて治療を行った。再建を必要とする様な症例も積極的に当院で行った。

(部長 小澤 泰次郎)

2. 新規登録疾患

総数：2,335件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
耳鼻いんこう科の腫瘍	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物,口唇,口腔及び咽頭	103	D370
	中耳,呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物,喉頭	53	D380
副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎, 詳細不明	233	J329
	急性副鼻腔炎, 詳細不明	44	J019
難聴	感音難聴, 詳細不明	125	H905
	難聴, 詳細不明	58	H919
めまい	その他の末梢性めまい	150	H813
	メニエール病	44	H810
咽頭炎	急性喉頭咽頭炎	131	J060
	急性咽頭炎, 詳細不明	22	J029
扁桃及びアデノイドの炎症性疾患	扁桃肥大	73	J351
	急性扁桃炎, 詳細不明	36	J039
喉頭炎	慢性喉頭炎	133	J370
アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎, 詳細不明	129	J304
中耳炎	非化膿性中耳炎, 詳細不明	69	H659
	中耳炎, 詳細不明	52	H669
顔面神経障害	ベル麻痺	89	G510

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	24,889人	年間外来新患者数	3,307人
年間入院患者数	7,524人	年間入院新患者数	642人

(2) 入院患者の状況

①主な救急疾患（入院加療を要した）

疾患名	件数(件)
急性扁桃炎・扁桃周囲の腫瘍	35
急性喉頭蓋炎・喉頭炎	30
めまい	21
顔面神経麻痺	15
鼻出血	12
突発性難聴	7

②主な手術療法（手術室使用）

術式	件数(件)
口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術	182
内視鏡下副鼻腔手術	63
甲状腺腫瘍手術	37
リンパ節摘出術	36
耳下腺腫瘍手術	28
頸部郭清術	27
気管切開術	21
鼓膜チューブ留置術	20
喉頭微細手術	20
咽頭悪性腫瘍手術	14
顎下腺摘出術	8
喉頭全摘術	5

眼科

1. 概要

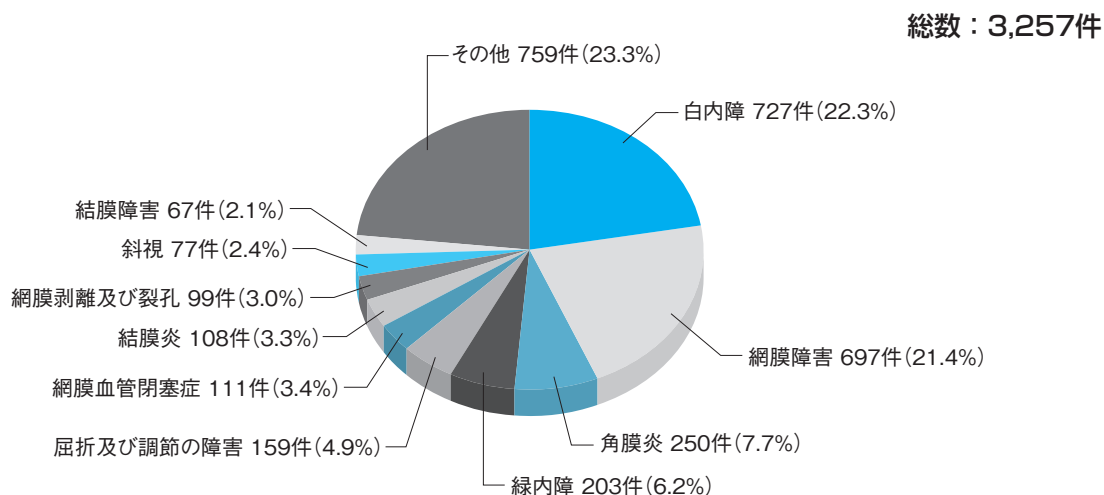
2016年4月より、白内障手術が術前日入院、術翌日退院の2泊3日で可能となった。今後、さらに白内障手術の入院期間の短縮、また、日帰り白内障手術も検討される。また、硝子体手術に対してもクリニカルパス使用可能となった。今後、緑内障、斜視手術等、他疾患にもクリニカルパスの適応が検討される。

2016年6月より、視能訓練士（非常勤）1名が配置された。検査待ち時間等短縮が期待される。

また、加齢黄斑変性等に対する硝子体注射前後の診察等において、地域の医療機関との病診連携も進んだ。

（副部長 榊原 由美子）

2. 新規登録疾患



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
白内障	老人性白内障, 詳細不明	642	H259
	後発白内障	53	H264
網膜障害	詳細不明の糖尿病, 眼合併症を伴うもの	349	E143
	黄斑及び後極の変性	218	H353
角膜炎	その他の角膜炎	149	H168
	角膜潰瘍	48	H160
緑内障	緑内障, 詳細不明	132	H409
	緑内障の疑い	24	H400
屈折及び調節の障害	乱視	135	H522
網膜血管閉塞症	その他の網膜血管閉塞症	94	H348
	その他の網膜動脈閉塞症	13	H342
結膜炎	結膜炎, 詳細不明	53	H109
	急性アトピー性結膜炎	46	H101
網膜剥離及び裂孔	網膜剥離, 網膜裂孔を伴うもの	59	H330
	網膜裂孔, 剥離を伴わないもの	34	H333
斜視	間欠性斜視	26	H503
	共同性内斜視	22	H500
結膜障害	結膜出血	30	H113
	翼状片	22	H110

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	26,265人	年間外来新患者数	2,432人
年間入院患者数	4,953人	年間入院新患者数	915人

(2) 入院時の疾患内訳

疾患名	人数(人)	疾患名	人数(人)
白内障	617	内反症	3
網膜剥離	54	網膜下出血	3
黄斑前膜	53	角膜穿孔	2
緑内障	46	硝子体脱出	2
糖尿病網膜症	39	水晶体偏位	2
硝子体出血・混濁	32	眼窩腫瘍	1
黄斑円孔	21	眼窩蜂窩織炎	1
硝子体黄斑牽引症候群	8	眼筋炎	1
増殖硝子体網膜症	6	眼内炎	1
外傷・眼球破裂	5	急性網膜壊死	1
視神経症	4	網膜細動脈瘤	1
眼内異物	3	網膜裂孔	1
眼内レンズ脱臼	3	計	913
斜視	3		

(3) 手術・検査数

①外来手術数

術式	件数(件)
硝子体注射・テノン嚢下注射	528
網膜光凝固術(PHC)	326
レーザー後発白内障切開術(YAG)	98
レーザー虹彩切開術(LI)	37
涙点プラグ挿入	18
レーザー線維柱帯形成術(LTP/SLT)	10
霰粒腫摘出術	1
計	1,018

②外来特殊検査件数

検査名	件数(件)
光干渉断層撮影(OCT)	8,286
動的量的視野検査	843
静的量的視野検査	740
蛍光眼底撮影	1,291
眼鏡処方	294
計	11,454

③手術センター手術数

術式	件数(件)
白内障手術	751
硝子体茎頭微鏡下離断術	194
流出路再建術	22
眼瞼下垂症手術	21
縫着レンズ挿入	19
翼状片手術	19
濾過胞再建術	19
網膜復位術	13
内反症手術	10
斜視手術	8
角膜・強膜縫合術	6
霰粒腫摘出術	6
硝子体注入・吸引術	6
硝子体切除術	4
結膜下異物除去術	3
眼瞼腫瘤切除術	2
眼窩内腫瘍摘出術	1
結膜肉芽腫摘除術	1
結膜嚢形成手術	1
瞼縁縫合術	1
前房、虹彩内異物除去術	1
増殖性硝子体網膜症手術	1
計	1,109

皮膚科

1. 概要

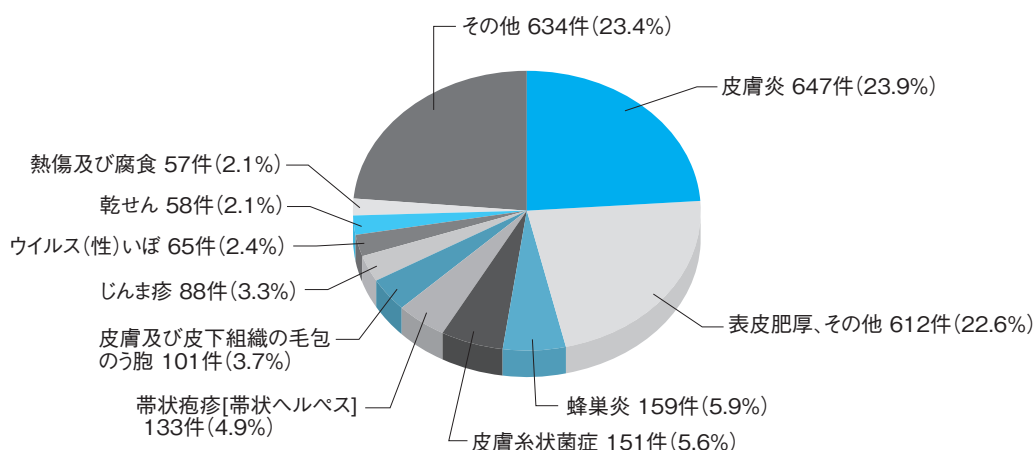
2016年の皮膚科は山田、鈴木、藤城、芳川、森の5人体制である。外来患者数は、前年より多少減少した。逆に入院患者数は、前年より多少増加した。外来では、切除不能な悪性黒色腫に対する免疫チェックポイント阻害剤の投与が増加した印象である。入院に関しては、広範囲の重症熱傷が例年に比べ多かった。

(部長 山田 元人)

2. 新規登録疾患

(1) 悪性新生物以外

総数：2,705件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
皮膚炎	皮膚炎, 詳細不明	302	L309
	薬物及び薬剤による全身の発疹	70	L270
表皮肥厚、その他	皮膚乾燥症	293	L853
	皮膚の慢性潰瘍, 他に分類されないもの	89	L984
蜂巣炎	蜂巣炎, 詳細不明	109	L039
	(四)肢のその他の部位の蜂巣炎	32	L031
皮膚糸状菌症	爪白せん	61	B351
	足白せん	58	B353
帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	帯状疱疹, 合併症を伴わないもの	112	B029
	帯状疱疹, その他の神経系合併症を伴うもの	20	B022
皮膚及び皮下組織の毛包のう胞	表皮のう胞	101	L720
じんま疹	じんま疹, 詳細不明	77	L509
	その他のじんま疹	11	L508
ウイルス(性)いぼ	ウイルス(性)いぼ	65	B07
乾せん	尋常性乾せん	40	L400
	掌蹠膿疱症	14	L403
熱傷及び腐食	部位不明の熱傷, 程度不明	53	T300

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	26,099人	年間外来新患者数	3,424人
年間入院患者数	4,904人	年間入院新患者数	267人

(2) 悪性新生物

	疾患名	件数(件)		疾患名	件数(件)
1	基底細胞癌	61	5	皮膚腫瘍	6
2	有棘細胞癌	45	6	その他	23
3	悪性黒色腫	16		計	158
4	パジェット病	7			

(3) 良性腫瘍、熱傷、膠原病

	疾患名	件数(件)		疾患名	件数(件)
1	良性腫瘍	1,048	5	全身性エリテマトーデス	10
2	熱傷	96	6	皮膚筋炎	6
3	血管炎	47		計	1,219
4	全身性強皮症	12			

泌尿器科

1. 概要

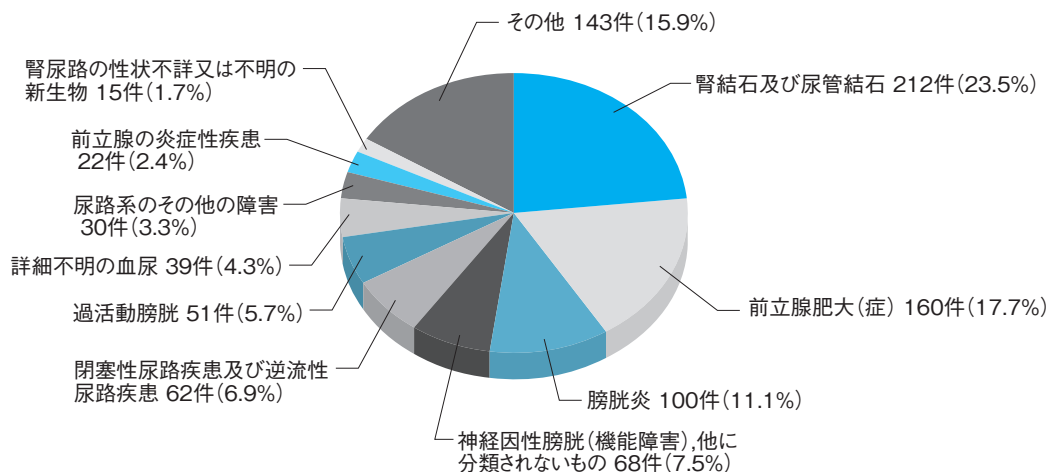
2016年は、当科の体制には大きな変更はなかった。しかしながら、東三河地区における当院への一極集中状況には改善の兆しは見られず、繁忙の程度は増すばかりである。当科の柱である泌尿器悪性腫瘍に対する小切開手術は長井、田中両部長を中心に高水準を維持し、小嶋、寺島両副部長を中心に行っている腹腔鏡手術も増加している。また、ロボット支援手術は前立腺悪性腫瘍手術のスタンダードな手術の地位を占めるに至り、腎癌に対する腎部分切除も開始されるなど、当科における日常的な手術の一つとなった。一方、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤等の新規薬剤を含むがん化学療法の症例も増加の一途をたどり、この分野においてもトップランナーを伺える状況になりつつある。良性疾患に対しても、排尿ケアチームが立ち上がり、病院全体の排泄管理の向上に向けた活動が始まるなど、日常診療の中でさらなる高水準の医療を提供し続けるため精進の日々が続いた1年であった。

(第一部長 長井 辰哉)

2. 新規登録疾患

(1) 悪性新生物以外

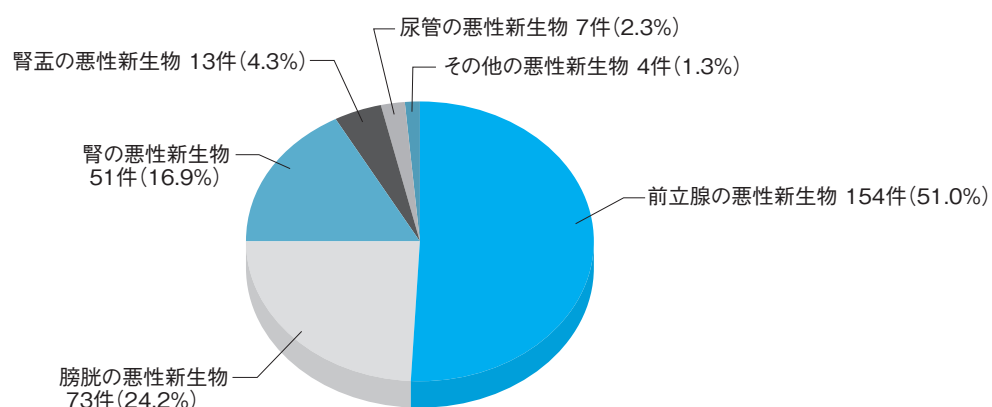
総数：902件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
腎結石及び尿管結石	尿管結石	166	N201
	腎結石	39	N200
前立腺肥大(症)	前立腺肥大(症)	160	N40
膀胱炎	膀胱炎, 詳細不明	41	N309
	その他の慢性膀胱炎	32	N302
神経因性膀胱(機能障害), 他に分類されないもの	神経因性膀胱(機能障害), 詳細不明	68	N319
閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	その他及び詳細不明の水腎症	23	N133
	腎結石性及び尿管結石性閉塞を伴う水腎症	18	N132
過活動膀胱	その他の明示された膀胱障害	51	N328
詳細不明の血尿	詳細不明の血尿	39	R31
尿路系のその他の障害	尿路感染症, 部位不明	23	N390
前立腺の炎症性疾患	慢性前立腺炎	10	N411
腎尿路の性状不詳又は不明の新生物	腎尿路の性状不詳又は不明の新生物, 腎	11	D410

(2) 悪性新生物

総件数：302件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
前立腺の悪性新生物	前立腺の悪性新生物	154	C61
膀胱の悪性新生物	膀胱の悪性新生物, 膀胱, 部位不明	72	C679
腎の悪性新生物	腎盂を除く腎の悪性新生物	51	C64
腎盂の悪性新生物	腎盂の悪性新生物	13	C65
尿管の悪性新生物	尿管の悪性新生物	7	C66

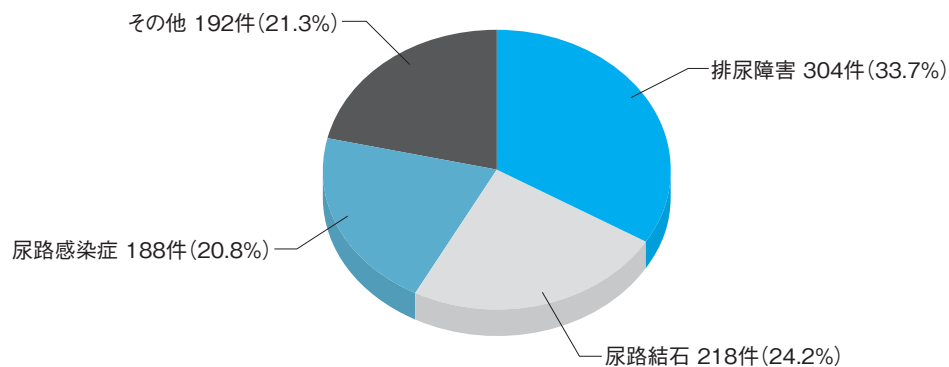
3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	26,068人	年間外来新患者数	1,859人
年間入院患者数	12,206人	年間入院新患者数	1,045人

(2) 悪性新生物以外の疾患別頻度

総件数：902件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
排尿障害	前立腺肥大(症)	160	N40
	神経因性膀胱(機能障害), 詳細不明	68	N319
尿路結石	尿管結石	166	N201
	腎結石	39	N200
尿路感染症	膀胱炎, 詳細不明	41	N309
	その他の慢性膀胱炎	32	N302

放射線科

1. 概要

2016年1月には石原部長、高田副部長、中道医員の3人であったが、4月より石口医員の赴任があり、2016年12月には石原、高田、中道、石口の4人で診療している。

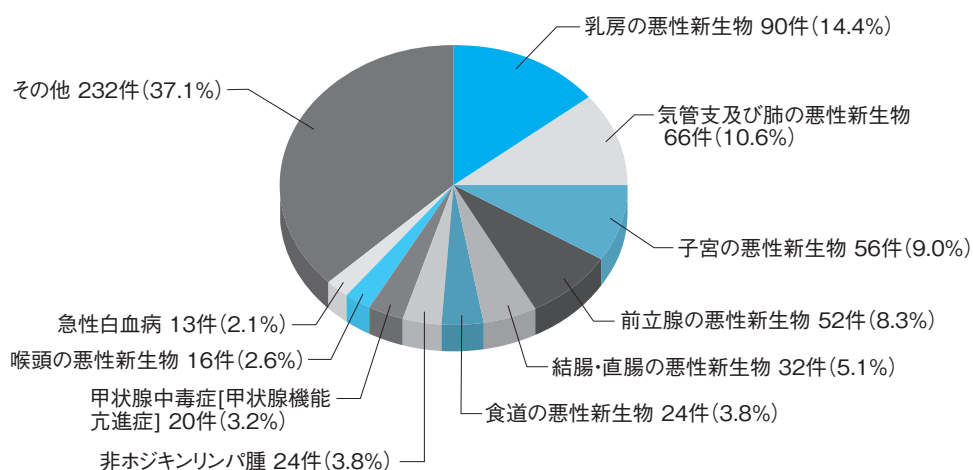
この1年の最大のイベントは高度放射線棟の稼働であり、PET-CT、腔内照射装置の使用を開始した。放射線治療装置については2017年2から3月の使用開始を目指し、準備を行っている。

この1年間の業務実績は、読影が29,706件（CT 20,989件、MRI 7,393件、アイソトープ 1,189件、PET-CT 135件）であった。その他、血管造影・IVR 101件、甲状腺機能亢進症に対するヨード内用療法14件、骨転移に対するストロンチウム治療2件、放射線治療の新患418件であった。

（部長 石原 俊一）

2. 新規登録疾患

総数：625件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
乳房の悪性新生物	乳房の悪性新生物, 乳房, 部位不明	81	C509
気管支及び肺の悪性新生物	気管支及び肺の悪性新生物, 気管支又は肺, 部位不明	62	C349
子宮の悪性新生物	子宮頸部の悪性新生物, 子宮頸(部), 部位不明	51	C539
前立腺の悪性新生物	前立腺の悪性新生物	52	C61
結腸・直腸の悪性新生物	直腸の悪性新生物	19	C20
	結腸の悪性新生物, S状結腸	6	C187
食道の悪性新生物	食道の悪性新生物, 胸部食道	19	C151
非ホジキンリンパ腫	非ホジキンリンパ腫, 型不明	11	C859
	大細胞型(びまん性)	9	C833
甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症]	甲状腺中毒症, 詳細不明	13	E059
喉頭の悪性新生物	喉頭の悪性新生物, 声門	10	C320
	喉頭の悪性新生物, 声門上部	5	C321
急性白血病	急性骨髄性白血病	9	C920
	急性リンパ芽球性白血病	2	C910

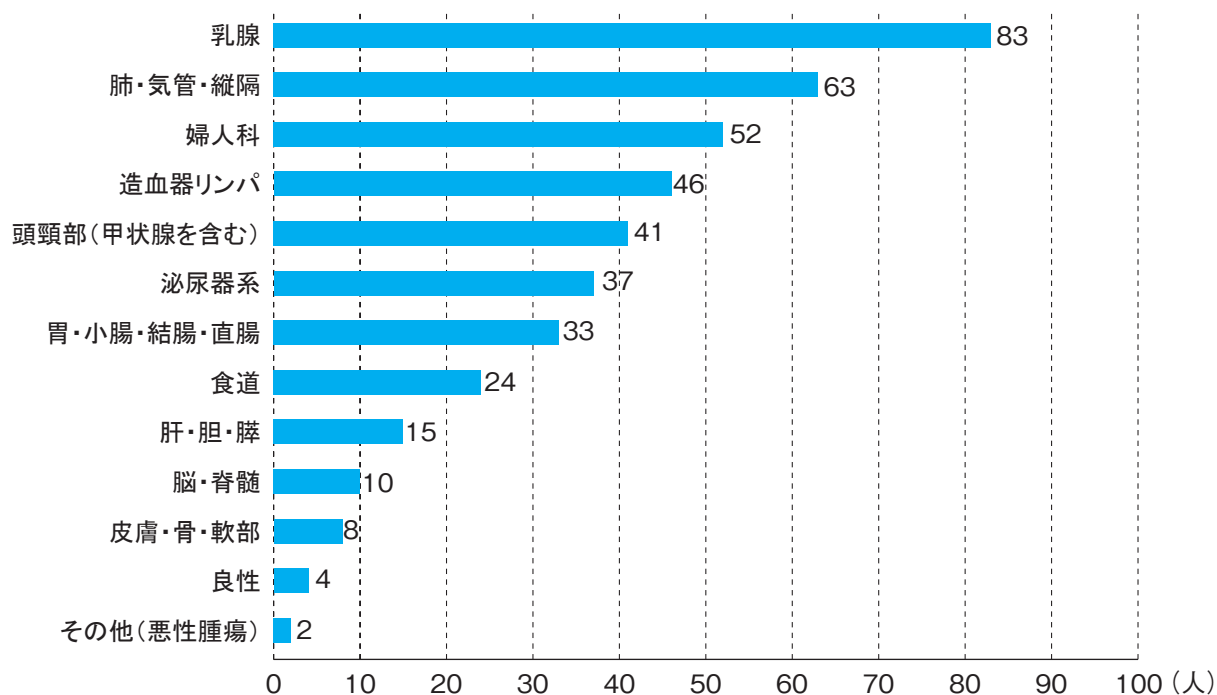
3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	12,520人	年間外来新患者数	662人
年間入院患者数	0人	年間入院新患者数	0人

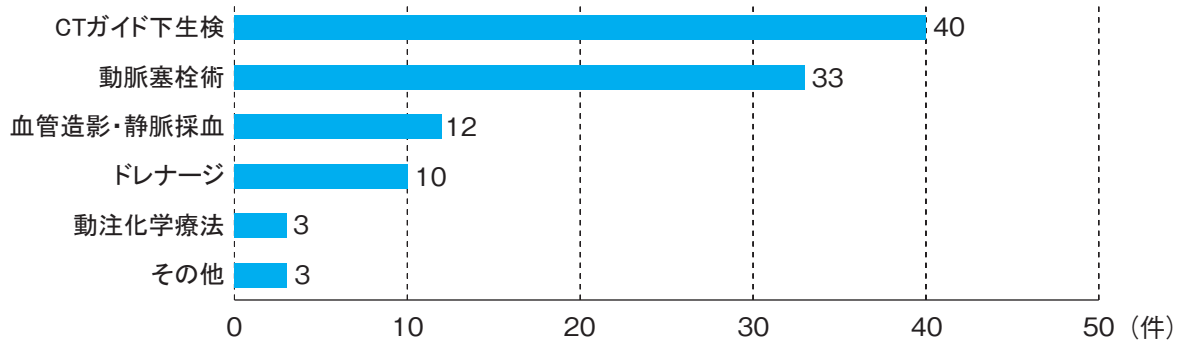
(2) 放射線治療原発部位別患者数

総患者数：418人



(3) 血管造影・IVR 手技別件数

総件数：101件



麻酔科（ペインクリニック）

1. 概要

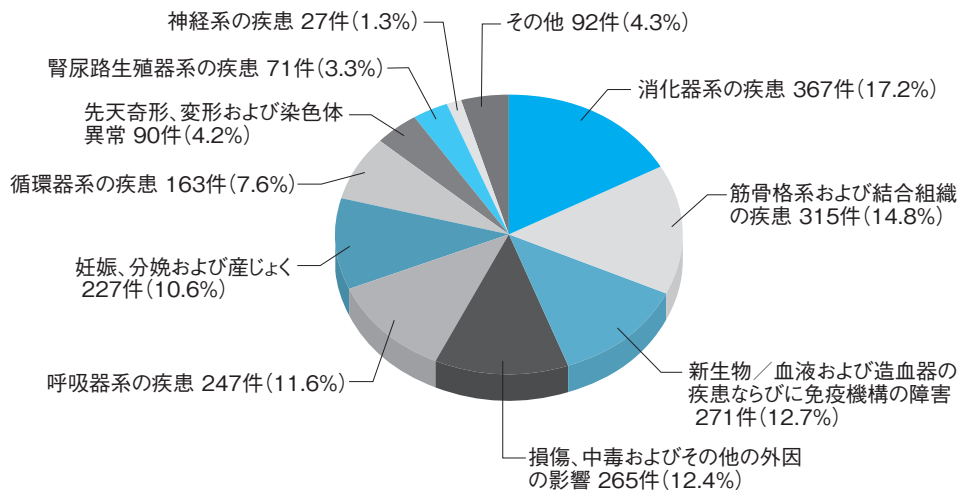
2016年は当院研修医からの入局が1名あったが他院への異動が2名あったため、麻酔科医は11名、歯科麻酔科医1名に減少した。年間の総手術件数は7,908件であり、全身麻酔件数は3,717件であった。麻酔科管理症例は2,640件であり、そのうち麻酔科管理の全身麻酔は2,411件であった。麻酔科管理の緊急症例は479件あった。麻酔科医の人数が減ったが産休育休取得者がいなかったため、麻酔科管理症例数の変動はなかった。新型超音波診断装置を追加購入することにより、神経ブロックの精度を上げることができた。McGRATH MACも14台に増やして全部屋に完備でき、挿管困難対策が増々充実した。デスフルラン気化器が10台に増えた。新しい麻酔関連機器や薬剤を整備でき、全国的にも誇れる麻酔環境が整った。2017年には他院への異動が1名と当院への帰局が1名で人数は変わらないが、短時間勤務者が2名になるため麻酔科担当症例は減少すると推測される。

（第一部長 寺本 友三）

2. 新規登録疾患

(1) 悪性新生物以外

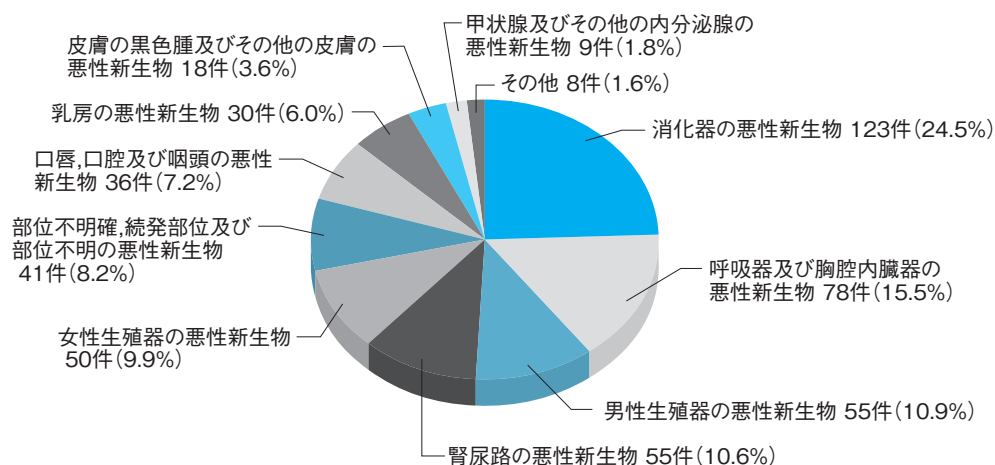
総数：2,135件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
消化器系の疾患	口腔, 唾液腺及び顎の疾患	99	K00-K14
	ヘルニア	90	K40-K46
筋骨格系および結合組織の疾患	関節症	107	M15-M19
	脊椎障害	87	M45-M49
新生物/血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	性状不詳又は不明の新生物	137	D37-D48
	良性新生物	133	D10-D36
損傷, 中毒およびその他の外因の 影響	頭部損傷	54	S00-S09
	肩及び上腕の損傷	45	S40-S49
呼吸器系の疾患	上気道のその他の疾患	167	J30-J39
	胸膜のその他の疾患	48	J90-J94
妊娠, 分娩および産じょく	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに 予想される分娩の諸問題	105	O30-O48
	分娩	45	O80-O84
循環器系の疾患	脳血管疾患	57	I60-I69
	静脈, リンパ管及びリンパ節の疾患, 他に 分類されないもの	55	I80-I89
先天奇形, 変形および染色体異常	唇裂及び口蓋裂	22	Q35-Q37
	循環器系の先天奇形	20	Q20-Q28
腎尿路生殖器系の疾患	女性生殖器の非炎症性障害	37	N80-N98
	腎不全	13	N17-N19
神経系の疾患	神経系のその他の障害	15	G90-G99

(2) 悪性新生物

総数：503件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
消化器の悪性新生物	直腸の悪性新生物	25	C20
	結腸の悪性新生物, S状結腸	16	C187
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	気管支及び肺の悪性新生物, 上葉, 気管支又は肺	33	C341
	気管支及び肺の悪性新生物, 下葉, 気管支又は肺	33	C343
男性生殖器の悪性新生物	前立腺の悪性新生物	54	C61
腎尿路の悪性新生物	腎盂を除く腎の悪性新生物	25	C64
	膀胱の悪性新生物, 膀胱側壁	8	C672
女性生殖器の悪性新生物	子宮体部の悪性新生物, 子宮内膜	21	C541
	卵巣の悪性新生物	17	C56
部位不明確, 続発部位及び部位不明の悪性新生物	肺の続発性悪性新生物	17	C780
	骨及び骨髄の続発性悪性新生物	8	C795
口唇, 口腔及び咽頭の悪性新生物	中咽頭の悪性新生物, 中咽頭, 部位不明	9	C109
	舌のその他及び部位不明の悪性新生物, 舌, 部位不明	6	C029
乳房の悪性新生物	乳房の悪性新生物, 乳房上外側4分の1	15	C504
	乳房の悪性新生物, 乳房の境界部病巣	6	C508
皮膚の黒色腫及びその他の皮膚の悪性新生物	下肢の悪性黒色腫, 股関節部を含む	3	C437
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物	甲状腺の悪性新生物	9	C73

3. 活動報告

(1) 主要備品 (2017年分も含む)

① 患者監視装置

- (ア) Philips 社製 セントラルモニタ IntelliVue インフォメーションセンタ 1 式 (2 画面)
- (イ) Philips 社製 IntelliVueMP 50、70、90 (8 台)、MX700 (7 台)、MX800 (1 台)

② 手術部門システム

Philips 社製 ORSYS-TETRA、電子カルテと連動

術前術後診察機能、同意書作成機能、血中濃度シミュレーター付、縦型 19 インチタッチパネルモニタ 14 台、看護端末 14 台とデータ連係、ステータスマニタ 5 台、管理端末 6 台、Web 機能によりすべての電子カルテ端末より参照可

③ 超音波診断装置

- (ア) 心臓麻酔用 GE 社製 VividS70 1 台、Vivid i 1 台
- (イ) 中心静脈穿刺用 GE 社製 Venue40 Anesthesia 1 台
- (ウ) 神経ブロック用ソノサイト社製 S-Nerve 1 台
- (エ) 神経ブロック用 GE 社製 LOGIQ e Premium 1 台

④ 静脈麻酔システム

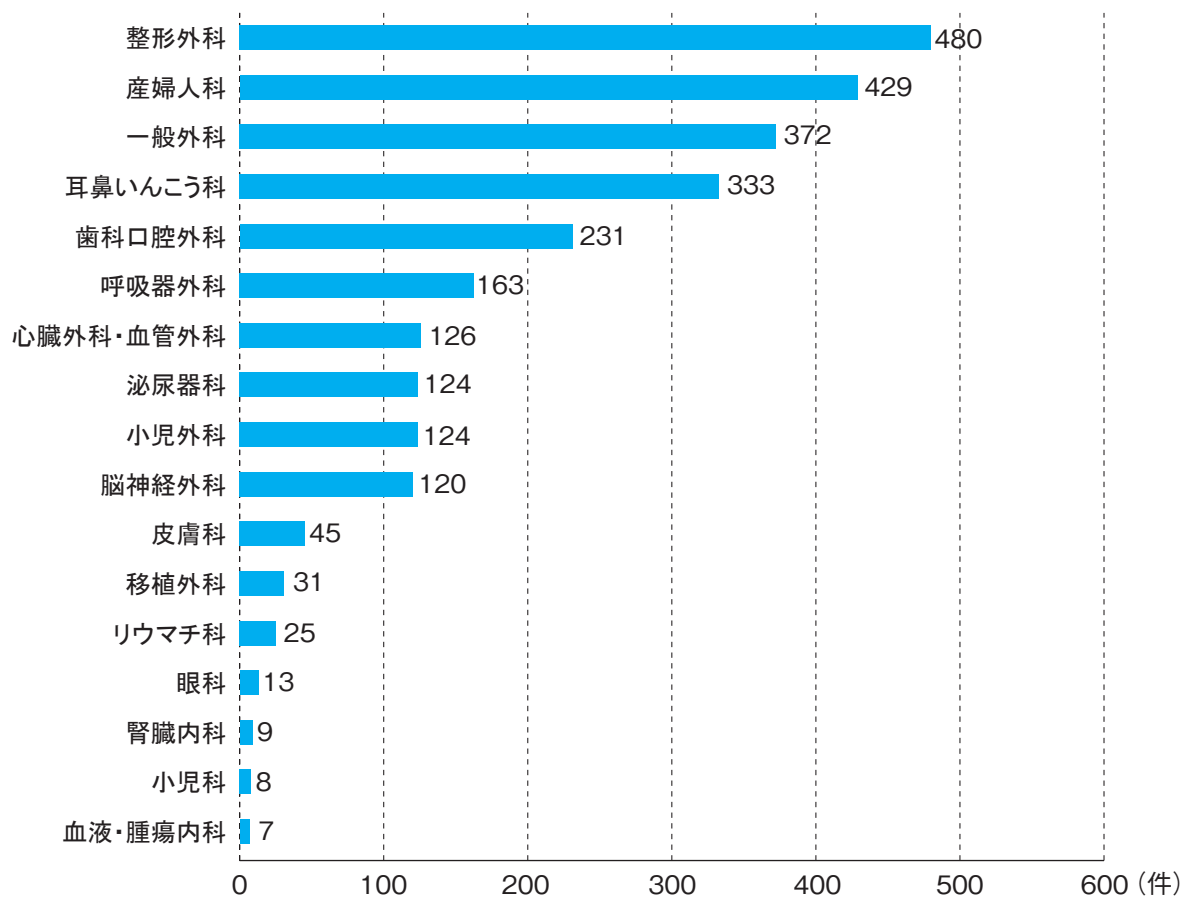
- (ア) テルモ社製ディプリバン専用 TCI ポンプ 16 台
- (イ) テルモ社製シリンジポンプ 80 台 (架台 14 式)

⑤ 挿管支援器具

- (ア) ペンタックス社製 エアウェイスコープ 10 台
- (イ) McGRATH MAC 32 台 (手術室以外の主要部署にも配置)

(2) 科別麻酔科管理症例数

総数：2,640件



リハビリテーション科

1. 概要

リハビリテーション科の診療はリハビリテーションセンターと、院内各病棟のベッドサイドで行っている。

外来診療は、市内の病院・医院では行っていない小児の運動・言語発達遅滞及び神経難病を中心として行う。また、当院入院中のリハビリを外来で継続する場合もある。

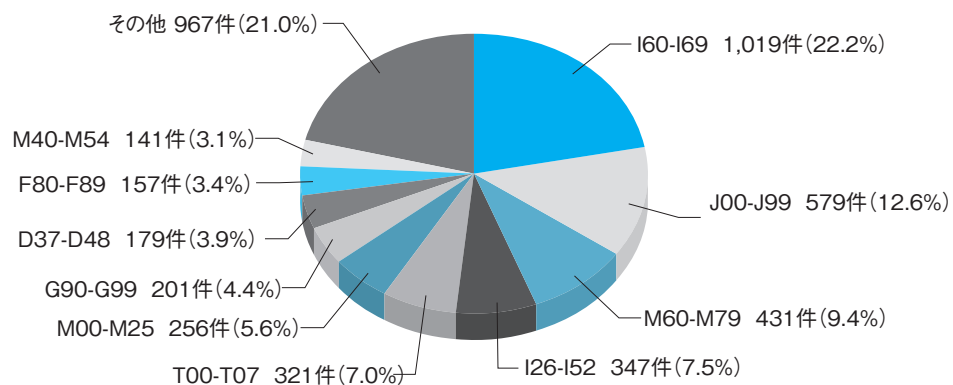
入院診療は、脳卒中、頭部外傷、脳神経や脊髄神経の疾患の脳血管リハビリ、骨・関節の外傷や疾患への運動器リハビリ、心筋梗塞・狭心症や心不全の心大血管リハビリ、肺炎や慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器リハビリ、また嚥下障害に対する嚥下リハビリを行っている。当院では、急性期リハビリが中心であり、地域連携パスを通じて回復期リハビリ病棟を持つ病院に転院できるシステムが整えられている。

2016年には、がん治療目的に入院されている方への個別療法であるがん患者リハビリに対応可能なスタッフを増員した。また、入院患者の日常生活動作を維持・向上するためのリハビリ体制構築を準備している。

(部長 石川 知志)

2. 新規登録疾患

総数：4,598件



ICD-10 中間分類項目
I60-I69：脳血管疾患
J00-J99：呼吸器系の疾患
M60-M79：軟部組織障害
I26-I52：循環器系の疾患
T00-T07：多部位の損傷
M00-M25：関節障害
G90-G99：神経系のその他の障害
D37-D48：性状不詳または不明の新生物
F80-F89：心理的発達の障害
M40-M54：脊柱障害

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数 5,010人

病理診断科

1. 概要

病理診断科は生検や手術検体の病理組織診断、術中迅速診断、細胞診検査、病理解剖を行っている。また、病理診断科を選択した研修医の実習・教育及び臨床各科から依頼された学術報告への協力、院内カンファレンスへの参加も同時に行っている。これらの業務を常勤病理医1名と非常勤病理医5名で行った。非常勤病理医は浜松医大から1名、名古屋大学から3名、藤田保健衛生大学から1名派遣された。

2016年の病理組織検査の依頼件数は12,299件で、そのうち術中迅速診断は520件であった。病理解剖は23件で、定期的にCPCを開催し、臨床各科を交えて、症例の診断・治療、病態・死因についての詳細な検討を行った。CPCは研修医の教育の場としても重要で、研修医が一例以上を担当し、症例の発表・報告を行った。提示症例は貴重例が多く教育的効果は大きいものがあった。さらに剖検診断結果は日本病理学会が刊行している日本病理剖検輯報に掲載され、広く医学に貢献している。

(部長 前多 松喜)

臨床検査科

1. 概要

2012年より臨床検査科が開設された。以来、検体検査管理加算（Ⅰ）・（Ⅳ）算定の許可を受けている。2014年度に日本臨床検査医学会臨床検査管理医を取得している。

高度医療に対応するため、臨床検査の正確度の維持向上を目的とし、内部精度管理、外部精度管理の充実を目標としている。外部精度管理として日本医師会・日本臨床衛生検査技師会・愛知県臨床検査技師会の精度管理調査に参加しており、2016年度も優秀な成績をおさめている。

検体検査に基づいたパニック値や重大な結果等は直ちに臨床側に報告され、迅速な対応に協力している。場合により、個別に追加対応を担当医師に相談し、適切な診療に役立てていただいている。2016年より尿沈渣検査が24時間可能となった。

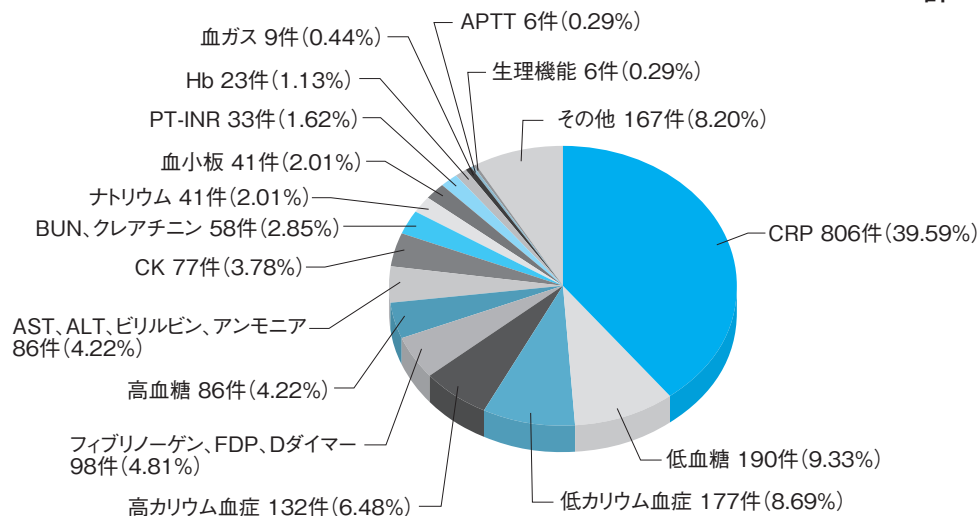
また、症例検討を含む勉強会を定期的に行い、中央臨床検査室の臨床的知識・能力の向上のため尽力している。豊橋市立看護専門学校の講義に参加している。

(副部長 出井 里佳)

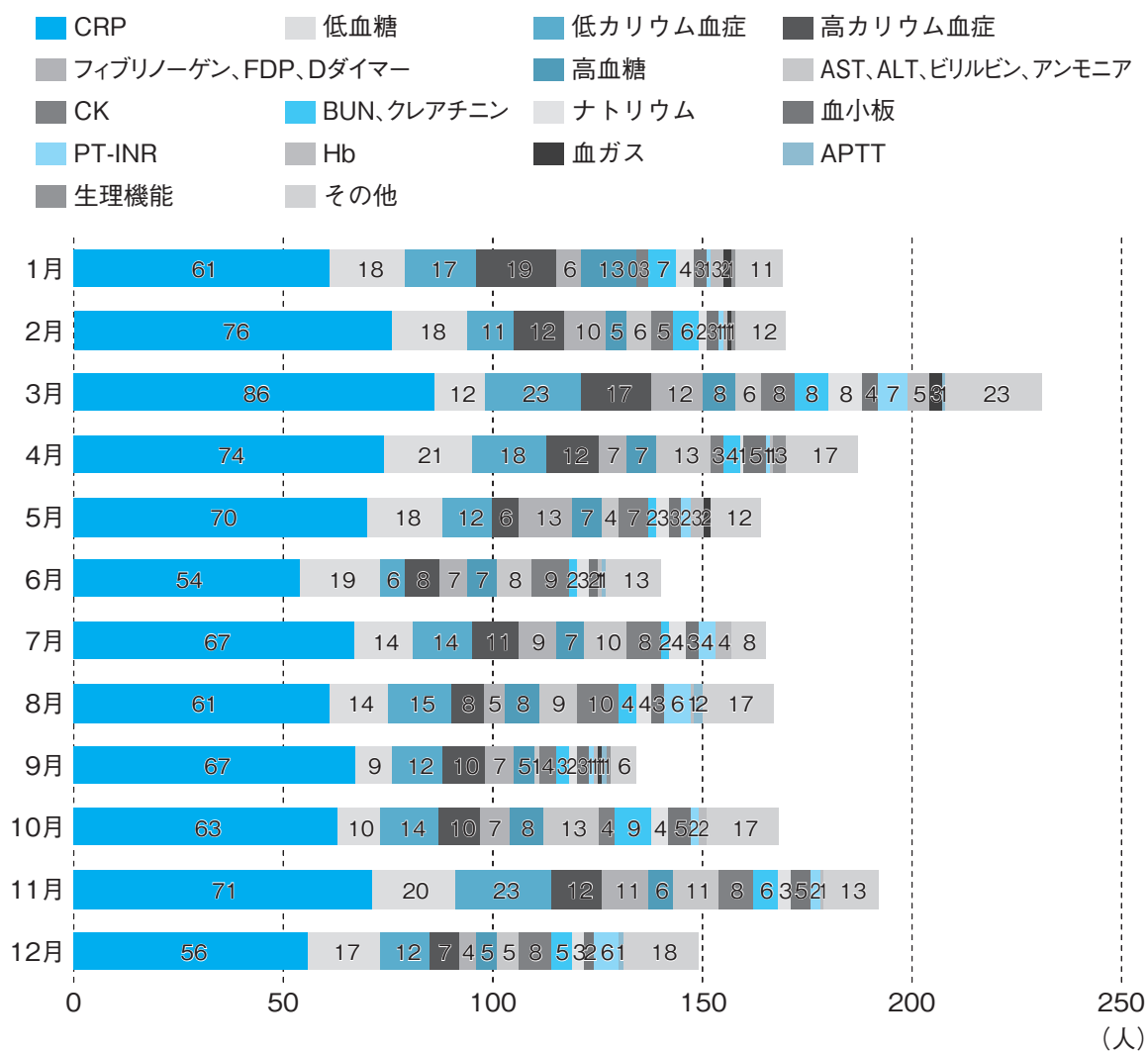
2. 活動報告

(1) パニック値頻度

計：2,036件



(2) 月別パニック値報告



(3) 中央臨床検査室勉強会

開催月	議 題
1月	高CRP血症
2月	高CRP血症
5月	高クレアチニン血症
6月	高クレアチニン血症
7月	高AST、ALT血症
8月	高AST、ALT血症
10月	高アルカリフォスファターゼ血症
11月	高アルカリフォスファターゼ血症
12月	高カリウム血症

歯科口腔外科

1. 概要

外来初診症例においては昨年度よりも増して豊橋市内外の医科や歯科から多くの紹介をいただき、全体として増加を認めた。口腔外科的疾患の各分野においてほぼ例年通りの安定した患者数を維持している。特に、外傷はここ数年で増加傾向にある。可及的早期対応・早期治療・質の高い医療の提供を目指し、今後も関連各科との密な連携を進めてゆく予定である。また、歯科的分野においては昨年に比べて院内患者の周術期口腔管理の依頼件数が増加している。DPCの導入により今後もさらなる増加が見込まれると予想され、周術期における口腔の合併症予防のためにも院内医科との連携を密に取りつつ今後も継続してゆく予定である。

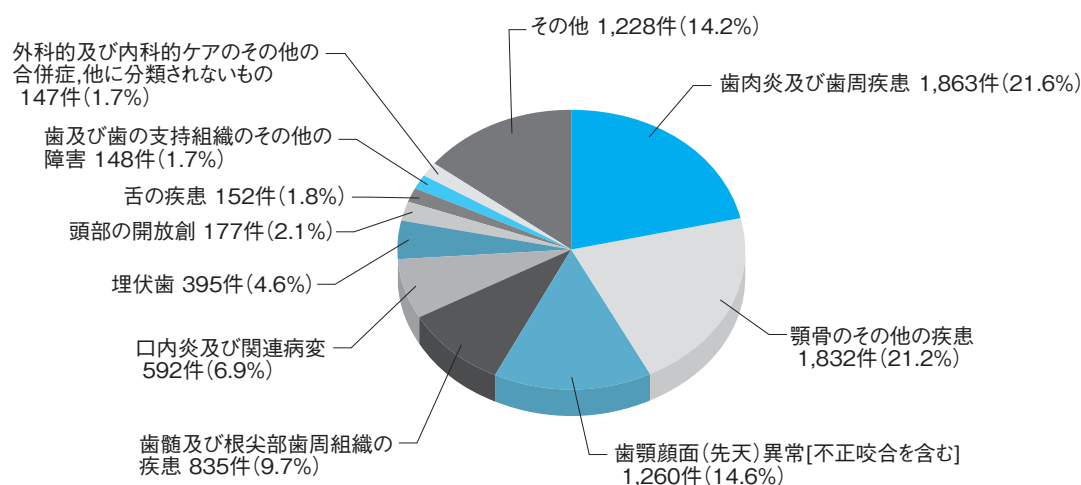
入院症例では、各疾患分野において多少の増減はあるが全体としてはやや減少した。これには外来通院下での比較的軽度な手術症例が昨年度に比べて多かったためと思われる。

(部長 嘉悦 淳男)

(文責 副部長 寺沢 史誉)

2. 新規登録疾患

総数：8,629件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
歯肉炎及び歯周疾患	慢性歯周炎	1,840	K053
	急性歯周炎	13	K052
顎骨のその他の疾患	炎症性顎骨病態	1,815	K102
	顎骨の発育性障害	12	K100
歯顎顔面(先天)異常[不正咬合を含む]	歯の位置異常	1,003	K073
	顎関節障害	244	K076
歯髄及び根尖部歯周組織の疾患	慢性根尖性歯周炎	748	K045
	歯根のう胞	55	K048
口内炎及び関連病変	その他の型の口内炎	566	K121
	口腔の蜂巣炎及び膿瘍	15	K122
埋伏歯	埋伏歯	381	K011
頭部の開放創	口唇及び口腔の開放創	176	S015
舌の疾患	舌痛	137	K146
	舌炎	10	K140
歯及び歯の支持組織のその他の障害	事故,抜歯又は局所の歯周疾患による歯の喪失	96	K081
	歯及び歯の支持組織のその他の明示された障害	25	K088
外科的及び内科的ケアのその他の合併症,他に分類されないもの	外科的及び内科的ケアのその他の明示された合併症,他に分類されないもの	147	T888

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	14,761人	年間外来新患者数	3,111人
年間入院患者数	2,320人	年間入院新患者数	408人

(2) 外来・入院症例数

①外来初診

疾患名	件数(件)
口腔管理	1,101
口腔歯の形態異常	1,091
一般歯科疾患	622
外傷	402
粘膜疾患	181
炎症感染症	175
顎関節疾患	144
嚢胞	111
良性腫瘍	99
神経疾患	58
唾液腺疾患	58
顎顔面の形態異常	52
悪性腫瘍	19
口腔機能疾患	16
唇顎口蓋裂	15
その他	5
計	4,149

②入院

疾患名	件数(件)
智歯関連	139
嚢胞	35
悪性腫瘍	32
一般歯科疾患	28
炎症	22
良性腫瘍	22
外傷	21
唇顎口蓋裂	14
顎顔面の形態異常	10
歯口腔の形態異常	8
唾液腺疾患	5
顎関節疾患	1
粘膜疾患	1
神経疾患	1
その他	9
計	348

医療安全管理室

1. 概要

医療安全管理室は、2005年4月、医療安全の推進を図るため院長直属の専門部署として設置された。医療の基本条件・最優先課題とされる「患者の安全を確保すること」の実現に向け、副院長を室長として、5名の専従職員と4名の兼務職員による10名で組織されている。

患者さんが安心して安全で質の高い医療を受けられる環境を整備することを目標として、医療事故の発生原因を発見し、不断に改善することによって発生を未然に防ぐ取り組みを行っている。

目標の達成に向け、インシデント・アクシデント報告の内容を検討・分析し医療安全対策に反映させ、かつ、職員の意識啓発のため「医療安全管理たより」を全職員に配信し周知している。また、院内安全ラウンドを実施し、安全な環境が確保できているか確認している。さらに、医療事故発生防止のための講習会を年7回開催している。一方、発生した医療事故については、原因究明・解決のため「事例検討会」を開催し、患者・家族への説明を行うほか、医療訴訟事案への対応などの業務を行っている。

(室長 大野 修)

2. 活動報告

(1) 医療安全管理たより (13通配信)

配信日	タイトル
4月15日	使用済みのシリンジは再使用できないように処理すること！
	食事トレイの下膳に注意
4月20日	深部静脈血栓予防を確実に
5月11日	脂肪乳化剤に他の薬剤を混合しない
	ポンプ使用時の注意
7月26日	点滴使用時の注意
10月4日	内部監査を実施しました
10月17日	口腔ケアの際には注意しましょう！
11月29日	埋込み型ペースメーカーおよび埋込み型除細動装置装着患者とCTについて (NO.1)
1月5日	埋込み型ペースメーカーおよび埋込み型除細動装置装着患者とCTについて (NO.2)
2月10日	手術・検査前の中止薬について
2月14日	胸水に対する胸腔穿刺について
3月7日	膀胱留置カテーテルを固定する前には尿の流出を確認すること！

(2) 院内安全ラウンド（18回実施）

回	日付	訪問病棟
1	5月17日	東西2階・東西3階
2	6月7日	東西4階・東西5階
3	6月21日	東西6階・東西7階
4	7月5日	東西8階・東西9階
5	7月19日	手術センター・NMC・救急外来センター・画像検査室
6	8月2日	薬局・リハビリセンター・南病棟
7	8月16日	放射線検査室・外来1階・外来治療センター・放射線外来
8	9月6日	中央臨床検査室・外来2階・血液浄化センター・予防医療センター
9	9月20日	内部監査
10	10月4日	東西2階・東西3階
11	10月18日	東西4階・東西5階
12	11月1日	東西6階・東西7階
13	11月15日	東西8階・東西9階
14	12月6日	手術センター・NMC・救急外来センター・画像検査室
15	12月20日	薬局・リハビリセンター・南病棟
16	1月17日	放射線検査室・外来1階・外来治療センター・放射線外来
17	2月7日	中央臨床検査室・外来2階・血液浄化センター・予防医療センター
18	2月21日	内部監査フォローアップ

卒後臨床研修センター

1. 概要

今年度は、多くの改革を実施。指導体制では、研修委員会3回と外部委員を招いた管理委員会を年3回開催。指導医体制では、メンター指導医制度および専任指導医制度を導入。研修内容では、10月にセミナー室3室とスキルスラボ2室からなるシミュレーション研修センターが完成した。外来研修の充実にも取り組んだ。本年度初めて2年次に「基本的臨床能力評価試験」を受験させて優れた成績を得た。評価システムでは、研修委員会、管理委員会ごとに到達目標の達成率を算出して報告するとともに研修医へフィードバックした。研修記録では、研修医が自ら到達目標を確認し進捗管理できるように、「私の初期研修記録」ファイルを作成し各自管理とした。

研修医確保のため、臨床研修病院合同説明会への参加、医学生向け院内病院説明会、高校生を対象とした1日医師体験などを開催し積極的に情報発信を行った。その結果、マッチングリスト上位の学生で定員を満たすことができた。

平成29年度は、初期臨床研修センターと後期臨床研究センターに分けるとともに、新たにシミュレーション教育センターにセンター長と副センター長を任命する。また、卒後臨床研修評価機構の2回目の更新を受審する。

(センター長 杉浦 勇)

2. 活動報告

(1) 定期委員会

平成28年7月～平成29年3月	研修管理委員会	*全3回
平成28年5月～平成29年2月	研修委員会	*全3回
平成28年6月～平成29年1月	研修医ミーティング	*全5回

(2) 行事

平成28年4月1日～8日	初期臨床研修医オリエンテーション
平成28年4月1日	初期臨床研修医歓迎会
平成28年4月～9月	救急医学講座 *全21講座
平成28年5月5日	東海北陸地区臨床研修病院合同説明会(レジナビ) *当院ブース来場者 147人
平成28年7月9日	医学生向け 病院説明会(院内) *参加者 28人
平成28年8月24日	高校生1日医師体験 *参加者 12人
平成28年8月25日	平成29年度採用初期臨床研修医採用試験 *受験者数 医科35人 歯科2人 *マッチング数 医科17人 (フルマッチ) 歯科1人 (フルマッチ)
平成28年9月25日	シミュレーション研修センター開設 (スキルスラボ2室、セミナー室3室)
平成29年2月3日	基本的臨床能力評価試験 受験 受験者数 9人 総合順位 26位(380病院中)

平成 29 年 3 月 13 日
平成 29 年 3 月 31 日

心臓診察シミュレータ イチローⅡ 勉強会開催
平成 27 年卒初期臨床研修修了
* 進路 院内 医科 13 人、歯科 1 人
院外 医科 4 人

救急外来センター

1. 概要

当院の救命救急センターは、東三河地区唯一の救命救急センターとして、1次から3次までのあらゆる救急患者に対応している。救命救急センターは、主に救急外来センターと重症例が入院する救急入院センター・集中治療センターに分かれ、24時間体制をとっている。またヘリポートを併設しているため、東三河全域より、ドクターヘリまたは防災ヘリにて重症救急患者を受け入れているのが特徴である。

救急外来センターでは、医学生、研修医、地域の救急救命士等に対して毎朝カンファレンスを行い、また月例のICLSコース（突然の心停止に対して直ちに行う処置）を開催しており、院内医療スタッフ、地域救急隊ともに、質の向上を目指している。

（センター長 鈴木 伸行）

2. 活動報告

(1) 年齢区分別救急外来受診患者数

診療科	15歳未満		15歳以上 65歳未満		65歳以上		計
	患者数(人)	構成比率(%)	患者数(人)	構成比率(%)	患者数(人)	構成比率(%)	
総合内科	22	1.2	1,247	66.3	611	32.5	1,880
呼吸器内科	4	0.2	867	46.6	988	53.2	1,859
消化器内科	15	0.5	1,576	55.2	1,267	44.3	2,858
循環器内科	1	0.1	312	28.4	784	71.5	1,097
腎臓内科	0	0.0	91	45.5	109	54.5	200
糖尿病・内分泌内科	0	0.0	87	46.0	102	54.0	189
神経内科	3	0.2	582	42.2	795	57.6	1,380
血液・腫瘍内科	0	0.0	45	31.0	100	69.0	145
一般外科	65	6.2	459	44.0	519	49.8	1,043
小児外科	5	100.0	0	0.0	0	0.0	5
肛門外科	0	0.0	2	66.7	1	33.3	3
呼吸器外科	2	1.1	103	54.8	83	44.1	188
心臓外科・血管外科	0	0.0	21	33.9	41	66.1	62
移植外科	0	0.0	16	88.9	2	11.1	18
整形外科	439	14.1	1,707	55.0	960	30.9	3,106
リウマチ科	0	0.0	5	41.7	7	58.3	12
形成外科	1	12.5	5	62.5	2	25.0	8
脳神経外科	568	32.4	571	32.6	612	35.0	1,751
小児科	4,218	97.9	90	2.1	0	0.0	4,308
産婦人科	8	0.8	907	93.5	55	5.7	970
耳鼻いんこう科	292	19.5	815	54.3	393	26.2	1,500
眼科	106	20.6	300	58.4	108	21.0	514
皮膚科	262	18.2	833	57.7	348	24.1	1,443
泌尿器科	27	2.6	537	51.6	477	45.8	1,041
歯科口腔外科	102	31.2	151	46.2	74	22.6	327
こころのケア科	3	6.7	37	82.2	5	11.1	45
計	6,143	23.7	11,366	43.8	8,443	32.5	25,952

(2) ICLS 参加人数 (受講者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
ICLS回数	第123回		第124回	第125回	第126回	第127回	第128回	第129回	第130回	第131回	第132回	第133回	
開催日	4月7日		6月9日	7月14日	8月18日	9月8日	10月13日	11月17日	12月6日	1月12日	2月9日	3月9日	
院内(人)	18		9	7	6	8	7	7	7	8	8	7	92
院外(人)	0		0	1	0	5	1	0	0	0	5	3	15
計(人)	18		9	8	6	13	8	7	7	8	13	10	107
スタッフ(人)	12		10	6	8	9	7	7	8	5	10	14	96

(3) 東三河外傷セミナー (JPTEC)

①第 60 回 三河外傷セミナー JPTEC プロバイダーコース

開催日 : 平成 28 年 6 月 4 日 (土) 8:30 ~ 18:20

場所 : 豊橋市立看護専門学校

責任者 : 豊橋市民病院 鈴木 伸行

受講数 : 研修医 18 人、看護師 5 人 受講・修了

②事前勉強会 (セミナー対策) 計 4 回

開催日 : 平成 28 年 5 月 13 日、18 日、23 日、6 月 1 日

(4) BLS (一次救命処置) 講習会

① AHA・BLS ヘルスケアプロバイダーコース

開催日 : 平成 28 年 6 月 18 日 (土) 10:00 ~ 17:00

受講数 : 研修医 18 人、看護師 4 人 受講・修了

救急入院センター

1. 概要

救急入院センターは2013年度より設置され、センター長 平松和洋（一般外科兼任）、副センター長 中島基晶（麻酔科兼任）、菅沼伸一（呼吸器内科兼任）で運営し、現在に至っている。当センターはICUに隣接し、ICU適応以外の夜間・休日の救急入院患者の受け皿として機能している。基本的に各科主治医が患者の診療を行い、センターメンバーは主に本センターの管理・運営を主体として活動している。実働病床は2013年以来、継続して12床で運営してきており、救命救急入院料算定件数においては、2013年度は2,713件、2014年度は1,950件、2015年度は1,591件、2016年度1,282件と開設以来3年連続減少傾向にある。2016年4月から2017年3月までの各月の推移は以下のグラフのごとくである。加算の多くは例年通り3日以内で、昨年の統計と比べると今年は7月、2月の真夏と真冬に2回のピークがあった。夏から秋にかけて減少する傾向は変わっていない。月ごとや加算内容に大きな変化はなく、減少は救急患者全体の減少によるものと考えられた。

例年通り本センターの当直体制はセンターのメンバーだけでなく各科部長等にも委託して行い、夜間入院患者の救急処置に当たってきたが、2016年度は特に大きな問題なく経過した。

（センター長 平松 和洋）

2. 活動報告

(1) 年齢別受診患者数

診療科 区分	内科		外科		心臓血管・ 呼吸器外科		脳神経外科		その他		計	
	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)
80歳以上	679	34.1	166	23.2	78	11.3	130	13.8	95	16.8	1,148	23.4
70～79歳	496	24.9	207	28.9	252	36.4	256	27.3	100	17.6	1,311	26.7
60～69歳	368	18.4	135	18.9	168	24.3	234	24.9	133	23.5	1,038	21.2
50～59歳	195	9.8	93	13.0	53	7.7	124	13.2	50	8.8	515	10.5
40～49歳	111	5.6	28	3.9	55	7.9	79	8.4	29	5.1	302	6.2
30～39歳	106	5.3	34	4.7	80	11.6	23	2.4	49	8.6	292	5.9
20～29歳	34	1.7	35	4.9	3	0.4	30	3.2	35	6.2	137	2.8
10～19歳	4	0.2	17	2.4	3	0.4	54	5.8	27	4.8	105	2.1
0～9歳	0	0.0	1	0.1	0	0.0	9	1.0	49	8.6	59	1.2
計	1,993	100	716	100	692	100	939	100	567	100	4,907	100

*集中治療センターも含む

(2) 救命救急入院料算定件数

点数名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
救命救急入院料 (3日以内)	100	73	81	110	80	79	79	75	85	97	90	93	1,042
救命救急入院料 (4日以上7日以内)	3	16	19	15	11	4	11	8	7	9	23	15	141
救命救急入院料 (8日以上14日以内)	4	11	11	0	19	11	7	14	1	2	18	1	99
計	107	100	111	125	110	94	97	97	93	108	131	109	1,282

集中治療センター

1. 概要

当院は、東三河地域の急性期病院として位置付けられている。その中でも、集中治療センターは最重症患者を診ることのできる設備を有しており、地域における「最後の砦」といっても過言ではない場所である。そこでの診療には、常に正確な知識と技術が要求される。また、その要求に応えることは、そこで働く者にとって義務といえる。そして、それを実現する原動力は、何より患者に対する真摯な気持ちであり、このことをスタッフ同士常に認識し日常の診療に努めたい。

(センター長 中山 雅人)

2. 活動報告

(1) 入院患者の主病名分類

大 分 類	件数(件)
感染症および寄生虫症 (A00-B99)	22
新生物 (C00-D48)	443
血液および造血器の疾患ならびに免疫機構障害 (D50-D89)	0
内分泌、栄養および代謝疾患 (E00-E90)	14
精神および行動の障害 (F00-F99)	0
神経系の疾患 (G00-G99)	65
眼および付属器の疾患 (H00-H59)	0
耳および付属器の疾患 (H60-H95)	0
循環器系の疾患 (I00-I99)	481
呼吸器系の疾患 (J00-J99)	56
消化器系の疾患 (K00-K93)	124
皮膚および皮下組織の疾患 (L00-L99)	1
筋骨格系および結合組織の疾患 (M00-M99)	55
腎尿路生殖器系の疾患 (N00-N99)	10
妊娠、分娩および産褥 (O00-O99)	11
周産期に発生した病態 (P00-P96)	0
先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	15
症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	8
損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	213
傷病および死亡の原因 (V01-Y98)	0
健康状態に影響をおよぼす要因および保険サービスの利用 (Z00-Z99)	0
計	1,518

周産期母子医療センター（母体・胎児部門）

1. 概要

愛知県より東三河初の総合周産期母子医療センターに指定されてから3年が経過した。東三河の周産期医療の基幹病院として多くの母体搬送や産褥搬送を受け、小児科医師とともに対応し治療を行っている。総合周産期母子医療センターに指定されると、産婦人科医師2名の当直が必要となるので、当直回数が倍に増え、医師の負担が増加した。また超緊急帝王切開は、帝王切開が必要と診断してから30分以内に児を娩出することが義務付けられており、これは24時間体制で行わねばならない。小児科医師、麻酔科医師、手術室看護師、産科病棟看護師の協力のもとで現在順調に症例数を伸ばしている。母体搬送応需率は高く、県内6つの総合周産期母子医療センターの中で最も高い応需率を達成している。今後も高度な周産期医療を提供できるように努力していきたい。

（センター長 河井 通泰）

2. 活動報告

(1) 主な症例数

	平成28年1月～3月	平成28年度
超緊急帝王切開	2件	20件
うち30分以内児娩出	2件	20件
うち他施設からの搬送	1件	8件
母体死亡	0件	0件
母体搬送受け入れ	55件	209件
母体搬送応需不可	0件	1件
母体搬送応需率	100%	99.5%

周産期母子医療センター（新生児部門）

1. 概要

当院新生児医療センターはNICU12床を擁し、愛知県から東三河唯一の総合周産期母子医療センター（新生児部門）に指定され、東三河新生児医療の中心的役割を担っている。重症な児を遠方に搬送することは児の予後に悪影響を及ぼすことから、入院依頼を受けた児は対応可能な疾患である限り断らないことをポリシーとし、最後の砦としての役割を果たしている。また、地域の新生児医療のレベルアップを図ることも重要な役割と考え、地域で周産期医療に携わる医師、助産師、救急隊員などを対象に、新生児蘇生法講習会を開催した。センター長（新生児部門）の小山典久は愛知県周産期医療協議会会長として、県の周産期医療体制整備や計画立案にも参画している。厚生労働省は出生1,000人に対して2.5から3床のNICUが必要と公表している。これを受け愛知県では2015年度末までに県内のNICUを180床以上（210床程度まで）に増床する整備計画を立てていたが未達成である。東三河に必要なNICUは15から18床と試算されており、今後の整備が期待される。

（センター長 小山 典久）

総合生殖医療センター

1. 概要

当院で体外受精などの生殖補助医療（ART）がスタートしたのは1996年であり、2016年に20周年を迎えた。当院でのARTにより少なくとも2015年までに933人の赤ちゃんが誕生したが、最近では数値的な実績だけでなく、タイムラプスインキュベーターの世界初全例導入をはじめ、「最先端の生殖医療を東三河に」を合言葉に、健全な家族形成を地域での医療で完結するという生殖周産期医療の理想を旗印として、関連する医師やコ・メディカルスタッフが集結して、生まれてくる子どものことを第一に考えた基本軸のしっかりした医療を実践すべく、難しいケースにも的確に対応できるよう日々研鑽を重ねている。

（センター長 安藤 寿夫）

リハビリテーションセンター

1. 概要

リハビリテーションセンターは診療部門、理学療法部門、作業療法部門、言語聴覚療法部門で構成されている。診療部門は、診察、リハビリ処方を行う。理学療法部門は、起居動作・移動動作など基本的動作能力回復目的の運動療法や呼吸器疾患、心疾患における合併症・術後の二次的障害予防・機能回復を目指した特殊な運動療法を行う。また筋電図、重心動揺検査、筋力測定、心肺運動負荷試験など身体機能を評価する。作業療法部門は、生活における動作の獲得、家事動作や職業への復帰目的の訓練・援助を行う。上肢の機能評価、記憶障害・注意障害・遂行機能障害など高次脳機能障害の評価、知能検査にも対応する。言語聴覚療法部門は、脳血管疾患や脳の外傷、あるいは発声器官の障害により失語症や構音障害を生じた患者、言語発達の遅れや口唇口蓋裂の小児に対する言語訓練を行う。また、摂食・嚥下障害の機能回復目的の訓練・指導をしている。

(センター長 石川 知志)

2. 活動報告

(1) 利用状況

区 分	平成28年度	平成27年度	平成26年度
延患者数(人)	97,411	93,731	92,919
1日平均(人)	400.9	385.7	380.8
外来開院日数	243日	243日	244日

※病院事業収支及び活動状況（報告）より抜粋

血液浄化センター

1. 概要

当センターの診療内容は、一般的な透析業務（末期腎不全の透析導入、入院患者の維持透析、急性腎不全の血液浄化）のみではない。血漿交換・免疫吸着等も病態に応じて行っている。最近では、腎不全以外の膠原病・HUS/TTP・ギランバレー症候群・炎症性腸疾患等で、院内の多くの科から血液浄化の依頼が増えている。

当然、少人数の腎臓内科医だけでは業務を遂行できず、移植外科から多大な支援を受けている。また、臨床工学技士や看護師（血液浄化センターのみならず、外来やICUを始めとする病棟も）等のコミューナルの協力なくしては、当センターの運営が成り立たない事は言うまでもない。

入院透析患者は外来維持透析患者に比し、膨大な医療資源を費やすことから、現状では受け入れに限界があることは認めざるを得ないが、基幹病院としてその責務を果たすべく、今後もスタッフ一同最善を尽くす所存である。

（センター長 山川 大志）

予防医療センター

1. 概要

予防医療センターでは、主に、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、眼科、歯科口腔外科など各科の専門医のもと、一般的な人間ドック（二日ドック、日帰りドック）を高い精度をもって行い、糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病やがんなどの悪性腫瘍の早期発見・早期介入に努めている。脳ドック、女性ドック（乳がん・子宮がん）、肺がん検診は、それぞれ脳神経外科、外科、産婦人科、呼吸器内科、放射線科の専門医と連携して行っている。

また、就職・進学・海外留学・海外出張・免許取得・施設入所時などの健康診断、被爆者健診、企業の定期健康診断、有機溶剤等健康診断、当院職員の院内健診など様々な健康診断を各科と連携しながら行っている。

さらに、予防医療として、インフルエンザワクチン、B型肝炎ワクチン、破傷風ワクチンをはじめとする各種ワクチンの接種を実施している。

一方、健康診断事業の一環として、当院の患者をはじめとする広く一般の方々の健康管理意識の高揚と健康の増進に寄与することを目的に「健康教室」を年2回開催している。

（センター長 鳥居 俊男）

2. 活動報告

(1) コース別受診者数

コース名	受診者数（人）
二日ドック	82
日帰り人間ドック	2,799
脳ドック	447
肺がん検診	30
女性の健康ドック	69
個人健康診断	558
全国健康保険協会生活習慣病予防健診 （旧 政府管掌生活習慣病予防健診）	1,648
原爆被爆者健診	66
企業団体健診（注1）	905

注1：企業団体契約、その他を含む。

(2) 受診対象者の内訳

①二日ドック

検査項目	対象者数(人)	要精密検査対象者数(人)	精密検査受診者数(人)	要治療者数(人)
眼 底	82	10	5	0
胸 部 X 線	82	5	3	0
胃 部 X 線	20	1	1	0
胃 カ メ ラ	62	8	4	4
腹 部 エ コ ー	82	6	1	0
安静時心電図	80	3	2	0
負 荷 心 電 図	77	5	2	0
便 潜 血	80	2	1	0

②日帰りドック

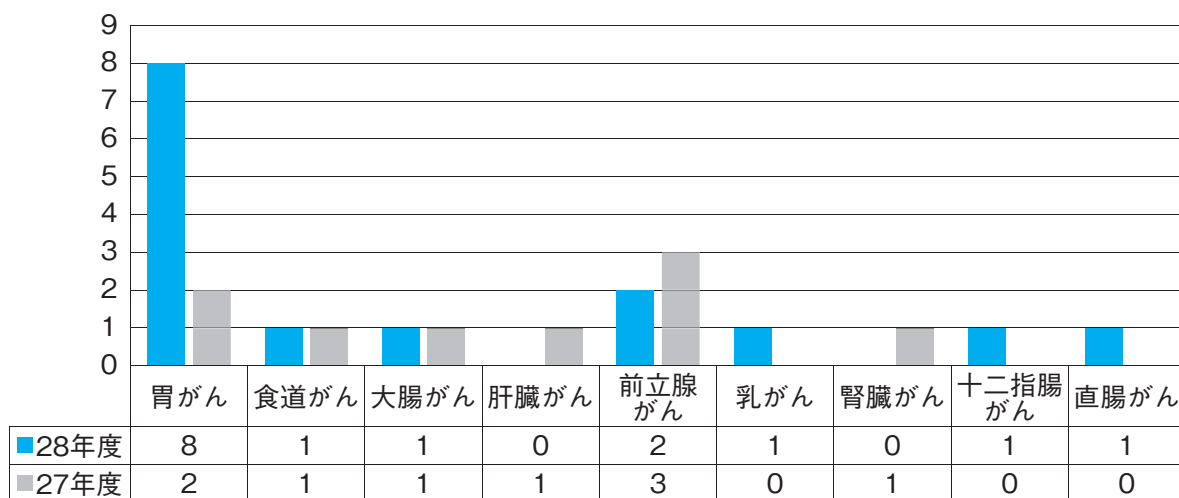
検査項目	対象者数(人)	要精密検査対象者数(人)	精密検査受診者数(人)	要治療者数(人)
眼 底	2,788	175	71	6
胸 部 X 線	2,787	80	44	0
胃 部 X 線	1,903	202	102	28
胃 カ メ ラ	797	75	31	26
腹 部 エ コ ー	2,573	98	58	3
安静時心電図	2,798	114	46	9
便 潜 血	2,732	114	61	16

③生活習慣病予防健診

検査項目	対象者数(人)	要精密検査対象者数(人)	精密検査受診者数(人)	要治療者数(人)
眼 底	78	5	2	0
胸 部 X 線	1,581	44	21	1
胃 部 X 線	1,384	187	89	20
胃 カ メ ラ	105	10	4	2
腹 部 エ コ ー	68	5	4	0
安静時心電図	1,591	77	21	2
便 潜 血	1,544	80	32	11

(3) 悪性新生物発見数

(人)



(4) メタボリック判定実施者

(人)

区 分	平成28年度	平成27年度
①基準該当	768	727
②予備軍該当	614	752
③非該当	3,073	4,617

輸血・細胞治療センター

1. 概要

輸血・細胞治療センターは、院内の輸血療法が適切に運用されるよう管理している。センターの業務には輸血関連検査業務、血液製剤およびアルブミン製剤の管理業務、輸血療法委員会の開催、院内監査の実施等が挙げられる。2015年にはI&A施設認定を取得し、規約等の整備を行った。

本年は、手術室、救命救急センター等で使用する血液製剤の廃棄率削減のため、自記温度記録装置を搭載した血液製剤搬送装置を2台購入した。また、2018年1月に更新される電子カルテ、輸血部門システムでは、現行の内容の充実を図るとともに、超緊急時の輸血体制の強化、造血幹細胞等の処理およびその保存管理、血液製剤の分割に対応可能な運用管理業務等を加えた。

(センター長 杉浦 勇)

2. 活動報告

(1) 定期委員会

輸血療法委員会開催 (2か月毎予定) * 6回実施

(2) センター業務実績

①輸血関連検査件数

平成 28 年度	件数(件)
血液型	17,637
不規則抗体スクリーニング	13,329
交差適合試験	5,533

②血液製剤使用状況

平成 28 年度	総単位数(単位)	前年比(%)
赤血球液 (RBC)	11,034	90
新鮮凍結血漿 (FFP)	3,782	84
濃厚血小板 (PC)	21,805	98

③アルブミン (ALB) 製剤使用状況

平成 28 年度	総本数(本数)	前年比(%)
25% ALB	1,438	109
5% ALB	741	78

*ALB 使用単位数：9,079 単位

*ALB/RBC=0.82 管理料 I 算定基準：2 未満

*FFP/RBC=0.30 管理料 I 算定基準：0.54 未満

④製剤廃棄率

平成 28 年度	廃棄率 (%)	前年比 (%)
赤血球液 (RBC)	45	0.75
新鮮凍結血漿 (FFP)	105	2.97
濃厚血小板 (PC)	32	0.53

⑤副作用集計報告

平成 28 年度	副作用報告件数(件)	実患者数(人)
赤血球 (RBC)	94	67
新鮮凍結血漿 (FFP)	29	10
濃厚血小板 (PC)	187	81

感染症管理センター

1. 概要

近年、薬剤耐性菌（以下：AMR）が国際社会で問題となっている。新たな AMR が増える一方で新しい抗菌薬の開発が減少しているのが理由である。2050 年には癌による死亡者を超え死因の第 1 位になると言われるようになってきた。この解決のために WHO は 2015 年 5 月に AMR グローバル・アクションプランを提唱し、加盟各国に 2 年以内の行動計画策定とその実行を求めた。厚生労働省は関係省庁と調整し、2016 年 4 月 5 日に我が国初となる『AMR 対策アクションプラン』を公表した。厚生労働省プランは医療機関内に抗菌薬適正使用チーム（以下：AST）を設置し、適切な抗菌薬の使用と使用量削減を促すものだった。

インфекション・コントロール・チーム（以下：ICT）の役割は病院内で発生する感染（医療関連感染）を防ぐことである。当然“AMR の制圧”も重要な役割となっている。厚生労働省プランを機に多くの医療機関で AST が動き始めている。2016 年の感染症管理センターは ICT に AST 機能を持たせるために奔走した。次年度から“カルバペネム系抗菌薬の適正使用…”等をはじめとした本格的な AST 活動を行うこととなる。

（センター長 浦野 文博）

（文責 高橋 一嘉）

2. 活動報告

(1) 感染症発生動向調査

① 全数報告

(件)

類型	疾患名	平成28年度	平成27年度	平成26年度
二類	結核	46	37	42
三類	細菌性赤痢	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	9	3	3
	パラチフス	0	0	0
四類	A 型肝炎	0	1	1
	つつが虫病	0	0	0
	デング熱	1	1	1
	マラリア	0	0	0
	レジオネラ症	2	8	3
五類	アメーバ赤痢	0	2	0
	ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）	0	0	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	0	1
	急性脳炎	0	0	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	0
	後天性免疫不全症候群	1	3	2
	侵襲性髄膜炎感染症	0	0	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	0	4
	梅毒	1	0	1
	破傷風	0	0	0
	風しん	0	0	1
	麻しん	0	2	0

②小児科定点報告

(件)

	疾患名	平成28年度	平成27年度	平成26年度
週報	RS ウイルス	115	192	108
	咽頭結膜熱	0	0	1
	A 群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	85	26	20
	感染性胃腸炎	787	770	176
	水痘	12	8	13
	手足口病	1	15	2
	伝染性紅斑	0	10	0
	突発性発疹	5	11	2
	百日咳	2	12	2
	ヘルパンギーナ	8	23	18
	流行性耳下腺炎	54	48	2

③基幹定点報告

(件)

	疾患名	平成28年度	平成27年度	平成26年度
週報	細菌性髄膜炎	6	7	2
	無菌性髄膜炎	1	2	1
	マイコプラズマ肺炎	17	28	29
	クラミジア肺炎	1	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	18	21	8
月報	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	137	182	195
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	1
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	1	0

④インフルエンザ定点報告

(件)

	疾患名	平成28年度	平成27年度	平成26年度
週報	インフルエンザ	804	486	916

⑤インフルエンザによる入院患者報告

(件)

	疾患名	平成28年度	平成27年度	平成26年度
週報	インフルエンザ (入院患者)	116	77	115

⑥職員の感染曝露

(件)

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
針刺し・切創 (EPI-Net A)	61	58	54
皮膚・粘膜汚染 (EPI-Net B)	11	5	6
院内結核曝露	1	4	3

⑦職員健康外来

(件)

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
延べ受診者数	125	136	136

外来治療センター

1. 概要

当センターは2006年5月より運用を開始。患者の増加に伴い、2013年1月に開設時の20床から22床に増床し現在に至る。化学療法部会で承認された治療レジメンを使用し、担当医師がオーダーし、薬剤師による薬剤監査をする。そのうえで治療当日に担当医自身が各科外来で患者の診察を実施し検査結果、一般状態を確認し調剤依頼をする。患者は当センターに移動して最終チェックを受けたうえで治療が開始される。初回治療時には薬剤師、看護師からの指導を受ける。

2016年度は、業務については曜日によっては希望通りに治療ができない場合がある以外は、大きな支障は起きなかった。化学療法部会では上記システムの円滑な運営のためにオーダー入力の日数厳守、また、安全な化学療法の実施のために、化学療法前のB型肝炎ウイルス検査の徹底についてPDCAサイクルを用いて改善した。現在は既感染者のHBV DNA測定を次のサイクルにあけて改善を目指している。

2017年には、念願の外来治療センターの拡充工事が予定されており、環境がさらに整備される。

(センター長 吉原 基)

(文責 前センター長 杉浦 勇)

2. 活動報告

(1)治療実績 月別集計表

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
平均年齢(才)		62.8	62.3	63.3	62.9	64.0	63.4	64.3	63.2	63.2	63.9	63.5	63.5		63.4	
男(人)		324	341	368	360	407	388	373	389	332	379	344	403	4,408	367.3	
女(人)		336	334	381	360	406	370	370	373	334	365	387	465	4,481	373.4	
がんに関する治療	内科	262	256	276	266	313	291	297	309	270	292	284	364	3,480	290.0	
	外科	217	223	284	244	284	266	256	247	206	247	236	257	2,967	247.3	
	泌尿器科	4	7	7	5	5	6	10	10	10	6	9	11	90	7.5	
	耳鼻いんこう科	6	7	13	13	16	19	18	13	14	12	11	13	155	12.9	
	婦人科	47	39	41	45	43	37	37	39	35	41	48	64	516	43.0	
	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	その他	16	18	13	13	14	10	11	11	13	15	14	17	165	13.8	
	小計	552	550	634	586	675	629	629	629	548	613	602	726	7,373	614.4	
	初回	41	55	51	43	76	53	58	46	40	63	51	64	641	53.4	
	内訳	乳腺	107	119	145	118	132	121	117	108	80	89	92	111	1,339	111.6
		大腸	77	76	108	98	114	108	96	98	86	108	101	119	1,189	99.1
		血液	125	121	131	134	154	140	138	151	127	139	144	196	1,700	141.7
		肺	75	70	76	68	90	81	92	86	81	89	81	100	989	82.4
		胆膵	60	55	63	57	67	63	60	68	64	66	59	59	741	61.8
		胃	38	32	33	31	38	43	51	43	38	44	41	35	467	38.9
前立腺		4	8	8	5	5	6	8	7	7	4	7	6	75	6.3	
その他		58	70	70	74	75	67	67	68	65	74	77	100	865	72.1	
がん以外の治療	内科	31	41	34	43	36	41	27	42	33	42	30	42	442	36.8	
	整形外科	1	0	3	16	36	13	14	18	10	17	15	5	148	12.3	
	リウマチ科	67	81	73	72	57	71	66	69	68	69	75	90	858	71.5	
	皮膚科	9	3	5	3	8	3	6	4	6	2	8	4	61	5.1	
	その他	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	7	0.6	
	小計	108	125	115	134	138	129	114	133	118	131	129	142	1,516	126.3	
合計(人)		660	675	749	720	813	758	743	762	666	744	731	868	8,889	740.8	
1日平均(人)		33.0	35.5	34.1	36.0	37.0	37.9	37.2	38.1	35.0	39.1	36.5	39.4	439	36.6	

手術センター

1. 概要

手術センターは、一人一人の患者さんに最良の手術が行われるよう各診療科・麻酔科医・病棟及び手術センターの看護師が連携を図っている。当センターは、地域や患者のニーズに応えるべく以下の特徴及び設備を整えている。

- ① 高度先進医療の施行
 - a 内視鏡下手術：関節鏡、耳鼻科内視鏡、腹腔鏡、胸腔鏡、膀胱鏡、神経内視鏡
 - b 移植手術：腎移植、副甲状腺移植
 - c 顕微鏡下手術：脳神経外科、耳鼻いんこう科、眼科
 - d ロボット支援下手術（ダヴィンチ）：外科、産婦人科、泌尿器科
 - e 脳死臓器提供手術
 - f ナビゲーション支援下手術：脳神経外科、耳鼻いんこう科
 - g O-arm 透視下に行う脊椎等の整形外科手術
 - h 不妊症に対する産婦人科手術
- ② 総合周産期母子医療センターの要望に応じ、30分以内に開始する超緊急手術に対応
- ③ 心臓病、肺疾患、肝疾患、腎疾患等重い合併症を有するハイリスク患者手術に対応
- ④ 研修機関病院として、研修医、医学生、看護学生、救命救急士などの見学や実習
- ⑤ 手術診療科 18（内科、一般外科、小児外科、呼吸器外科、心臓外科・血管外科、移植外科、整形外科、リウマチ科、形成外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、産婦人科（生殖医療）、耳鼻いんこう科、眼科、皮膚科、泌尿器科、歯科口腔外科）
- ⑥ 手術室 13（バイオクリーン・ルーム 1 室、採卵室 1 室）
- ⑦ 空気清浄度
 - a クラス 100（1 室）：整形外科で使用
 - b クラス 1000（1 室）：呼吸器外科、心臓外科・血管外科で使用
 - c クラス 10000（11 室）
- ⑧ スタッフ 看護師 48 名（2 交代制で、夜勤者 2 名、自宅待機 2 名体制）

2016 年度の主な実績としては、ロボット支援下手術（ダヴィンチ）を計 82 例施行した。また、超緊急枠を設け、全科の超緊急手術に対応できるようにしたことである。

2019 年度には血管撮影及び CT 撮影のできるハイブリット手術室（1 室）、内視鏡手術室（2 室）の増設を予定している。

（センター長 雄山 博文）

2. 活動報告

(1) 手術件数

診療科	件数(件)
一般外科	1,478
呼吸器外科	153
心臓血管外科	152
小児外科	125
移植外科	33
整形外科	1,317
リウマチ科	45
形成外科	7
脳神経外科	309
産婦人科	1,216
耳鼻いんこう科	410
皮膚科	106
泌尿器科	498
眼科	956
歯科口腔外科	400
生殖医療	486
内科	86
小児科	8
その他	2
計	7,787

麻酔別	件数(件)
全身麻酔	3,664
静脈麻酔	212
腰椎麻酔	1,349
局所麻酔	1,713
伝達麻酔	390
無麻酔	455
その他	4
計	7,787
(うち緊急手術)	1,135
割合	14.57%

(2) 腹腔鏡・胸腔鏡・関節鏡手術件数

診療科及び術式	件数(件)
一般外科	409
うちロボット支援下直腸腫瘍手術	11
うちロボット支援下胃悪性腫瘍手術	6
呼吸器外科	118
小児外科	82
整形外科	95
リウマチ科	0
産婦人科	426
うち腹腔鏡下子宮頸がん根治手術	0
うちロボットを用いた広汎子宮全摘術	5
うちロボット支援下子宮悪性腫瘍手術	2
うち腹腔鏡下広汎子宮全摘術	9
うち腹腔鏡下子宮がん手術	5
泌尿器科	118
うちロボット支援下前立腺全摘術	56
うちロボットを用いた腎悪性腫瘍手術	2
その他(移植外科)	7
計	1,255

口唇口蓋裂センター

1. 概要

当センターは唇顎口蓋裂を含む口腔先天性疾患、顎発育異常などに対する治療を担当している。豊橋市内外から多くの患者の紹介を頂いており、院内の産婦人科、小児科からの紹介も多い。

本疾患は長期の治療期間を要するため、出生してから成人するまでそれぞれの成長発育段階における様々な病態に合わせた治療を行っている。当センターでは出生直後より小児科、耳鼻いんこう科をはじめ、臨床他科の協力を仰ぎながら治療を行っている。また院内はもとより、市中の医科歯科関連の医療施設と密接に連携を保ちながら円滑に治療が進むよう当センターが中核となってその対応を行っている。一次症例だけでなく他院で治療を受けた二次症例でも積極的に対応しており、外来初診症例数や入院症例数は、ともにほぼ例年通りの安定した患者数を維持している。

(センター長 嘉悦 淳男)

(文責 歯科口腔外科副部長 寺沢 史誉)

2. 活動報告

①外来初診症例数

疾患名	件数(件)
唇(顎)裂	2
口蓋裂	4
唇顎口蓋裂	6
その他の唇顎口蓋裂	3
計	15

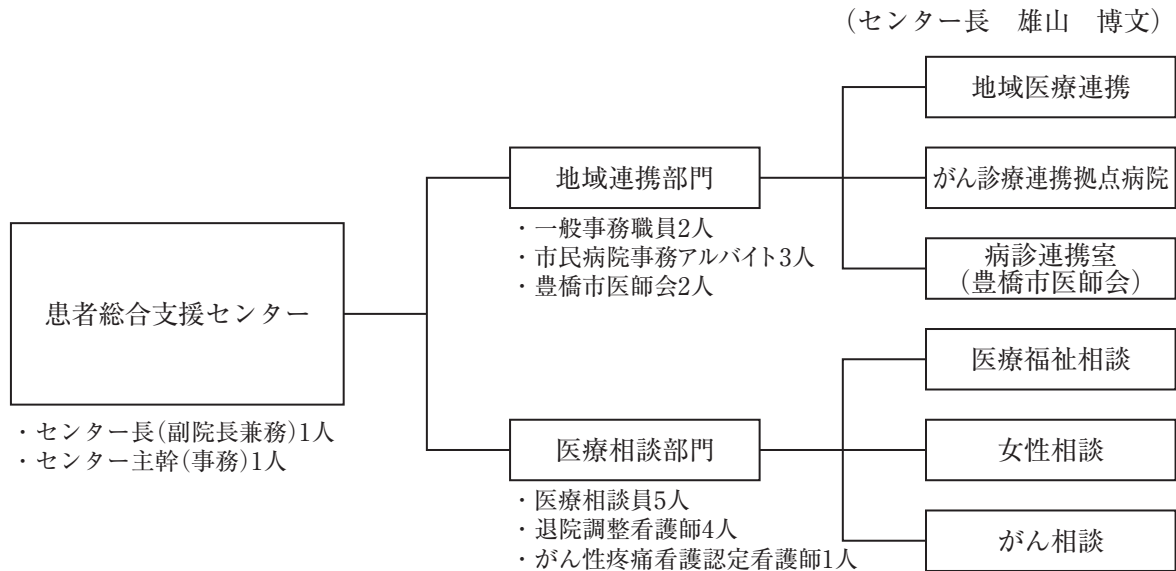
②入院症例数

疾患名	件数(件)
唇(顎)裂	3
口蓋裂	2
唇顎口蓋裂	8
その他の唇顎口蓋裂	1
計	14

患者総合支援センター

1. 概要

2010年4月1日、副院長をセンター長として開設した当センターは、地域の医療機関や介護事業者との相互連携を図り、患者に対して効率的で質のよい医療を提供する「地域連携部門」と、医療を通じて発生する種々の問題に対して、患者に安心して治療に当たってもらえることができるよう支援を行う「医療相談部門」で構成されている。



2. 活動報告

(1) 地域連携部門

① 地域医療支援委員会

委員 28人 (院外 17人、院内 11人)

第1回 平成28年5月12日開催

第2回 平成28年8月18日開催

第3回 平成28年11月17日開催

第4回 平成29年2月9日開催

② 地域連携登録医登録者数

428人 (平成29年3月末現在)

③ 豊橋市医師会・豊橋市民病院病診連携協議会

委員 11人 (豊橋市医師会 2人、豊橋市民病院 9人)

事務局 4人 (豊橋市医師会 1人、豊橋市民病院 3人)

(ア) 病診連携協議会

第81回病診連携協議会 平成28年5月10日開催

第82回病診連携協議会 平成28年10月11日開催

(イ) MCRフォーラム

第39回MCRフォーラム 平成28年5月25日開催

「神経変性疾患に対する治療法開発」 参加人数 45人

第40回MCRフォーラム 平成28年10月26日開催

「視床下部による水・エネルギーバランスの調節」 参加人数 64人

(ウ) 病院・転床施設連携懇談会

第21回病院・転床施設連携懇談会 平成29年3月10日開催 参加：24施設 44人

平成28年度の転床入院実績報告

④ 紹介・逆紹介実績

(ア) 紹介・逆紹介率

紹介率	逆紹介率
75.3%	87.0%

(イ) 病診連携室取扱実績

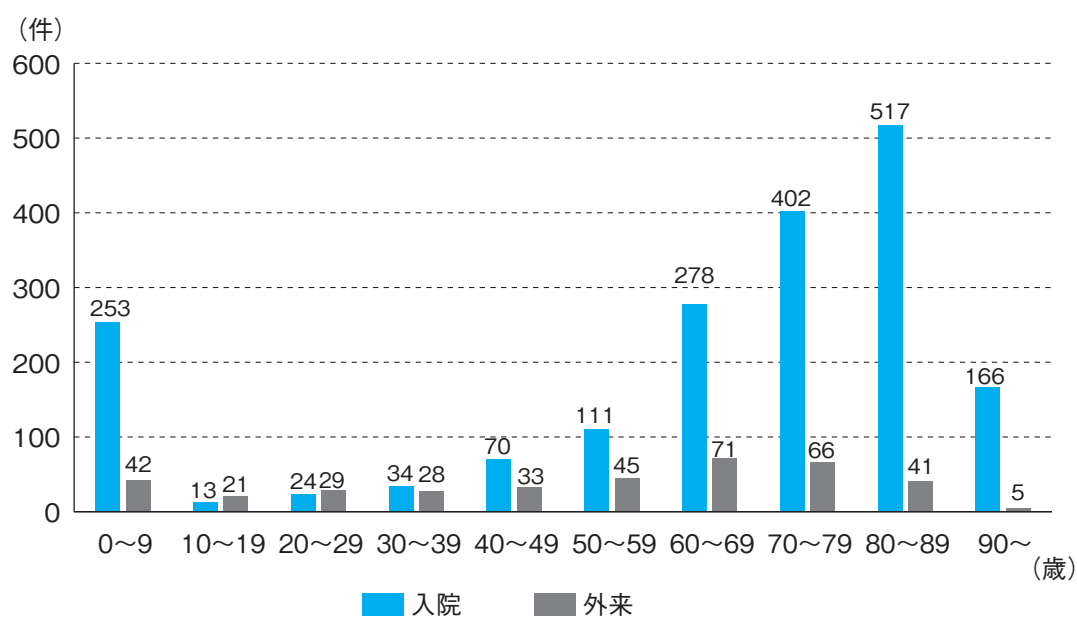
内 訳			件数(件)
病診連携室経由の受診予約数	医 科	市 内	10,344
		市 外	2,774
	歯 科	市 内	1,140
		市 外	176
	保 健 所 保 健 セ ン タ ー		308
	そ の 他		31
	キ ャ ン セ ル		△ 532
	計		14,241
時 間 外 (再 掲)		976	
病診連携室経由の転院先状況	申 込 数		1,563
	内 訳	有 床 診 療 所	8
		病 院	1,241
		キ ャ ン セ ル	293
		転 院 予 約 中	21

(2) 医療相談部門

① 医療福祉相談件数（平成28年4月～平成29年3月）

(ア) 新規相談患者数 入院 1,868件 外来 381件 計 2,249件

年齢別新規相談件数



(イ) 延べ相談件数 入院 12,016件 外来 5,500件 計 17,516件

② 女性相談件数 面接 18件 電話 10件 計 28件

③ がん相談件数 面接 231件 電話 67件 計 298件

入院支援センター

1. 概要

入院支援センターは、2015年5月に開設された。2015年度は、一般外科・歯科口腔外科・眼科・耳鼻いんこう科の入院前説明を開始し2016年5月から呼吸器外科を開始し産婦人科・泌尿器科・整形外科へ現在説明をしている。

当センターの業務の目的は下記のとおりである。

- ①入院や手術に対して抱えている不安を少しでも軽減でき、安心して入院・手術が受けられるように援助する。
- ②リスクのある患者をスクリーニングして安全に手術が受けられるようにする。
- ③外来・病棟の入院に関する業務の軽減を行う。

クリニカルパスで予定入院する患者さんに対し、事務職員から入院前説明を行い、看護師は患者データベースの聴取や持参薬の中止説明・クリニカルパスの説明・転倒転落チェック・退院時支援スクリーニングの実施を行っている。必要時医療相談（MSW：医療ソーシャルワーカー）の介入依頼を行い安心して入院が出来るように支援している。

入院前説明時に持参薬の鑑別が出来ていない場合は、後日薬剤鑑定を行い安全に予定とおり手術が受けられるよう支援している。薬剤師はオンコール体制をとっている。

今後は、全科を目指し入院前説明の対象科を拡大していく予定でいる。

（センター長 浦野 文博）

（文責 師長 小林 雅子）

2. 活動報告

(1) 業務内容

- ① 入院前オリエンテーション
- ② 入院日・手術日の説明
- ③ 手術同意書一式の署名の説明
- ④ 患者データベースの聴取
- ⑤ 栄養アセスメントの計測
- ⑥ 弾性ストッキングのふくらはぎ測定
- ⑦ リスク患者のチェック（転倒転落チェックリスト・退院支援スクリーニング）
- ⑧ クリニカルパスの説明
- ⑨ 持参薬の確認
- ⑩ 医療相談（MSW）の介入（必要時）

(2) 入院前説明患者数

①一般外科（平成 27 年 5 月 11 日開始）

術式	人数(人)
ヘルニア手術	149
胃手術	92
肝臓手術	28
結腸直腸手術	108
腹腔鏡下胆嚢手術	147
ダヴィンチ（腸）手術	4
乳房手術	105
乳房手術（部分切除）	10
甲状腺手術	33
虫垂切除	20
痔核・痔瘻手術	26
低侵襲手術	49
その他	96
計	867

②歯科口腔外科（平成 27 年 8 月 1 日開始）

術式	人数(人)
全身麻酔・局所麻酔すべて	320

③眼科（平成 27 年 9 月 1 日開始）

術式	人数(人)
白内障	414
硝子体	125
計	539

④耳鼻いんこう科（平成 28 年 9 月 1 日開始）

術式	人数(人)
扁桃切除術	31
ラリngo	13
フェンスコンホ	10
ESS	57
鼓膜・鼓室形成術（ティンパノ）	3
頸部小手術	39
頸部郭清術	13
甲状腺葉峡摘出術	14
甲状腺全摘術	5
計	185

⑤呼吸器外科（平成 28 年 5 月 17 日開始）

術式	人数(人)
肺癌	71
気胸・縦隔腫瘍・部分切除	18
計	89

⑥産婦人科（平成 28 年 7 月 1 日開始）

コース	人数(人)
婦人科 A コース	22
婦人科 B コース	97
婦人科 D コース	203
婦人科 E コース	43
計	365

⑦泌尿器科（平成 28 年 10 月 1 日開始）

検査・術式	人数(人)
前立腺生検	76
TUL	21
前立腺全摘除術	5
ロボット支援前立腺全摘術	18
TUR-BT	47
計	167

⑧整形外科（平成 29 年 3 月 1 日開始）

⑨医療相談（MSW）介入数 5 人

⑩後日薬剤鑑定患者数 165 人

診療技術局

1. 概要

診療技術局には、放射線技術室、中央臨床検査室、リハビリテーション技術室、臨床工学室、栄養管理室の5部門（7職種）があり、各部門では専門の知識や技術で医療に参画している。現在の医療では、「チーム医療」が必要不可欠となっており、患者さんを中心に医師、看護師、そして私たちを含む各職種の病院職員が一丸となって病態の改善に努めている。私たち診療技術局では、5部門が協力し合って勉強会を開催しており、それぞれの知識を互いに生かし、より良い医療が提供できるように切磋琢磨の精神を大切にしている。また、院内での業務の他にも東三河地域における役割として様々な勉強会や研修会を積極的に開催し、地域医療にも貢献している。また、未来のコ・メディカル育成を目指し高校生への職場見学会を開催している。

治療方法や医療技術は常に進歩し続けている。私達は、常に新しい知識や技術を習得し、地域基幹病院としての使命を果たすべく努力していくことが重要ととらえ、そのためには、各種の認定制度に積極的に取り組む必要があると考える。既に多数の認定を習得しているが更なる習得を目指している。

なおも、病院を取り巻く環境や医療制度は日々変化している。常にあるべき姿を模索、検証し、前進するため一層の努力をしていく所存である。

（局長 田中 規雄）

放射線技術室

1. 概要

積年の課題であった放射線治療装置の更新が、高度放射線棟の建築（9月竣工）をもって実現した。高度放射線棟には治療用に2台の最新鋭のリニアックと腔内照射装置が配置され、核医学装置も従来のガンマカメラの他にPET/CT、SPECT/CTが導入された。また、核医学施設を充実することによって、全身の骨転移に対する核医学治療も充実した。

PET/CTは10月より稼働しており、県内公立病院では初の導入となる。放射線治療も装置の基礎データの測定を年内に終り、3月には旧装置からの患者移行が完全に終了した。放射線治療を継続しながらの装置更新という難しい課題に一区切りがついた年であった。

一方、跡地では次の工事が始まっている。時代の求める医療変化に対応するため、豊橋市民病院が姿を変えているのだ。その様子を見るにつけ、我々もその渦中にあり、その変化に対応する必要性を感じさせられる日々であり、一層身の引き締まる思いである。

(室長 三浦 俊一)

「在籍技師が取得している認定資格等」

資格	認定団体	資格	認定団体
放射線治療専門放射線技師	日本放射線治療専門放射線技師認定機構	放射線管理士	日本放射線技師会
放射線治療品質管理士	放射線治療品質管理機構	放射線機器管理士	日本放射線技師会
医学物理士	医学物理士認定機構	医療画像情報精度管理士	日本診療放射線技師会
医療情報技師	日本医療情報学会	第1種放射線取扱主任者	原子力安全技術センター・文部科学省
核医学専門技師	日本核医学専門技師認定機構	γ線透過写真撮影作業主任者	安全衛生技術試験協会・厚生労働省
核医学専門技術者	日本核医学技術学会	X線作業主任者	安全衛生技術試験協会・厚生労働省
超音波検査士（消化器）	日本超音波医学会	日本磁気共鳴専門技師	日本磁気共鳴専門技師者認定機構
超音波検査士（健診）	日本超音波医学会	血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師	血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師者認定機構
超音波検査士（体表臓器）	日本超音波医学会	臨床実習指導員	日本診療放射線技師会
乳腺甲状腺超音波診断委員会認定技師	日本乳腺甲状腺超音波診断会議	X線CT認定技師	日本X線CT専門技師認定機構
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	マンモグラフィ検診精度管理中央委員会	医療安全管理者	日本病院会
診療情報管理士	四病院団体協議会	検診マンモグラフィ撮影認定技師	日本乳がん検診制度管理中央機構

2. 活動報告

(1) 放射線技術室実績

(件)

区分		平成28年度	平成27年度	平成26年度
一般撮影	頭部	10,240	9,908	9,769
	胸部	63,872	66,782	62,769
	腹部	14,921	13,506	14,085
	四肢	45,071	47,069	50,254
	その他（椎体）	20,660	22,389	22,547
	計	154,764	159,654	159,424
	内、ポータブル	38,713	38,814	29,563

(件)

血管撮影	頭頸部	136	129	181
	心臓・胸部	804	780	939
	腹部	294	273	266
	その他	85	79	126
	計	1,319	1,261	1,512

(件)

C T	頭頸部	10,462	10,185	9,553
	全身	29,056	28,614	27,545
	計	39,518	38,799	37,098

(件)

MR I	頭頸部	7,607	7,531	7,127
	全身	6,143	6,456	6,589
	計	13,750	13,987	13,716

(件)

X線TV	胃透視	3,726	4,037	4,064
	注腸透視	250	244	281
	その他	2,621	2,555	2,704
	計	6,597	6,836	7,049

(件)

放射線治療	リニアック	10,795	9,163	8,340
	集光照射	20	26	9
	体腔内照射	118	57	106

(件)

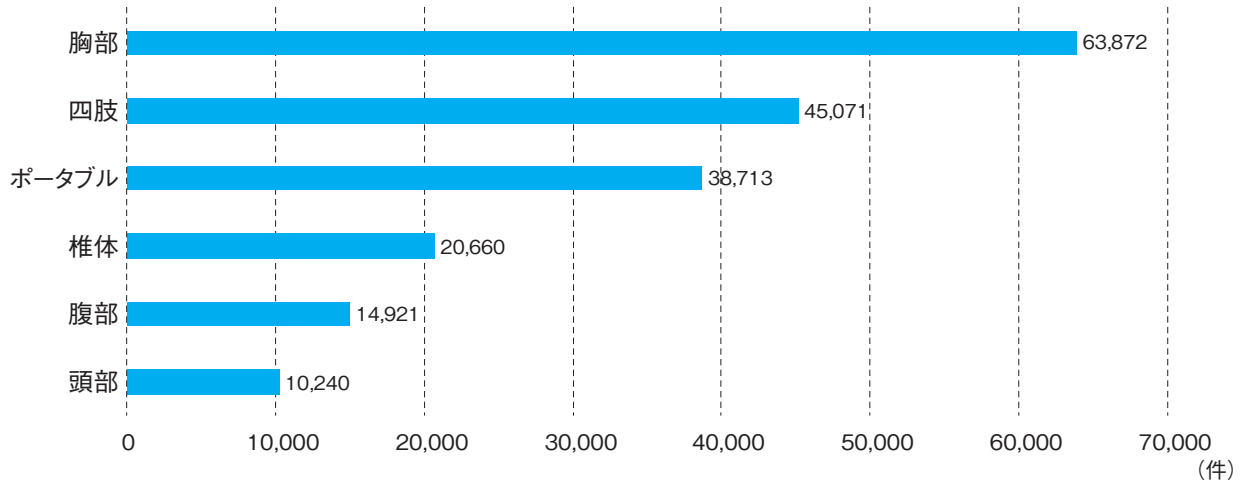
核医学（RI）	1,714	1,696	1,635
---------	-------	-------	-------

泌尿器検査（件）	888	939	996
骨塩量測定（件）	1,653	1,851	1,680
結石破碎（件）	37	67	100

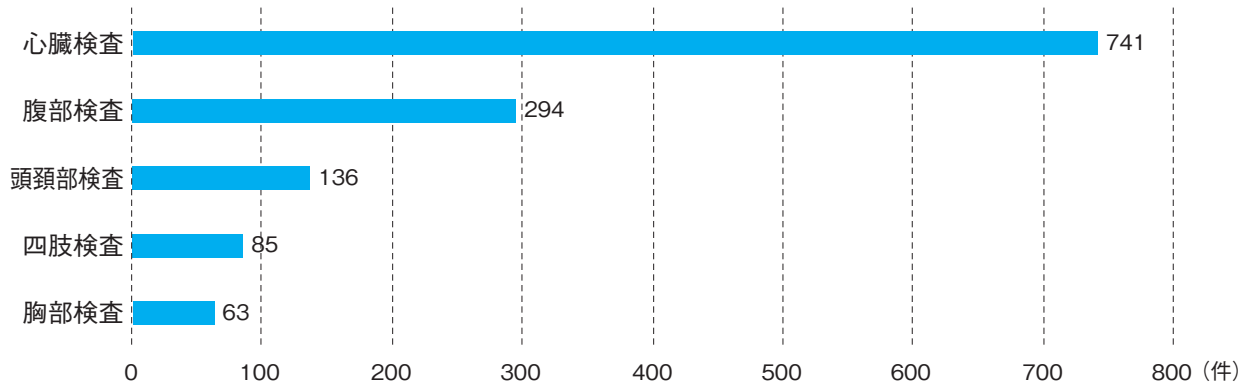
(件)

超音波診断検査 技術室担当	9,741	10,362	9,636
---------------	-------	--------	-------

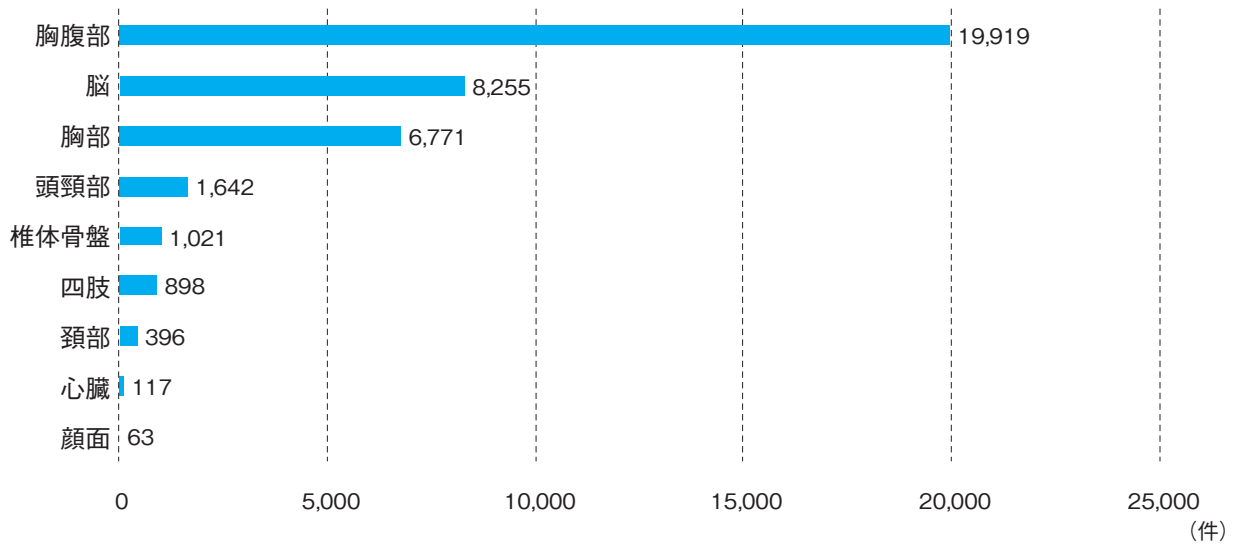
①一般撮影部門



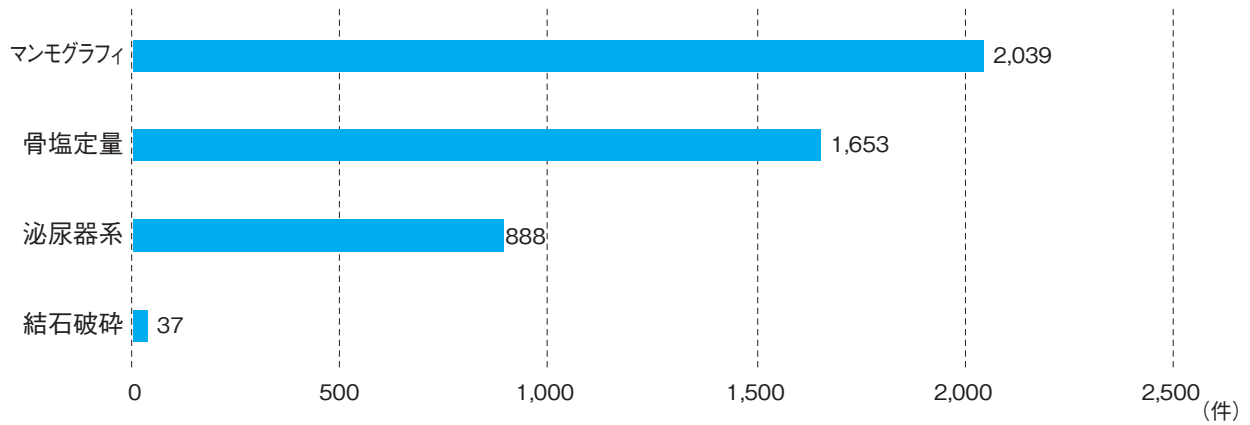
②血管撮影部門



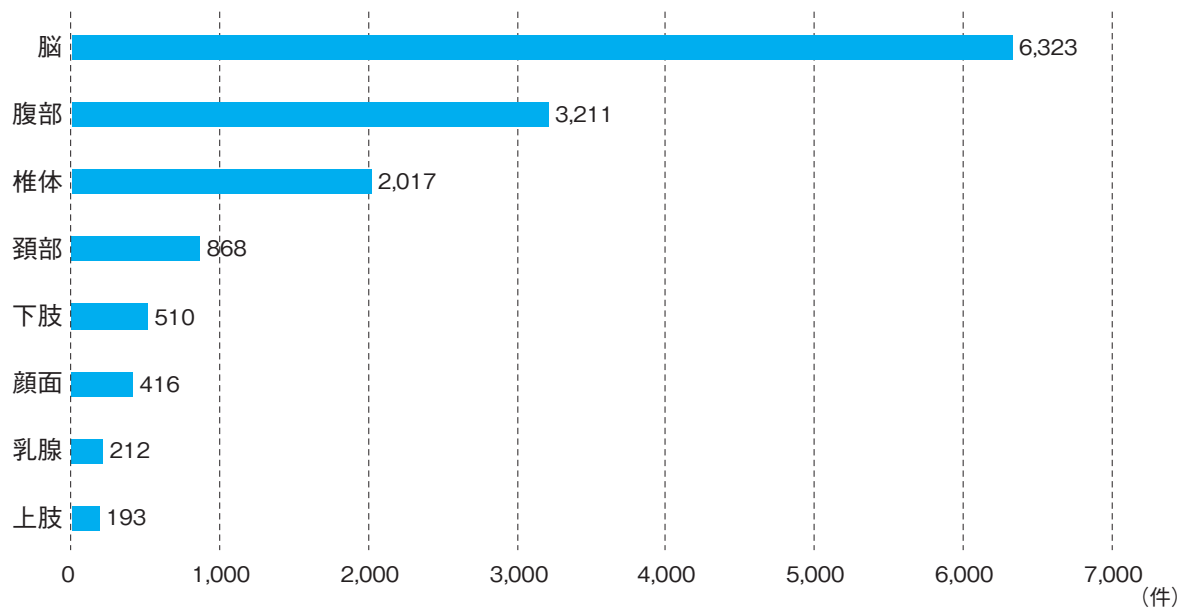
③CT部門



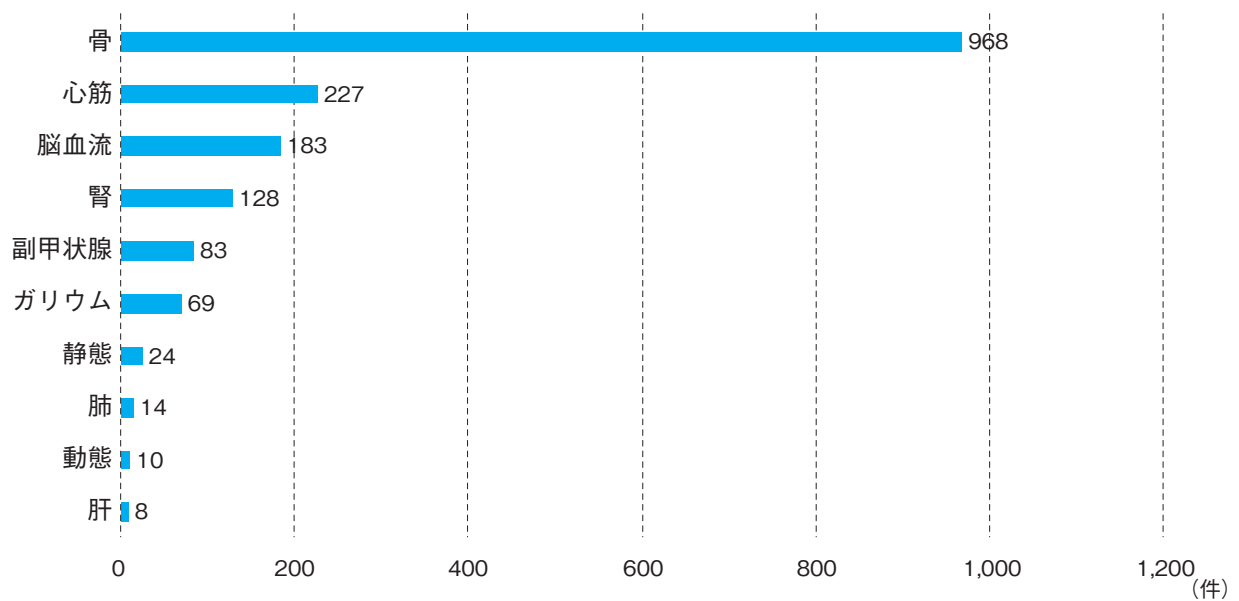
④その他



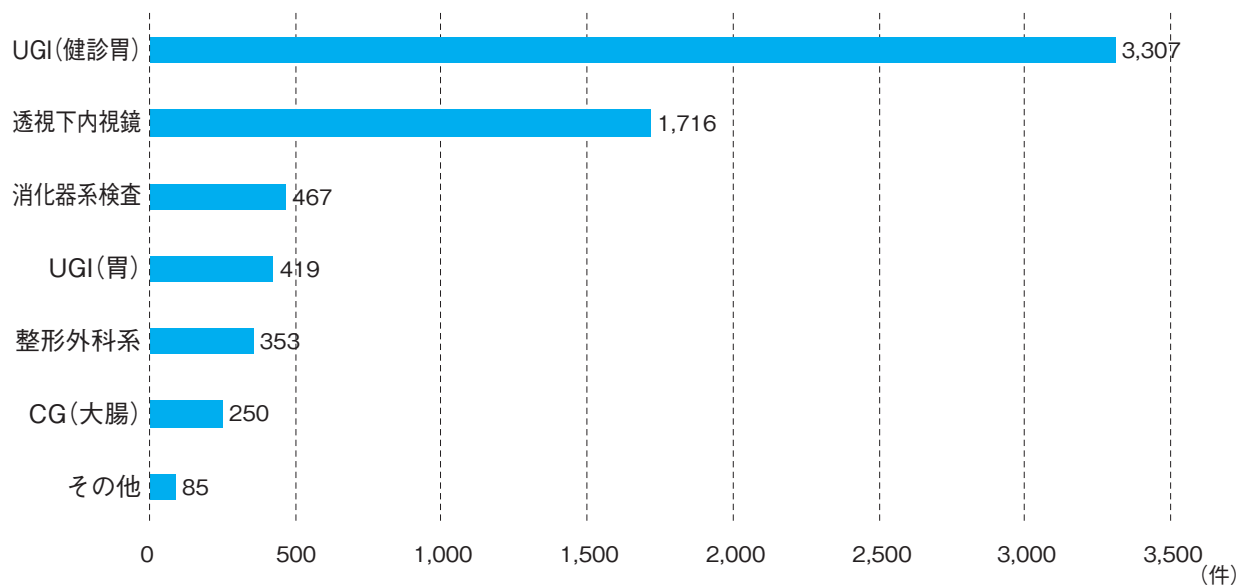
⑤MRI部門



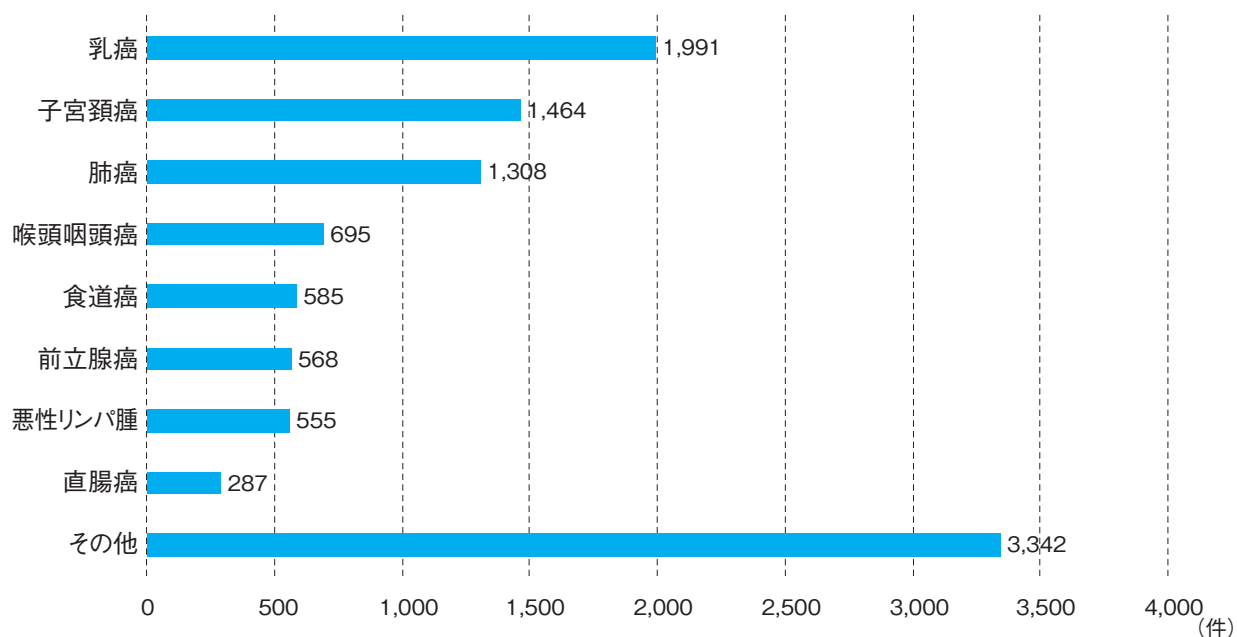
⑥アイソトープ部門



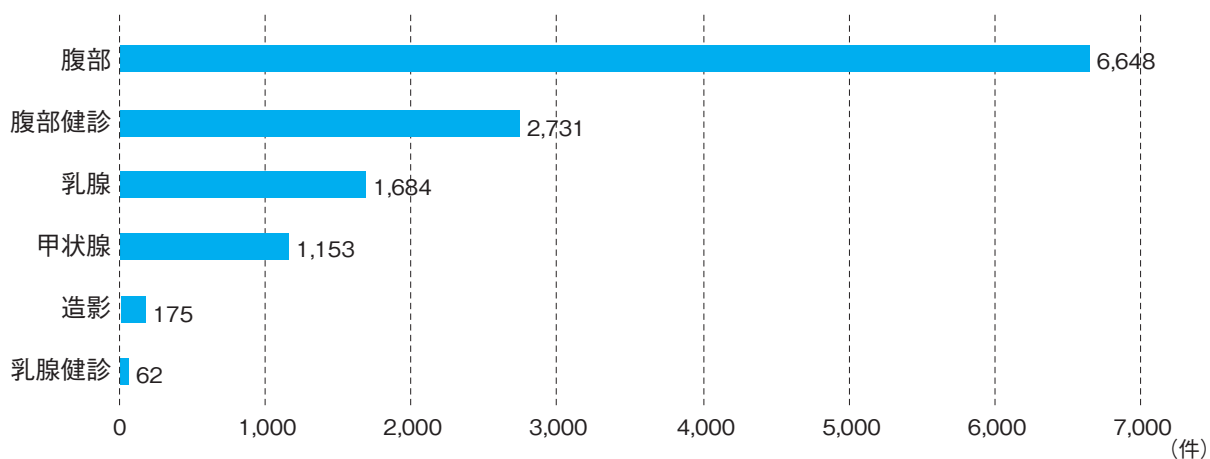
⑦X線TV部門



⑧リニアック外照射



⑨超音波検査



(2) 豊橋市民病院放射線技術研修会

	演題名	演者名	年月日
第1回	放射線治療におけるQA・QC ～X線のエネルギー不変性試験～	島田 秀樹	平成28年5月27日
第2回	ガンマカメライメージングでのカウント測定	市川 肇	平成28年6月22日
第3回	放射線治療におけるQA・QC ～リニアックにおける軸外空中線量比の測定～	島田 秀樹	平成28年6月24日
第4回	動画を用いた胃透視基準撮影法の解説	澤根 康裕	平成28年6月30日
第5回	救急CTにおける読影補助（頭部領域について）	磯部 晃	平成28年7月8日
第6回	低被ばく施設認定に向けた一般撮影における患者臓器吸収線量の求め方	澤根 康裕	平成28年7月22日
第7回	放射線治療におけるQA・QC ～高エネルギー電子線におけるX線汚染度について～	島田 秀樹	平成28年7月22日
第8回	マンモエコーとマンモグラフィの対比	井上恵理子	平成28年7月29日
第9回	面積線量計の表示値と実測値の線量を比較してみよう	小寺 祐貴	平成28年8月3日
第10回	画像再構成のシミュレーション	畑井 博晶	平成28年8月12日
第11回	CTの線量測定について	磯部 晃	平成28年10月14日
第12回	腹部エコー検査 スクリーニングの流れ	安井 美和	平成28年11月30日
第13回	動画を用いた胃透視基準撮影法の解説	澤根 康裕	平成28年12月1日
第14回	救急CTにおける読影補助（頭部領域について）	磯部 晃	平成28年12月16日
第15回	腹部エコー検査 スクリーニングの流れ	井上恵理子	平成29年1月12日
第16回	低被ばく施設認定に向けた一般撮影における患者臓器吸収線量の求め方	伊藤 翔太	平成29年1月20日
第17回	腹部エコー検査 スクリーニングの流れ	安井 美和	平成29年1月26日
第18回	マンモエコーとマンモグラフィの対比	安井 美和	平成29年2月3日
第19回	腹部エコー検査 スクリーニングの流れ	畑井麻里子	平成29年2月2日
第20回	腹部エコー検査 スクリーニングの流れ	畑井麻里子	平成29年2月16日
第21回	面積線量計の表示値と実測値の線量を比較してみよう	澤根 康裕	平成29年2月17日
第22回	画像再構成のシミュレーション	畑井 博晶	平成29年3月3日
第23回	腹部エコー検査 スクリーニングの流れ	山田さやか	平成29年3月2日
第24回	腹部エコー検査 スクリーニングの流れ	佐野めぐみ	平成29年3月9日
第25回	ガンマカメライメージングでのカウント測定	市川 肇	平成29年3月17日
第26回	腹部エコー検査 スクリーニングの流れ	畑井麻里子	平成29年3月23日
第27回	腹部エコー検査 スクリーニングの流れ	佐野めぐみ	平成29年3月30日

中央臨床検査室

1. 概要

中央臨床検査室では、精確なデータを臨床に報告するために外部精度管理調査（日本医師会・日本臨床衛生検査技師会・愛知県臨床検査技師会）に参加し、良好な結果が得られた。

平成28年度ルーチン業務として尿沈渣の24時間対応を始めた。また、救命救急センター（外来）業務において、一部ではあるが鼻腔からの検体採取を実施している。さらに、はじめての試みとして、高校生対象の「医療技術職 職場見学会」を診療技術局の一部署として企画・運営し、参加者63名（内教職員3名）の好評を得た。月例勉強会では、入職3年以内と中堅技師には、各自で取り組んでいるテーマについて発表した。年度初頭に個人目標設定を行い、明確化した目標へ一定の成果を挙げた。

また、骨髄検査技師や認定サイトメトリー技術者などの新しい資格取得にも積極的に取り組み、現在多数の資格取得者が在籍（下表）しており、臨床に貢献していると考えられる。

（室長 山口 育男）

「在籍技師が取得している認定資格」

資格	認定団体	資格	認定団体
認定血液検査技師	日本検査血液学会	超音波検査士 (体表臓器領域)	日本超音波医学会
骨髄検査技師	日本検査血液学会	認定心電検査技師	日本心電学会
認定臨床微生物検査技師	日本臨床微生物学会	緊急臨床検査士	日本臨床検査医学会
感染制御認定臨床微生物検査技師	日本臨床微生物学会	栄養サポートチーム専門療法士	日本静脈経腸栄養学会
細胞検査士	日本臨床細胞学会	遺伝子分析科学認定士	日本臨床検査医学会
認定病理検査技師	日本臨床衛生検査技師会	体外受精コーディネーター	日本不妊カウンセリング学会
超音波検査士 (循環器領域)	日本超音波医学会	認定臨床エンブリオロジスト	日本臨床エンブリオロジスト学会
超音波検査士 (健診領域)	日本超音波医学会	生殖補助医療胚培養士	日本哺乳動物卵子学会
超音波検査士 (消化器領域)	日本超音波医学会	糖尿病療養指導士	日本糖尿病療養指導士認定機構
超音波検査士 (血管領域)	日本超音波医学会	認定サイトメトリー技術者	日本サイトメトリー技術者認定協議会

2. 活動報告

(1) 検査実施件数

(件)

区 分	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
院内検査実施件数	5,247,731	5,296,457	4,969,112
委託検査件数	118,759	119,123	111,255
検査判断料件数	405,306	414,525	393,050
輸血管理料 1	2,613	2,620	2,577
外来迅速検体検査加算件数	243,243	260,514	201,581
病理診断管理加算	14,954	15,141	14,557
検体検査管理料加算 I 件数	109,639	112,309	109,059
入院時初回加算件数	11,850	11,683	10,827
時間外緊急院内検査加算件数	12,365	12,022	12,356
採血加算件数	111,572	116,598	111,539

(2) 検査判断料件数

(件)

区 分		平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
尿・糞便等検査判断料	外来	17,765	18,220	16,660
	入院	3,602	3,811	3,484
血液学の検査判断料	外来	95,070	97,395	93,353
	入院	17,084	17,540	16,789
生化学の検査（Ⅰ）判断料	外来	94,479	96,179	91,983
	入院	17,088	17,448	16,807
生化学の検査（Ⅱ）判断料	外来	24,190	24,573	22,617
	入院	4,404	4,646	4,271
免疫学の検査判断料	外来	72,529	73,023	68,561
	入院	15,883	16,232	15,515
微生物学の検査判断料	外来	11,942	12,660	11,644
	入院	7,436	7,574	7,428
病理学の検査判断料	外来	1,916	2,415	2,530
	入院	20	23	41
呼吸機能検査等判断料	外来	3,535	3,641	3,286
	入院	594	618	714
脳波検査判断料	外来	1,088	987	1,081
	入院	1,324	1,379	1,278
神経・筋検査判断料	外来	404	473	409
	入院	237	189	147
組織診断料	外来	6,057	6,627	6,384
	入院	4,573	4,781	4,510
細胞診断料	外来	2,888	3,046	2,517
	入院	1,198	1,045	1,041

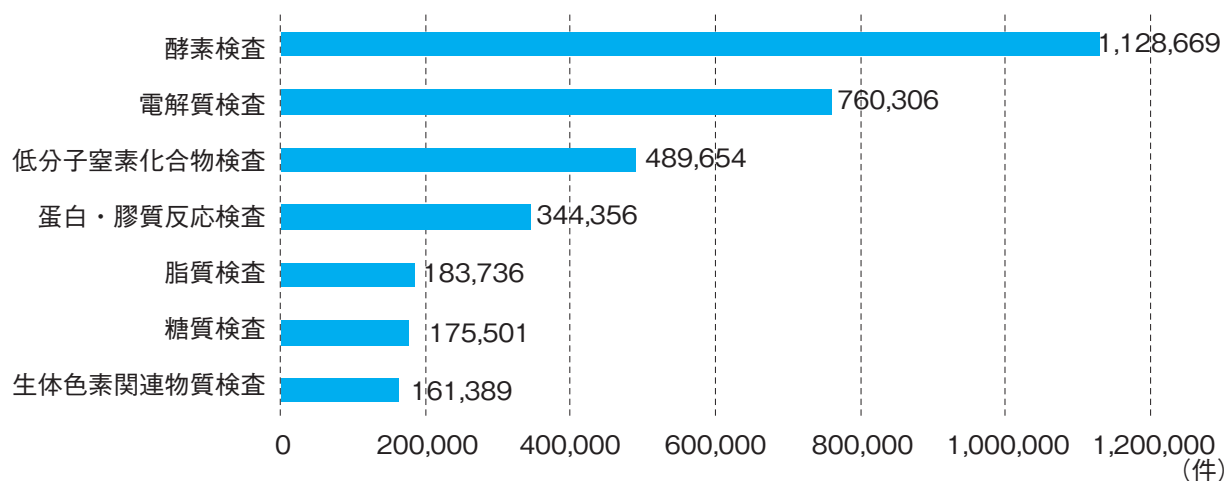
(3) 部門別実績

(件)

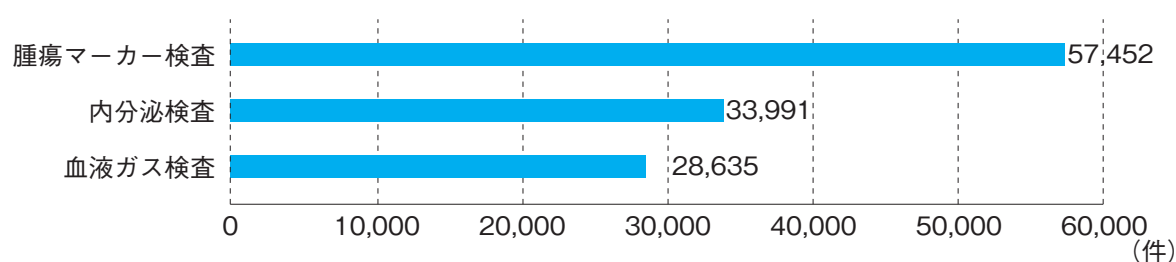
区 分	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
尿・糞便等検査	115,966	125,968	113,944
血液学的検査	728,383	665,711	624,352
生化学的検査	3,791,583	3,872,705	3,640,362
免疫学的検査	377,506	391,953	359,597
微生物学的検査	92,579	95,711	91,393
輸血関連検査	55,389	55,237	54,687
生理機能学的検査	61,866	63,522	60,545
病理学的検査	23,223	24,326	22,752
生殖医療学的検査	1,236	1,324	1,480

(4) 生物化学分析検査

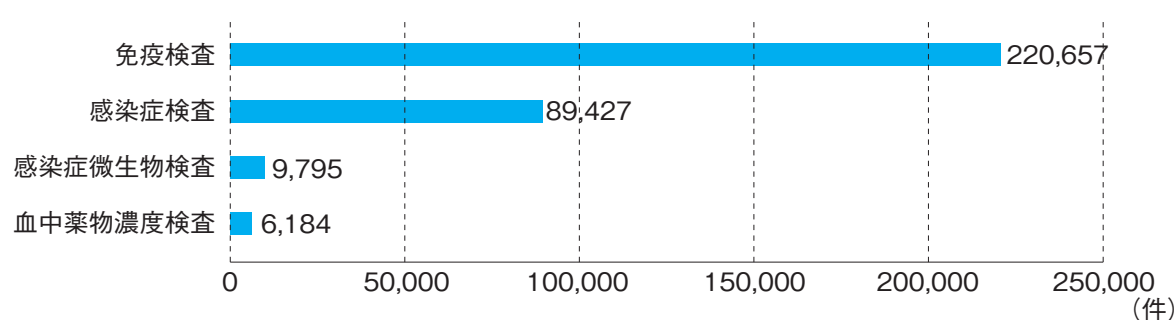
①生化学検査（Ⅰ）検査実績



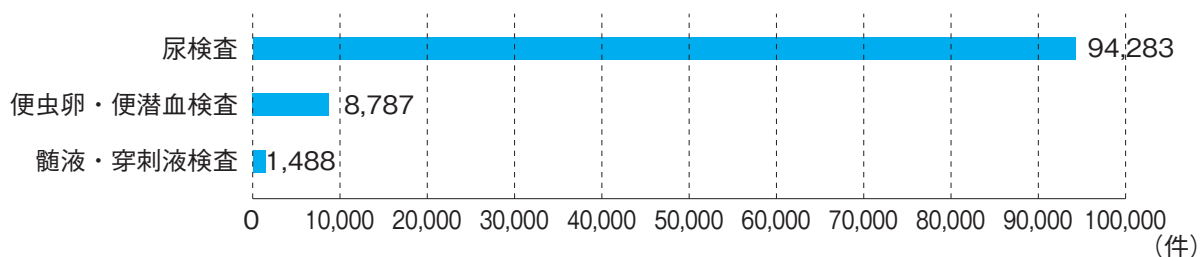
②生化学検査（Ⅱ）・血液ガス検査実績



③免疫学的・薬物検査実績



④一般検査 検査実績



⑤患者検査説明業務 実績

(件)

区 分	平成28年度	平成27年度	平成26年度
患者検査説明業務	1,087	1,002	1,018

患者説明業務とは、蓄尿、糖負荷検査（OGTT）、生理検査などの検査方法を患者に対して説明する業務である。

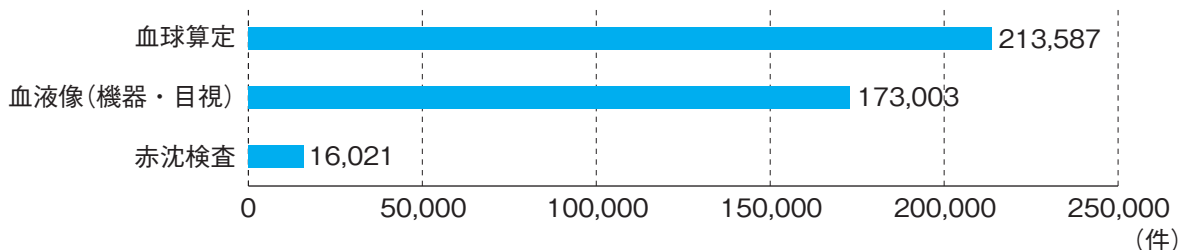
●説明検査項目

尿検査など：蓄尿・酸性蓄尿・糖負荷検査（OGTT）・クレアチニンクリアランス・早朝尿

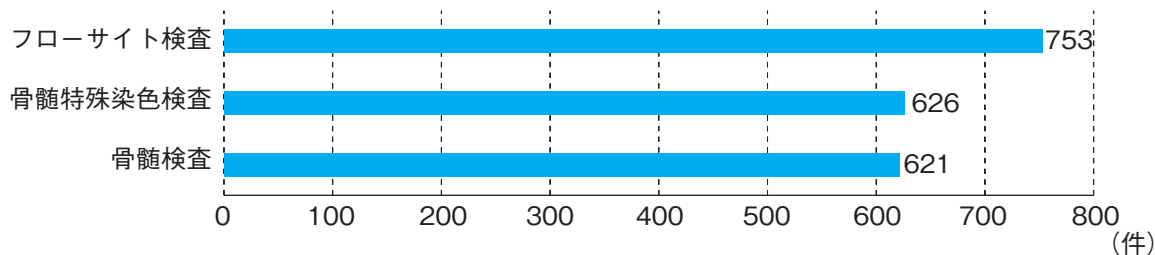
生理検査：超音波検査・ホルター心電図・トレッドミル・24時間血圧測定・負荷サーモグラフィー・吸入誘発試験・脳波・聴性脳幹反応・終夜睡眠ポリグラフィー

⑥血液学的検査 検査実績

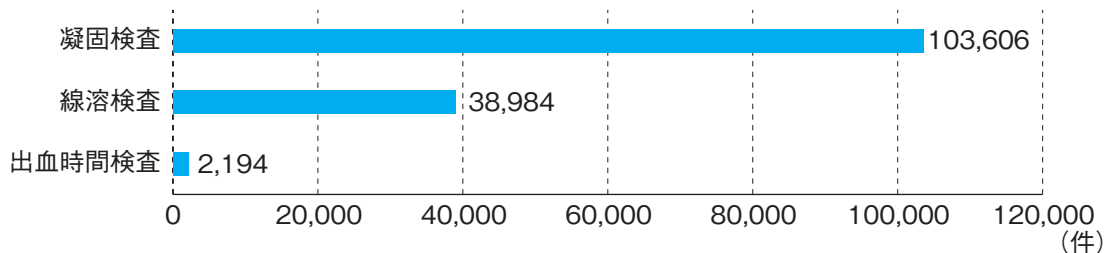
(ア)血液検査



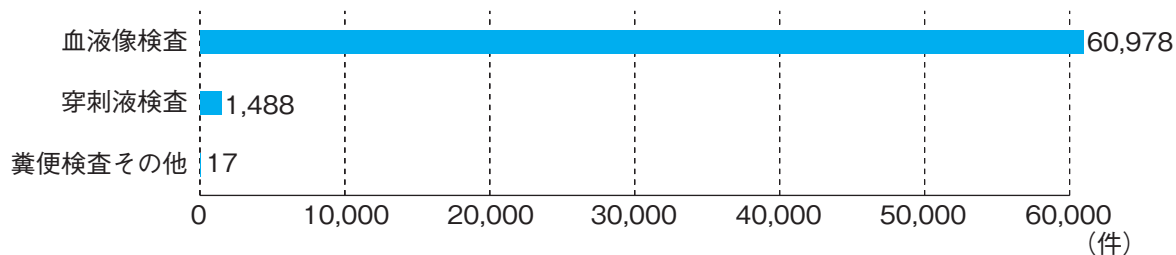
(イ)骨髓検査



(ウ)凝固・線溶検査



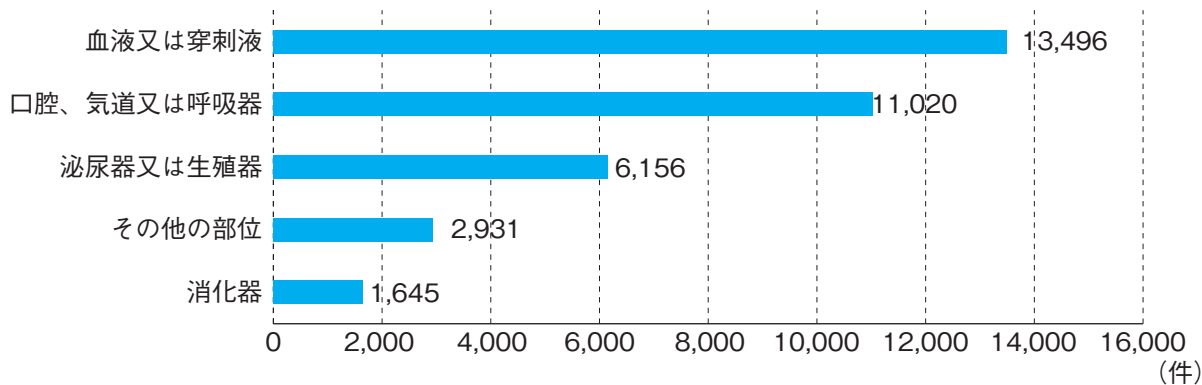
⑦顕微鏡検査 検査実績



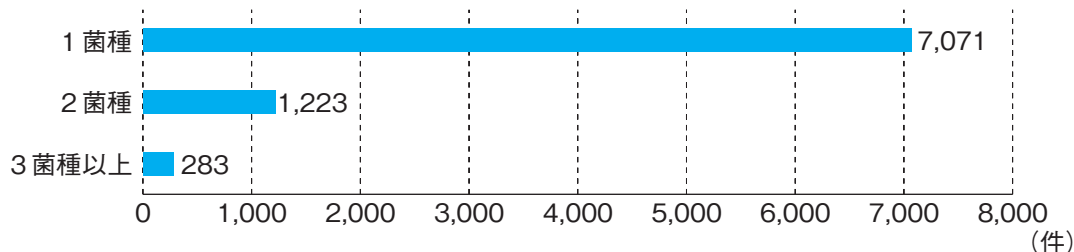
(5) 微生物・感染制御検査

①一般細菌

(ア)培養同定検査

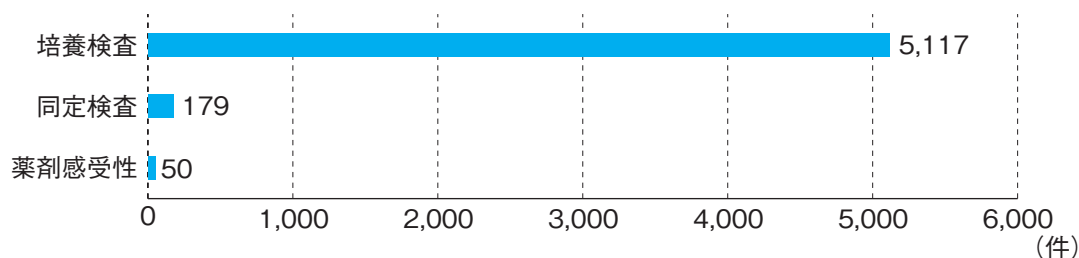


(イ)薬剤感受性検査

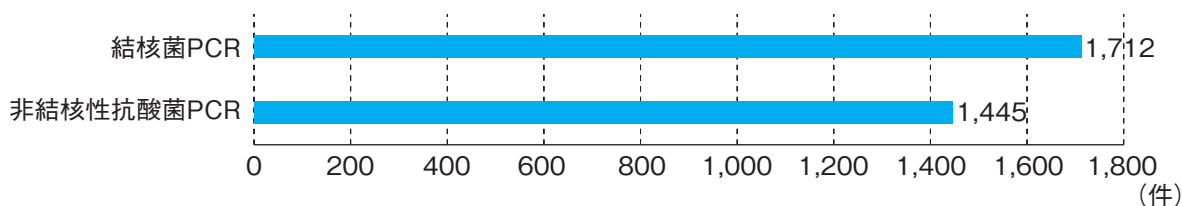


②抗酸菌

(ア)培養同定検査

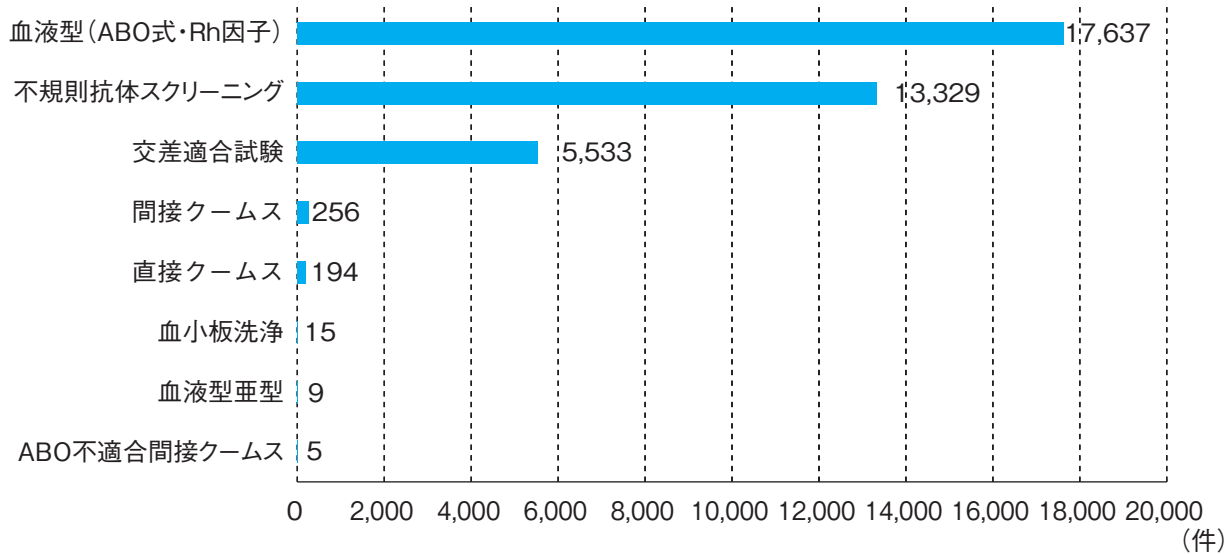


(イ)遺伝子検査(PCR)

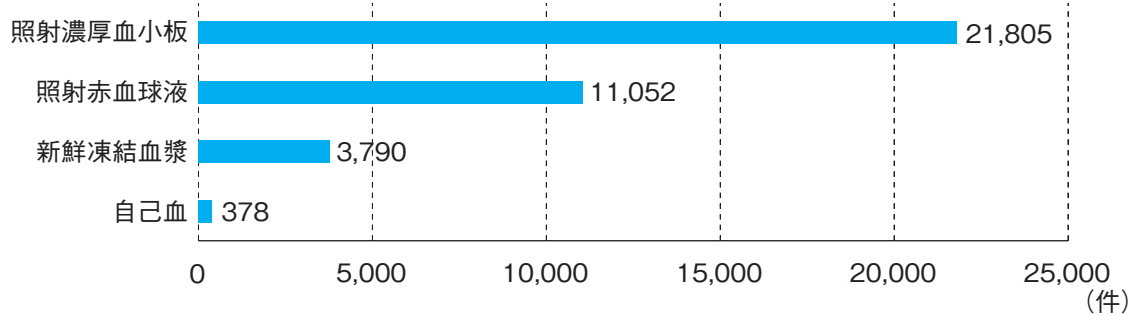


(6) 輸血移植・救命救急検査

①輸血関連検査



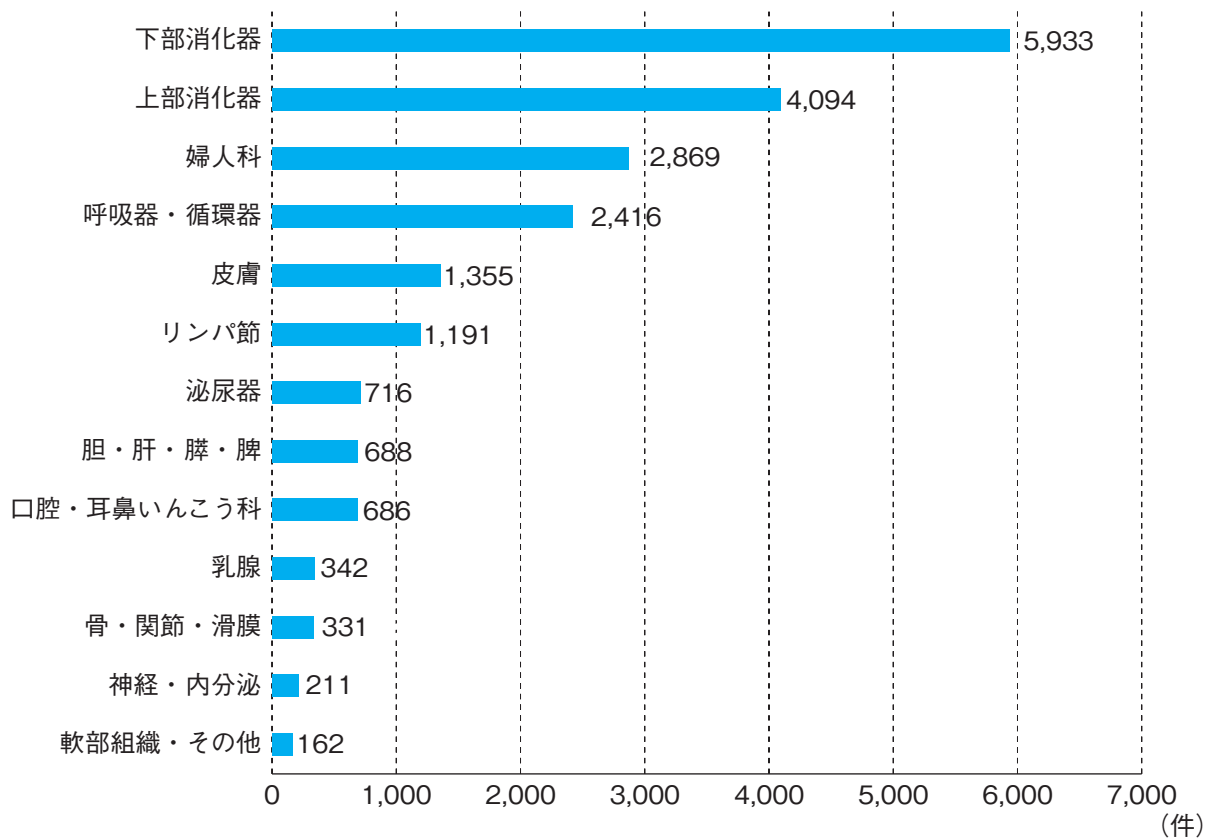
②血液製剤使用状況



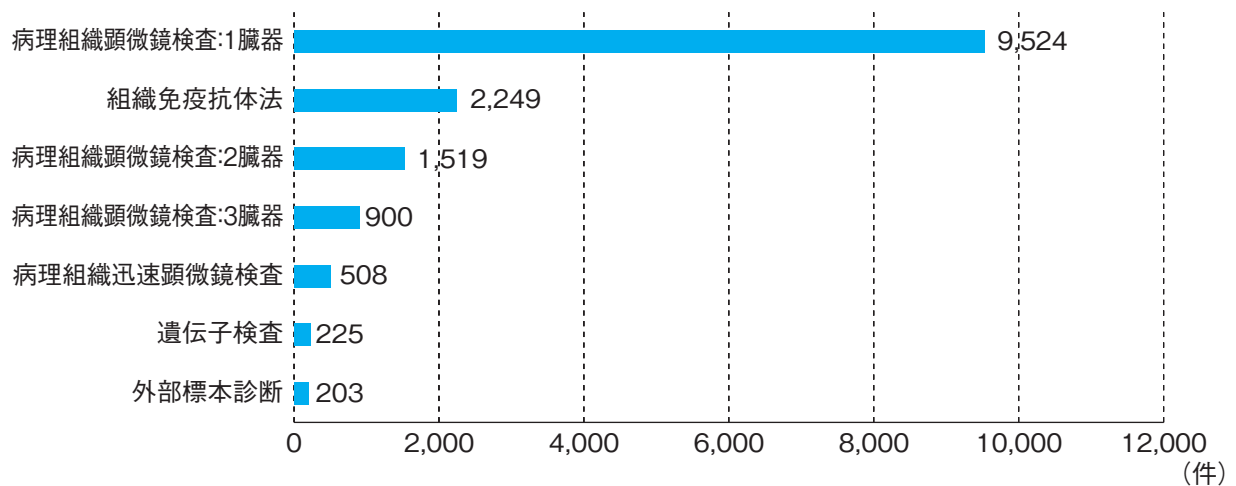
(7) 病理・細胞形態検査

① 病理学的・細胞診検査実績

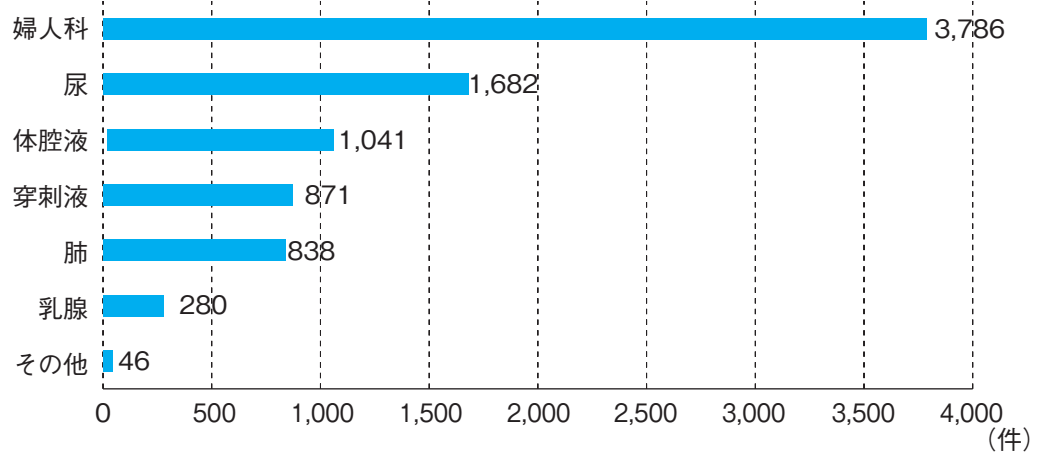
(ア) 病理組織検査材料別件数



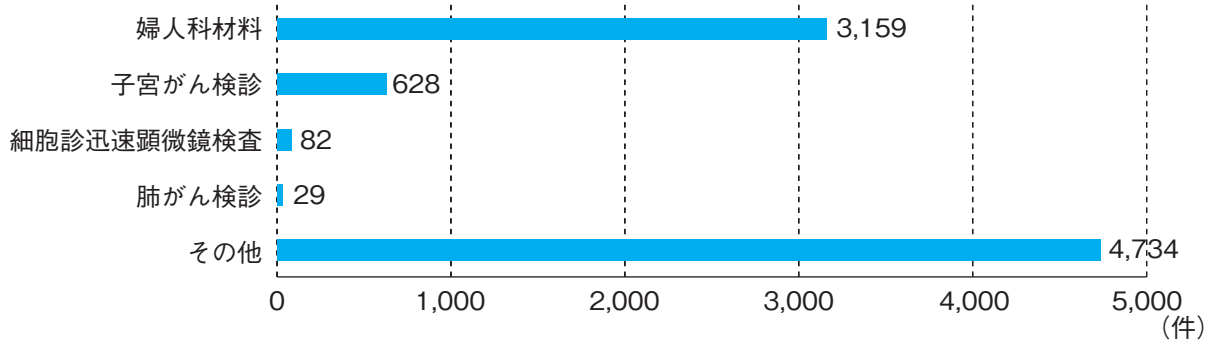
(イ) 病理組織検査件数



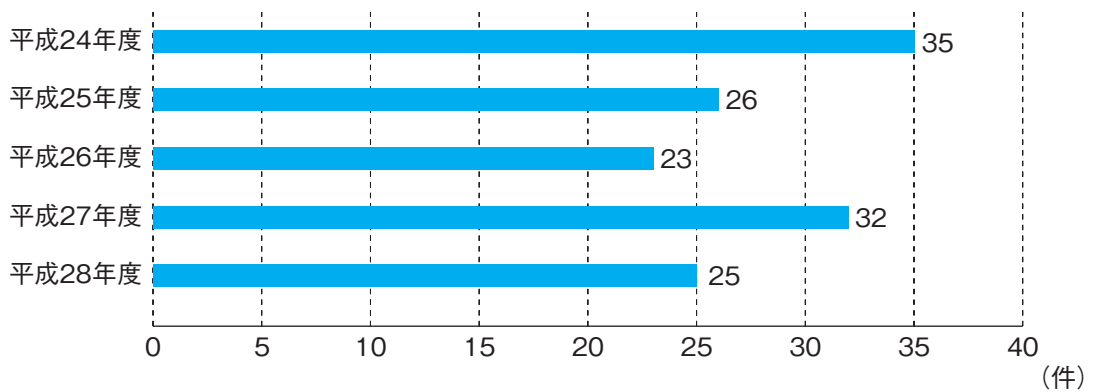
(ウ)細胞診検査材料別件数



(エ)細胞診検査件数



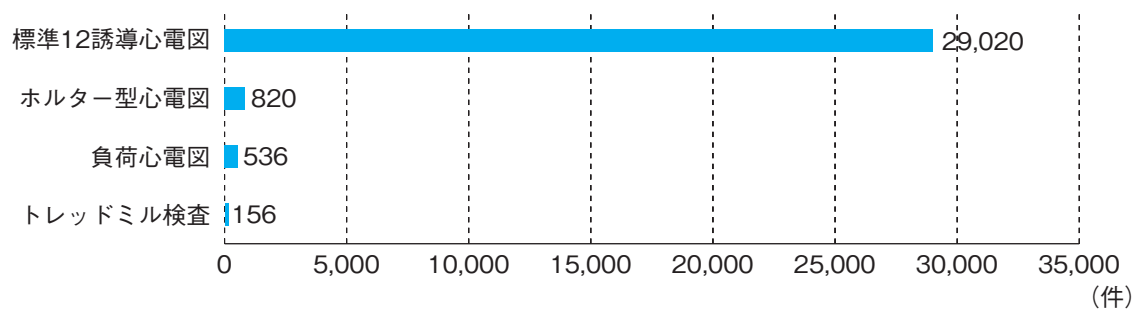
②病理解剖



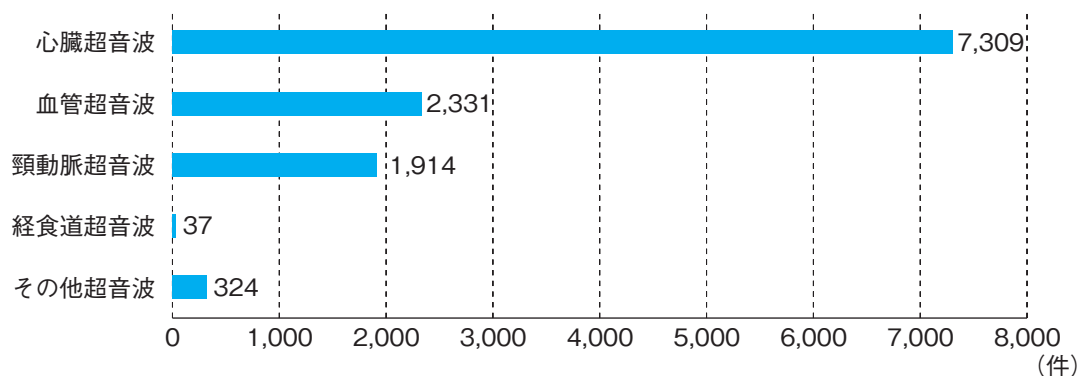
(8) 生理機能・生殖医療検査

①生理機能・画像検査

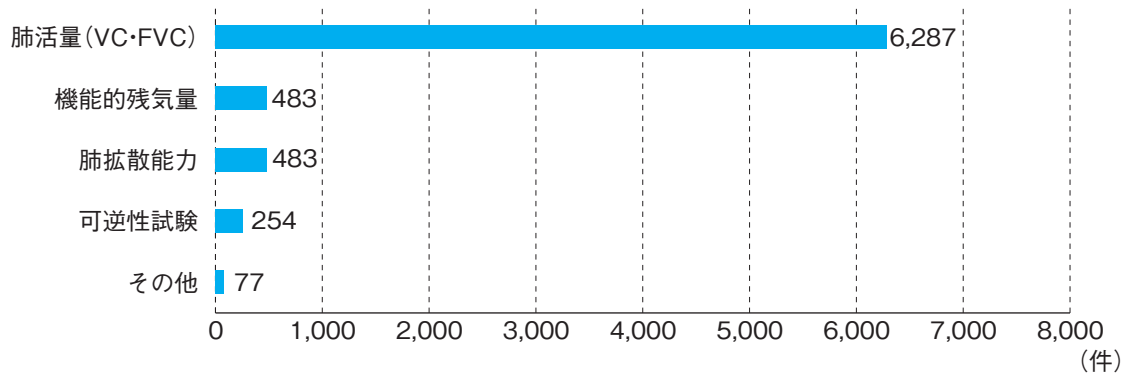
(ア)心電図 検査実績



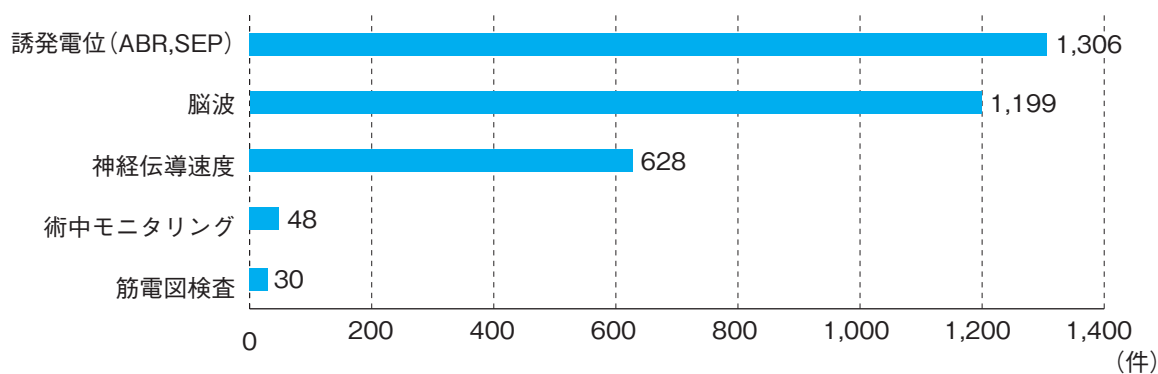
(イ)超音波 検査実績



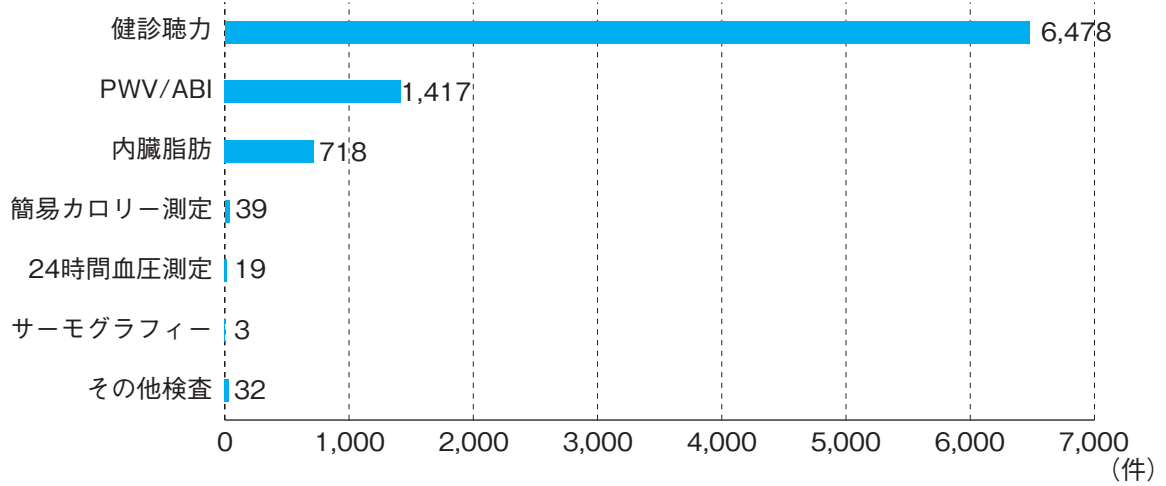
(ウ)肺機能 検査実績



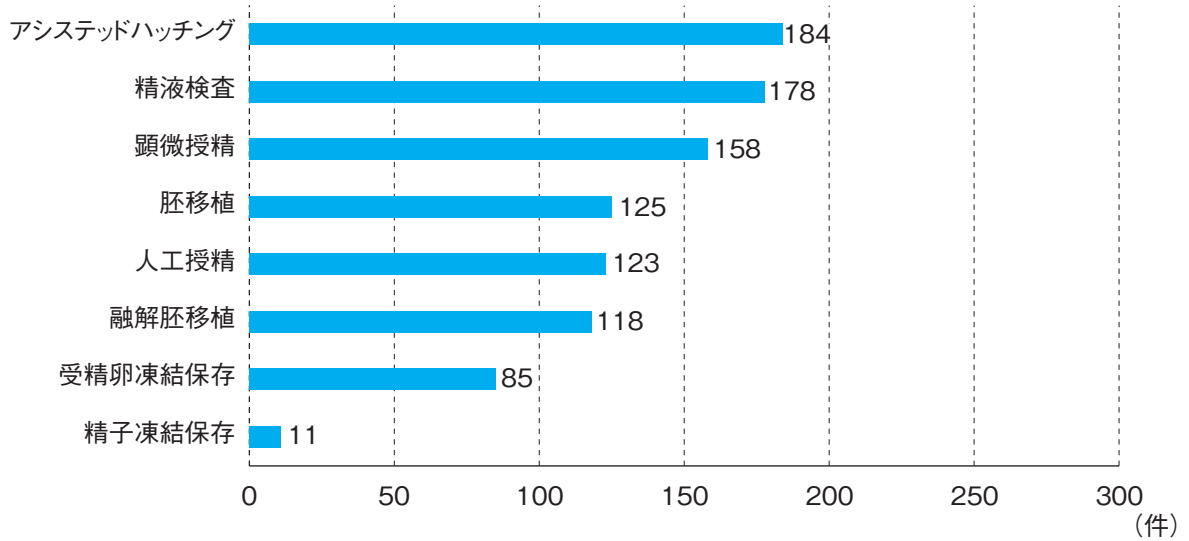
(エ)脳・神経 検査実績



(オ)その他 検査実績



②生殖医療関連 検査実績



リハビリテーション技術室

1. 概要

リハビリテーション技術室は理学療法部門、作業療法部門、言語療法部門より構成される。さらに豊橋市長寿介護課に職員を派遣している。運動器・脳血管・呼吸・心大血管・がん患者を対象に総合的にリハビリテーションが実施できるよう施設基準を有している。

また、1987年より開始した地域病院間のリハビリテーション連絡会は、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が所属する施設で構成され、各機能別施設における各専門分野からの情報提供や症例検討を行っている。病診や病病連携一体のシステムは、26施設を数え、リハビリテーション分野からの市民サービスの充実を図っている。

(室長 森嶋 直人)

2. 活動報告

(1) 外来入院別単位数

延べ患者件数は117,876件、その内訳として理学療法71,130件、作業療法28,961件、言語療法17,785件であった。

(件)

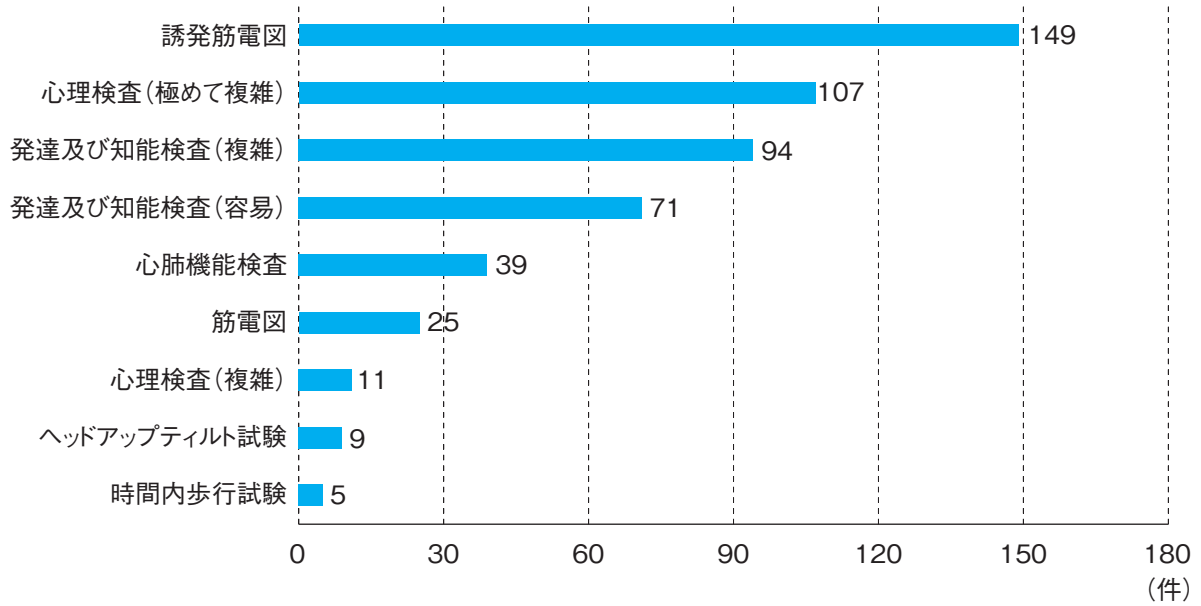
内 容	入外	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
理学療法	入院	67,518	65,697	58,245
	外来	3,612	3,869	4,748
作業療法	入院	26,228	21,979	18,678
	外来	2,733	2,986	2,363
言語療法	入院	14,770	13,018	11,558
	外来	3,015	2,936	2,627
小計	入院	108,516	100,694	88,481
	外来	9,360	9,791	9,738
合計		117,876	110,485	98,219

(2) 疾患別件数

大分類疾患		代表的小分類疾患	
①脳疾患	1,371 件	ア) 脳梗塞	763 件
		イ) 脳出血	172 件
		ウ) くも膜下出血	64 件
		エ) 小脳出血・小脳梗塞	20 件
		オ) 頭部外傷	118 件
		カ) パーキンソン病	72 件
		キ) その他	162 件
		②脳性麻痺	6 件
③発達障害	157 件		
④脊髄疾患	75 件	ア) 脊髄損傷	31 件
		イ) 脊髄症	44 件
⑤神経疾患	301 件	ア) 顔面神経麻痺	81 件
		イ) 多発神経炎	29 件
		ウ) 変性疾患	34 件
		エ) その他	157 件
⑥先天性異常	2 件		
⑦骨疾患	598 件	ア) 上肢骨折	19 件
		イ) 下肢骨折	321 件
		ウ) 脊椎骨折	77 件
		エ) 脊椎症	82 件
		オ) 脊柱靱帯骨化	2 件
		カ) 無腐性壊死	7 件
		キ) 椎間板疾患	57 件
		ク) その他	33 件
⑧関節疾患	272 件	ア) 変形性関節症	136 件
		イ) 膝内障	56 件
		ウ) 肩関節疾患	24 件
		エ) 筋腱断裂	5 件
		オ) その他	51 件
⑨関節リウマチ	40 件		
⑩切断	17 件		
⑪手の外傷	26 件		
⑫筋疾患	13 件		
⑬循環器呼吸器疾患	926 件	ア) 循環器疾患	347 件
		イ) 呼吸器疾患	579 件
⑭腫瘍	313 件	ア) 脳腫瘍	59 件
		イ) 乳癌	46 件
		ウ) 肺癌	88 件
		エ) 脊髄腫瘍	14 件
		オ) その他の腫瘍	106 件

⑮その他	491 件	ア) 廃用症候群・運動器不安定症	413 件
		イ) その他	78 件

(3) リハビリテーションセンター内検査実施状況



臨床工学室

1. 概要

臨床工学室は病院理念と基本方針に基づき、市民の財産である院内の医療機器を安全且つ良好な状態で臨床提供を行い、公共性と経済性を考慮した効率的な運用を行っている。

生命維持装置を用いた手術、治療支援並びにそれに付帯する一切の医療安全業務に携ることが使命である。人員は室長の他 17 名+パート 2 名で、専用 PHS 端末を用いた 365 日 24 時間のオンコール体制を構築している。

医療機器管理においては医療機器安全管理責任者の下に医療機器の保守管理計画、研修計画及び実施記録管理、更新・増設・廃棄業務支援を行っている。地域医療連携においては主治医を中心に、在宅で医療機器を使用する患者・家族への指導や退院後のフォローも行う。多職種間の密な連携協力や、計画的な研修・カンファレンスを行いながら、患者様の安全を第一に考えた医療技術の提供と診療支援を行う。手術支援ロボット「da Vinci Si」については泌尿器科領域から外科、婦人科領域に適応が拡大され、年間立ち合い件数は 80 件を超し、先進医療に貢献している。

(室長 田中 規雄)

(文責 補佐 後藤 成利)

「在籍技士が取得している認定資格等」

資格	認定団体	資格	認定団体
臨床 ME 専門認定士	日本生体医工学会	透析技術認定士	日本透析医学会・ 他 4 学会透析療法合同 専門委員会認定資格
体外循環認定士	日本人工臓器学会・ 日本体外循環医学会・ 日本心臓血管外科学会 他	呼吸療法認定士	日本呼吸器学会・ 日本麻酔科学会・ 日本胸部外科学会
第 2 種 ME 技術者	日本生体医工学会	特定高圧ガス取扱主任者	高圧ガス保安協会
院内移植コーディネータ	愛知県知事愛知腎臓財団	第一種衛生管理者免許	厚生労働大臣指定安全 衛生技術試験協会
医療安全認定コーチ： MCCS	国際医療リスクマネージメント学会		

2. 活動報告

(1) 治療手術業務件数 緊急血液浄化・血液成分分離・末梢血幹細胞採取数

※HD、HDF、HF、ECUM、PEは血液浄化センターでの施行症例を除く

(件または回)

区分 内訳	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
血液浄化療法			
症例件数合計	110	150	129
血液浄化回数合計	477	448	341
HD件数	52	66	39
HD回数	243	165	58
HDF件数	4	0	3
HDF回数	16	0	8
HF件数	0	1	0
HF回数	0	1	0
ECUM件数	9	15	4
ECUM回数	12	18	6
CHD件数	0	0	0
CHD回数	0	0	0
小児CHD件数	0	1	0
小児CHD回数	0	4	0
CHDF件数	24	35	27
CHDF回数	103	96	66
CHF件数	0	1	0
CHF回数	0	2	0
PE件数	9	4	20
PE回数	23	5	65
CPE件数	0	0	0
CPE回数	0	0	0
DFPP件数	3	9	2
DFPP回数	12	14	5
免疫吸着件数	0	0	4
免疫吸着回数	0	0	23
LDL吸着件数	1	2	0
LDL吸着回数	4	2	0
薬物吸着件数	0	0	0
薬物吸着回数	0	0	0
ET 吸着件数	3	13	2
ET 吸着回数	4	23	3
L-CAP 件数	4	2	17
L-CAP 回数	50	3	63
G-CAP 件数	1	9	11
G-CAP 回数	10	23	44

末梢血幹細胞採取・骨髄移植関連			
症例件数合計	22	32	16
施行回数合計	29	66	34
PBSC成人	17	28	11
PBSC回数	24	61	24
PBSC小児	0	2	5
PBSC回数	0	3	10
健常人　ドナーPBSCH件数	3	2	0
健常人　ドナーPBSCH回数	3	2	0
骨髄濃縮件数	2	2	0
骨髄濃縮回数	2	2	0
顆粒球採取件数	0	0	0
顆粒球採取回数	0	0	0
白血球採取件数	0	0	0
白血球採取回数	0	0	0
その他			
腹水濾過濃縮再静注業務症例数	20	38	71
腹水濾過濃縮再静注業務回数	59	104	138

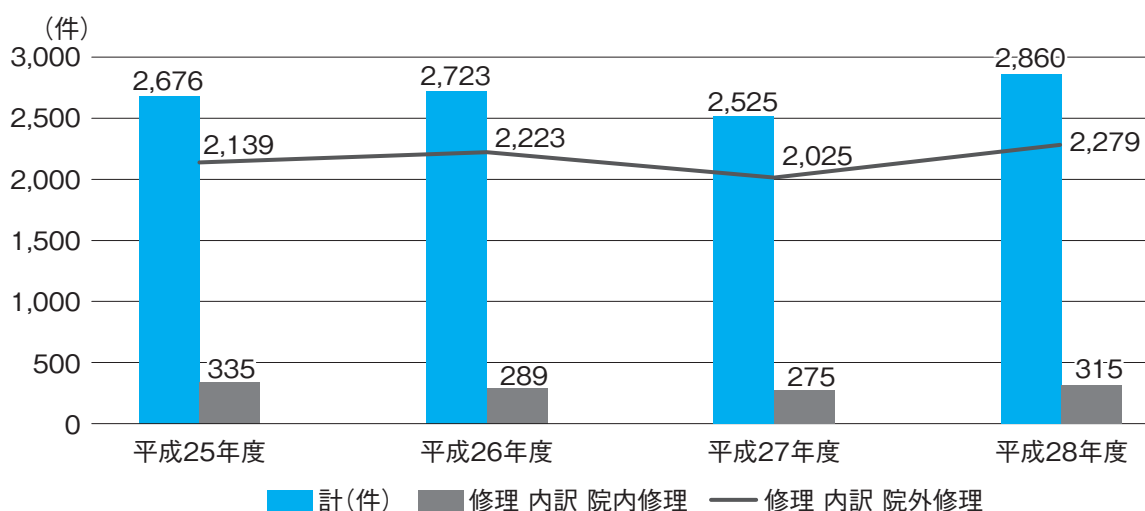
(2) 手術立ち会い業務件数

人工心肺・補助循環・自己血回収・脳外ナビ・ペースメーカー等症例数

区分	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
人工心肺装置業務（開心術）			
成人人工心肺症例数	38	24	10
小児人工心肺症例数	0	0	0
Off Pump 手術立ち会い症例数	1	2	0
計	39	26	10
補助人工心肺装置管理業務			
PCPS 症例数	12	6	5
ECMO 症例数	0	0	0
計	12	6	5
手術立ち会い業務（人工心肺業務以外）			
心外 自己血回収症例数	9	9	3
整形 自己血回収症例数	10	4	17
計	19	13	20
脳外ナビゲーション症例数	48	52	39
整形手術ナビゲーション症例数	0	0	6
耳鼻いんこう科手術ナビゲーション症例数	10	6	2
計	58	58	47
泌尿器科ダヴィンチ症例数(前立腺)	56	52	28
泌尿器科ダヴィンチ症例数(腎部分切除)	2	—	—
婦人科ダヴィンチ症例数	7	0	8
外科ダヴィンチ症例数(胃・腸切除)	17	27	3
計	82	79	39
生体腎移植術腎還流	7	8	7
献腎移植術腎還流	0	2	1
計	7	10	8
PM・ICD 新規植込 立会い	17	20	17
PM・ICD 電池交換 立会い	6	18	15
PM・ICD リード交換等 立会い	1	5	2
PM 設定術中 /CT/MRI 対応	87	63	—
計	111	106	34
呼吸療法関連業務			
成人用人工呼吸器回路組立件数	492	419	—
小児用人工呼吸器回路組立件数	239	223	—
計	731	642	—
NO ガス使用症例数	4	6	10
N2 ガス 使用症例数	0	0	0
計	4	6	10

(3) 医療機器修理件数

①年度別修理件数



②修理処理件数内訳

(件)

部署名	修理件数	修理内訳				
		院内修理	院外修理	修理分類別		
				新品交換	異常なし	修理不能
内科	23	3	13	7	0	0
小児科	24	1	23	0	0	0
外科	15	1	9	5	0	0
形成外科	1	0	1	0	0	0
整形外科	10	1	9	0	0	0
皮膚科	9	0	9	0	0	0
泌尿器科	18	0	17	1	0	0
産婦人科	12	1	11	0	0	0
耳鼻いんこう科	71	3	67	1	0	0
眼科	30	0	27	3	0	0
脳神経外科	4	4	0	0	0	0
歯科口腔外科	9	0	9	0	0	0
外来治療センター	8	1	3	4	0	0
予防医療センター	4	2	2	0	0	0
総合案内	15	7	5	3	0	0
総合生殖	0	0	0	0	0	0
東2	73	13	48	11	3	1
西2	56	13	36	7	0	0
東3	60	15	29	15	1	0
西3	95	6	77	9	2	1
総合周産期病棟	72	12	49	8	2	1
東5	38	11	25	2	0	0
西5	60	16	28	15	1	0
東6	63	7	47	9	0	0

西 6	62	6	46	9	0	1
東 7	65	14	39	10	1	1
西 7	78	23	41	10	4	0
東 8	71	9	55	3	3	1
西 8	50	21	26	3	0	0
東 9	31	8	14	7	1	1
西 9	33	8	15	7	2	1
南病棟	63	14	36	12	1	0
放射線技術室	226	1	219	4	2	0
放射線治療室	4	1	1	2	0	0
画像検査（看護局）	101	1	99	4	0	0
中央臨床検査室	92	0	88	4	0	0
薬局	20	2	17	1	0	0
ME（臨床工学室）	92	3	82	6	1	0
血液浄化センター	19	1	16	0	0	0
NMC	98	16	78	0	3	1
救命救急センター	84	18	57	7	2	0
中央滅菌材料室	79	0	79	0	0	0
リハビリテーションセンター	40	13	24	3	0	0
栄養管理室	30	0	29	0	1	0
医局	0	0	0	0	0	0
看護局	28	6	19	2	0	1
管理課	4	0	4	0	0	0
医事課	13	4	9	0	0	0
医学情報室	7	3	4	0	0	0
手術センター	672	24	623	15	10	0
計	2,832	313	2,264	209	40	10

(4) 臨床工学室が管理する医療機器台数

* 各科で購入されているが、保守点検を臨床工学室が行っている機器を含む

管理機器名称	管理台数(台)
人工心肺装置	1
人工心肺用遠心ポンプコントローラー	1
心筋保護液供給装置	1
人工心肺用ヒータークーラーユニット	2
自己血回収装置	2
遠心ポンプ式補助循環装置 (PCPS)	2
IABP	3
成人・小児用人工呼吸器	24
新生児用人工呼吸器	13
在宅用 人工呼吸器 (リース)	35
成人用 NIPPV	6
小児・新生児用 NIPPV	10
パーカッションベンチレーター	2
RTX 陽陰圧式体外式人工呼吸器	1
多人数用血液透析患者監視装置	21
手術ナビゲーションシステム	2
個人用血液透析患者監視装置	3
個人用 RO 装置	2
持続的血液ろ過透析装置	2
血漿交換装置	1
腹水濾過濃縮装置	1
除細動装置	16
AED	24
AED 解析装置	1
閉鎖式保育器 (デュアル式 4 台含む)	18
開放式保育器 (インファントウォーマー)	11
搬送用保育器	2
輸液ポンプ	291
輸注ポンプ	286
経腸ポンプ	17
医薬品注入コントローラー (ドリップアイ)	10
PCA ポンプ	5
6 連式シリンジポンプユニット	2
セントラルモニター	28
ベッドサイドモニター	149
無線式送信機台数	149
携帯型受信機	13
心電計	23
血液成分分離装置	2
全身麻酔器	14
低圧持続吸引器	29
連続心拍出力計	7
体外式ペースメーカー (DDD 式を含む)	10
ネブライザーヒーター	60
手術支援ロボットシステム (ダヴィンチ Si)	1
計	1,303

(5) 人工呼吸器稼働台数および平均装着日数

診療科別

診療科名	症例数 (件)	延べ稼働 回数(日)	平均装着 日数(日)
外科	48	205	4.3
脳神経外科	85	368	4.3
心臓血管外科	55	450	8.2
呼吸器外科	8	46	5.8
循環器内科	31	145	4.7
呼吸器内科	21	204	9.7
消化器内科	12	43	3.6
神経内科	18	210	11.7
血液・腫瘍内科	5	46	9.2
腎臓内科	4	14	3.5
糖尿病・内分泌科	1	2	2.0
整形外科	8	52	6.5
リウマチ科	2	12	6.0
泌尿器科	5	8	1.6
産婦人科	4	11	2.8
形成外科	0	0	0.0
皮膚科	6	64	10.7
耳鼻いんこう科	13	39	3.0
歯科口腔外科	7	7	1.0
小児科	38	285	7.5
移植外科	1	1	1.0
計	372	2,212	6.4
前年度	309	1,819	5.9

病棟別

病棟名	症例数 (件)	延べ稼働 回数(日)	平均装着 日数(日)
南 1	5	75	15.0
南 2	0	0	0.0
西 2	29	226	7.8
東 2	33	295	8.9
西 3/ICU	298	1,270	4.3
東 3	10	210	21.0
西 4	0	0	0.0
東 4	0	0	0.0
西 5	3	12	4.0
東 5	1	22	22.0
西 6	0	0	0.0
東 6	2	11	5.5
西 7	4	34	8.5
東 7	5	88	17.6
西 8	0	0	0.0
東 8	0	0	0.0
西 9	0	0	0.0
東 9	0	0	0.0
計	390	2,243	5.8
前年度	431	2,485	5.7

* 西病棟 3 階から病棟転床された症例を含む

* 在宅人工呼吸療法中で入院した症例も含む

病棟別 人工呼吸器稼働（日常点検）台数の報告

病棟	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間365日計算			
	延べ稼働台数	1日平均(台)	延べ稼働台数	1日平均(台)	延べ稼働台数	1日平均(台)	延べ稼働台数	1日平均(台)	延べ稼働台数	1日平均(台)	延べ稼働台数	1日平均(台)	延べ稼働台数	1日平均(台)	延べ稼働台数	1日平均(台)	延べ稼働台数	1日平均(台)	延べ稼働台数	1日平均(台)	延べ稼働台数	1日平均(台)	延べ稼働台数	1日平均(台)	延べ稼働台数	1日平均(台)	平均呼吸器稼働台数	延べ稼働台数
南1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	31	1	32	2	8	1	75	5	0.21			
南2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00		
西2	25	3	26	4	4	2	10	1	33	2	20	3	35	5	36	3	16	1	8	2	5	2	226	29	0.62			
東2	21	3	21	2	20	2	16	1	28	3	12	3	37	4	48	4	24	2	26	3	16	3	295	33	0.81			
西3/ICU	99	21	128	25	192	34	95	20	131	30	70	20	80	24	75	18	107	30	123	26	91	22	1270	298	3.48			
東3	0	0	0	0	0	0	2	1	39	2	44	2	41	2	30	1	23	1	0	0	0	0	210	10	0.58			
西4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00		
東4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00		
西5	0	0	0	0	7	2	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	3	0.03			
東5	22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	1	0.06			
西6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00		
東6	6	1	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	2	0.03			
西7	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	2	14	1	34	4	0.09				
東7	0	0	0	0	3	1	5	1	0	0	0	0	0	0	0	22	1	28	1	30	1	88	5	0.24				
西8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00		
東8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00		
西9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00		
東9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00		
合計/日平均台数	173	29	175	31	226	41	138	26	236	38	146	28	193	35	189	26	176	36	232	36	164	30	2243	390	6.15			

マスク式人工呼吸器	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間		成人小児比較(日)
	症例数	延べ使用日数	症例数	延べ使用日数	症例数	延べ使用日数	症例数	延べ使用日数	症例数	延べ使用日数	症例数	延べ使用日数	症例数	延べ使用日数	症例数	延べ使用日数	症例数	延べ使用日数	症例数	延べ使用日数	症例数	延べ使用日数	症例数	延べ使用日数	延べ稼働日数	延べ稼働日数	
総数	8	27	4	31	8	27	8	32	6	22	10	48	4	11	7	50	7	30	6	30	8	27	16	38	92	373	4.1
(内訳)成人	6	20	4	31	8	27	7	31	6	22	9	34	4	11	7	50	7	30	5	23	7	21	14	30	84	330	3.9
(内訳)小児	2	7	0	0	0	0	1	1	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	1	7	1	6	2	8	8	39	4.8
一日平均装着日数(日)	3.4		7.8		3.4		4.0		3.7		4.8		2.8		7.1		4.3		5.0		3.4		2.4		4.1		

栄養管理室

1. 概要

栄養管理室では、患者の病状や状態、年齢に合わせた常食、やわらか食、糖尿食など40種類の食種を用意している。食事内容は医師とともに管理栄養士が検食で確認し、選択メニューなど喜んで食べていただける食事や、食事療法を行うための食事を提供して、QOLの向上に努めている。家庭でも栄養管理、食事療法が行えるよう、栄養指導や糖尿病教室などを通して、アドバイスやお手伝いをしている。

入院患者の栄養状態については、看護師とともにスクリーニングを行い、栄養管理計画書を作成し、医師が確認している。

栄養サポートチーム（NST）の事務局として、NST回診への同行、栄養治療実施計画書の作成など、患者の栄養状態の把握、改善を図り、治療に貢献している。また褥瘡対策チーム、呼吸療法ケアチームの一員として活動している。

栄養管理委員会で食事内容の検討や、NST運営委員会でNST活動を報告した。栄養治療についての知識、技術を習得するためNST定期教育講演会やNST教育カリキュラムを開催するなど、院内全体の栄養治療の水準向上に努めている。

（局長 田中 規雄）

（文責 室長補佐 藤田 克宣）

「取得している認定資格等」

認定資格・専門資格	認定団体
栄養サポートチーム専門療法士	日本静脈経腸栄養学会

2. 活動報告

(1) 実績

区 分		平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	
食種及び食数	一般食	411,696	411,525	413,515	
	特別食	加算食	130,261	135,757	133,906
		非加算食	3,964	12,621	16,013
		小計 (食)	134,225	148,378	149,919
	合計 (食)	545,921	559,903	563,434	

選択メニュー	実施日数 (日)		365	366	365	
	実施食種	一般食	常食	64,824	68,000	69,864
			軟菜食	24,882	22,232	22,595
			小計(人)	89,706	90,232	92,459
		治療食	糖尿食	14,259	14,538	11,491
			心臓食	4,509	4,227	4,555
			肝臓食	537	550	287
			すい臓B食	1,558	1,347	2,047
			小計(人)	20,863	20,662	18,380
			合計(人)	110,569	110,894	110,839

栄養食事指導	外来患者栄養食事指導	1,054	1,112	1,185
	糖尿病透析予防管理	84	63	21
	入院患者栄養食事指導	1,021	1,049	1,035
	乳児栄養食事指導	114	121	115
	小計 (件)	2,273	2,345	2,356
	糖尿病教室	135	162	152
	合計 (件)	2,408	2,507	2,508

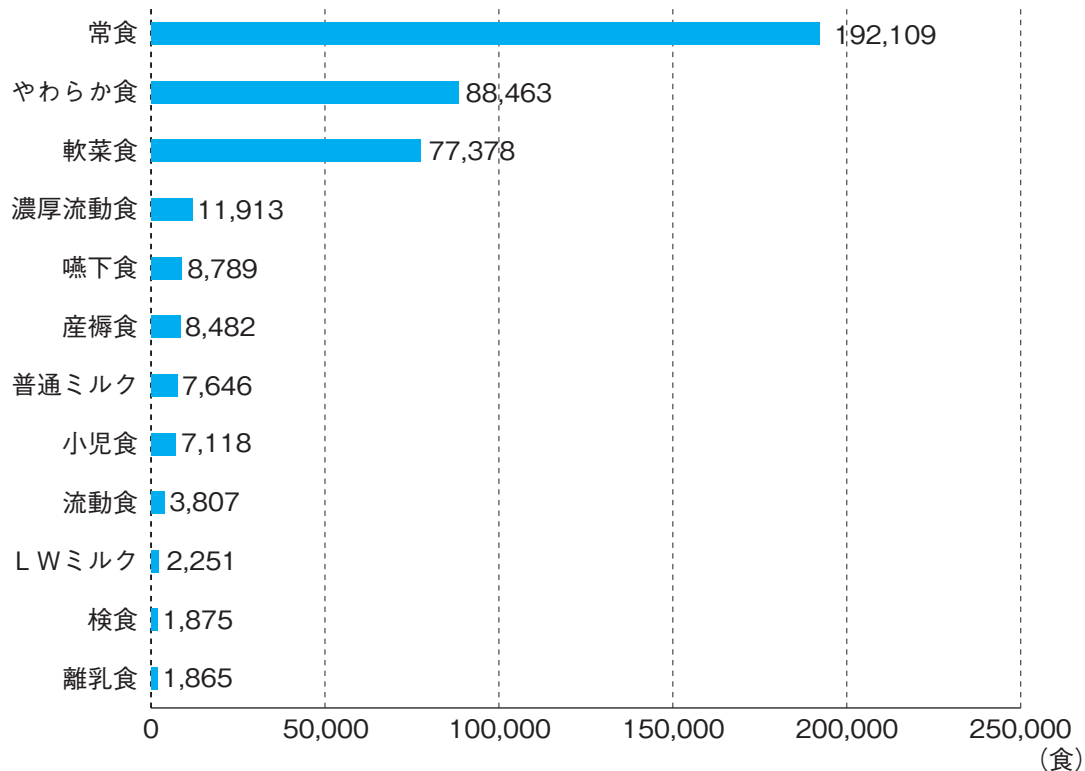
NST業務	栄養管理計画書 (件)	21,729	21,666	21,588
	栄養サポートチーム加算 (件)	646	602	368

NST定期教育 講演会	実施回数(回)	8	8	8
	参加者(人)	453	331	382

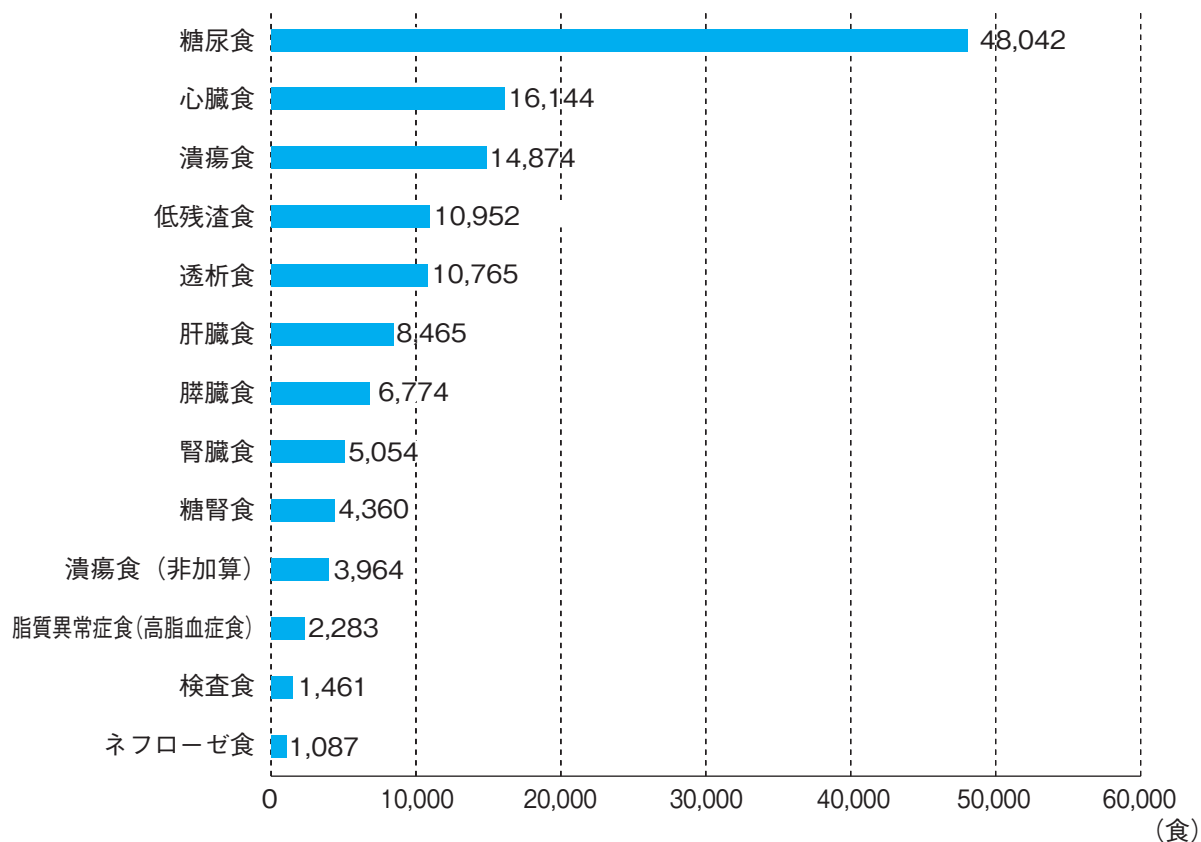
NST教育カリ キュラム	実施回数(回)		1	1	1
	受講者(人)	院外	4	4	5
		院内	2	1	1

(2) 食種詳細

①一般食 411,696食



②特別食 134,225食



薬局

1. 概要

薬局は、「薬あるところ薬剤師あり」を掲げ、薬のエキスパートとして各部局と連携をとり、医療チームの一員として薬物治療並びに医療安全に貢献することを目標としている。

薬局内には、管理・注射、製剤・調製、調剤・麻薬、医薬品情報の4グループからなる基本組織と治験管理センターが設置されている。

手術室にはサテライト薬局を設置しており、薬剤師が常駐して手術に使用する医薬品の供給・管理を行い、麻薬、毒薬等のハイリスク薬の適正管理を行っている。また、病棟においては、薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務を実施して、患者への服薬指導や副作用発現のチェック、他の医療職への情報提供などを行い、最適な薬物療法における有効性・安全性の向上に貢献している。特に特定集中治療室への薬剤師の配置により高度急性期医療を担うチーム医療の推進に寄与している。

なお、がん指導薬剤師、がん専門薬剤師、感染制御専門薬剤師、感染制御認定薬剤師、抗菌化学療法認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師、栄養サポートチーム専門療法士、日本糖尿病療養指導士等の専門領域の薬剤師は、各チーム医療の一員として役割を担い、薬剤師能を発揮している。

(局長 石田 隆浩)

2. 活動報告

(1) 患者数及び処方箋枚数

区分		年度	平成28年度(対前年度)	1日平均	平成27年度(対前年度)	1日平均	平成26年度(対前年度)	1日平均			
外来	患者数(人)	459,565	94.8%	1,891	484,692	100.1%	1,995	484,149	99.9%	1,984	
	院内	処方せん枚数(枚)	44,072	90.9%	181	48,486	98.2%	200	49,379	99.1%	202
		平均投薬日数(日)	14.1	102.2%		13.8	102.7%		13.5	111.1%	
		注射処方せん枚数(枚)	15,013	102.0%	62	14,725	101.7%	61	14,478	112.3%	59
	院外	処方せん枚数(枚)	163,959	95.2%	675	172,245	100.4%	709	171,585	100.7%	703
		平均投薬日数(日)	34.2	99.7%		34.3	99.3%		34.6	106.2%	
入院	患者数(人)	252,163	97.5%	691	258,733	100.1%	707	258,492	97.4%	708	
	処方せん枚数(枚)	114,317	98.1%	313	116,506	103.3%	318	112,833	98.5%	309	
	平均投薬日数(日)	6.8	90.7%		7.5	108.2%		7.0	104.6%		
	注射処方せん枚数(枚)	125,342	97.2%	343	128,896	101.1%	352	127,466	96.8%	349	
備考		外来日数	243日	外来日数	243日	外来日数	244日	入院日数	365日	入院日数	365日

(2) 薬剤管理指導実績

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
薬剤管理指導件数(件)	25,495	21,379	22,744
麻薬加算件数(件)	689	686	633

(3) 無菌製剤処理料実績

	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
無菌製剤処理料件数(件)	12,326	11,699	10,972

(4) 外来及び入院の科別処方箋枚数

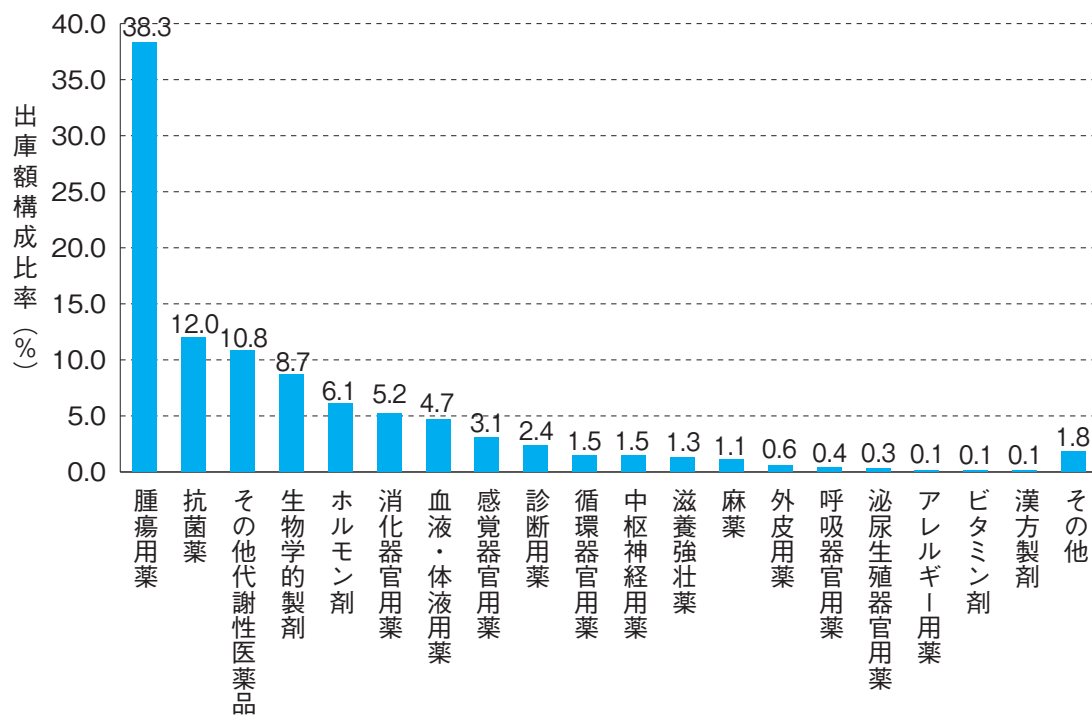
科 名	外 来			入 院	
	処方せん枚数(枚)		全処方せん枚数に対する科別比率(%)	処方せん枚数(枚)	全処方せん枚数に対する科別比率(%)
	院 内	院 外			
総合内科	844	3,838	2.3	206	0.2
一般外科	3,283	7,778	5.3	9,532	8.3
整形外科	1,726	9,175	5.2	9,384	8.2
脳神経外科	338	3,000	1.6	4,967	4.3
産婦人科	2,428	7,265	4.7	10,181	8.9
小児科	2,588	11,168	6.6	5,624	4.9
耳鼻いんこう科	1,086	9,022	4.9	4,661	4.1
皮膚科	2,671	16,112	9.0	2,541	2.2
泌尿器科	1,469	11,012	6.0	6,025	5.3
眼科	895	10,900	5.7	1,568	1.4
放射線科	19	225	0.1	2	0.0
こころのケア科	206	11	0.1	0	0.0
形成外科	133	440	0.3	3	0.0
歯科口腔外科	717	4,308	2.4	1,535	1.3
リハビリテーション科	10	15	0.0	0	0.0
麻酔科	10	0	0.0	0	0.0
救急科	11,494	26	5.5	0	0.0
呼吸器内科	751	9,673	5.0	11,811	10.3
消化器内科	4,942	14,603	9.4	16,316	14.3
循環器内科	1,172	9,658	5.2	4,998	4.4
アレルギー内科*	0	0	0.0	0	0.0
腎臓内科	1,044	5,041	2.9	2,866	2.5
糖尿病・内分泌内科	2,886	10,590	6.5	2,247	2.0
神経内科	457	6,251	3.2	7,277	6.4
血液・腫瘍内科	1,672	5,058	3.2	9,037	7.9
小児外科	15	252	0.1	19	0.0
移植外科	71	693	0.4	322	0.3
リウマチ科	857	6,460	3.5	586	0.5
脊椎外科	0	0	0.0	9	0.0
呼吸器外科	224	305	0.3	973	0.9
心臓血管外科	64	1,080	0.5	1,627	1.4
合 計	44,072	163,959	100.0	114,317	100.0
	208,031				

* 処方せん枚数：入院のアレルギー内科は呼吸器内科に含む。

(5) 抗がん薬及びIVH調製本数

	区 分	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
抗がん薬 (本)	入 院	6,828	6,366	6,489
	外 来	11,818	10,258	9,843
IVH (本)	入 院	987	1,379	767

(6) 薬効別出庫薬品

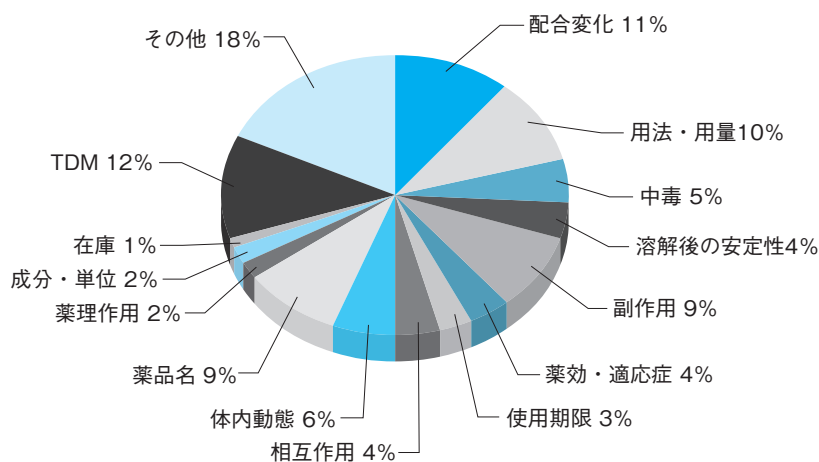


(7) 院内特殊製剤（一部抜粋）

剤形	製 剤 名 (出庫単位)	適 応 症 等	主な使用科	製剤量
坐剤・ 腔坐剤	チラージンS坐薬50 μ g	甲状腺機能低下症(内服不可能時)	糖尿病・内分泌内科等	116本
	ミラクリッド腔坐薬 1万単位	切迫早産(破水予防)	産婦人科	1,881本
	プロゲステロン腔坐薬 200mg	黄体ホルモン補充療法	総合生殖医療センター	4,371本
	リファンピシン坐薬 450mg	結核治療薬 (イレウス等で内服困難時)	呼吸器内科	29本
注射剤	3% 亜硝酸ナトリウム注(10mL)	シアン中毒の解毒	救急外来センター	8本
	安息香酸ナトリウム注(50mL)	高アンモニア血症	救急外来センター	12本
	眼科用アバスチン注	加齢黄斑変性症、血管新生緑内障	眼科	26本
	シリコンオイル眼注(10mL)	増殖硝子体網膜症の硝子体手術における眼内充填物	眼科	27本
	滅菌墨汁(5mL)	内視鏡的点墨法	消化器内科	152本
	2% パテントブルー注(5mL)	悪性リンパ腫のリンパ管染色	皮膚科	7本
点眼剤	0.5% デノシン点眼液(5mL)	サイトメガロウイルス角膜内皮炎	眼科	47本
	バンコマイシン点眼液(5mL)	MRSA 陽性患者への眼科感染症	眼科	24本
	0.125% ピロカルピン液(4mL)	瞳孔緊張症	眼科	23本
	0.5% 硫酸アトロピン点眼液(5mL)	診断または治療を目的とする散瞳と調節麻痺	眼科	54本
内用剤	セレン内服液(10 μ g/mL)	セレン欠乏症	小児科	21,180mL
	P.Child - C (CN)	風邪・咳用申し合わせ処方	小児科	11,000g
外用剤	SAD 液	円形脱毛症、疣贅	皮膚科	5,700mL
	鼓膜麻酔薬	鼓膜麻酔	耳鼻いんこう科	40mL
	DPCP 液	円形脱毛症、疣贅	皮膚科	3,600mL
	2% 滅菌 HPC 液	肉芽組織の清浄化と形成促進剤	血液・腫瘍内科等	10,500mL
	0.02% 滅菌ボスミン液	外傷・鼻・抜歯後など局所出血	耳鼻いんこう科等	27,600mL
	1% ヨウ素ヨウ化カリウム液	カメラ室における検査薬	消化器内科	8,700mL
軟膏剤	40%尿素軟膏	爪白癬の角質除去	形成外科	380g
	5% ヒドロキノン軟膏	メラニン色素の破壊・生成抑制	形成外科等	2,800g
	Mohs 氏ペースト	Mohs surgery における組織の固定	一般外科等	1,100g

(8) 医薬品情報室への問い合わせ状況

総件数：599件



(9) 医薬品情報提供

医薬品要覧	1回
Drug Information News	12回
薬局ニュース	12回
緊急安全性情報・安全性速報	0件
適応症に関する情報	37件
使用上の注意に関する情報	38件
用法・用量に関する情報	7件
安全性情報	39件
薬物血中濃度解析	72件

(10) 持参薬鑑別

	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
薬剤鑑別件数 (件)	11,987	11,927	11,110

(11) 治験実施数

治験／製造販売後	相	件数	予定症例数	実施症例数
治験	ph I	2	6	5
	ph I / II	1	1	0
	ph II	3	8	4
	ph III	21	79	38

(12) 副作用報告

	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
厚生労働省報告件数(件)	9	18	7
プレアボイド報告件数(件)	140	73	75

(13) 年間麻薬使用量

薬品名	平成28年度		平成27年度		平成26年度	
	院内	院外	院内	院外	院内	院外
オピオ注(本)	0	-	0	-	0	-
オピスコ注(本)	1	-	11	-	8	-
ペチジン塩酸塩注(本)	0	-	1	-	2	-
モルヒネ塩酸塩注10mg(本)	3,350	-	2,098	-	3,496	-
モルヒネ塩酸塩注50mg(本)	473	-	809	-	511	-
モルヒネ塩酸塩注200mg(本)	364	-	20	-	40	-
フェンタニル注0.1mg(本)	9,832	-	11,319	-	12,963	-
フェンタニル注0.5mg(本)	7,139	-	6,228	-	6,575	-
アルチバ静注用2mg(瓶)	3,832	-	4,034	-	4,167	-
アルチバ静注用5mg(瓶)	1,627	-	1,471	-	1,293	-
ケタラル静注用200mg(瓶)	642	-	562	-	836	-
オキファスト10mg(本)	696	-	1,571	-	1,335	-
オキファスト50mg(本)	482	-	431	-	597	-
プレベノン注100mgシリンジ(本)	136	-	5	-	-	-
MSコンチン錠10mg(錠)	1,269	949	1,167	1,802	2,530	1,519
MSコンチン錠30mg(錠)	592	14	964	735	330	14
ピーガード錠20mg(錠)	10	0	19	70	0	0
ピーガード錠30mg(錠)	0	0	0	0	18	0
ピーガード錠120mg(錠)	0	0	0	0	0	0
カディアンカプセル60mg(C)	0	0	0	0	0	0
カディアンスティック粒120mg(包)	0	0	0	0	0	0
カディアン分包品20mg(包)	0	-	0	-	0	-
カディアン分包品30mg(包)	0	-	0	-	0	-
モルベス細粒2%10mg(包)	1,864	652	2,139	884	26	14
モルベス細粒6%30mg(包)	-	-	30	0	68	0
モルヒネ塩酸塩錠10mg「DSP」(錠)	479	115	2,348	529	955	1,045
オプソ内服液5mg(包)	2,352	933	3,021	1,244	1,721	402
オプソ内服液10mg(包)	2,270	466	1,974	1,215	1,317	315
オキシコンチン錠5mg(錠)	23,383	34,736	29,602	28,272	30,395	26,218
オキシコンチン錠20mg(錠)	3,905	5,702	3,448	4,772	4,367	6,865
オキシコンチン錠40mg(錠)	1,730	4,846	2,837	4,438	1,688	3,274
オキノーム散2.5mg(包)	6,900	5,506.5	5,130	5,093	5,801	3,041
オキノーム散5mg(包)	4,999	3,479	5,773	3,573	5,086	2,817
オキノーム散10mg(包)	4,430	6,343	4,741	2,790	3,624	6,809
イーフェンバツカル錠50μg(錠)	173	30	601	50	360	122
イーフェンバツカル錠100μg(錠)	908	135	568	199	282	30
イーフェンバツカル錠200μg(錠)	279	294	2,799	680	417	0
タペンタ錠25mg(錠)	1,337	28	725	161	49	0
タペンタ錠100mg(錠)	872	14	44	0	0	0
アンベック坐薬10mg(本)	449	30	234	0	841	34
アンベック坐薬30mg(本)	51	0	40	0	104	0
デュロテップMTパッチ2.1mg(枚)	46	80	284	647	497	1,123
デュロテップMTパッチ4.2mg(枚)	3	29	283	491	403	581
デュロテップMTパッチ8.4mg(枚)	7	10	170	244	373	373
デュロテップMTパッチ16.8mg(枚)	-	0	275	6	150	85
フェントステープ1mg(枚)	2,581	2,727	2,899	1,916	2,831	1,645
フェントステープ2mg(枚)	4,331	2,687	5,020	2,345	3,923	816
フェントステープ6mg(枚)	1,680	490	1,757	212	1,243	598
ワンデュロパッチ1.7mg(枚)	-	-	-	-	0	0
アヘンチンキ(mL)	403.6	1,769.0	376.5	1,460.0	571.5	1,477.5
1%塩酸モルヒネ液(mL)	0	0	21.0	0	22.5	0
10%リン酸コデイン散(g)	0	0	0	0	0	0
10%塩酸コカイン液(mL)	46.0	0	49.0	0	28.0	0

※年度の設定は麻薬関係法令上、平成27年10月1日～平成28年9月30日までとする。

看護局

1. 概要

看護局の重点目標として以下を挙げ、看護局委員会、師長を中心に看護目標やチーム活動を実施し、目標達成に向けて取り組むことができた。

- ① 患者さん・ご家族の声を大切にし、安全・安心な看護を提供する
- ② 看護サービスの質の向上に努め、看護を可視化する
- ③ お互いを認め合う職場をつくる
- ④ 災害対応の強化に努める

今年度、当院の方針のもと、新たに看護災害対策委員会及びリンクナースを設け、学習会、アクションカードの作成や各部署でのシミュレーション訓練が実施できた。また、記録を通して看護の可視化を図る目的から、看護記録・クリニカルパス委員会に於いてリンクナースを設け、ケアプロセスが見える記録ができるようその活動を支援した。

さらに、高度急性期の医療の充実を図るために、救急外来センターと画像検査室を統合した。担当部署の師長・主任を中心にメンバーが一丸となり情報共有し、円滑な業務運営ができるように努めた。

(局長 間瀬 有奈)

2. 活動報告

(1) 看護局の状況

① 職員の動向

職員数 894人 助産師36 (2) 人 看護師767 (76) 人 准看護師14 (11) 人
看護補助者 62人 助手 5人 保育士 2人
退職者 41人 (定年退職者 4人含む)

② 看護師確保対策

(ア) 採用試験

平成29年度新規採用試験 3回実施 (新卒54人、既卒5人)

平成28年度中途採用試験 11回実施 (11人)

(イ) ガイダンス (4回実施 134人参加)

日 程	開 催 名	参加人数
5月14日	豊橋創造大学「病院を知る会」	32人
6月11日	豊橋市民病院就職ガイダンス	41人
7月9日	豊橋市民病院就職ガイダンス	5人
3月20日	看護師就職春ガイダンス	56人

(ウ) 学校訪問 (12校)

日 程	訪 問 校
5月10日	浜松医科大学、浜松市立看護専門学校、宝陵高校衛生看護科 穂の香看護専門学校
5月17日	椋山女学園大学、中部大学、愛知県立看護大学 岐阜医療科学大学、愛知きわみ看護短期大学
5月20日	三重県立看護大学、県立愛知看護専門学校、岡崎市立看護専門学校

(エ) インターンシップ

開催期間	研 修 名	人 数
8月8日～8月19日	夏のインターンシップ	7人
3月13日～3月29日	春のインターンシップ	34人

(オ) 施設見学 総数25人

(カ) 看護師再就職チャレンジ支援研修 (6月13日～6月16日) 7人参加

(キ) 看護体験

高校生 ナースセンター開催 30人

自開催 8月18日 30人 8月10日 32人

3月24日 35人 3月25日 34人

中学生職場体験 15人

(ク) 育児休業中職員向けに「ぶっちゃけママトーク」開催 40人

(ケ) 育児復帰者研修 14人 (育服者 7人 パート・中途採用者 7人)

3. 認定看護師

(1) 認定看護師数 (25人)

感染管理 (2) 救急看護 (3) 皮膚・排泄ケア (3) がん化学療法看護 (2)

がん性疼痛看護 (2) 緩和ケア (1) 集中ケア (1) 新生児集中ケア (1)

摂食・嚥下障害看護 (1) 脳卒中リハビリ看護 (1) 認知症看護 (1) 訪問看護 (1)

糖尿病看護 (1) 透析看護 (1) 手術看護 (1) 小児救急 (1) 看護管理 (2)

(2) 平成28年度 認定看護師活動実績 (資料1)

4. 教育活動

(1) クリニカルラダー認定者数

レベルⅠ 395人 レベルⅡ 127人 レベルⅢ 4人

(2) 平成28年度 研修状況 (資料2)

(3) 病棟看護補助者研修66人参加

5. その他

医療安全管理者養成研修修了者 11人

専任看護教員養成講習会修了者 13人

愛知DMAT隊員養成研修修了者 2人

災害派遣医療チーム研修修了者（日本DMAT隊員）8人

愛知県看護協会災害支援ナース登録者 16人

(資料1) 平成28年度 認定看護師活動実績

	実 践	指 導	相 談
感染管理	<ul style="list-style-type: none"> ①医療関連感染サーベイランス（耐性菌・ウイルス、CLABSI、CAUTI、VAP） ②職業感染予防対策の推進（抗体価測定、ワクチン接種事業、他） ③職員健康外来の開催と診療介助 ④IC トピックスの配信 ⑤ ICT News の発行 ⑥院内感染対策委員会、院内感染対策チーム（ICT）、感染症管理センター会議の事務局運営 	<ul style="list-style-type: none"> ①新規採用者オリエンテーション：講義 ②基礎看護技術演習：講義&演習 ③クリニカルラダーⅠ：講義&机上演習 ④クリニカルラダーⅡ：感染症病棟視察（見学）&講義 ⑤再就職チャレンジ支援研修：講義 ⑥中途採用者オリエンテーション：講義（計3回） ⑦院内感染対策講習会：講義（計2回） ⑧救急医学講座：講義 ⑨NST教育カリキュラム：講義 	<ul style="list-style-type: none"> ①132件
手術看護	<ul style="list-style-type: none"> ①手術センター新人看護師の教育 	<ul style="list-style-type: none"> ①認定看護師セミナー「みんなで体温管理」 ②豊橋市立看護専門学校 看護第1科：成人看護援助論Ⅰ「手術と看護」講義 ③豊橋市立看護専門学校 看護第2科：成人看護援助論Ⅱ「周術期看護」講義 ④日本手術看護学会東海地区「内視鏡手術看護セミナー」ハンズオン講師 ⑤日本手術看護学会東海地区「新人交流会」ファシリテーター 	<ul style="list-style-type: none"> ①手術センター内での体位固定についての相談（5件）
訪問看護	<ul style="list-style-type: none"> ①在宅療養支援：75人（入院）、19人（外来） ②訪問看護ステーション勤務者向け勉強会開催：5回、参加人数合計97人 ③退院前訪問：4人 ④退院後訪問：3人 ⑤長期入院者院内ラウンド：6回 	<ul style="list-style-type: none"> ①患者総合支援センターセミナー「みんなですすめる 退院支援 退院調整」講義 ②職場復帰支援研修「地域包括ケアシステムにおける在宅療養支援」講義 ③訪問看護ステーション勉強会開催：5回 ④訪問看護ステーション交流会：1回 	<ul style="list-style-type: none"> ①なし

透析看護	<ul style="list-style-type: none"> ①血液浄化センターでの看護実践を通しての現場の質向上 ②腹膜透析患者に対してチューブ交換手技マニュアル作成 ③透析導入患者に対しての導入前面談実践（2017年2月末時点：49件） ④入院患者・外来患者のシャントスクリーニング（2017年2月末時点：59件） ⑤転入患者のシャントスクリーニング（2017年2月末時点：70件） 	<ul style="list-style-type: none"> ①認定看護師セミナー「内シャント感染と予防」 ②外来主任会勉強会「慢性腎臓病（CKD）」 ③血液浄化センタースタッフ対象の学習会 <ul style="list-style-type: none"> (ア)「バスキュラアクセスの観察とケア」 (イ)「リンのおはなし」 (ウ)「栄養指導のポイント」 (エ)「透析導入期の生活支援」 (オ)「腹膜透析について」 (カ)「PD＋HD併用療法」 (キ)「検査データの見方」 	<ul style="list-style-type: none"> ①シャントトラブルに対する相談（3件）
認知症看護	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症や高齢により心身の安寧が得られていない患者に対する症状マネジメント ②認知症のある患者の家族支援 ③認知症サポートチームラウンド（週1回および適宜臨時、187例） ④院内デイケア（摂食・嚥下障害看護認定看護師および脳卒中リハビリテーション看護認定看護師との共同により31回開催、延べ203人参加） 	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症サポートチームラウンドを通して、認知症看護についてスタッフに指導 ②勉強会 <ul style="list-style-type: none"> (ア)院内トピックス研修「高齢者の看護（高齢者の心理、高齢者の看護における家族支援、認知症高齢者の看護）」 (イ)職場復帰支援研修「せん妄ケアを実践しよう～安全・安楽な療養支援のために～」 (ウ)認知症対策委員会主催「認知症看護について～DSTラウンドの事例から学ぶ、せん妄ケア～」 (エ)認定看護師セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ①年間相談依頼件数（3件）
摂食・嚥下障害看護	<ul style="list-style-type: none"> ①認定看護師嚥下回診（週1回）介入件数：108件 ②病棟内の摂食・嚥下障害患者の把握と定期的な評価 ③摂食機能療法の算出開始（平成28年8月より） 	<ul style="list-style-type: none"> ①摂食機能療法プロジェクトチーム開催の勉強会を通してのスタッフ指導 ②認定看護師セミナー（院内）「あなたの知らない食事介助のコツ」 ③愛知県摂食・嚥下障害看護認定看護師会（院外）「脳血管疾患の摂食・嚥下障害」 ④「脳からわかる摂食・嚥下障害」～NOBUV～全3回（南、西2、東7、西7） 	<ul style="list-style-type: none"> ①筋ジストロフィー患児の摂食訓練方法について（東2） ②家族が行える摂食訓練について（東3） ③自宅退院する患者・家族への食事形態の指導について（東7） ④姿勢調整が困難な患者への食事介助方法について（東7） ⑤自己にて行える間接訓練について（東7）

小児救急看護	①採血時のプレパレーション	①病棟学習会 (ア)子どもの視野体験と子どもの権利について (イ)災害時の子どもの反応について ②新人指導 (ア)PBL演習 ③認定看護師セミナー(院内) (ア)子どもの「みかた」講義 ④准看護学校講義「小児看護」	①プレパレーションツール内容について ②災害時の小児トリアージについて
脳卒中リハビリテーション看護	①音楽療法・院内デイケアを活用した離床時間の延長 ②片麻痺患者や意識障害患者のポジショニング検討 ③高次脳機能障害患者への看護介入 ④深部静脈血栓予防への対策 ⑤脳卒中退院時指導プロジェクトの運営(1回/月) (ア)脳卒中再発予防パンフレットの作成・配布開始H27.5～ (イ)脳卒中再発予防プログラムの作成と実施H27.11～ ⑥摂食機能療法プロジェクト会議への参加(1回/月)	①認定看護師セミナー「脳卒中予防のための生活習慣について」 ②トピックス研修「高齢者の看護」 ③訪問看護師交流会「脳卒中患者さんのリハビリ看護」 ④東三河こども看護フェア「脳卒中予防：塩分当て釣りゲーム」 ⑤NŌBUV(計9回)「脳卒中看護・摂食嚥下障害看護」(西2・南・東7・西7) ⑥西病棟2階看護師対象の勉強会 (ア)「はじめての脳神経看護」 (イ)「片麻痺患者のポジショニング」 (ウ)「深部静脈血栓症の理解」	①年間相談依頼件数(3件) (ア)「トルソー症候群の理解・日常生活動作・コミュニケーション方法の検討」(東6) (イ)「高次脳機能障害への対応」(西2) (ウ)「円背のポジショニング」(西2)
糖尿病看護	①糖尿病内分泌内科病棟での糖尿病教育入院患者、糖尿病合併症患者に対する看護実践を通し、糖尿病看護の質向上に努めた ②院内インスリン関連針刺し事故の分析・対策検討 ③糖尿病対策委員会・サポートチームの構築	①新人基礎看護技術研修「血糖測定、インスリン自己注射」講義・演習 ②クリニカルラダートピックス研修「糖尿病看護」講義 ③認定看護師セミナー「正しいインスリンの自己注射の方法教えます！」講義・演習 ④病棟学習会「インスリンの作用について」「糖尿病看護」「運動」講義 ⑤透析室看護師対象勉強会「下肢観察」講義 ⑥新人シミュレーション研修「多重課題の振り返り」講義 ⑦訪問看護勉強会「高齢者の糖尿病について」講義 ⑧看護学校講義「内分泌・代謝疾患の看護」 ⑨准看護学校講義「内分泌・代謝疾患の看護」	①年間相談依頼件数(14件) (ア)インスリン自己注射指導(8件) (イ)フットケア(4件) (ウ)低血糖・シックデイ指導(1件) (エ)下肢観察の講義依頼(1件)

<p>皮膚・排泄ケア</p>	<p>①褥瘡ラウンド（週1回：308件） ②褥瘡フォローアップ回診（週1回：212件） ③褥瘡ハイリスク患者のリスクアセスメント・予防計画書立案・ラウンド・評価 ④ストーマ外来での患者のケア（週3回：611件）</p>	<p>①褥瘡勉強会（講義）：3回 「褥瘡の基礎知識、発生要因」 「リスクアセスメント（ブレードンスケールの採点方法）」 「体圧分散用具の種類と特徴・選択方法」 「褥瘡ケア用品の正しい使い方」 「ポジショニング」 「褥瘡のアセスメント（DESIGN-Rの採点方法）」 ②褥瘡ラウンドを通して、褥瘡予防・褥瘡ケアについてスタッフへ指導 ③認定看護師セミナー：2回「スキンケアについて」「オムツによる排尿ケアの基本」 ④基礎看護技術演習：講義・演習「安楽な体位の工夫」 ⑤NST教育カリキュラム：褥瘡ラウンド同行・講義 ⑥ストーマケアプロジェクトチーム会（月1回）・勉強会 「ストーマサイトマーキング」「早期合併症」「症例検討①②」「社会福祉」「装具選択①②」 ⑦ストーマ外来に病棟看護師が参加し、ストーマケア指導：11回 ⑧再就職チャレンジ支援研修：講義・演習「スキンケア、褥瘡の予防対策」</p>	<p>①年間相談依頼件数（161件）</p>
<p>緩和ケア</p>	<p>①緩和ケアチームラウンド（週1回：新規依頼件数：36件/年） ②緩和ケアチームカンファレンス（週1回21件/年） ③緩和ケア外来（毎週火曜日） ④がん患者指導管理1におけるIC同席5件/年 ⑤がん患者指導管理2における心理的支援（8件/年）</p>	<p>①認定看護師セミナー（院内）：「患者ケアに活かそう 苦痛のスクリーニング STAS-J」講義 ②緩和ケアリンクナース会（2回） ③院内ラダー研修 (ア)緩和1「痛みのマネジメント」講義 (イ)緩和2「緩和ケアにおける臨床倫理」講義 ④ELNEC-J「喪失・悲嘆・死別」講義 ⑤豊橋緩和ケア地域連携講演会「豊橋市民病院における緩和ケアの取組」講演</p>	<p>①年間相談依頼件数（10件） ②自部署病棟看護師からの相談対応</p>

<p>がん化学療法看護</p>	<p>①がん化学療法前オリエンテーションマニュアル修正（外来治療センター） ②がん患者指導管理1におけるIC同席：1件 ③がん患者指導管理2における心理的支援：1件 ④がん化学療法認定看護師病棟ラウンド（10部署）</p>	<p>①院内研修 （ア）がん看護基礎：「がん対策基本法と地域がん診療連携拠点病院の役割、がん患者の心理と看護支援」講義 （イ）がん看護1：「がん化学療法薬の安全な取り扱いと投与管理」講義 （ウ）がん看護2：「悪心の症状マネジメントとセルフケア支援」講義 （エ）皮下埋め込み型ポート（CVポート）の研修（4回） ②認定看護師セミナー 「化学療法による味覚障害～CiTASを用いた評価と看護介入～」</p>	<p>①末梢神経障害に対する対処方法 ②味覚障害を訴える患者への看護 ③ポートからの抗がん剤投与での注意点 ④長時間投与のレジメンでの投与上の注意点について ⑤口内炎悪化時の対応 ⑥抗がん剤による血管痛の対処方法 ⑦CVポートの穿刺困難による相談 ⑧好中球減少時の食事指導</p>
<p>がん性疼痛看護</p>	<p>①緩和ケアチームラウンド（週1回：新規依頼件数：36件/年） ②緩和ケアチームカンファレンス（週1回：21件/年） ③緩和ケア外来（毎週火曜日） ④緩和ケア地域連携クリニカルパスによる退院調整（2件/年） ⑤がん患者指導管理1におけるIC同席（170件/年） ⑥がん患者指導管理2における心理的支援（26件/年） ⑦がん相談支援センターにおけるがん相談（151件/年）</p>	<p>①認定看護師セミナー（院内）：「患者ケアに活かそう 苦痛のスクリーニング STAS-J」講義 ②緩和ケアリンクナース会（2回） ③院内ラダー研修 （ア）トピックス研修 がん看護の基礎①「がん患者の意思決定支援」講義 （イ）緩和1 「痛みのマネジメント」講義 （ウ）緩和2 「緩和ケアにおける臨床倫理」講義 ④職場復帰支援研修 講義 ⑤病棟勉強会「がん性疼痛のマネジメント」講義 ⑥訪問看護ステーション勉強会「在宅における注射薬での疼痛管理」講義</p>	<p>①年間相談依頼件数（49件）</p>

救急看護	<p>①救急外来における看護実践を通し現場の質の向上に努めた</p> <p>②災害看護の知識、技術の習得、向上の為講習会を開催し講義、演習を行った</p> <p>③院内BLS・ICLS研修ではインストラクターとして参加し急変時の対応についての知識・技術の普及を図りインストラクターの育成にも努めた</p>	<p>①ラダー講義 演習（救急看護1 災害看護Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）</p> <p>②認定看護師セミナー「2次トリアージを習得しよう」</p> <p>③看護師再就職チャレンジ研修「患者の見かた」</p> <p>④新人研修「12誘導心電図」演習 「フジカルアセスメント」講義</p> <p>⑤院内BLS ICLS講習 インストラクター育成</p> <p>⑥看護学校第1科、2科「災害看護」講義</p> <p>⑦起震車 エアーストレッチャーでの避難訓練 演習</p> <p>⑧アクションカード作成と災害訓練の実施について指導と支援を行った</p>	①年間相談依頼件数 (6件)
新生児集中ケア	<p>①超低出生体重児の蘇生を医師と共に速やかに実施し安定化を図る</p> <p>②新生児医療センターで看護実践を通し看護の質向上を目指す</p>	<p>①病棟勉強会 <NMC> (ア)超低出生体重児の蘇生シミュレーション (医師と協働) (イ)ディベロップメンタルケアの概念を基にした看護 (ウ)ポジショニング勉強会 <4階> (ア)正常新生児の観察 (イ)ハイリスク新生児の看護</p> <p>②認定看護師セミナー (院内) 育児の違い 今・昔</p> <p>③看護学校講義 新生児看護</p>	①年間相談依頼件数 (3件)
集中ケア	<p>①呼吸ケアサポートチーム活動(RST) 人工呼吸器装着患者の早期呼吸器離脱を目指した活動 (ラウンド患者数:年間延べ103人)</p> <p>②西病棟3階 (集中治療室) での看護実践を通し、提供する看護の質的向上を目指す</p>	<p>①認定看護師セミナー (院内) 講義「せん妄とその評価」</p> <p>②新人研修 講義「呼吸と循環のアセスメント」</p> <p>③院内クリニカルラダー研修 講義「救急看護2」「救急看護3」</p>	①年間相談依頼件数 (6件) ②RSTラウンドでの年間相談件数 (15件)

(資料2) 平成28年度 研修状況

	日付	研修名	延参加人数	内 容
フ レ ッ シ ユ	4/7 4/8 4/11 4/13	情報研修	53人	電子カルテの操作方法
	4/12 4/15 4/19 4/22 4/26 5/2 5/6	基礎看護技術研修 (7日 間)	364人	感染対策 バイタルサイン測定 膀胱留置カテーテル 静脈採血と血糖測定 フィジカルアセスメントと酸素療法 上気道吸引の仕方 皮下注射と筋肉内注射 点滴静脈内注射の方法 看護必要度と栄養評価 (NST) 安楽な体位の工夫
	4/25 4/27 4/28	外来看護半日研修	52人	外来看護の業務 (診察介助、検査説明、指導、治療) 外来患者への関わり
	5/10 5/17 5/24 5/31 6/7 6/14 6/21	心電図研修	52人	12誘導心電図計の正しい電極装着と操作方法
	6/2 7/7 8/4 9/1 10/6 12/1	BLS 研修	51人	気道確保、胸骨圧迫などの蘇生方法 AED (自動体外式除細動器) の使用方法
	5/25	新人フォロー振り返り研 修	52人	働き始めて困ったこと、SBARを用いた報告の仕方
	6/29	ME 研修	52人	輸液ポンプと輸注ポンプの取り扱い
	7/6	消防研修	68人	院内消防設備の講義と消火用散水栓・消火器の取扱い
	7/6	入職3ヶ月フォローアッ プ	52人	患者情報の整理と業務の組み立て方 (グループワー ク)
	8/1	医療安全	52人	新人が起こしやすいインシデントと改善策
	9/9	輸血	52人	血液製剤の取り扱いと輸血時の看護
	10/7-8	宿泊研修	79人	多重課題シミュレーション、フィジカルアセスメン ト、KYT
	11/21	急変時の対応	51人	胸骨圧迫の仕方とAEDの操作 救急カート内の物品の使用方法 挿管チューブ固定方法 心電図装着方法と危険波形の理解
	12/7	ME 研修	51人	人工呼吸器の取り扱いと看護
	2/13	プリセプターシップ	51人	一年の振り返りと次年度への課題
	2/13	医療安全	51人	チームワークを活用した医療安全対策
	レ ベ ル I	5/16	救急看護 <1>	53人
7/4		受け持ち看護師の役割看 護過程	48人	受け持ち看護師の役割について 看護過程の基本的な考え方と情報の解釈と問題の明確化
8/29		KYT <1>	27人	医療安全におけるKYT 4 ラウンド法の活用
10/24 12/5		災害看護 <1>	38人 29人	災害の定義と種類、トリアージ 災害拠点病院の役割と災害時の対応策

レベルⅠ	11/4	感染管理〈1〉	58人	標準予防策と感染経路別の予防対策のエビデンス 針刺し切創および皮膚粘膜汚染事故の実際
	1/13	がん看護〈1〉	32人	がん化学療法の看護と抗がん剤の作用機序
レベルⅡ	5/23 11/14	災害看護〈2〉	22人 39人	災害トリアージの方法と応急処置
	6/6	救急看護〈2〉	28人	生命維持の基本とショックおよび急変時の対応
	6/27	リーダーシップ	30人	リーダーシップに必要な能力と理論
	7/22 10/31	文献検討① 文献検討②	19人 19人	文献検索方法と文献カードを使った文献検討の仕方 文献の読み方
	7/29	看護倫理〈1〉	43人	看護倫理の原則、倫理と法律 倫理的な課題・ジレンマへのアプローチ方法
	8/15	人材育成〈1〉	33人	人材育成に必要な能力
	9/5 12/2	看護実践リフレクション	29人 24人	体験・経験した看護実践の振り返りと意味づけの明確化
	9/26	日々リーダーの役割	35人	日々リーダーの役割とマネジメント能力
	12/19	KYT〈2〉	12人	病棟ラウンドによる危険な環境要因の発見 KYT 4 ラウンド法による危険因子と危険回避対策の検討
	1/6	緩和〈1〉	11人	がん性疼痛のアセスメント 疼痛緩和に関する薬物療法と看護師の役割
2/20	がん看護〈2〉	15人	がん患者の症状マネジメントと看護ケア	
レベルⅢ	5/30	日直・夜勤リーダーの役割	7人	日直・夜勤リーダーの役割とトラブル時の対応 病院の医療体制と宿日直師長の役割
	6/20	看護倫理〈2〉	9人	倫理原則を活用した倫理問題へのアプローチ
	7/11 10/3	人材育成〈2〉① 人材育成〈2〉②	4人 4人	指導に対する考え方（指導観の明確化） 基礎看護技術に関する指導案の作成と評価の仕方
	7/25 11/28	SWOT分析① SWOT分析②	11人 11人	SWOT分析の手法の理解
	8/8 9/2 11/7 1/16	看護理論①～④	16人	看護の主要概念の検討と看護観の明確化
	8/22	災害看護〈3〉	15人	災害時のアクションカード作成
	9/12 1/23	研究計画書の理解① 研究計画書の理解②	5人 5人	研究計画書の作成方法
	12/12	RCA分析	12人	RCA分析の実際
	1/30	感染管理〈2〉	16人	感染症患者の管理体制と感染症曝露後の対応
	2/6	救急看護〈3〉	11人	フィジカルアセスメントと急変対応の演習
3/3	緩和〈2〉	6人	意思決定のプロセス 緩和ケアにおける倫理的問題とケアの実際	

実地指導者	4/25	実地指導者研修	55人	実地指導者の役割認識と効果的な指導 新人看護職員の現状と育成 看護技術の指導方法と評価 コーチングスキル メンタルサポート支援
	6/13		54人	
	10/17		53人	
	3/13		56人	
トピックス	6/3	高齢者の看護	13人	高齢者特有の疾患をふまえた関わり方 高齢者の心理と家族支援
	7/1	がん看護の基礎	19人	がんの基礎知識 がん診療連携拠点病院の役割 がん患者の心理と日常生活への看護支援
	8/5	糖尿病看護	18人	糖尿病の基礎知識 インシュリンの種類、作用、副作用、取り扱い方法 患者・家族への指導

各レベル	コマ数	延べ人数
フレッシュ	22 コマ	1,183人
レベルⅠ	7 コマ	285人
レベルⅡ	14 コマ	359人
レベルⅢ	17 コマ	132人
実地指導者	4 コマ	218人
トピックス	3 コマ	50人
計	67 コマ	2,227人

1. 概要

本年度は、DPC 医療機関群Ⅱ群病院（大学病院本院に準ずる高度な医療を提供する病院として全国で140病院）に指定されるとともに、2010年度以降継続した経常収支の黒字や地域医療支援病院としての取り組みにより、自治体立優良病院表彰を受賞した。加えて、臓器の提供・移植に関する体制整備及び脳死下での実績が認められ、臓器提供施設として厚生労働大臣から感謝状を授与されるなど、高度急性期医療を担う病院として高い評価を得ることができた。また、地域医療機関との紹介・逆紹介を促進するため、地域連携登録医向けの広報誌の発行に加え、地域の医療機関に院長が自ら足を運び、病診連携の強化に努めたほか、医療スタッフの確保・定着を図るため、給与面での処遇改善とともに、院内保育所における病児保育の実施により、子育て世代の離職防止に取り組んだ。

主な事業としては、地域がん診療連携拠点病院として、最新の治療装置と検査機器を備えた高度放射線棟を開設するとともに、地域全体の医療水準の向上を図るため、同棟の2階に、シミュレーション研修センターを整備した。また、内視鏡手術の増加や最新の医療技術に対応するため、2019年度の開設を目指し、手術センター棟を整備することとし、基本設計及び実施設計に着手した。

（局長 黒釜 直樹）

2. 活動報告

(1) 収益的収入及び支出

区分	平成 28 年度			平成 27 年度			平成 26 年度				
	金額(円)	医業 収益比 (%)	構成比 (%)	金額(円)	医業 収益比 (%)	構成比 (%)	金額(円)	医業 収益比 (%)	構成比 (%)		
収益的 収入	医業 収益	入院収益	15,929,472,794	62.3	58.0	16,057,961,457	63.7	58.5	15,684,645,427	65.3	59.2
		外来収益	8,421,437,767	33.0	30.6	8,034,963,994	31.8	29.3	7,285,520,374	30.3	27.5
		その他医業収益	1,205,101,427	4.7	4.4	1,127,171,691	4.5	4.1	1,051,475,208	4.4	4.0
		小計	25,556,011,988	100.0	93.0	25,220,097,142	100.0	91.9	24,021,641,009	100.0	90.7
	医業外 収益	受取利息	2,910,194	0.0	0.0	3,300,163	0.0	0.0	4,482,915	0.0	0.0
		他会計負担金	788,750,220	3.1	2.9	1,097,885,881	4.3	4.0	1,189,897,907	4.9	4.5
		国庫補助金	20,973,000	0.1	0.1	19,398,000	0.1	0.1	22,448,000	0.1	0.1
		県補助金	42,488,000	0.1	0.2	44,604,000	0.2	0.2	40,830,000	0.2	0.2
		長期前受金戻入	644,372,340	2.5	2.3	668,203,777	2.6	2.4	752,884,253	3.1	2.8
		その他医業外収益	222,965,050	0.9	0.8	219,705,882	0.9	0.8	253,790,619	1.1	1.0
		小計	1,722,458,804	6.7	6.3	2,053,097,703	8.1	7.5	2,264,333,694	9.4	8.6
	特別 利益	長期前受金戻入	194,847,695	0.8	0.7	181,525,166	0.8	0.6	192,162,087	0.8	0.7
		小計	194,847,695	0.8	0.7	181,525,166	0.8	0.6	192,162,087	0.8	0.7
計	27,473,318,487	107.5	100.0	27,454,720,011	108.9	100.0	26,478,136,790	110.2	100.0		
収益的 支出	医業 費用	給与費	11,953,435,284	46.8	44.6	11,346,289,270	45.0	43.8	10,770,894,417	44.8	35.6
		材料費	7,932,084,951	31.0	29.6	7,958,684,013	31.6	30.7	6,996,697,339	29.1	23.1
		経費	3,480,804,279	13.6	13.0	3,438,731,467	13.6	13.3	3,517,946,020	14.7	11.6
		減価償却費	1,603,766,509	6.3	6.0	1,683,773,810	6.7	6.5	1,928,125,102	8.0	6.4
		資産減耗費	259,081,628	1.0	1.0	139,893,374	0.5	0.6	196,502,593	0.8	0.7
		研究研修費	103,123,784	0.4	0.4	104,626,103	0.4	0.4	92,339,231	0.4	0.3
		小計	25,332,296,435	99.1	94.6	24,671,998,037	97.8	95.3	23,502,504,702	97.8	77.7
	医業外 費用	支払利息	505,273,053	2.0	1.9	548,797,661	2.2	2.1	593,405,695	2.5	2.0
		繰延資産償却	0	0.0	0.0	18,784,307	0.1	0.1	191,189,139	0.8	0.6
		保育費	41,850,785	0.1	0.1	35,009,287	0.1	0.1	44,825,623	0.2	0.2
		長期前払消費税償却	1,782,827	0.0	0.0	33,919,418	0.1	0.1	46,761,262	0.2	0.2
		貸倒引当金繰入額	20,176,000	0.1	0.1	22,751,900	0.1	0.1	8,529,666	0.0	0.0
		雑損失	893,085,618	3.5	3.3	580,174,888	2.3	2.2	375,558,105	1.5	1.2
小計	1,462,168,283	5.7	5.4	1,239,437,461	4.9	4.7	1,260,269,490	5.2	4.2		
特別 損失	引当金繰入額	0	-	-	0	-	-	5,466,525,650	22.8	18.1	
	小計	0	-	-	0	-	-	5,466,525,650	22.8	18.1	
計	26,794,464,718	104.8	100.0	25,911,435,498	102.7	100.0	30,229,299,842	125.8	100.0		
当年度純利益(△純損失)	678,853,769	-	-	1,543,284,513	-	-	△3,751,163,052	-	-		
前年度繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	1,022,637,038	-	-	1,022,352,525	-	-	△7,517,133,941	-	-		
その他未処理欠損金変動額	0	-	-	0	-	-	9,442,723,599	-	-		
当年度未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	1,701,490,807	-	-	2,565,637,038	-	-	△1,825,573,394	-	-		

(2) 行為別入院収益・外来収益

区 分		平成 28 年 度		
		金 額 (円)	前年度比 (%)	構成比 (%)
入 院 収 益	投 薬 収 入	111,113,854	88.0	0.7
	注 射 収 入	301,234,580	75.7	1.9
	処 置 及 び 手 術 収 入	4,228,895,831	97.6	26.5
	検 査 収 入	197,894,344	89.9	1.2
	放 射 線 収 入	39,639,452	83.0	0.3
	入 院 料	10,274,988,285	100.8	64.5
	給 食 収 入	366,148,273	97.4	2.3
	そ の 他	409,558,175	113.4	2.6
	計	15,929,472,794	99.2	100.0
外 来 収 益	初 診 料	154,748,345	92.7	1.9
	再 診 料	835,092,673	103.6	9.9
	投 薬 収 入	811,209,544	83.0	9.6
	注 射 収 入	3,095,443,701	114.5	36.8
	処 置 及 び 手 術 収 入	370,354,607	99.9	4.4
	検 査 収 入	1,803,276,404	103.2	21.4
	放 射 線 収 入	1,096,538,497	105.7	13.0
	そ の 他	254,773,996	112.3	3.0
	計	8,421,437,767	104.8	100.0

(3) 資本的収入及び支出

(円)

区 分		平成28年度	増 減	平成27年度	増 減	平成26年度	増 減
資 本 的 収 入	企 業 債	5,448,700,000	3,386,700,000	2,062,000,000	2,062,000,000	-	△90,000,000
	他 会 計 出 資 金	-	-	-	-	-	△88,028,375
	他 会 計 負 担 金	946,626,659	30,125,499	916,501,160	△43,757,835	960,258,995	△26,481,755
	投 資 回 収 金	8,860,000	6,172,500	2,687,500	△1,342,634	4,030,134	4,006,134
	県 補 助 金	3,492,000	3,492,000	-	△4,132,000	4,132,000	△262,197,000
	固 定 資 産 売 却 代 金	-	△ 72,736,110	72,736,110	72,736,110	-	-
	損 益 勘 定 留 保 資 金	2,042,554,669	696,909,267	1,345,645,402	△249,971,504	1,595,616,906	△326,242,807
	消費税及び地方消費税資本的収支調整額	19,388,308	10,850,187	8,538,121	5,934,563	2,603,558	△345,395
計	8,469,621,636	4,061,513,343	4,408,108,293	1,841,466,700	2,566,641,593	△789,289,198	
資 本 的 支 出	施 設 改 良 費	4,469,042,492	2,317,488,892	2,151,553,600	2,050,513,600	101,040,000	△325,279,350
	資 産 購 入 費	2,487,826,429	1,691,604,843	796,221,586	△114,854,816	911,076,402	△405,324,705
	長 期 貸 付 金	36,499,200	6,947,800	29,551,400	7,573,400	21,978,000	8,007,000
	企 業 債 償 還 金	1,476,241,208	45,459,501	1,430,781,707	△101,765,484	1,532,547,191	△66,692,143
	補 助 金 返 還 金	12,307	12,307	-	-	-	-
	計	8,469,621,636	4,061,513,343	4,408,108,293	1,841,466,700	2,566,641,593	△789,289,198

(4) 貸借対照表 (平成29年3月31日)

資 産 の 部

(単位：円)

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土 地		6,385,451,623	
ロ 建 物	19,096,393,672		
減価償却累計額	<u>△ 7,567,233,117</u>	11,529,160,555	
ハ 附 属 設 備	16,873,919,804		
減価償却累計額	<u>△11,534,338,584</u>	5,339,581,220	
ニ 構 築 物	1,592,874,896		
減価償却累計額	<u>△ 752,015,663</u>	840,859,233	
ホ 器 械 備 品	10,156,320,961		
減価償却累計額	<u>△ 5,848,993,668</u>	4,307,327,293	
ヘ 車 両	27,968,111		
減価償却累計額	<u>△ 22,092,017</u>	5,876,094	
ト 放射線同位元素	14,625,000		
減価償却累計額	<u>△ 2,294,460</u>	12,330,540	
チ リ ー ス 資 産	201,612,000		
減価償却累計額	<u>△ 86,601,500</u>	115,010,500	
リ 建 設 仮 勘 定		<u>21,616,666</u>	
有形固定資産合計			28,557,213,724

(2) 無形固定資産

イ 電 話 加 入 権		7,041,831	
ロ ソフトウェア		61,884,000	
ハ ソフトウェア仮勘定		175,400,000	
ニ その他無形固定資産		<u>2,574,312</u>	
無形固定資産合計			246,900,143

(3) 投資その他の資産

イ 長 期 貸 付 金	79,946,200		
貸倒引当金	<u>△ 47,115,000</u>	32,831,200	
ロ 出 資 金		500,000	
ハ 破産更生債権等	104,527,850		
貸倒引当金	<u>△ 104,527,850</u>	<u>0</u>	
投資その他の資産合計			<u>33,331,200</u>
固定資産合計			28,837,445,067

2 流動資産

(1) 現金預金		7,617,350,166	
(2) 未収金	4,464,457,064		
貸倒引当金	<u>△ 21,990,877</u>	4,442,466,187	
(3) 貯蔵品		57,428,141	
(4) 前払金		<u>139,679,550</u>	
流動資産合計			<u>12,256,924,044</u>
資産合計			<u>41,094,369,111</u>

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>19,288,195,615</u>		
企業債合計		19,288,195,615	
(2) リース債務		81,104,140	
(3) 引当金			
イ 退職給付引当金	<u>4,552,708,855</u>		
引当金合計		<u>4,552,708,855</u>	
固定負債合計			23,922,008,610

4 流動負債

(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>1,517,329,739</u>		
企業債合計		1,517,329,739	
(2) リース債務		40,944,504	
(3) 引当金			
イ 賞与引当金	533,920,223		
ロ 法定福利費引当金	<u>95,765,667</u>		
引当金合計		629,685,890	
(4) 未払金		2,341,900,930	
(6) 預り金		<u>103,321,117</u>	
流動負債合計			4,633,182,180

5 繰延収益

(1) 長期前受金

イ 受贈財産評価額	33,121,075		
収益化累計額	<u>△ 26,018,512</u>	7,102,563	
ロ 補助金	1,205,483,412		
収益化累計額	<u>△ 770,440,411</u>	435,043,001	
ハ 負担金	12,996,834,521		
収益化累計額	<u>△11,465,358,869</u>	1,531,475,652	
ニ 寄附金	3,000,000		
収益化累計額	<u>△ 2,850,000</u>	<u>150,000</u>	
長期前受金合計			<u>1,973,771,216</u>
繰延収益合計			<u>1,973,771,216</u>
負債合計			<u>30,528,962,006</u>

資 本 の 部

6 資本金			6,973,942,341
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	246,164,805		
ロ 負担金	<u>100,809,152</u>		
資本剰余金合計		346,973,957	
(2) 利益剰余金			
イ 減債積立金	1,543,000,000		
ロ 当年度未処分利益剰余金	<u>1,701,490,807</u>		
利益剰余金合計		<u>3,244,490,807</u>	
剰余金合計			<u>3,591,464,764</u>
資本合計			<u>10,565,407,105</u>
負債資本合計			<u>41,094,369,111</u>

(5) 主な経営財務分析

区 分	算 式	平成28年度	平成27年度	平成26年度
1. 平均在院日数 (施設基準上の算定) (日)	$\frac{\text{在院患者数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})}$	12.8	12.7	13.3
2. 病床利用率 (一般病床) (%)	$\frac{\text{入院患者数}}{\text{許可病床数}} \times 100$	88.3	87.9	88.0
3. 入院患者1人1日当たり 収入額 (円)	$\frac{\text{入院収益額}}{\text{入院患者延数}}$	63,025	62,064	60,677
4. 外来患者1人1日当たり 収入額 (円)	$\frac{\text{外来収益額}}{\text{外来患者延数}}$	18,325	16,577	15,042
5. 剖 検 率 (%)	$\frac{\text{解剖数}}{\text{院内死亡患者数}} \times 100$	3.8	4.5	2.9
6. 100床当たり職員数 (人)	$\frac{\text{職員数(年度末)}}{\text{許可病床数(年度末)}} \times 100$	142.3	134.8	131.7
7. 100床当たり医師数 (人)	$\frac{\text{医師数(年度末)}}{\text{許可病床数(年度末)}} \times 100$	22.4	21.6	22.0
8. 100床当たり看護師数 (人)	$\frac{\text{看護師(年度末)}}{\text{許可病床数(年度末)}} \times 100$	89.5	84.9	82.7
9. 100床当たり器械備品額 (年度末) (千円)	$\frac{\text{器械備品額(減価償却累計額控除額)}}{\text{許可病床数}} \times 100$	538,416	369,887	394,117
10. 人 件 費 率 (%)	$\frac{\text{給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$	46.8	45.0	44.8
11. 流 動 比 率 (%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	264.5	231.4	250.6
12. 総 資 本 利 益 率 (%)	$\frac{\text{当年度純利益}}{1/2(\text{期首総資産} + \text{期末総資産})} \times 100$	1.7	4.4	△ 10.8

医師事務作業補助者

1. 概要

医師事務作業補助者（以下、ドクタークラーク）は、医師の事務作業軽減を目的として2008年に誕生した職種である。当院では、2009年から採用を開始し、現在41人となった。主な業務内容は下記の3つである。

- ① 文書作成補助業務：保険会社の入院証明書・通院証明書、介護保険に伴う主治医意見書、傷病手当一時金等の診断書作成補助を行っている。今年度は、新たに小児慢性特定疾患を開始した。
- ② 臨床データ登録業務：診療に関するデータの抽出・整理・登録業務、薬品市販後調査、患者を他院に紹介するための画像CDの作成補助をしている。
- ③ 外来助手業務：診察室内準備、診療補助、電子カルテへの代行入力を行っている。当院は、外来クラークと称している。

これらの業務は、医師事務作業補助検討委員会で管理をしている。また、ドクタークラークの活躍が医師に認められ、年々業務依頼が増加しており、当院にとって欠かせない存在となった。

来年度は、さらに医師の要望を取り入れ、医師の事務作業の軽減に努めたい。

（委員長 杉浦 勇）

3. 活動報告

(1) 従事者数

①ドクタークラーク

チーム名(主な業務)	人数(人)
Aチーム (入院証明作成)	8
Bチーム (その他書類作成)	5
Cチーム (データの抽出・整理)	4
Dチーム (市販後調査の補助)	2
Eチーム (臨床研究書類作成補助)	2
計	21

②外来クラーク

診療科	人数(人)
内科	7
産婦人科	1
産婦人科(生殖医療)	1
外科	2
脳神経外科	2
放射線科	1
小児科	3
泌尿器科	1
眼科	1
耳鼻いんこう科	1
計	20

(2) ドクタークラーク実績

①入院証明作成補助業務（担当者 8人）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
入院証明書	583	586	670	602	643	677	617	640	646	571	621	758	7,614

②その他書類作成補助業務（担当者 5人）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
指定難病（新規・更新） 臨床調査個人票	8	39	1,142	188	70	51	31	17	19	19	17	15	1,616
介護保険主治医意見書	107	125	128	140	123	143	127	128	129	165	130	129	1,574
自賠責保険診断書	130	146	137	167	135	146	105	130	153	133	144	117	1,643
傷病手当金請求書	132	150	150	135	144	154	151	143	144	124	131	131	1,689
労災休業給付申請書	36	33	40	31	33	40	30	26	35	37	39	36	416
生活保護医療要否意見書	76	72	65	61	82	78	72	94	84	75	76	85	920
B型C型肝炎患者医療 給付事業受給者票認定 に係わる診断書	15	14	15	7	12	11	9	13	25	22	8	11	162
肝疾患インターフェロン 治療効果判定報告書	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0	0	26	64
出産一時金支給申請書	1	3	4	1	0	2	4	1	2	4	2	6	30
出産手当金支給申請書	6	8	3	4	3	6	7	2	6	4	8	7	64
訪問看護指示書	28	23	30	32	31	28	25	22	36	26	38	24	343
障害認定医師意見書	11	6	6	10	6	6	4	6	10	8	8	3	84
自立支援	9	2	10	2	3	8	4	5	4	2	8	11	68
結核定期病状調査報告書	0	14	12	5	0	12	2	14	20	4	13	0	96
小児慢性特定疾病	6	7	9	4	6	2	7	109	74	36	9	8	277
計	565	642	1,751	787	648	687	616	710	741	659	631	609	9,046

③他院紹介・学会用CD作成業務（担当者 4人）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
転院・紹介用(申請書あり)	185	179	210	195	226	185	179	152	161	156	168	163	2,159
学会・研究用(申請書あり)	8	5	17	3	18	12	8	6	10	5	3	19	114
転院・紹介用(Dr作成)	410	384	454	394	442	442	483	449	442	462	485	530	5,377
学会・研究用(Dr作成)	8	11	2	8	6	2	2	4	3	7	10	3	66
計	611	579	683	600	692	641	672	611	616	630	666	715	7,716

④薬品別市販後調査票作成業務（担当者 2人）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
調査票記入数	37	23	26	34	31	20	19	21	18	15	20	39	303
製薬会社提出数	32	39	23	44	26	17	19	17	24	10	23	36	310
製薬会社説明会	1	2	1	1	1	0	1	1	1	2	1	2	14

⑤症例登録・抽出業務（担当者 8人 ※3・4・7担当者兼務）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
DWHを使用したデータ抽出・作成	8	10	8	3	7	13	7	6	9	12	14	17	114
血液学会疾患登録(血液・腫瘍内科)	73	20	0	0	0	0	0	0	0	0	75	56	224
血液学会疾患登録(小児科)	3	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	7
NCD症例登録(一般外科)	135	131	131	120	166	103	115	144	124	146	137	119	1,571
NCD症例登録(心臓外科・血管外科)	3	16	1	15	6	17	18	4	25	20	3	20	148
NCD症例登録(脳神経外科)	21	31	36	28	39	14	39	32	13	32	0	65	350
NCD症例登録(循環器内科)	11	10	14	31	14	0	0	47	17	22	26	21	213
NCD症例登録(移植外科)	5	0	0	24	9	0	0	0	0	38	0	0	76
NCD症例登録(呼吸器外科)	0	5	9	14	8	0	24	13	19	8	0	17	117
産科データ登録	84	78	0	171	77	100	52	68	84	174	0	155	1,043
計	343	302	199	406	328	248	255	314	291	452	255	470	3,863

⑥各診療科の患者データベース作成業務（担当者 8人 ※3・4・7担当者兼務）

歯科口腔外科、リウマチ科、肛門外科、脊椎外科、呼吸器外科、心臓外科・血管外科、呼吸器内科、小児科（新生児）、消化器内科、泌尿器科、産婦人科、整形外科、放射線科 計 13 診療科

⑦臨床研究に関わる書類作成補助（担当者 2人）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
書類作成補助数	-	-	-	-	-	5	5	5	7	5	6	-	33
臨床研究審査委員会提出数	-	-	-	-	-	5	4	4	7	5	6	-	31

⑧院外研修実績

医師事務作業補助者コース（日本病院会）に7人受講した。

医師事務作業補助者としての知識向上や他施設との交流を図るために「NPO 法人日本医師事務作業補助研究会」に医療情報課職員も含め積極的に参加している。

VI 研究・業績

学会発表（医局）

<呼吸器内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	当院におけるEBUS-TBNAの有用性、安全性の検討	筆頭演者	菅沼 伸一	第39回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	名古屋市	2016/6/23
2	ステロイド離脱にN95マスク着用が有用であったバラ栽培従事者に発症した職業関連過敏性肺臓炎の1例	筆頭演者	菅沼 伸一	第128回日本結核病学会東海地方学会・第110回日本呼吸器学会東海地方学会	名古屋市	2016/11/6
3	尿崩症と二次性副腎不全を初発症状とした肺腺癌下垂体転移の1例	筆頭演者	樋口 道雄	第110回日本呼吸器学会東海地方学会	名古屋市	2016/11/6

<消化器内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	IVRで救命し得た出血性胃潰瘍の1例	筆頭演者	望月 聡	第38回東三医学会	豊橋市	2016/3/5
2	Billroth II 再建後の総胆管結石患者に対する斜視型内視鏡治療の成績	筆頭演者	松原 浩	第102回日本消化器病学会総会	東京都	2016/4/21
3	当院におけるダクラタスビル/アスナプレビル (DCV/ASV) 併用療法の高度腎障害患者への治療効果と安全性の検討	筆頭演者	山本 崇文	第102回日本消化器病学会総会	東京都	2016/4/21
4	クローン病におけるAZA/6-MPの治療効果	筆頭演者	片岡 邦夫	第102回日本消化器病学会総会	東京都	2016/4/21
5	当院にてESDを施行した80歳以上の超高齢者における早期胃癌の特徴と安全性	筆頭演者	山本 健太	第102回日本消化器病学会総会	東京都	2016/4/21
6	当院におけるERCP後膵炎における重症化因子の検討	筆頭演者	木下 雄貴	第91回日本消化器内視鏡学会総会	東京都	2016/5/12
7	当院における超音波内視鏡下瘻孔形成術の成績と偶発症に対する対処方法	筆頭演者	片岡 邦夫	第91回日本消化器内視鏡学会総会	東京都	2016/5/12
8	当院における医原性消化管穿孔に対するOTSC (Over-The-Scope-Crip) の使用経験	筆頭演者	山本 崇文	第91回日本消化器内視鏡学会総会	東京都	2016/5/12
9	胃切除Billroth II 再建後の閉塞性黄疸に対する斜視型内視鏡治療の有用性	筆頭演者	山本 和弘	第91回日本消化器内視鏡学会総会	東京都	2016/5/12
10	前日尿量を基準とした個別化飲水制限を用いたトルバプタン治療の安全性と治療効果の検討	筆頭演者	山本 健太	第52回日本肝臓学会総会	千葉市	2016/5/20
11	胆嚢隆起性病変に対する定量的評価を加えた造影腹部超音波検査の有用性の検討	筆頭演者	山本 崇文	日本超音波医学会第89回学術集会	京都市	2016/5/29
12	検診腹部超音波検査で発見したGIST (Gastrointestinal stromal tumor) 肝転移の1例	筆頭演者	山本 崇文	第55回日本消化器がん検診学会総会	鹿児島市	2016/6/10
13	検診腹部超音波が発見契機となったβカテニン活性化型肝細胞腺腫の1例	筆頭演者	内藤 岳人	第55回日本消化器がん検診学会総会	鹿児島市	2016/6/10

14	腹部超音波検診判定マニュアルを用いた膵検診と適切な二次精検方法の検討	筆頭演者	松原 浩	第55回日本消化器がん検診学会総会	鹿児島市	2016/6/10
15	当院でダクラタスビル/アスナプレビル併用療法を導入しSVRを達成した症例の検討	筆頭演者	山本 崇文	日本消化器病学会東海支部第124回例会	浜松市	2016/6/18
16	消化管濾胞性リンパ腫の1例	筆頭演者	松田 宜賢	日本消化器病学会東海支部第124回例会	浜松市	2016/6/18
17	潰瘍性大腸炎に合併した悪性リンパ腫の1例	筆頭演者	南 喜之	日本消化器病学会東海支部第124回例会	浜松市	2016/6/18
18	回結腸間膜脂肪肉腫の1例	筆頭演者	植月 康太	日本消化器病学会東海支部第124回例会	浜松市	2016/6/18
19	膵腺扁平上皮癌に対してnab-paclitaxell + gemcitabineを投与した一剖検例	筆頭演者	片岡 邦夫	日本消化器病学会東海支部第124回例会	浜松市	2016/6/18
20	主膵管拡張を契機に発見されたPNETの一例	筆頭演者	山本 和弘	日本消化器病学会東海支部第124回例会	浜松市	2016/6/18
21	急速に増大し、嚢胞形成を伴った原発性肝癌肉腫の一切除例	筆頭演者	木下 雄貴	日本消化器病学会東海支部第124回例会	浜松市	2016/6/18
22	上行結腸印環細胞癌を含む大腸多発癌の1例	筆頭演者	飛田恵美子	日本内科学会第229回東海地方会	浜松市	2016/6/26
23	The risk factor of the severity in post-endoscopic retrograde cholangiopancreatography pancreatitis	筆頭演者	Hiroshi Matsubara	第47回日本膵臓学会大会・第20回国際膵臓学会・第6回アジアオセアニア膵臓学会	仙台市	2016/8/4
24	IPMN of pancreas can be a cause of chronic pancreatitis (CP) and it may promote concomitant pancreatic cancer-EUS findings of early CP and clinicopathological features in IPMN patients-	筆頭演者	Motokazu Fujita	第47回日本膵臓学会大会・第20回国際膵臓学会・第6回アジアオセアニア膵臓学会	仙台市	2016/8/4
25	急性胆嚢炎・肝膿瘍の治療中に腹部超音波検査で発見された胆嚢癌の1例	筆頭演者	山本 崇文	日本超音波医学会第37回中部地方会	名古屋市	2016/9/25
26	異時性に発生した膵IPMN由来癌の1例	筆頭演者	田中 仁	第230回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2016/10/16
27	レジパスビル/ソホスブビル併用療法完遂後にウイルス学的再燃をした3症例	筆頭演者	山本 崇文	第230回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2016/10/16
28	胃結核の1例	筆頭演者	加納 佑一	第230回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2016/10/16
29	IPMNは背景膵の線維化を基盤に膵癌の危機因子となる	筆頭演者	藤田 基和	第58回日本消化器病学会大会(JDDW2016)	神戸市	2016/11/3
30	当院における自己免疫性膵炎の再燃例の検討	筆頭演者	山本 崇文	第58回日本消化器病学会大会(JDDW2016)	神戸市	2016/11/3
31	肝細胞癌治療歴のある genotype1型C型慢性肝炎・肝硬変に対するIFNフリー治療後の肝細胞癌再発患者の検討	筆頭演者	山本 崇文	日本消化器病学会東海支部第125回例会	名古屋市	2016/11/19
32	6MPの用量調節が有効であった小腸大腸型クローン病の1例	筆頭演者	松田 宜賢	日本消化器病学会東海支部第125回例会	名古屋市	2016/11/19
33	ヘリコバクターピロリ(HP)陽性早期胃癌ESD後の異時性再発の検討	筆頭演者	山本 和弘	日本消化器病学会東海支部第125回例会	名古屋市	2016/11/19

34	孤立性線維性腫瘍との鑑別を要したKIT陰性GISTの1例	筆頭演者	飛田恵美子	日本消化器病学会東海支部第125回例会	名古屋市	2016/11/19
35	特異な形態を呈したC-KIT陰性GISTの一切除例	筆頭演者	木下 雄貴	第59回日本消化器内視鏡学会東海支部例会	名古屋市	2016/12/3
36	粘膜下腫瘍の形態を呈した胃濾胞性リンパ腫の1例	筆頭演者	山本 崇文	第59回日本消化器内視鏡学会東海支部例会	名古屋市	2016/12/3
37	大腸ESD巨大病変の治療成績と問題	筆頭演者	南 喜之	第59回日本消化器内視鏡学会東海支部例会	名古屋市	2016/12/3
38	当院における切除不能悪性胆道閉塞に対する超音波内視鏡下瘻孔形成術の治療成績	筆頭演者	植月 康太	第59回日本消化器内視鏡学会東海支部例会	名古屋市	2016/12/3
39	早期胃癌ESD後異時性再発についての検討	筆頭演者	山本 和弘	第59回日本消化器内視鏡学会東海支部例会	名古屋市	2016/12/3
40	潰瘍性大腸炎に合併した直腸LSTに対しESDを施行した1例	筆頭演者	田中 仁	第59回日本消化器内視鏡学会東海支部例会	名古屋市	2016/12/3

<循環器内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	分子標的薬に関連した心障害が生じた2症例	筆頭演者	鈴木 一秋	第38回東三医学会	豊橋市	2016/3/5
2	アミオダロンによる肺障害を疑った拡張型心筋症の1例	筆頭演者	岡田百合香	第38回東三医学会	豊橋市	2016/3/5
3	両側臀部間欠性跛行をきたした腹部大動脈狭窄にEVTを施行した1例	筆頭演者	島津 修三	第147回日本循環器学会東海地方会	浜松市	2016/6/11
4	心窩部痛で発症、腹腔動脈病変を観察しえた成人水痘の1例	筆頭演者	瀬名波 徹	第230回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2016/10/16

<腎臓内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	Fanconi症候群とRenal Salt Wastingを合併したレジオネラ肺炎の1例	筆頭演者	嶋谷 拓真	第228回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2016/2/21
2	豊橋市民病院ICUにおけるアフレーシスの動向	筆頭演者	山川 大志	第61回日本透析医学会学術集会・総会	大阪市	2016/6/10
3	耳朶ひだは維持透析患者における心血管病のマーカーである	筆頭演者	前川 道隆	第61回日本透析医学会学術集会・総会	大阪市	2016/6/11
4	長期的な非トンネル型透析カテーテル留置により硬膜外膿瘍をきたした1例	筆頭演者	伊藤 孝典	第229回日本内科学会東海地方会	浜松市	2016/6/26
5	バンコマイシンによる発熱性好中球減少症を呈した血液透析患者の一例	筆頭演者	前川 道隆	第46回日本腎臓学会東部学術大会	東京都	2016/10/7
6	再発時に異なる免疫学的異常を呈した感染症心内膜炎・半月体形成性腎炎の一例	筆頭演者	渡邊 絢史	第46回日本腎臓学会西部学術大会	宮崎市	2016/10/14
7	亜急性の肝障害、腎障害で発症し、ATTRアミロイドーシスとの鑑別に苦慮したALアミロイドーシスの1例	筆頭演者	渡邊 絢史	第46回日本腎臓学会西部学術大会	宮崎市	2016/10/15

8	強皮症腎クリーゼによるTMAと心外膜炎に対して、リッキシマブが有効であった一例	筆頭演者	野村 理恵	第46回日本腎臓学会西部学術大会	宮崎市	2016/10/15
9	ヘパリンフラッシュによって感作され、透析導入を契機に発症した非代償性肝硬変合併急速発症型ヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) の1例	筆頭演者	渡邊 絢史	第230回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2016/10/16
10	抗菌薬による好中球減少症を呈した2症例	筆頭演者	前川 道隆	第65回日本感染症学会東日本地方学術集会・第63回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会	新潟市	2016/10/28

<糖尿病・内分泌内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	脊髄空洞症による横隔神経麻痺でSIADHを来した1例	筆頭演者	山守 育雄	第228回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2016/2/21
2	高Ca血症の制御にデノスマブが有効であった副甲状腺癌の1例	筆頭演者	山守 育雄	第89回日本内分泌学会学術集会	京都市	2016/4/22
3	安全なインスリン療法をめざしたインスリン関連インシデントレポート・アンケートの解析	共同演者	山守 育雄	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	京都市	2016/5/19
4	地域中核病院入院患者における糖尿病患者数の増加について	筆頭演者	山守 育雄	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	京都市	2016/5/20
5	肺癌下垂体転移に伴う下垂体前葉機能低下症と中枢性尿崩症の1例	筆頭演者	金田 成康	第229回日本内科学会東海地方会	浜松市	2016/6/26
6	ダクラタスビル・アスナプレビル併用療法時に血糖増悪を呈した1例	筆頭演者	荻本 繁	第90回日本糖尿病学会中部地方会	名古屋市	2016/10/2
7	糖尿病啓発イベント時に行った間食および食事療法に関する意識調査	筆頭演者	荻本 繁	第90回日本糖尿病学会中部地方会	名古屋市	2016/10/2
8	救急外来で中枢性めまいをとらえるために－スコアリングの作成と精度の検討－	共同演者	長谷川義高	第65回日本農村医学会学術集会	志摩市	2016/10/28
9	両側副腎偶発腫瘍で発見された両側副腎出血の1例	共同演者	長谷川義高	第26回臨床内分泌代謝Update	さいたま市	2016/11/19

<神経内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	急性期脳梗塞患者の自宅退院に関わる因子の検討	筆頭演者	大山 健	第41回日本脳卒中学会総会	札幌市	2016/4/14
2	慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)における骨格筋の定量的評価	筆頭演者	大山 健	第27回日本末梢神経学会学術集会	大阪市	2016/8/26

<血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	Minimal residual diseasebased strategies in hematopoietic cell transplantation for Philadelphia chromosomepositive acute lymphoblastic leukemia.	筆頭演者	Satoshi Nishiwaki	The20th Winter Meeting of the Korean Society of Blood and Marrow Transplantation	韓国	2016/2/26
2	新規に非血縁ドナーからの骨髄採取を安全に実施するための取り組み	筆頭演者	西脇 聡史	第38回日本造血細胞移植学会総会	名古屋市	2016/3/4
3	Ph(+)-ALLにおけるMRDと移植成績	筆頭演者	西脇 聡史	第38回日本造血細胞移植学会総会	名古屋市	2016/3/5
4	Utility of FOBT followed by colonoscopy for dasatinib-induced asymptomatic hemorrhagic colitis	筆頭演者	Satoshi Nishiwaki	第78回日本血液学会学術集会	横浜市	2016/10/15
5	妊娠中にABVd療法を行い切迫早産やニューモシスチス肺炎を合併したホジキンリンパ腫の1例	筆頭演者	岡田百合香	第230回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2016/10/16
6	Significance of Fecal Occult Blood Test Followed by Colonoscopy for Asymptomatic Dasatinibinduced Hemorrhagic Colitis. (CML1501 Study)	筆頭演者	Satoshi Nishiwaki	58th Annual Meeting of American Society of Hematology	San Diego	2016/12/3

<一般外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	上腰ヘルニアの一例	筆頭演者	西村 元伸	第45回愛知臨床外科学会	名古屋市	2016/2/11
2	大腿静脈内へ急速進展した血栓を伴う大伏在静脈venous aneurysmの1手術例	筆頭演者	神原 祐一	第45回愛知臨床外科学会	名古屋市	2016/2/11
3	イレウス管が誘因と考えられた腸重積の1例	筆頭演者	野中有紀子	第45回愛知臨床外科学会	名古屋市	2016/2/11
4	骨盤操作先行ロボット支援腹腔鏡下直腸切除術の経験	筆頭演者	伊藤 喜介	第45回愛知臨床外科学会	名古屋市	2016/2/11
5	子宮広間膜裂孔ヘルニアによる絞扼性イレウスに対して腹腔鏡補助下小腸切除術を施行した1例	筆頭演者	出井 秀幸	第52回日本腹部救急医学会総会	東京都	2016/3/4
6	虫垂炎後の遺残膿瘍に対し腹腔鏡下ドレナージを行った2例	筆頭演者	荒川 拓也	第38回東三医学会	豊橋市	2016/3/6
7	膿瘍形成性虫垂炎に対するinterval appendectomyは是か非か	筆頭演者	青葉 太郎	第116回日本外科学会定期学術集会	大阪市	2016/4/14
8	腎細胞癌術後19年目に切除した膈転移の1例	筆頭演者	伊藤 量吾	第291回東海外科学会	名古屋市	2016/4/29
9	術前に肝内胆管癌と考えられたIgG4関連炎症性偽腫瘍の1例	筆頭演者	小池 佳勇	第291回東海外科学会	名古屋市	2016/4/29

10	内視鏡的胃瘻造設術後に生じた胃横行結腸瘻の1例	筆頭演者	滝本愛太郎	第291回東海外科学会	名古屋市	2016/4/29
11	腹腔鏡補助下胃全摘術後に食道裂孔ヘルニアを発症した1例	筆頭演者	出井 秀幸	第291回東海外科学会	名古屋市	2016/4/29
12	乳癌術後のサーベイランスにおける腫瘍マーカーの有用性の検討	筆頭演者	西村 元伸	第24回日本乳癌学会学術総会	東京都	2016/6/16
13	乳癌地域連帯クリニカルパス運用5年間の検討	筆頭演者	吉原 基	第24回日本乳癌学会学術総会	東京都	2016/6/17
14	進行再発乳癌における内分泌療法時の腫瘍マーカー推移の検討	筆頭演者	三品 拓也	第24回日本乳癌学会学術総会	東京都	2016/6/17
15	肛門管・人工肛門部結腸に血行性転移を来した肝細胞癌の1例	筆頭演者	山口 直哉	第71回日本消化器外科学会総会	徳島市	2016/7/15
16	EBウイルス関連胃癌11例の経験	筆頭演者	小池 佳勇	第71回日本消化器外科学会総会	徳島市	2016/7/15
17	十二指腸局所切除を施行した十二指腸腫瘍の検討	筆頭演者	和田 幸也	第71回日本消化器外科学会総会	徳島市	2016/7/16
18	良性結腸狭窄症の一例	筆頭演者	梅村 将成	第46回愛知臨床外科学会	名古屋市	2016/7/18
19	結腸切除と同時に修復した腹壁瘻ヘルニアのメッシュ感染の一例	筆頭演者	小林龍太郎	第46回愛知臨床外科学会	名古屋市	2016/7/18
20	腸管内に突出した盲腸腸間膜脂肪肉腫の1例	筆頭演者	清水 大輝	第46回愛知臨床外科学会	名古屋市	2016/7/18
21	タペンタドールにオピオイドローテーションした5例の経験	筆頭演者	平松 和洋	第14回日本臨床腫瘍学会学術集会	神戸市	2016/7/29
22	内視鏡的治療により手術を回避しえた主腸管損傷を伴う外傷性膀胱損傷の1例	筆頭演者	野中有紀子	第292回東海外科学会	岐阜市	2016/10/16
23	SOXによる術前化学療法によってpCRが得られた食道胃接合部癌の1例	筆頭演者	滝本愛太郎	第292回東海外科学会	岐阜市	2016/10/16
24	胆嚢摘出術後に肝被膜下血腫を合併した1例	筆頭演者	出井 秀幸	第292回東海外科学会	岐阜市	2016/10/16
25	BRAF/PIK3CA遺伝子変異と原発部位の関連-愛知大腸がん遺伝子プロファイル研究第2報-	筆頭演者	神谷 忠宏	第54回日本癌治療学会学術集会	横浜市	2016/10/22
26	セツキシマブ使用下に生じる重篤な低マグネシウム血症の予防効果の検討	筆頭演者	伊藤 喜介	第24回日本消化器関連学会週間(第14回日本消化器外科学会大会)	神戸市	2016/11/5
27	肝硬変症例に対する腹腔鏡下肝切除術の経験	筆頭演者	青葉 太郎	第78回日本臨床外科学会総会	東京都	2016/11/24
28	骨盤内臓全摘術の術後合併症・再入院についての検討	筆頭演者	神谷 忠宏	第78回日本臨床外科学会総会	東京都	2016/11/25
29	当院における固形癌DIC2例の治療経験	筆頭演者	西村 元伸	第78回日本臨床外科学会総会	東京都	2016/11/26
30	Best Practiceとしての腹腔鏡下虫垂切除術	筆頭演者	神原 祐一	第78回日本臨床外科学会総会	東京都	2016/11/26
31	腹腔鏡下直腸手術における膈後壁合併切除	筆頭演者	神谷 忠宏	第29回日本内視鏡外科学会総会	横浜市	2016/12/8

32	腹腔鏡下胃手術時のネイサンソンリバーリトラクターによる肝障害の予防対策	筆頭演者	平松 和洋	第29回日本内視鏡外科学会総会	横浜市	2016/12/9
33	市中病院でのロボット支援胃癌手術導入における問題点と工夫	筆頭演者	青葉 太郎	第29回日本内視鏡外科学会総会	横浜市	2016/12/10
34	盲腸受動を必要としないHybrid SILS appendectomyの術前評価基準	筆頭演者	伊藤 喜介	第29回日本内視鏡外科学会総会	横浜市	2016/12/10
35	大網内と左卵巣近傍に停留していた40年前に誤飲した複数の裁縫針による腹腔内異物の1例	筆頭演者	山口 直哉	第29回日本内視鏡外科学会総会	横浜市	2016/12/10

<呼吸器外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	胸壁切除後に肩甲骨の胸腔内陥入を生じた1例	筆頭演者	大畑 賀央	第33回日本呼吸器外科学会総会	京都市	2016/5/12
2	ダブルルーメンチューブカフの大量誤注入による左主気管支膜様部破裂の1手術例	筆頭演者	親松 裕典	第39回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	名古屋市	2016/6/23
3	当院にてVAC療法を行った3症例の検討	筆頭演者	大畑 賀央	第39回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	名古屋市	2016/6/24
4	食道胃接合部癌切除後5年3ヶ月に確認された孤立性肺転移の1切除例	筆頭演者	親松 裕典	第57回日本肺癌学会学術集会	福岡市	2016/12/19

<心臓外科・血管外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	大腿静脈内へ急速進展した血栓を伴う大伏在静脈venous aneurysmの1手術例	共同演者	中山 雅人	第45回愛知臨床外科学会	名古屋市	2016/2/11
2	Visceral malperfusionを伴った急性A型大動脈解離 救命できたが注意深い経過観察が必要となった1例	筆頭演者	外山 正志	第147回日本循環器学会東海地方会	浜松市	2016/6/11
3	大動脈弁乳頭状線維弾性腫の2例	筆頭演者	外山 正志	日本循環器学会第148回東海・第133回東北合同地方会	金沢市	2016/11/5

<肛門外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	ストーマ・オストメイトに関する地域での啓発と医療者教育について－地域での活動経過と展開－	筆頭演者	柴田 佳久	第33回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	山梨県	2016/2/20
2	胃癌手術における短期栄養状態変化（インボディーによる体成分分析）と栄養補助食品付加効果の検討	筆頭演者	柴田 佳久	第31回日本静脈経腸栄養学会	福岡市	2016/2/26

3	絞扼性腸閉塞症例における受診から手術処置までの臨床・CT評価の検討	筆頭演者	柴田 佳久	第71回日本消化器外科学会総会	徳島市	2016/7/14
4	豊橋市民病院 肛門外科のクリニカルパス	筆頭演者	柴田 佳久	第57回東海肛門疾患懇談会	名古屋市	2016/7/23
5	先進医療導入（ロボット手術支援システム・「ダビンチ」導入経過と導入後）に対する自院の現状について	筆頭演者	柴田 佳久	第55回全国自治体病院学会	富山市	2016/10/21
6	実臨床にて下痢・腹痛発症で外科的急性腹症と疑診されるカンピロバクター腸炎	筆頭演者	柴田 佳久	第78回日本臨床外科学会総会	東京都	2016/11/24

<移植外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	高カルシウム血症をみたら血清リン値の測定を～他診療科にてフォローされていた原発性副甲状腺機能亢進症3症例より～	筆頭演者	長坂 隆治	第38回東三医学会	豊橋市	2016/3/5
2	HCV陽性献腎移植患者へのDAA投与が著効した2例と今後の課題	筆頭演者	長坂 隆治	第49回日本臨床腎移植学会	鳥取県	2016/3/23
3	術後4日目に抗DR、DQ抗体陽性の抗体関連型拒絶反応を認めた一例	筆頭演者	長坂 隆治	第49回日本臨床腎移植学会	鳥取県	2016/3/24
4	災害被災時等での免疫抑制療法の提言-服薬管理について-	共同演者	長坂 隆治	第52回日本移植学会	東京都	2016/10/1

<整形外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	塊状骨移植とKTプレートで治療した寛骨臼上方巨大骨欠損の3例の短期成績	筆頭演者	山内 健一	第46回日本人工関節学会	大阪市	2016/2/26
2	ラピッドアジャストストラットで作製したスモールディスタクターを利用した骨接合術の術中整復法	筆頭演者	三矢 聡	第126回中部日本整形外科学会災害外科学会・学術集会	浜松市	2016/4/9
3	Combination of bone transplantation and osteochondral autograft transfer for surgical repair of large traumatic osteochondral defects of the knee joint	筆頭演者	Mamoru Fujita	ESTES Congress 2016	Vienna	2016/4/24
4	Variable angle locking plateを使用して骨接合を行った関節窩の転位を伴う肩甲骨骨折の1例	筆頭演者	福井 順	第42回日本骨折治療学会	東京都	2016/7/1
5	不安定型骨盤輪骨折に伴う仙骨骨折に対して縦横のロッドで固定するlumbo-iliacfixationの治療成績	筆頭演者	三矢 聡	第42回日本骨折治療学会	東京都	2016/7/2

6	健常者に生じた健常者の大腿四頭筋断裂の1例	筆頭演者	福井 順	第127回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	松本市	2016/9/30
7	大坐骨切痕-恥骨上枝ケーブルとバットレスプレートで骨接合術を行った臼底突出症に合併した寛骨臼骨折-	筆頭演者	三矢 聡	第127回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	松本市	2016/9/30
8	Taylor spatial frameを用いた松下法で矯正を行った外傷性足関節尖足拘縮の1例	筆頭演者	三矢 未来	第127回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	松本市	2016/10/1

<リウマチ科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	関節リウマチにおける2年間のアバタセプト治療が、疾患活動性、生活の質、関節破壊防止に与える影響-MTXとPSLの減量に注目して-	筆頭演者	平野 裕司	第60回日本リウマチ学会総会	横浜市	2016/4/21
2	関節リウマチの骨粗鬆症に対するテリパラチド連日投与製剤の効果-人工膝関節施行患者と未施行患者の比較-	筆頭演者	平野 裕司	第60回日本リウマチ学会総会	横浜市	2016/4/22
3	関節リウマチの骨粗鬆症に対するデノスマブの12か月の有効性予測因子-多施設研究TBCR-BONEより-	筆頭演者	平野 裕司	第60回日本リウマチ学会総会	横浜市	2016/4/22
4	トファシチニブ投与中にリステリア髄膜炎にて死亡した関節リウマチの1例	筆頭演者	長谷川純也	第60回日本リウマチ学会総会	横浜市	2016/4/22
5	THE PREDICTORS FOR 12 MONTHS EFFICACY OF DENOSUMAB, AN ANTI-RANKL ANTIBODY, ON OSTEOPOROSIS IN PATIENTS WITH RHEUMATOID ARTHRITIS FROM MULTICENTER STUDY (TBCR-BONE).	筆頭演者	Yuji Hirano	European League Against Rheumatism Annual European Congress of Rheumatology 2016	London	2016/6/9
6	DAILY TERIPARATIDE TREATMENT AFTER BIPHOSPHONATE THERAPY IN OSTEOPOSI PATIENTS WITH RHEUMATOID ARTHRITIS	筆頭演者	Yuji Hirano	European League Against Rheumatism Annual European Congress of Rheumatology 2016	London	2016/6/9
7	RELATIONSHIP BETWEEN BIOLOGICAL DMARDs TREATMENT AND COMPLICATION AFTER SURGICAL TREATMENT IN PATIENTS WITH RHEUMATOID ARTHRITIS	筆頭演者	Yuji Hirano	European League Against Rheumatism Annual European Congress of Rheumatology 2016	London	2016/6/10
8	当院におけるイグラチモド長期投与例の検討	筆頭演者	磯野 正晶	第28回日本リウマチ学会中部支部学術集会中部リウマチ学会	福井市	2016/9/2
9	他のbDMARDからの有害事象によりアバタセプト(ABT)にスイッチした症例の検討	筆頭演者	長谷川純也	第28回日本リウマチ学会中部支部学術集会中部リウマチ学会	福井市	2016/9/2

10	関節リウマチにおける2年間のアバタセプト治療-MTXとPSLの減量に注目して-	筆頭演者	平野 裕司	第28回日本リウマチ学会中部支部学術集会中部リウマチ学会	福井市	2016/9/2
11	関節リウマチの骨粗鬆症でのテリパラチド連日製剤の後療法-ミノドロネートエルデカルシトールとデノスマブの比較-	筆頭演者	平野 裕司	第28回日本リウマチ学会中部支部学術集会中部リウマチ学会	福井市	2016/9/3
12	The Predictors for Twelve Months Efficacy of Denosumab,an Anti-RANKL Antibody, on Osteoporosis in Rheumatoid Arthritis Patients from Japanese Multicenter Study (TBCR-BONE)	筆頭演者	Yuji Hirano	ASBMR 2016 Annual Meeting	Atlanta	2016/9/17
13	Comparative Study between "Minodronate with Eldecalcitol"and"Denosumab"as the Treatment after 2-Year Daily Teriparatide in Osteoporosis in Patients with Rheumatoid Arthritis-Results in 12 Months-	筆頭演者	Yuji Hirano	ASBMR 2016 Annual Meeting	Atlanta	2016/9/19
14	関節リウマチの骨粗鬆症例におけるテリパラチド連日投与製剤の後療法としてのミノドロネート+エルデカルシトールとデノスマブの比較検討	筆頭演者	平野 裕司	第18回日本骨粗鬆症学会	仙台市	2016/10/6
15	関節リウマチの骨粗鬆症に対するデノスマブの12か月の有効性予測因子-多施設研究TBCR-BONEより-	筆頭演者	平野 裕司	第18回日本骨粗鬆症学会	仙台市	2016/10/6
16	関節リウマチにおける非TNF生物学的製剤治療（トシリズマブとアバタセプト）におけるメトトレキサートの減量と中止	筆頭演者	平野 裕司	第31回日本臨床リウマチ学会	東京都	2016/10/29
17	関節リウマチ患者の骨粗鬆症におけるビスフォスフォネート製剤後のテリパラチド連日投与製剤の治療成績	筆頭演者	平野 裕司	第31回日本臨床リウマチ学会	東京都	2016/10/29
18	当院におけるイグラチモド長期投与例の検討	筆頭演者	磯野 正品	第31回日本臨床リウマチ学会	東京都	2016/10/30

<脊椎外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	浅腓骨神経感覚神経活動電位の導出率と椎間孔病変が疑われる症例への実際	筆頭演者	吉原 永武	第45回日本脊椎脊髓病学会学術集会	千葉市	2016/4/14
2	当院における突発性脊椎硬膜外血腫（ISEH）の検討	筆頭演者	宮入 祐一	第45回日本脊椎脊髓病学会学術集会	千葉市	2016/4/14
3	当科における頸椎椎弓根スクリュアの逸脱の検討（支援機器による違い）	筆頭演者	宮入 祐一	第25回日本脊椎インストゥルメンテーション学会	長崎市	2016/10/28

<脳神経外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	Combined surgeryの際に開頭側から観察された経鼻手術操作の実際	筆頭演者	若林 健一	第26回日本間脳下垂体腫瘍学会	福島市	2016/2/19
2	高PRL血症を伴ったサブクリニカルクッシング病の一例	筆頭演者	清水 浩之	第26回日本間脳下垂体腫瘍学会	福島市	2016/2/20
3	難治性慢性硬膜下血腫に対し、中硬膜動脈の塞栓術を行った3例の報告	筆頭演者	雄山 博文	第39回日本脳神経外傷学会	仙台市	2016/2/27
4	術中動脈瘤破裂に対するgelatin-thrombin matrix hemostat (Flo Seal) の使用経験	筆頭演者	若林 健一	第41回日本脳卒中学会総会	札幌市	2016/4/16
5	脳腫瘍に起因する脳出血の症例	筆頭演者	芝 良樹	第41回日本脳卒中学会総会	札幌市	2016/4/16
6	直静脈洞の還流異常を呈したArnold-Chiari奇形1型の1例	筆頭演者	雄山 博文	第31回日本脊髄外科学会	東京都	2016/6/9
7	生検を要した小児tumefactive demyelinationの1例	筆頭演者	若林 健一	第44回日本小児神経外科学会	茨城県	2016/6/23
8	軽度の虚血症状で発症した頭蓋外内頸動脈解離性閉塞に対する血栓回収・ステント留置術の是非	筆頭演者	原口 健一	第46回日本脳神経血管内治療学会中部地方会	浜松市	2016/7/30
9	摘出術を行った延髄hemangioblastomaの1例	筆頭演者	雄山 博文	日本脳神経外科学会第75回学術総会	福岡市	2016/9/29
10	急速な視力障害を呈した鼻性視神経症の2例	筆頭演者	若林 健一	日本脳神経外科学会第75回学術総会	福岡市	2016/10/1
11	軽度の虚血症状で発症した頭蓋外内頸動脈解離性閉塞に対する血栓回収・ステント留置	筆頭演者	原口 健一	第32回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会	神戸市	2016/11/24

<小児科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	クロトナーゼ欠損症の一例	筆頭演者	佐久間 肇	第44回日本小児神経学会東海地方会	名古屋市	2016/1/23
2	Tumefactive demyelinating disease (TDD) として発症した多発性硬化症 (MS)	筆頭演者	真島 久和	第44回日本小児神経学会東海地方会	名古屋市	2016/1/23
3	特発性気腹症の一例	筆頭演者	太田 隆徳	第266回日本小児科学会東海地方会	津市	2016/2/7
4	IgE-dependent mechanism and successful desensitization of erythritol allergy	筆頭演者	Shiro Sugiura	AAAAI Annual Meeting 2016	Los Angeles	2016/3/6
5	尿路狭窄による腎機能障害を認めた先天性表皮水疱症の男児例	筆頭演者	田中 一樹	第119回日本小児科学会学術集会	札幌市	2016/5/13
6	ファブリー病の兄弟例	筆頭演者	小山 典久	Meet the Experts	名古屋市	2016/6/4
7	当センターにおける後部尿道弁8症例の臨床経過	筆頭演者	田中 一樹	第51回日本小児腎臓学会	名古屋市	2016/7/7

8	NIV-NAVAと一酸化窒素吸入療法の併用が人工呼吸器離脱に有効だった重症慢性肺疾患の1例	筆頭演者	横井 克幸	第52回日本周産期・新生児医学会総会学術集会	富山市	2016/7/17
9	特異的IgE抗体価陰性だが好塩基球活性化試験陽性であったリンゴアレルギーの1例	筆頭演者	横井 克幸	第53回日本小児アレルギー学会	前橋市	2016/10/9
10	13q22.2q34 tetrasomy mosaicism due to an inverted duplication with a neocentromere	筆頭演者	Toshihiko Hattori	ASHG2016 Annual Meeting	Vancouver	2016/10/19
11	早発黄疸で発症し破碎赤血球を認めた遺伝性橢円赤血球症の1例	筆頭演者	五藤 智子	第61回日本新生児成育医学会・学術集会	大阪市	2016/12/2
12	人工肛門閉鎖術後に腹壁内気腫を伴う壊死性軟部組織感染症を発症した超低出生体重児の1例	筆頭演者	太田 隆徳	第61回日本新生児成育医学会・学術集会	大阪市	2016/12/2
13	小児科研修における理想の新生児研修とは	筆頭演者	横井 克幸	第61回日本新生児成育医学会・学術集会	大阪市	2016/12/3

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	子宮頸部上皮内病変に対する全腹腔鏡下子宮全摘術の治療成績～TLH施行症例の病理組織学的検討より～	筆頭演者	河合 要介	第136回東海産科婦人科学会	岐阜市	2016/2/13
2	当院で経験した子宮腺肉腫の3例	筆頭演者	國島 温志	第136回東海産科婦人科学会	岐阜市	2016/2/14
3	生児を得た子宮卵管角部妊娠の一例	筆頭演者	植草 良輔	第136回東海産科婦人科学会	岐阜市	2016/2/14
4	連続した妊娠における常染色体性劣性多発性嚢胞腎(ARPKD)再発症例の出生前カウンセリングの経験	筆頭演者	岡田真由美	第40回日本遺伝カウンセリング学会学術集会	京都市	2016/4/5
5	子宮頸癌 当院における腹腔鏡下広汎子宮全摘と開腹下広汎子宮全摘の手術成績の比較	筆頭演者	高野みずき	第68回日本産科婦人科学会学術講演会	東京都	2016/4/23
6	全腹腔鏡下子宮全摘術(TLH)における術前MRIを用いた出血リスク因子の検討	筆頭演者	河合 要介	第68回日本産科婦人科学会学術講演会	東京都	2016/4/24
7	子宮体部漿液性腺癌と明細胞腺癌の臨床的背景および生存予後の比較	共同演者	河井 通泰	第68回日本産科婦人科学会学術講演会	東京都	2016/4/24
8	子宮内膜細胞診、組織診が診断の契機となった類上皮性トロホプラスト腫瘍の1例	筆頭演者	河合 要介	第57回日本臨床細胞学会春期大会	横浜市	2016/5/29
9	広汎子宮全摘術後に孤立性副腎転移をきたした子宮頸部小細胞癌の1例	筆頭演者	河合 要介	第103回愛知産科婦人科学会	名古屋市	2016/7/2
10	婦人科領域における骨外性Ewing肉腫の2例	筆頭演者	池田 芳紀	第58回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	鳥取県	2016/7/8
11	子宮頸癌に対する腹腔鏡下手術の実際～3DシステムとICGによるSLNマッピングの導入～	筆頭演者	梅村 康太	第58回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	鳥取県	2016/7/8

12	当科で経験した低悪性度子宮内膜間質肉腫7例の検討	筆頭演者	北見 和久	第58回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	鳥取県	2016/7/8
13	子宮頸癌 広汎子宮全摘術 腹腔鏡下手術と開腹下手術の成績比較	筆頭演者	高野みずき	第58回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	鳥取県	2016/7/9
14	当院で経験した顆粒膜細胞腫18例の検討	筆頭演者	松尾 聖子	第58回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	鳥取県	2016/7/9
15	経膈分娩産褥8日目に発症した子宮型羊水塞栓の一例	筆頭演者	藤田 啓	第52回日本周産期・新生児医学会学術集会	富山市	2016/7/16
16	産科出血に対して子宮動脈塞栓術(UAE)を施行した26例の臨床的検討	筆頭演者	河合 要介	第52回日本周産期・新生児医学会学術集会	富山市	2016/7/17
17	胎児貧血を来した抗E抗体陽性妊婦の1例	筆頭演者	甲木 聡	第52回日本周産期・新生児医学会学術集会	富山市	2016/7/17
18	当院における分娩前自己血貯血症例の現状	筆頭演者	國島 温志	第52回日本周産期・新生児医学会学術集会	富山市	2016/7/18
19	卵巣癌における新規腫瘍抗原KIF20A発現の検討とペプチドワクチン療法への臨床応用	筆頭演者	河合 要介	第20回日本がん免疫学会総会	大阪市	2016/7/28
20	当院で経験した胎児貧血をきたした3症例	筆頭演者	矢吹 淳司	第39回日本母体胎児医学会学術集会	福島市	2016/8/27
21	CTGのレベル分類と臍帯動脈血ガスpHの関連についての検討	筆頭演者	植草 良輔	第39回日本母体胎児医学会学術集会	福島市	2016/8/27
22	膀胱タンポナーデで発症し血管塞栓術により治療を行った腎動静脈瘻合併妊娠の1例	筆頭演者	岡田真由美	第39回日本母体胎児医学会学術集会	福島市	2016/8/27
23	術前MRIを用いた全腹腔鏡下子宮全摘術の難易度予測	筆頭演者	河合 要介	第56回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	長崎市	2016/9/1 2016/9/2 2016/9/3
24	子宮頸部上皮内病変に対する全腹腔鏡下子宮全摘術の治療成績～TLH施行症例の病理組織学的検討より～	筆頭演者	河合 要介	第56回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	長崎市	2016/9/1 2016/9/2 2016/9/3
25	初期子宮頸癌 当院における腹腔鏡下広汎子宮全摘と開腹下広汎子宮全摘の手術成績比較	筆頭演者	高野みずき	第56回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	長崎市	2016/9/2
26	市中病院における婦人科内視鏡手術の教育と安全担保について	筆頭演者	梅村 康太	第56回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	長崎市	2016/9/2
27	腹腔鏡下婦人科悪性腫瘍手術～導入からアドバンスまで～	共同演者	梅村 康太	第56回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	長崎市	2016/9/2
28	骨盤臓器脱に対する当院における腹腔鏡下仙骨陰固定術の成績と施行困難例の検討	筆頭演者	高野みずき	第56回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	長崎市	2016/9/2
29	出生児の経過を含めた子癇12例の検討	筆頭演者	甲木 聡	第37回日本妊娠高血圧学会	さいたま市	2016/10/7
30	当院における高血圧合併妊娠の検討	筆頭演者	岡田真由美	第37回日本妊娠高血圧学会	さいたま市	2016/10/7
31	産科出血に対して子宮動脈塞栓術(UAE)を施行した26例の臨床的検討	筆頭演者	河合 要介	第104回愛知産科婦人科学会	名古屋市	2016/10/8
32	自然羊膜破綻による臍帯相互巻絡を呈した一絨毛膜二羊膜双胎の1例	筆頭演者	松尾 聖子	第104回愛知産科婦人科学会	名古屋市	2016/10/8

33	子宮頸癌IVB期に対する放射線療法の治療成績と予後因子解析	筆頭演者	河合 要介	第54回日本癌治療学会学術集会	横浜市	2016/10/20
34	急性腹症にて発症した子宮および子宮筋腫同時捻転の一例	筆頭演者	岡田真由美	第31回日本女性医学学会学術集会	京都市	2016/11/5 2016/11/6
35	腹腔鏡下に根治術を行った膣中隔合併双角子宮片側発生の若年性子宮体癌の一例	筆頭演者	池田 芳紀	第31回日本女性医学学会学術集会	京都市	2016/11/5 2016/11/6
36	当院産婦人科における漢方薬の処方状況解析と評価	筆頭演者	河合 要介	第31回日本女性医学学会学術集会	京都市	2016/11/5 2016/11/6
37	骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨膣固定術の成績と施行困難例の検討	筆頭演者	高野みずき	第31回日本女性医学学会学術集会	京都市	2016/11/6
38	当院で施行した腹腔鏡下仙骨膣固定術 (LSC) の手術成績について	筆頭演者	國島 温志	第39回日本産婦人科手術学会	仙台市	2016/11/12
39	膣管拡張が腹腔鏡下手術時の経膣操作を容易にした膣中隔合併子宮体癌の一例	筆頭演者	池田 芳紀	第39回日本産婦人科手術学会	仙台市	2016/11/12
40	2人で施行する傍大動脈リンパ節郭清における術野展開の工夫 - リトラクターの有効活用 -	筆頭演者	河合 要介	第39回日本産婦人科手術学会	仙台市	2016/11/13
41	腹腔鏡にて診断したOHVIRA症候群より発生した卵管内膜炎、虫垂内膜炎の一例	筆頭演者	藤田 啓	第39回日本産婦人科手術学会	仙台市	2016/11/13
42	子宮内膜細胞診のセルブロック法が診断に有用であった低悪性度子宮内膜間質肉腫の1例	筆頭演者	河合 要介	第55回日本臨床細胞学会秋期大会	別府市	2016/11/18
43	Functional analysis of a novel cancer-associated antigen KIF20A in ovarian cancer and clinical application to multiple peptides cocktail vaccine therapy	筆頭演者	Yousuke Kawai	第45回日本免疫学会学術集会	沖縄県	2016/12/7
44	腹腔鏡下仙骨膣固定術の工夫	共同演者	高野みずき	第29回日本内視鏡外科学会総会	横浜市	2016/12/8
45	腹腔鏡下・ロボット支援下骨盤外科の新しい試み～膀胱全摘と婦人科悪性腫瘍～	筆頭演者	高野みずき	第29回日本内視鏡外科学会総会	横浜市	2016/12/8
46	低侵襲手術を目指した腹腔鏡下子宮頸癌手術	筆頭演者	梅村 康太	第29回日本内視鏡外科学会総会	横浜市	2016/12/8
47	当院の骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨膣固定術の成績と施行困難例の検討	筆頭演者	高野みずき	第29回日本内視鏡外科学会総会	横浜市	2016/12/8
48	当院における婦人科悪性疾患に対するロボット支援下手術da Vinciの臨床的検討	筆頭演者	高野みずき	第29回日本内視鏡外科学会総会	横浜市	2016/12/8
49	腹腔鏡下子宮全摘術において出血しないための操作、させない技術	筆頭演者	植草 良輔	第29回日本内視鏡外科学会総会	横浜市	2016/12/8
50	3D内視鏡で骨盤内手術の安全性は次なるステージへ	筆頭演者	北見 和久	第29回日本内視鏡外科学会総会	横浜市	2016/12/9
51	当院における腹腔鏡下子宮全摘術の定型化～安全で出血量の少ない手術を目指して～	筆頭演者	池田 芳紀	第29回日本内視鏡外科学会総会	横浜市	2016/12/10

52	腹腔鏡下子宮体癌手術 定型化に向けて	筆頭演者	松尾 聖子	第29回日本内視鏡外科学会総会	横浜市	2016/12/10
----	--------------------	------	-------	-----------------	-----	------------

<産婦人科（生殖医療）>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	個別化調節卵巣刺激における子宮内膜症の影響とAMH	筆頭演者	矢吹 淳司	第37回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会	熊本市	2016/1/23
2	分娩後子宮全摘となった当院の胚移植妊娠症例より得られた次の課題	筆頭演者	安藤 寿夫	第136回東海産科婦人科学会	岐阜市	2016/2/14
3	新鮮単胚移植後生児獲得例からみた凍結sibling embryoによる次子獲得予測の臨床的検討	筆頭演者	植草 良輔	第68回日本産科婦人科学会学術講演会	東京都	2016/4/24
4	タイムラプスを用いたIVF由来の1PN胚とICSI由来の1PN胚の検討	筆頭演者	北見 和久	第57回日本卵子学会学術集会	新潟市	2016/5/15
5	子宮筋腫核出術方針決定のための生殖外来事前受診の重要性	筆頭演者	甲木 聡	NPO法人日本不妊カウンセリング学会第15回学術集会	東京都	2016/6/3
6	当院における調節卵巣刺激後に発症した卵巣過剰刺激症候群の1例	筆頭演者	矢吹 淳司	第38回中部生殖医学会学術集会	津市	2016/6/18
7	凍結胚移植による癒着胎盤のリスク因子の検討 単一施設からのデータを用いて	筆頭演者	松尾 聖子	第34回日本受精着床学会総会・学術講演会	軽井沢町	2016/9/15
8	PCOSにおける第一胚分割異常発生の過多は排卵数の過多に起因する	筆頭演者	藤田 啓	第34回日本受精着床学会総会・学術講演会	軽井沢町	2016/9/16
9	胚移植後の妊娠分娩経過が不良であった3症例	筆頭演者	矢吹 淳司	第19回日本IVF学会学術集会	神戸市	2016/10/1
10	当院におけるAMH1.0未満のARTの年齢別の妊娠率や採卵数の検討	筆頭演者	國島 温志	第19回日本IVF学会学術集会	神戸市	2016/10/2
11	PCOSにおける第一胚分割異常発生率は排卵数の影響を受ける	筆頭演者	藤田 啓	第61回日本生殖医学会学術講演会・総会	横浜市	2016/11/3 2016/11/4
12	新鮮単胚移植後生児獲得周期における余剰凍結胚を用いた次子獲得予測の臨床的検討	筆頭演者	植草 良輔	第61回日本生殖医学会学術講演会・総会	横浜市	2016/11/3 2016/11/4
13	凍結胚移植による胎盤形成不全 癒着胎盤のリスク因子として	筆頭演者	松尾 聖子	第61回日本生殖医学会学術講演会・総会	横浜市	2016/11/4

<眼科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	細菌感染と免疫機序が関与したと考えられる翼状片術後の壊死性強膜炎	筆頭演者	山口 沙織	第70回日本臨床眼科学会	京都市	2016/11/5

<耳鼻いんこう科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	セツキシマブメンテナンス化学療法中に両側の下腿深部静脈血栓症をきたした1症例	筆頭演者	小澤泰次郎	第40回日本頭頸部癌学会	さいたま市	2016/6/10

<皮膚科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	硬化性萎縮性苔癬より生じたと考えられた脛口部疣状癌の1例	筆頭演者	山田 元人	第32回日本皮膚悪性腫瘍学会	鹿児島市	2016/5/28
2	メルケル細胞癌の治療経験	筆頭演者	榊原 倫子	第32回日本皮膚悪性腫瘍学会	鹿児島市	2016/5/28
3	生体腎移植後免疫抑制患者で、脂漏性角化症と連続して生じた基底細胞癌の一例	筆頭演者	森 章一郎	第67回日本皮膚科学会中部支部学術大会	大阪市	2016/10/22

<泌尿器科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	当院における去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミドの使用経験	筆頭演者	小嶋 一平	第104回日本泌尿器科学会総会	仙台市	2016/4/23
2	風圧を利用した骨盤内手術出血コントロールの試み	筆頭演者	長井 辰哉	第104回日本泌尿器科学会総会	仙台市	2016/4/23
3	当院におけるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術 (RARP) の初期経験	筆頭演者	寺島 康浩	第104回日本泌尿器科学会総会	仙台市	2016/4/23
4	豊橋市民病院において、去勢抵抗性前立腺癌に対しカバジタキセルを使用した10例の検討	筆頭演者	内藤 祐志	第104回日本泌尿器科学会総会	仙台市	2016/4/25
5	小切開前立腺全摘除術における陰茎背静脈処理の工夫	筆頭演者	田中 篤史	第104回日本泌尿器科学会総会	仙台市	2016/4/25
6	当院におけるTUL/f TUL導入後100例の治療成績:合併症と不成功症例の検討	筆頭演者	小嶋 一平	第30回日本泌尿器内視鏡学会総会	大阪市	2016/11/18
7	前立腺全摘において、開放手術、ミニマム創手術を次世代に伝えることは可能なのか?	筆頭演者	長井 辰哉	第30回日本泌尿器内視鏡学会総会	大阪市	2016/11/19

<麻酔科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	Long-axis real-time ultrasound-guided peripheral venous access in overweight patients might be effective choice	筆頭演者	Yasuaki Fujita	Euroanaesthesia 2016	London	2016/5/29
2	オピオイドを使用中の末期患者の手術の後の疼痛コントロール	筆頭演者	藤田 靖明	第21回日本緩和医療学会学術大会	京都市	2016/6/18
3	意識下経鼻挿管後に肺出血をきたした1症例	筆頭演者	稲生 光春	第44回日本歯科麻酔学会総会・学術集会	札幌市	2016/10/29

<リハビリテーション科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	腰椎椎間孔部狭窄症の神経伝導検査で偽陰性を示した症例の検討	筆頭演者	石川 知志	第53回日本リハビリテーション医学会学術集会	京都市	2016/6/9

<放射線科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	9歳児の右被殻を主座とする tumefactive demyelinating lesion の一例	筆頭演者	中道 玲瑛	第45回日本神経放射線学会	山形市	2016/2/19
2	子宮頸癌の放射線治療成績	筆頭演者	石原 俊一	日本医学放射線学会第160回中部地方会	金沢市	2016/6/19
3	Outcomes of radiotherapy for patients with uterine cervical cancer	筆頭演者	Shunichi Ishihara	日本放射線腫瘍学会第29回学術大会	京都市	2016/11/26

<歯科口腔外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	肝転移を来した下顎骨原発性骨内扁平上皮癌の1例	筆頭演者	白水 敬昌	第34回一般社団法人日本口腔腫瘍学会総会・学術大会	横浜市	2016/1/21
2	非ホジキンリンパ腫と同時重複した舌癌の1例	筆頭演者	白水 敬昌	第70回NPO法人日本口腔科学会学術集会	福岡市	2016/4/17
3	当科における過去3年間の顎顔面骨骨折の臨床統計的検討	筆頭演者	寺沢 史誉	第70回NPO法人日本口腔科学会学術集会	福岡市	2016/4/17
4	OK-432を用いたがま腫硬化療法の1経験例	筆頭演者	小笠原伯宏	第41回公益社団法人日本口腔外科学会中部支部学術集会	名古屋市	2016/5/28
5	当科における過去3年間の外傷歯における臨床統計的観察	筆頭演者	寺沢 史誉	第16回日本外傷歯学会総会・学術大会	神戸市	2016/7/16
6	豊橋市民病院における口腔機能管理チームの取り組み－口腔機能管理における病棟との連携システムの構築と活動実績－	筆頭演者	寺沢 史誉	第25回日本口腔感染症学会総会・学術大会	神戸市	2016/10/16
7	地域医療支援病院におけるNST・口腔機能管理チームの取り組み－口腔機能管理における病棟との連携システムの構築と活動実績－	筆頭演者	寺田 祐代	第55回全国自治体病院学会	富山市	2016/10/20
8	前立腺癌骨転移の治療中に発症しデノスマブの関与が疑われた薬剤関連顎骨壊死の1例	筆頭演者	寺沢 史誉	第65回日本感染症学会東日本地方学術集会・第63回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会	新潟市	2016/10/29
9	重度間質性肺炎の舌悪性腫瘍患者に対する麻酔経験	筆頭演者	足立 潤哉	第44回日本歯科麻酔学会総会・学術集会	札幌市	2016/10/29
10	当科における下顎骨骨折に関する臨床統計的観察	筆頭演者	小笠原伯宏	第61回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会	千葉市	2016/11/26

研究会発表（医局）

<消化器内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	急性膵炎を契機に発見され、 膵胆管高位合流を合併した十二 指腸乳頭部NETの1例	筆頭演者	飛田恵美子	第74回東海胆道研究会	名古屋市	2016/2/27
2	Intermediate stageの細分化 に対する検討	筆頭演者	山本 健太	第52回日本肝癌研究会	東京都	2016/7/2
3	潰瘍性大腸炎関連性大腸癌の 検討	筆頭演者	山田 雅弘	第17回三河重症疾患研究 会	豊橋市	2016/7/2
4	当院におけるH.pylori除菌療 法の現状	筆頭演者	松田 宜賢	酸と消化器疾患研究会in 豊橋	豊橋市	2016/10/17
5	当院におけるC型肝炎治療に ついて	筆頭演者	山本 崇文	第13回豊橋肝臓フォーラ ム	豊橋市	2016/11/16

<循環器内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	3群PH合併症例へのアドシル カ追加投与の検討	筆頭演者	富田 崇仁	第2回東三河PHカンファ レンス	豊橋市	2016/2/19
2	当院におけるVTE治療の現状	筆頭演者	佐藤 文明	東三学術講演会	豊橋市	2016/4/6
3	責任病変ではない左主幹部中 等度狭窄の治療	コメンテーター	成瀬 賢伸	PICASSO seminar in Nagoya 30th	名古屋市	2016/5/14
4	レパーサのベネフィットが得 られる患者像とは?	パネリスト	成瀬 賢伸	東三河 Hyperlipidemia Expert Meeting	豊橋市	2016/6/21
5	FFR&OCT guided PCI	コメンテーター	成瀬 賢伸	PICASSO seminar in Nagoya 31th	名古屋市	2016/11/19

<腎臓内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	保存期CKDにおけるダルベポ エチンアルファの使用につい て	筆頭演者	山川 大志	東三河若手医師のための 学術セミナー	豊橋市	2016/6/24
2	症例報告4	筆頭演者	山川 大志	Clinical Excellence in TMA Tokai 2016	名古屋市	2016/6/25

<糖尿病・内分泌内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	Closing Remarks	筆頭演者	山守 育雄	第1回名古屋糖尿病・内分 泌研究会	名古屋市	2016/3/31
2	糖尿病治療おさえておきたい 最新の話題	筆頭演者	山守 育雄	第59回愛知県糖尿病療養 指導研究会	名古屋市	2016/9/18

<血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	新規治療薬にも治療抵抗性を示す若年多発骨髄腫の1例	筆頭演者	鈴木弘太郎	第14回東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2016/2/20
2	妊娠中に発症したALK陰性未分化大細胞型リンパ腫との鑑別を要した古典的ホジキンリンパ腫の一例	筆頭演者	倉橋 信悟	東海悪性リンパ腫研究会	名古屋市	2016/2/27
3	ステロイドやトシリズマブで救命し得なかったTAFRO症候群の一例	筆頭演者	倉橋 信悟	三河血液疾患診療ネットワーク	知立市	2016/5/13
4	高齢者に対する当院のアザシチジン治療	筆頭演者	梅村 晃史	第2回東海MDSカンファレンス	名古屋市	2016/6/15
5	当院におけるPOEMS症候群症例	筆頭演者	鈴木弘太郎	東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2016/9/10
6	当院におけるPOEMS症候群症例	筆頭演者	鈴木弘太郎	三河血液疾患診療ネットワーク	知立市	2016/10/7

<一般外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	腹腔鏡下肝切除術における左肝静脈損傷の2例	筆頭演者	青葉 太郎	第61回東海肝臓外科懇談会	名古屋市	2016/2/6

<肛門外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	WOCNSの活動状況と悩み	筆頭演者	柴田 佳久	第65回東海ストーマ・排泄リハビリテーション研究会	静岡市	2016/6/4

<移植外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	HBV陽性HCV陽性レシピエントに対して移植後抗ウイルス療法により排除に至った献腎移植症例	筆頭演者	長坂 隆治	第27回東海北陸腎不全治療研究会	名古屋市	2016/3/12

<整形外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	下腿開放骨折に対して髄内釘を施行し骨髄炎を合併した1例	筆頭演者	三矢 聡	第1回東海イリザロフ法症例検討会	名古屋市	2016/2/13
2	コンパートメント症候群を合併した脛骨プラトー骨折	筆頭演者	三矢 聡	第2回東海イリザロフ法症例検討会	名古屋市	2016/11/26
3	前柱骨折に対してsuprainfrapectineal plateと恥骨上枝cableを併用した1例	筆頭演者	三矢 聡	第1回骨盤輪・寛骨臼骨折研究会	名古屋市	2016/12/6

<リウマチ科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	リステリア髄膜炎にて死亡した関節リウマチの1例	筆頭演者	長谷川純也	第68回東海膠原病研究会	名古屋市	2016/2/20
2	関節リウマチの骨粗鬆症に対するデノスマブの短期臨床成績～TBCR BONEより～	筆頭演者	平野 裕司	第68回東海膠原病研究会	名古屋市	2016/2/20
3	生物学的製剤治療中の関節リウマチの骨粗鬆症に対するイバンドロネート治療の経験	筆頭演者	平野 裕司	第5回三河骨粗鬆症研究会	豊橋市	2016/3/5
4	当科の関節リウマチと骨粗鬆症の薬物治療の現状報告～2009年度-2015年度～	筆頭演者	平野 裕司	第45回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2016/3/26
5	トシリズマブによるリウマチ大関節破壊抑制効果	筆頭演者	平野 裕司	第7回東三河アクテムラカンファランス	豊橋市	2016/6/18
6	関節リウマチ治療の落とし穴～民間療法について～	筆頭演者	磯野 正晶	第7回東三河アクテムラカンファランス	豊橋市	2016/6/18
7	関節リウマチの生物学的製剤治療と手術合併症	筆頭演者	平野 裕司	第46回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2016/6/25
8	関節リウマチにおける2年間のアバタセプト治療が、疾患活動性、生活の質、関節破壊防止に与える影響－MTXとPSLの減量に注目して－	筆頭演者	平野 裕司	第47回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2016/7/23
9	関節リウマチの生物学的製剤治療と手術合併症	筆頭演者	平野 裕司	全三河リウマチ研究会	知立市	2016/9/10
10	関節リウマチ治療の落とし穴～民間療法について～	筆頭演者	磯野 正晶	全三河リウマチ研究会	知立市	2016/9/10
11	関節リウマチとして治療経過中に成人性スティル病と判断した1例	筆頭演者	磯野 正晶	第48回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2016/10/22

<脊椎外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	当科における頸椎椎弓根スクリュウの逸脱の検討－支援機器による違い－	筆頭演者	宮入 祐一	第10回日本CAOS研究会	犬山市	2016/3/24

<脳神経外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	A1確保の確実性から見た破裂前交通動脈瘤クリッピング術における安全なアプローチ	筆頭演者	原口 健一	第35回The Mt.Fuji Workshop on CVD	東京都	2016/8/27

<小児科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	二重学籍不可の壁を乗り越えて～院内学級における前籍校との繋がりの大切さ～	筆頭演者	伊藤 剛	第29回愛知県病弱児療育研究会	名古屋市	2016/1/30

2	当初Lemierre症候群として対応した上咽頭がんの一例～新しい傍腫瘍症候群の可能性～	筆頭演者	伊藤 剛	第69回東海小児がん研究会	名古屋市	2016/1/30
3	豊橋市民病院新生児医療センター近年の診療成績と長期的な課題	筆頭演者	幸脇 正典	第181回東三河小児科医学会症例検討会	豊橋市	2016/4/20
4	過去10年間に虐待を疑い通告を行った死亡例の検討	筆頭演者	佐久間 肇	第5回日本小児診療多職種研究会	横浜市	2016/7/30
5	新生児乳児胆汁うっ滞と遺伝子解析	筆頭演者	戸川 貴夫	第38回胆汁酸研究会	久留米市	2016/11/26

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	鏡視下子宮頸癌手術におけるICGを使用したセンチネルリンパ節生検	筆頭演者	梅村 康太	第17回東海産婦人科内視鏡手術研究会	名古屋市	2016/10/1
2	婦人科領域におけるロボット支援下手術の導入に関して	筆頭演者	池田 芳紀	第17回東海産婦人科内視鏡手術研究会	名古屋市	2016/10/1
3	骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨陰固定術の手術成績および術式の工夫～2年間71例の治療経験より～	筆頭演者	河合 要介	第17回東海産婦人科内視鏡手術研究会	名古屋市	2016/10/1
4	腹腔鏡下子宮全摘術 (TLH)を短時間で安全に行うためのポイント	筆頭演者	植草 良輔	第17回東海産婦人科内視鏡手術研究会	名古屋市	2016/10/1
5	早期子宮頸癌に対する腹腔鏡下広汎子宮全摘術の手術成績の検討	筆頭演者	高野みずき	第17回東海産婦人科内視鏡手術研究会	名古屋市	2016/10/1
6	当院における腹腔鏡下子宮体癌手術の手術成績	筆頭演者	北見 和久	第17回東海産婦人科内視鏡手術研究会	名古屋市	2016/10/1
7	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術におけるICGを使用したセンチネルリンパ節同定法	筆頭演者	梅村 康太	第18回SNNS研究会学術集会	東京都	2016/11/11

<麻酔科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	超音波ガイド下中心静脈穿刺	筆頭演者	稲生 光春	第51回中部歯科麻酔研究会	長野県	2016/6/25
2	豊橋市民病院における筋弛緩薬、筋弛緩拮抗薬の使用状況の変化	筆頭演者	芝 朋加	第3回三河麻酔フォーラム	安城市	2016/10/25

<放射線科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	子宮漿膜下筋腫捻転の1例	筆頭演者	石口 裕章	第110回名古屋レントゲンカンファレンス	名古屋市	2016/12/10

座長・司会（医局）

<総合内科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	司会	甲状腺のしこりのお話	鳥居 俊男	第63回豊橋市民病院健康教室	豊橋市	2016/3/5
2	司会	血液腫瘍と造血幹細胞移植について	鳥居 俊男	第64回豊橋市民病院健康教室	豊橋市	2016/10/22

<呼吸器内科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	胸膜疾患-1	竹山 佳宏	第110回日本呼吸器学会東海地方学会	名古屋市	2016/11/5

<消化器内科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	特別講演 PBCのトピックス-痒みを含めて-	浦野 文博	豊橋内科医会研修会	豊橋市	2016/3/10
2	座長	特別講演 C型肝炎撲滅に向けて～特に難治症例に対する使い分け～	浦野 文博	第4回豊橋C型肝炎セミナー	豊橋市	2016/5/31
3	座長	消化器4	山田 雅弘	日本内科学会第229回東海地方会	浜松市	2016/6/26
4	座長	知って得する慢性便秘治療～ルビプロストンの登場による治療法の変化～	山田 雅弘	東三学術講演会	豊橋市	2016/9/14
5	座長	特別講演 胃癌の化学療法と副作用のマネージメント	山本 英子	第55回豊橋がん診療フォーラム	豊橋市	2016/9/15
6	座長	消化器(胆道)	松原 浩	日本超音波医学会第37回中部地方会	名古屋市	2016/9/25
7	座長	消化器8	山田 雅弘	日本内科学会東海支部主催第230回東海地方会	名古屋市	2016/10/16
8	座長	当院におけるC型肝炎治療について	内藤 岳人	第13回豊橋肝臓フォーラム	豊橋市	2016/11/16
9	座長	特別講演 C型慢性肝炎の最新治療について～3rd Wave DAA～	浦野 文博	第13回豊橋肝臓フォーラム	豊橋市	2016/11/16
10	座長	食道	山田 雅弘	日本消化器病学会東海支部第125回例会	名古屋市	2016/11/19
11	座長	大腸腫瘍の診断と内視鏡治療～今後の方向性～	山本 英子	第12回三河GI WORKSHOP	知立市	2016/11/24

<循環器内科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	特別講演 肺実質病変に合併する肺高血圧の診断と治療	成瀬 賢伸	第2回東三河PHカンファレンス	豊橋市	2016/2/19
2	座長	一般プログラム Complex2	成瀬 賢伸	第35回 CVIT 東海北陸地方会	名古屋市	2016/4/8
3	座長	一般講演 アプレーション周術期におけるイグザレルトの有効性	大野 修	第5回Bayer Thrombosis Seminar in Nagoya	名古屋市	2016/5/12
4	座長	教育講演 なぜ心臓保護薬はHFpEFに効かないのか?	大野 修	第5回Bayer Thrombosis Seminar in Nagoya	名古屋市	2016/5/12
5	座長	一般講演 CKDから腎を守る～降圧治療戦略～	成瀬 賢伸	Anticoagulation Care 3.0	豊橋市	2016/12/16

<腎臓内科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	急性血液浄化療法5	山川 大志	第61回日本透析医学会学術集会・総会	大阪市	2016/6/12
2	座長	腎臓1	山川 大志	第230回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2016/10/16

<糖尿病・内分泌内科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	日常生活に潜む内分泌疾患	山守 育雄	第64回東三河内分泌疾患談話会	豊橋市	2016/3/19
2	座長	特別講演 糖尿病腎症	山守 育雄	東三学術講演会	豊橋市	2016/3/30
3	座長	日常生活に潜む下垂体疾患	山守 育雄	豊橋内科医会研修会	豊橋市	2016/4/28
4	座長	糖尿病療養指導(栄養指導 透析予防)	山守 育雄	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	京都市	2016/5/20
5	座長	内分泌・代謝3	山守 育雄	日本内科学会第229回東海地方会	浜松市	2016/6/26
6	座長	D-01～D-05	山守 育雄	第90回日本糖尿病学会中部地方会	名古屋市	2016/10/2
7	座長	医師は無力、減塩実現には多職種でつくる町の減塩環境を活用する～よりよい降圧療法のために～	山守 育雄	タケダ生活習慣病セミナー	豊橋市	2016/10/6
8	座長	大災害時の生活習慣病の変化とその対策－大津波による血糖と血圧の変化－	山守 育雄	Diabetes Forum in 東三河	豊橋市	2016/10/24
9	座長	視床下部による水・エネルギーバランスの調節	山守 育雄	MCRフォーラム	豊橋市	2016/10/26
10	座長	なぜ副甲状腺が必要なのか?～臨床の現場から見るカルシウム代謝の臨床～	山守 育雄	原発性副甲状腺機能亢進症を考える会	豊橋市	2016/10/31

<血液・腫瘍内科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	司会	ミニレクチャー 骨転移診療ガイドラインについて	杉浦 勇	第14回東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2016/2/20
2	司会	イブニングセミナー4 The New treatment strategy for SCT eligible Multiple Myeloma patients	杉浦 勇	第38回日本造血細胞移植学会総会	名古屋市	2016/3/4
3	座長	一般口演32 多発性骨髄腫	杉浦 勇	第38回日本造血細胞移植学会総会	名古屋市	2016/3/5
4	司会	特別講演 The treatment strategy for transplant eligible and ineligible myeloma patients	杉浦 勇	第15回東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2016/3/5
5	司会	講演 I 難治性CMLの治療戦略	杉浦 勇	Pfizer Hematology Seminar -ボシュリフ1周年記念講演会-	名古屋市	2016/4/8
6	司会	講演1 IMiDsの作用機序と治療の実際	杉浦 勇	名古屋骨髄腫セミナー	名古屋市	2016/8/19
7	座長	ポスター86 Ph+ALL	杉浦 勇	第78回日本血液学会学術集会	横浜市	2016/10/14

<一般外科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	LECSを導入しようとする内科医、外科医のために	平松 和洋	第45回愛知臨床外科学会	名古屋市	2016/2/11
2	座長	その他	青葉 太郎	第46回愛知臨床外科学会	名古屋市	2016/7/18

<肛門外科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	一般演題33 がん3	柴田 佳久	第31回日本静脈経腸栄養学会	福岡市	2016/2/26
2	座長	PS-221ポスターセッション(221)「大腸骨盤外科・その他」	柴田 佳久	第116回日本外科学会定期学術集会	大阪市	2016/4/14
3	座長	退院後支援	柴田 佳久	第65回東海ストーマ・排泄リハビリテーション研究会	静岡市	2016/6/4
4	座長	一般演題	柴田 佳久	第17回三河重症疾患研究会	豊橋市	2016/7/2

<移植外科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	ポスター15 「移植前療法」	長坂 隆治	第49回日本臨床腎移植学会	鳥取県	2016/3/25

<リウマチ科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	関節リウマチのタイトコントロール	平野 裕司	Infliximab Best Use Seminar 2016	名古屋市	2016/1/16
2	座長	目標を見据えた骨粗鬆症治療	平野 裕司	第5回三河骨粗鬆症研究会	豊橋市	2016/3/5
3	座長	関節リウマチ患者に対する人工膝関節置換術の効果の分析 - 局所的効果、全身的疾患活動性、生活の質への影響の比較 -	平野 裕司	東海骨・関節疾患講演会	名古屋市	2016/3/10
4	座長	関節リウマチの肺合併症マネジメント	平野 裕司	RA Nurse Seminar	豊橋市	2016/3/12
5	座長	生物学的製剤整形外科ミーティング東海ラウンドテーブルディスカッション	平野 裕司	生物学的製剤整形外科ミーティング東海	名古屋市	2016/3/19
6	座長	リウマチ治療の費用対効果を考える	平野 裕司	第7回東三河アクテムラカンファランス	豊橋市	2016/6/18
7	座長	Bio時代におけるRAに対する手術療法とその役割について	平野 裕司	リウマチ学の門をたたく会～リウマチは良くなる病気です～	名古屋市	2016/7/9
8	座長	メトトレキサート効果不十分、その先	平野 裕司	リウマチ学の門をたたく会～リウマチは良くなる病気です～	名古屋市	2016/7/9
9	座長	関節炎の鑑別とその治療戦略	平野 裕司	第48回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2016/10/22
10	座長	最近のリウマチ診療について	平野 裕司	第4回三河Orthopaedic Rheumatology研究会	名古屋市	2016/11/5

<脊椎外科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	BKP術後、経過不良で再手術を要した症例の検討	吉原 永武	第3回Nagoya Youth Spine Meeting	名古屋市	2016/1/14
2	座長	『心の痛み・身の痛み』～やっかいな痛みに対する対処法～	吉原 永武	豊橋痛みの治療研究会	豊橋市	2016/7/12

<小児科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	演題病理検討	伊藤 剛	第69回東海小児がん研究会	名古屋市	2016/1/30
2	座長	講演 医療機関における児童虐待対策の取り組みについて	小山 典久	豊橋市民病院児童虐待講演会	豊橋市	2016/2/4
3	座長	一般演題 急性腎炎症候群1	田中 一樹	第51回日本小児腎臓病学会	名古屋市	2016/7/9
4	座長	一般演題 小児泌尿器科3	田中 一樹	第38回日本小児腎不全学会	岐阜市	2016/10/27
5	座長	講演 バイタルで診る危急疾患～バイタル評価を重視しましょう～	小山 典久	第2回小児救急研修会	東京都	2016/10/30

6	座長	特別講演② 疾患特異的iPS細胞を用いた 病態の解析－炎症性疾患を中 心にして－	伊藤 剛	第184回東三河小児科医 会学術講演会	豊橋市	2016/11/12
7	座長	基調講演 みんなで家庭看護力を高めよ う！～保護者にもできる初期 対応(トリアージ)、判断！～	小山 典久	第2回家庭看護力醸成セ ミナー	兵庫県	2016/11/27
8	座長	基調講演 小児救急医療情報ツールの有 効活用	小山 典久	第2回家庭看護力醸成セ ミナー	兵庫県	2016/11/27
9	座長	講演 小児結核診療の実際	小山 典久	平成29年度医療機関BCG 予防接種講習会	豊橋市	2016/12/3
10	座長	調査研究報告会	小山 典久	平成28年度特別講演会・ 調査研究報告会	名古屋市	2016/12/10
11	座長	特別講演会 医療事故調査制度の現在と課 題	小山 典久	平成28年度特別講演会・ 調査研究報告会	名古屋市	2016/12/10

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	一般演題 血栓塞栓症に対するヘパリン カルシウムの臨床的有用性につ いて 他	河井 通泰	第四回三河地区産婦人科 フォーラム 愛知県産婦 人科医会第2回学術研修 会(三河地区)	豊橋市	2016/6/11
2	座長	一般演題(ポスター) 分娩9	岡田真由美	第52回日本周産期・新生 児医学会	富山市	2016/7/8
3	座長	特別講演 がん薬物療法における副作用 対策	河井 通泰	第54回豊橋がん診療フォ ーラム	豊橋市	2016/7/21

<産婦人科(生殖医療)>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	産婦人科遺伝診療の基礎と実 践	安藤 寿夫	第2回東海生殖周産期研 究会	名古屋市	2016/1/30
2	座長	私はこうする:ART診療実践 講座1.ART1.不妊治療と仕事 との両立に困難性を抱えるカ ップルへの支援	安藤 寿夫	第61回日本生殖医学会学 術講演会	横浜市	2016/11/3

<麻酔科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	呼吸①	中田 純	日本麻酔科学会東海北陸 支部第14回学術集会	津市	2016/9/10

<リハビリテーション科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	一般演題 メディカルチェック1	石川 知志	第27回日本臨床スポーツ 医学会学術集会	千葉市	2016/11/6

<歯科口腔外科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	ポスターセッション33 外傷3	嘉悦 淳男	第61回公益社団法人日本 口腔外科学会総会・学術 大会	千葉市	2016/11/26

講 演 (医局)

<呼吸器内科>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	結核について	竹山 佳宏	東三学術講演会	豊橋市	2016/7/2

<消化器内科>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	平成27年度の胃がん検診にて発見された消化管腫瘍	山本 英子	平成28年度医療機関胃がん検診講習会	豊橋市	2016/2/13
2	当院におけるGERD診療の現状	山本 英子	名古屋GI Forum～タケキャブ錠発売1周年記念講演会～	名古屋市	2016/3/16
3	当院におけるH.pylori除菌療法の現状	飛田恵美子	東三学術講演会	豊橋市	2016/5/18
4	B型慢性肝炎/最新の治療	浦野 文博	B型肝炎 医療講演会 B型肝炎の治療について	豊橋市	2016/6/4

<腎臓内科>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	講演Ⅱ DPP-4阻害薬と腎	山川 大志	東三学術講演会	豊橋市	2016/3/30
2	東三河地区災害ネットワークの活動について	山川 大志	東三河地区透析災害対策ネットワーク講演会	豊橋市	2016/5/19
3	CKDの原因となる病気	山川 大志	豊橋市CKD市民公開講座～大切にしよう!あなたの腎臓～	豊橋市	2016/6/5
4	慢性腎臓病におけるミネラル代謝異常の診断・治療	山川 大志	豊橋市薬剤師会研修会	豊橋市	2016/7/21
5	常染色体優性多発性のう胞腎に対するサムスカの有用性	山川 大志	東三学術講演会	豊橋市	2016/8/17
6	常染色体優性多発性のう胞腎に対する新しい治療	山川 大志	東三河地区学術講演会	豊橋市	2016/10/26
7	リオナ錠の使用経験	山川 大志	東三河CKD-MBDエキスパートセミナー	豊橋市	2016/11/4
8	常染色体優性多発性のう胞腎に対するトルパプタンの有用性	山川 大志	田原市医師会生涯教育勉強会	田原市	2016/12/15

<糖尿病・内分泌内科>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	変わり行く糖尿病治療の展望	山守 育雄	第6回豊橋市民病院豊橋薬薬連携研修会	豊橋市	2016/3/3
2	甲状腺のしこりのお話	山守 育雄	第63回健康教室	豊橋市	2016/3/5
3	栄養サポートのための糖尿病の知識	山守 育雄	NST定期教育講演会	豊橋市	2016/7/29
4	新たに定められた「高齢者の血糖コントロール目標」とその背景	山守 育雄	東三学術講演会	豊橋市	2016/8/31
5	脳卒中予防のための糖尿病の知識	山守 育雄	第9回豊橋脳卒中市民講座	豊橋市	2016/11/12

<血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	Ph+ALLの新たな治療戦略	杉浦 勇	高知Ph白血病Seminar	高知県	2016/2/12
2	造血細胞移植患者における深在性真菌症管理	倉橋 信悟	第38回日本造血細胞移植学会モーニングセミナー	名古屋市	2016/3/5
3	Ph+ALLの新たな治療戦略	杉浦 勇	第3回島根Leukemiaセミナー	島根県	2016/5/27
4	血液腫瘍と造血幹細胞移植について	倉橋 信悟	第64回健康教室	豊橋市	2016/10/22
5	Elotuzumabの使用経験	杉浦 勇	EMPLICITI承認記念講演会	名古屋市	2016/11/4
6	国内臨床試験（ONO-7057-05試験）における豊橋市民病院での症例紹介	杉浦 勇	カイプロリス発売記念講演会 in 東海	名古屋市	2016/11/11

<移植外科>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	腎移植患者さんも知っておくべき漢方いろはの"い"～葛根湯、小柴胡湯、小青竜湯～	長坂 隆治	第107回移植セミナー	豊橋市	2016/3/6
2	腎移植前後の心得～献腎移植待機患者および腎移植後の患者さんにももの申す～	長坂 隆治	第107回移植セミナー	豊橋市	2016/3/6
3	東三河地域における腎移植の現状とミコフェノール酸モフェチル (MMF) の位置づけ	長坂 隆治	東三河腎移植セミナー	豊橋市	2016/3/9
4	腎移植における慢性C型肝炎治療の考え方	長坂 隆治	第32回腎移植・血管外科研究会	兵庫県	2016/5/27
5	臓器提供症例報告	長坂 隆治	第45回愛知県施設内移植情報担当者会議	名古屋市	2016/6/10
6	ドナー人生、長生きするにはどんな生活すればいいの？	長坂 隆治	ドナーの会	名古屋市	2016/9/25

<整形外科>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	イリザロフ法	三矢 聡	第1回東海イリザロフ法研究会	名古屋市	2016/6/4
2	ピロン骨折治療におけるオプション創外固定と皮弁	三矢 聡	第4回TOP7東海整形外傷シンポジウム	名古屋市	2016/9/10
3	重度下腿外傷に対する有茎皮弁Local flapの失敗をしないために	三矢 聡	第2回JSETS@東海重度四肢外傷シンポジウム	名古屋市	2016/10/29
4	最も単純なイリザロフ創外固定器「スモールディストラクター」	三矢 聡	第2回東海イリザロフ法症例検討会	名古屋市	2016/11/26
5	骨盤創外固定	三矢 聡	整形外科救急外傷ワークショップ	豊橋市	2016/12/1
6	局所皮弁	三矢 聡	整形外科救急外傷ワークショップ	豊橋市	2016/12/1

<リウマチ科>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	抗TNF製剤の臨床的パフォーマンス	平野 裕司	第4回中東遠地区RA病診連携講演会	掛川市	2016/1/21
2	一般整形外科外来に必要なリウマチ性疾患診療の知識～関節炎と骨粗鬆症を中心に～	平野 裕司	東三河整形外科医会	豊橋市	2016/1/28
3	関節リウマチの骨粗鬆症にフォルテオを使用する際のClinical Questions	平野 裕司	熊本ステロイド性骨粗鬆症を考える会	熊本市	2016/3/9
4	関節リウマチ患者に対する人工膝関節置換術の効果の分析－局所的効果、全身的疾患活動性、生活の質への影響の比較－	岡田 貴士	東海骨・関節疾患講演会	名古屋市	2016/3/10
5	関節リウマチの重要な合併症の骨粗鬆症	平野 裕司	RA Nurse Seminar	豊橋市	2016/3/12
6	トシリズマブによるRA大関節破壊抑制効果	平野 裕司	第60回日本リウマチ学会総会	横浜市	2016/4/23
7	現在の骨粗鬆症診療のキーポイント	平野 裕司	骨粗鬆症治療A to Z－女性の骨を守る会－	豊橋市	2016/4/27
8	関節リウマチの生物学的製剤治療と手術合併症	平野 裕司	第89回日本整形外科学会学術総会	横浜市	2016/5/13
9	関節リウマチ診断が次に目指すもの－関節リウマチ患者さんは健康な人以上に健康になれるのか？－	平野 裕司	公益社団法人日本リウマチ友の会愛知支部第53回総会・大会	名古屋市	2016/5/15
10	整形外科リウマチ専門医が考える関節リウマチの臨床研究と診察	平野 裕司	第13回奈良県リウマチ研究会	奈良市	2016/5/21
11	関節リウマチにおける2年間のアバタセプト治療が、疾患活動性、生活の質、関節破壊防止に与える影響－MTXとPSLの減量に注目して－	平野 裕司	ESCORT Seminar 2016	豊橋市	2016/5/26
12	合併症を考慮した現在の関節リウマチ診療	平野 裕司	第3回Ichinomiya RA Network Seminar	一宮市	2016/5/28
13	関節リウマチの診療ガイドラインの変遷	平野 裕司	東三河RAコメディカルセミナー	豊橋市	2016/6/17
14	整形外科医師に必要なリウマチ性疾患診療の知識～関節炎と骨粗鬆症を中心に～	平野 裕司	蒲郡リウマチ懇話会	蒲郡市	2016/6/23
15	どうにもならなくなってから手術治療を行った関節リウマチの一例	平野 裕司	リウマチ学の門をたたく会～リウマチは良くなる病気です～	名古屋市	2016/7/9
16	リウマチ性疾患治療の基本～関節炎と骨粗鬆症を中心に～	平野 裕司	時習館咲医会	豊橋市	2016/8/4
17	関節リウマチの診療ガイドラインの変遷	平野 裕司	豊橋市薬剤師会集合研修会	豊橋市	2016/8/18
18	関節リウマチにおける2年間のアバタセプト治療が、疾患活動性、生活の質、関節破壊防止に与える影響	平野 裕司	東海ORENCIA講演会IN名古屋	名古屋市	2016/8/27
19	関節リウマチの薬物治療(csDMARDs)を開始する際のポイント	平野 裕司	第127回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	松本市	2016/9/30

20	関節リウマチの薬物治療 ～csDMARDs～	平野 裕司	平成28年度リウマチ教育研修会 東海・北陸地区	名古屋市	2016/10/2
21	関節リウマチの骨粗鬆症における Long Term Protection～フォルテオの有効性の最大化～	平野 裕司	FORTEO Web Conference	豊橋市	2016/10/12
22	関節リウマチの骨粗鬆症における Long Term Protection～フォルテオの有効性の最大化～	平野 裕司	静岡PTHを語る会	静岡市	2016/10/27
23	関節リウマチの患者背景より考 えるイグランチモドの使いどころ	平野 裕司	第31回日本臨床リウマチ学会	東京都	2016/10/29
24	チーム医療に必要な関節リウマ チの診療ガイドラインの知識	平野 裕司	RAチーム医療懇話会	松山市	2016/11/4
25	骨粗鬆症の最新情報	平野 裕司	第3回東三河リウマチ・骨粗鬆症 看護セミナー	豊橋市	2016/11/12
26	リウマチ性疾患治療の基本～関 節炎と骨粗鬆症を中心に～	平野 裕司	第4回筑紫リウマチセミナー	福岡市	2016/11/25
27	他施設研究の臨床データから考 える関節リウマチ薬物治療にお けるMTXとアダリムマブの効果 的な使用法	平野 裕司	HUMIRAインターネットライブ セミナー	名古屋市	2016/12/1
28	トシリズマブによるRA大関節破 壊抑制効果	平野 裕司	Tocilizumab Expert Seminar in Nagoya	名古屋市	2016/12/3
29	週1回テリパラチド製剤の使用経 験	磯野 正品	東三学術講演会	豊橋市	2016/12/7
30	リウマチ性疾患治療の基本～関 節炎と骨粗鬆症を中心に～	平野 裕司	リウマチ治療セミナー	名古屋市	2016/12/10

<脊椎外科>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	腰椎疾患の診断と治療	吉原 永武	かかりつけ医のための腰痛診療 セミナーin豊橋	豊橋市	2016/6/2

<小児科>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	児童虐待対応における医療機関 の役割	小山 典久	八千代病院虐待防止勉強会	安城市	2016/1/14
2	乳幼児期にかかりやすい病気につ いてとその対処法や注意点につ いて	小山 典久	豊橋保育協会研修会	豊橋市	2016/6/30
3	障害のあるこどものこまごまな 病態と対応について	小山 典久	豊橋特別支援学校研修会	豊橋市	2016/8/30
4	子どもの病気について	小山 典久	豊橋市社会福祉協議会 ファミ リーサポートセンター会員講習 会	豊橋市	2016/11/2

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	2015年の産科統計「東三河の分娩取扱い状況と当院の分娩、母胎搬送の報告」	岡田真由美	平成27年度愛知県周産期医療従事者研修会(東三河北部・南部医療圏)	豊橋市	2016/2/10
2	産褥症例の現状および産褥出血症例の検討	岡田真由美	平成27年度愛知県周産期医療従事者研修会(東三河北部・南部医療圏)	豊橋市	2016/2/10
3	婦人科がん化学療法セミナー Closing Remarks	河井 通泰	婦人科がん化学療法セミナーin NAGOYA	名古屋市	2016/3/4
4	当院における産科大量出血の経験	岡田真由美	第4回東海産婦人科周術期管理セミナー	名古屋市	2016/3/18
5	当院におけるLEP及びジエノゲスト製剤の処方動向	岡田真由美	第四回三河地区産婦人科フォーラム愛知県産婦人科医会第2回学術研修会(三河地区)	豊橋市	2016/6/11
6	タイムトライアル トレーニング	梅村 康太	豊橋市民病院外科系腹腔鏡ドライボックススキルアップセミナー	豊橋市	2016/6/25
7	タイムトライアル トレーニング	高野みずき	豊橋市民病院外科系腹腔鏡ドライボックススキルアップセミナー	豊橋市	2016/6/25
8	子宮頸がんに対する腹腔鏡手術導入に向けて(子宮体癌手術を中心に)	梅村 康太	第2回静岡婦人科腹腔鏡セミナー	浜松市	2016/10/29

<歯科口腔外科>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	明日からの周術期口腔機能管理と豊橋市民病院との病診連携	嘉悦 淳男	一般社団法人豊橋市歯科医師会10月例会講演	豊橋市	2016/10/28
2	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の病態と管理 顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー2016	嘉悦 淳男	東三河DSC定期勉強会	豊橋市	2016/11/8
3	口腔外科医が行う安全・効果的な口腔がん薬物療法－症例提示と治療の勘どころ－	白水 敬昌	第61回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会	千葉市	2016/11/27

<予防医療センター>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	当院胃検診例の実際－内視鏡例を中心に－	大橋 信治	平成28年度医療機関胃がん検診講習会	豊橋市	2016/2/13

論文・著書 (医局)

<消化器内科>

No.	題名	区分	氏名	雑誌名
1	IVRで救命し得た出血性胃潰瘍の一例	筆頭著者	望月 聡	東三医会誌. 2016; 75-78.
2	膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) と慢性膵炎の関連性 - IPMNにおける早期慢性膵炎のEUS所見も含めて -	筆頭著者	藤田 基和	胆と膵. 2016; 37: 365-375.
3	胃グロームス腫瘍	筆頭著者	浦野 文博	消内視鏡. 2016; 28: 1222-1223.
4	膵腺扁平上皮癌に対してnab-paclitaxel + gemcitabine を投与した1剖検例	筆頭著者	片岡 邦夫	日消誌. 2016; 113: 1777-1784.
5	Clinicopathologic Spectrum of Gastrointestinal T-cell Lymphoma : Reappraisal Based on T-cell Receptor Immunophenotypes	共同著者	Hideko Yamamoto	Am J Surg Pathol. 2016; 40: 777-785.
6	胆嚢管に主病変を認めた Adenomyomatous hyperplasiaの1切除例	共同著者	松原 浩	胆道. 2016; 30: 127-132.

<循環器内科>

No.	題名	区分	氏名	雑誌名
1	分子標的薬に関連した心障害が生じた2症例	筆頭著者	鈴木 一秋	東三医会誌. 2016; 32-35.
2	アミオダロンによる肺障害が疑われた拡張型心筋症の一例	筆頭著者	岡田百合香	東三医会誌. 2016; 64-66.

<腎臓内科>

No.	題名	区分	氏名	雑誌名
1	内科医に必要な検査の基本的読み方 血液ガス、酸塩基平衡の読み方を教えてください。	筆頭著者	前川 道隆	レジデントノート. 2016; 18: 1391-1396.
2	Fanconi Syndrome Associated with Hyponatremia in Two Patients with Legionella Pneumonia.	筆頭著者	Taishi Yamakawa	Intern Med. 2016; 55: 3479-3484.

<血液・腫瘍内科>

No.	題名	区分	氏名	雑誌名
1	Ph陽性急性リンパ性白血病	筆頭著者	杉浦 勇	日本臨床増刊号白血病学(下). 2016, p.151-p.155.
2	リンパ腫の各病理組織型の治療と予後マントル細胞リンパ腫	筆頭著者	鈴木弘太郎	内科. 2016; 117: 1321-1324.
3	Ph陽性急性リンパ性白血病	筆頭著者	岩崎 年宏	白血病・リンパ腫薬物療法ハンドブック. 2016, p.107-p.122.
4	Ph陽性ALL (成人)	筆頭著者	杉浦 勇	急性リンパ性白血病 (ALL) の基礎と臨床. 2016, p.136-p.145.
5	Impact of MRD and TKI on allogeneic hematopoietic cell transplantation for Ph+ALL : a study from the adult ALL WG of the JSHCT.	筆頭著者	Satoshi Nishiwaki	Bone Marrow Transplant. 2016; 51: 43-50.

6	A new prognostic index to make short-term prognoses in MDS patients treated with azacitidine : A combination of p53 expression and cytogenetics.	筆頭著者	Satoshi Nishiwaki	Leuk.Res. 2016; 41: 21-26.
7	B Cell linker protein (BLNK) is a selective target of repression by PAX5-PML protein in the differentiation block that leads to the development of acute lymphoblastic leukemia.	共同著者	Shingo Kurahashi	J Biol Chem. 2016; 291: 4723-4731.
8	Fibroblast Growth Factor-2 facilitates the growth and chemo-resistance of leukemia cells in the bone marrow by modulating osteoblast functions.	共同著者	Satoshi Nishiwaki	Sci Rep. 2016; 6: 30779.
9	特殊病型と類縁疾患の診断と治療 非分泌型多発性骨髄腫	筆頭著者	倉橋 信悟	日本臨床増刊号多発性骨髄腫学. 2016, p.513-p.516.
10	急性GVHDにおける皮膚マクロファージ浸潤の臨床的意義	筆頭著者	西脇 聡史	日本臨床増刊号白血病学(下). 2016, p.577-p.582.

<一般外科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名
1	胆嚢管に主病変を認めた Adenomyomatous hyperplasiaの1切除例	筆頭著者	青葉 太郎	胆道. 2016; 30: 127-132.
2	十二指腸憩室穿孔の2例	筆頭著者	石井 健太	日腹部救急医学会誌. 2016; 36: 153-158.
3	外傷性小腸穿孔、汎発性腹膜炎手術後に横紋筋融解症を伴う高体温をきたした1例	筆頭著者	桐山 宗泰	日腹部救急医学会誌. 2016; 36: 673-679.
4	幽門輪温存腓頭十二指腸切除、腓胃吻合再建後の残胃癌に対して、根治切除を行った5例の経験	筆頭著者	平松 和洋	手術. 2016; 70: 1113-1120.
5	びまん性肝転移により術後2ヶ月で死亡した乳癌の1例	筆頭著者	和田 幸也	日臨外会誌. 2016; 77: 785-789.
6	急速に増大し腸閉塞をきたした小腸原発悪性末梢神経鞘腫の1例	筆頭著者	和田 幸也	日臨外会誌. 2016; 77: 1116-1121.
7	プロテインC欠乏に伴う大動脈壁在血栓に起因した上腸間膜動脈塞栓症の1例	筆頭著者	和田 幸也	日臨外会誌. 2016; 77: 1363-1368.
8	大網充填術を行った十二指腸穿孔による腹部大動脈瘤術後人工血管感染の1例	筆頭著者	三竹 泰弘	日臨外会誌. 2016; 77: 2686-2691.
9	孤立性胸椎転移を認めたS状結腸SM癌の1例	筆頭著者	三品 拓也	日臨外会誌. 2016; 77: 2984-2988.

<呼吸器外科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名
1	ダブルルーメンチューブカフの大量誤注入による左主気管支膜様部破裂の1手術例	筆頭著者	親松 裕典	気管支学. 2016; 38: 114-117.
2	治療に難渋した胸腺腫合併重症筋無力症の1例	筆頭著者	直海 晃	胸部外科. 2016; 69: 881-884.
3	硬膜外麻酔併用全身麻酔下で肺区域切除後に発症した脊髄梗塞の1例	筆頭著者	親松 裕典	日呼外会誌. 2016; 30: 594-597.

4	食道癌術後の胸腔間交通による両側同時気胸の1手術例	筆頭著者	親松 裕典	気管支. 2016; 38: 130-133.
5	New Technique for fixing rib fracture with bioabsorbable plate	筆頭著者	Hironori Oyamatsu	Asian Cardiovasc Thorac Ann. 2016; 24: 736-738.
6	急速に増大した中縦隔発生Solitary Fibrous Tumorの1切除例	筆頭著者	親松 裕典	日呼外会誌. 2016; 30: 710-715.
7	0.1%ピオクタニン水溶液洗浄が有効であったネフローゼ症候群合併有癭性MRSA膿胸の1例	筆頭著者	直海 晃	日呼外会誌. 2016; 30: 159-163.
8	胃原発GIST切除後肺転移の1切除例	筆頭著者	親松 裕典	日呼外会誌. 2016; 30: 19-24.

<移植外科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名
1	高カルシウム血症をみたら血清リン値の測定を～他診療科にてフォローされていた原発性副甲状腺機能亢進症3症例より～	筆頭著者	長坂 隆治	東三医会誌. 2016; 23-31.
2	第2章「副甲状腺機能亢進症」 4.「副甲状腺の画像診断」	筆頭著者	長坂 隆治	副甲状腺機能亢進症の外科. 2016, p.41-p.52.

<整形外科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名
1	ラピッドアジャストストラットで作製したスモールディストラクターを利用する骨接合術の術中整復法	筆頭著者	三矢 聡	中部整災誌. 2016; 59: 1023-1024.
2	Medialis pedis flapと神経再生誘導チューブ(ナーブリッジ)で再建した神経欠損を伴う手指挫減損傷の1例	筆頭著者	三矢 聡	中部整災誌. 2016; 59: 541-542.
3	青年期に発症した大腿骨頭すべり症の1例	筆頭著者	三矢 未来	中部整災誌. 2016; 59: 295-296.
4	Ilizarov創外固定のパーツで作製した術中整復装置「スモールディストラクター」を利用した骨接合術	筆頭著者	三矢 聡	骨折. 2016; 38: 782-785.
5	軟骨欠損を伴う大腿骨遠位部開放骨折に対して自家骨軟骨柱移植術を行った2例	筆頭著者	三矢 未来	骨折. 2016; 38: 469-473.
6	当院における股関節後方脱臼骨折に対する手術成績の検討	共同著者	山内 健一	骨折. 2016; 38: 100-103.

<リウマチ科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名
1	関節リウマチにおけるインフリキシマブからゴリムマブへ変更後の治療成績	筆頭著者	尾島 未来	中部リウマチ. 2016; 46: 8-10.
2	インフリキシマブを使用した乾癬性関節炎の2例	筆頭著者	福井 順	中部リウマチ. 2016; 46: 39-41.
3	日本人関節リウマチ患者の実臨床におけるMTX週16mg投与の有効性と安全性の解析	筆頭著者	平野 裕司	新薬と臨. 2016; 65: 1468-1478.

<小児科>

No.	題名	区分	氏名	雑誌名
1	Single nucleotide polymorphisms in AGTR1,TFAP2B, and TRAF1 are not associated with the incidence of patent ductus arteriosus in Japanese preterm infants.	筆頭著者	Koya Kawase	Pediatr Int.. 2016; 58: 461-466.
2	IgE-Dependent Mechanism and Successful Desensitization of Erythritol Allergy	筆頭著者	Shiro Sugiura	Ann Allergy Asthma Immunol. 2016; 117: 320-321. e1.
3	赤血球濃厚液、新鮮凍結血漿、濃厚血小板を混合した血液の性状と交換輸血使用血としての適格性に関する検討	筆頭著者	小山 典久	日新生児成育医学会誌. 2016; 28: 77-83.
4	急性期管理 呼吸・循環管理と検査	筆頭著者	幸脇 正典	Neona Care. 2016; 29: 502-507.
5	血液製剤の院内分割マニュアル	筆頭著者	藤田 浩	日輸血細胞治療会誌. 2016; 62: 673-683.
6	赤血球型検査(赤血球系検査)ガイドライン(改訂2版)	筆頭著者	奥田 誠	日輸血細胞治療会誌. 2016; 62: 651-663.
7	第3章 新生児に行われる主な治療(13) 輸血と輸血製剤	筆頭著者	小山 典久	新生児の疾患・治療・ケア. 第2版 2016, p.264-p.269.

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	題名	区分	氏名	雑誌名
1	子宮頸癌、体癌に対する手術療法について～最新の腹腔鏡下手術、ダヴィンチ手術とは～	筆頭著者	梅村 康太	豊橋市医師会報. 2016; 758: 31-33.
2	当院における常位胎盤早期剥離55症例の検討－内出血型は外出血型よりhigh riskか－	筆頭著者	松川 哲	周産期医. 2016; 46: 117-120.
3	全腹腔鏡下子宮全摘術を施行した Epithelioid trophoblastic tumor (ETT) の1例	筆頭著者	河合 要介	日婦腫瘍会誌. 2016; 34: 128-133.
4	子宮頸癌に対するロボット支援神経温存子宮全摘術の2例	筆頭著者	梅村 康太	東海産婦人科内視鏡手術研究会雑誌. 2016; 4: 96-100.
5	子宮体癌に対する腹腔鏡下手術の導入	筆頭著者	吉田 光紗	日産婦内視鏡会誌. 2016; 32: 190-196.
6	子宮頸部上皮内病変に対する全腹腔鏡下子宮全摘術の治療成績～TLH施行症例の病理組織学的検討より～	筆頭著者	河合 要介	日産婦内視鏡会誌. 2016; 32: 184-189.
7	術前MRIを用いた全腹腔鏡下子宮全摘術の難易度予測	筆頭著者	河合 要介	日産婦内視鏡会誌. 2016; 32: 121-128.
8	月経時に腸閉塞を繰り返した回腸子宮内膜症の一例	筆頭著者	池田 芳紀	日産婦内視鏡会誌. 2016; 32: 296-302.

<産婦人科（生殖医療）>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名
1	早期閉経、早期卵巣不全	筆頭著者	安藤 寿夫	今日の治療指針2016私はこう治療している TODAY'S THERAPY. 2016, p.1301-1302
2	黄体支持療法	筆頭著者	伴野 千尋	不妊・不育治療指針. 2016, p.312-p.317.
3	黄体支持療法	共同著者	安藤 寿夫	不妊・不育治療指針. 2016, p.312-p.318.
4	胚培養	筆頭著者	安藤 寿夫	HORM FRONT GYNECOL. 2016; 23: 219-224.
5	子宮筋腫核出術方針決定における生殖外来事前受診の重要性	筆頭著者	甲木 聡	日不妊カウンセリング会誌. 2016; 15: 153-157.
6	施設紹介 豊橋市民病院総合生殖医療センター	筆頭著者	安藤 寿夫	日不妊カウンセリング会誌. 2016; 15: 165-170.

学会・研究会発表（診療技術局・薬局・看護局・事務局）

<放射線技術室>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	各施設のCTコロノグラフィー検査について	筆頭演者	磯部 晃	第21回東三河CT研究会	豊橋市	2016/7/13
2	当院における胃癌検診の現状と推移	筆頭演者	佐野めぐみ	第55回豊橋がん診療フォーラム	豊橋市	2016/9/15
3	被ばく低減施設認定取得への取り組み	筆頭演者	山本 弘樹	第55回全国自治体病院学会	富山市	2016/10/21
4	ERCPにおける術者・介助者への散乱線の測定と被ばく低減の取り組み	筆頭演者	山口 稔	第55回全国自治体病院学会	富山市	2016/10/21
5	画像取得方法の違いによる拡散強調画像への影響	筆頭演者	畑井 博晶	第9回中部放射線医療技術学術大会	鈴鹿市	2016/11/5
6	症例報告	筆頭演者	市川 肇	第96回東三河RI技術検討会	豊橋市	2016/11/25
7	新しい骨シンチ評価用胸部ファントムを用いたプラナ像およびSPECTの検出能評価	筆頭演者	市川 肇	第180回日本核医学技術学会東海地方会	名古屋市	2017/1/28

<中央臨床検査室>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	診断未確定の外来関節炎患者における関節エコーの検討～GSスコアとPDスコアを用いて～	筆頭演者	皆元 裕子	第60回日本リウマチ学会総会・学術集会	横浜市	2016/4/23
2	心エコー検査にて偶然発見された乳頭状線維弾性腫の一症例	筆頭演者	牧原 汐里	第17回愛知県医学検査学会	稲沢市	2016/6/5
3	脂質検査によるF式と脂質4項目の血清保存に関する検討	筆頭演者	森下 拓磨	第17回愛知県医学検査学会	稲沢市	2016/6/5
4	頭蓋内腫瘍摘出術における術中モニタリングの現状	筆頭演者	片山知奈恵	第34回愛臨技東三河地区研究会	豊橋市	2016/7/10
5	当院における血漿交換の現状	筆頭演者	大澤紀久子	第34回愛臨技東三河地区研究会	豊橋市	2016/7/10
6	穿刺液検査(体腔液)における細胞分類の検討－計算盤法とギムザ染色標本の比較－	共同演者	内田 一豊	第65回日本医学検査学会	神戸市	2016/8/6～ 2016/8/8
7	穿刺液検査(体腔液)における細胞数算定と細胞分類の検討－サムソン液とチュルク液の比較－	共同演者	内田 一豊	第65回日本医学検査学会	神戸市	2016/8/6～ 2016/8/8
8	多項目自動血球分析装置XNシリーズを用いた腹水・胸水の基礎的検討～細胞分類について～	共同演者	内田 一豊	第65回日本医学検査学会	神戸市	2016/8/6～ 2016/8/8
9	多項目自動血球分析装置XNシリーズを用いた関節液の基礎的検討～細胞分類について～	共同演者	内田 一豊	第65回日本医学検査学会	神戸市	2016/8/6～ 2016/8/8
10	ワークショップ1:悪性腫瘍細胞を見逃さないために 自動分析装置での悪性細胞の検出	筆頭演者	内田 一豊	第17回検査血液学会学術集会	福岡市	2016/9/3～ 2016/9/4

11	当院における4年間の抗酸菌検出状況	筆頭演者	山本 優	第55回全国自治体病院学会	富山市	2016/10/20
12	足趾関節エコーの重要性	筆頭演者	皆元 裕子	第48回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2016/10/22
13	当院の関節エコーの現状	筆頭演者	皆元 裕子	第3回三河関節エコー研究会	名古屋市	2016/11/19
14	臨床検査技師が関わる救命救急センター	筆頭演者	神谷 光宏	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	金沢市	2016/12/10
15	子宮内膜細胞診で診断しえた Neuroendocrine carcinoma (small cell carcinoma) の一例	筆頭演者	夏目 篤二	平成28年度日臨技中部圏支部医学検査学会(第55回)	金沢市	2016/12/11

<リハビリテーション技術室>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	Real time tissue elastography法を用いた表情筋硬度測定を試み-信頼性の検討を中心に-	筆頭演者	森嶋 直人	第39回日本顔面神経学会	大阪市	2016/5/26
2	反復収縮頻度を変化させた際の病的共同運動の積分筋電図評価	筆頭演者	真田 将太	第39回日本顔面神経学会	大阪市	2016/5/26
3	人工膝関節全置換術に至った症例の手術前QOLと他覚的評価	筆頭演者	森坂 文子	第53回日本リハビリテーション医学会学術集会	京都市	2016/6/10
4	地域連携施設における心不全に対する認識度調査-地域連携による心不全再入院率の減少を目指して-	筆頭演者	沢入 豊和	第22回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	東京都	2016/7/16
5	関節リウマチのこんな評価、知っていますか?	筆頭演者	森坂 文子	リウマチ講演会	豊橋市	2016/10/21
6	当院摂食嚥下訓練業務の改善に向けた看護師へのアンケートについて	筆頭演者	大久保瑞姫	第55回全国自治体病院学会	富山市	2016/10/21
7	当院呼吸ケアサポートチーム(RST)の活動報告	筆頭演者	馬渡 敬介	第55回全国自治体病院学会	富山市	2016/10/21
8	関節リウマチと評価	筆頭演者	森坂 文子	東三河リウマチ研究会	豊橋市	2016/10/22
9	豊橋市民病院呼吸器内科入院患者入院期間や退院時のADLについて	筆頭演者	犬塚志緒理	第173回豊橋リハビリテーション連絡会	豊橋市	2016/11/2
10	膝関節屈伸アシスト装具が自力歩行可能な急性期脳卒中患者の歩行に与える効果	筆頭演者	内藤 善規	第14回日本神経理学療法学会学術集会	仙台市	2016/11/26
11	認知症サポートチームの実績と検討～実績からみる対象者の症状傾向～	筆頭演者	二橋喜太郎	第16回東海北陸作業療法学会	石川県	2016/11/26
12	半側空間無視患者に対するプリズム療法が選択性注意に影響を与えた2症例～即時効果の比較より～	筆頭演者	松本 真奈	第16回東海北陸作業療法学会	石川県	2016/11/26
13	「髪を結ぶ」ための自助具考案と作業工程分析による効果の検討	筆頭演者	川合 康夫	第16回東海北陸作業療法学会	石川県	2016/11/27
14	誤嚥性肺炎を呈した高齢者における摂食嚥下療法	筆頭演者	濱嶋 裕一	第19回東三河リハビリテーション研究会学術発表会	豊川市	2017/1/29

15	脳卒中片麻痺患者の上肢不使用に対し、意識づけを行い食事動作可能となった一症例	筆頭演者	杉山 史子	第19回東三河リハビリテーション研究会学術発表会	豊川市	2017/1/29
16	待機的に心臓外科手術を施行した患者の心臓リハビリテーションを経験して	筆頭演者	阿形 優	第19回東三河リハビリテーション研究会学術発表会	豊川市	2017/1/29
17	急性骨髄性白血病に対し臍帯血移植を施行された一事例の経過と作業療法介入	筆頭演者	神藤 佳輔	第6回日本がんリハビリテーション研究会	横浜市	2017/1/7
18	当院脳血管障害リハビリテーション対象者における入院時栄養状態と転帰	筆頭演者	横江 玲奈	第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会	岡山市	2017/2/23
19	冠動脈バイパス術後の創部感染で長期入院加療を要しながらも自宅退院へ至った症例	筆頭演者	倉橋 裕明	第26回愛知県理学療法学会学術大会	名古屋市	2017/3/5
20	同種造血幹細胞移植の合併症により活動量低下を認めた1症例～入院中の活動量と入院前後の運動機能の変化～	筆頭演者	真田 将太	第26回愛知県理学療法学会学術大会	名古屋市	2017/3/5
21	人工膝関節全置換術を施行された症例の入院が長期化した要因について	筆頭演者	服部絵利香	第26回愛知県理学療法学会学術大会	名古屋市	2017/3/5
22	Mechanical In-Exsufflator (MI-E) を導入した在宅人工呼吸療法を行っている超重症児の経験	筆頭演者	神谷 猛	第26回愛知県理学療法学会学術大会	名古屋市	2017/3/5
23	当院における嚥下機能評価と嚥下訓練の意義	筆頭演者	大久保瑞姫	豊橋がん診療フォーラム	豊橋市	2017/3/16
24	急性期病院退院時における脳卒中患者の排泄障害に関する実態調査	筆頭演者	神谷 昌孝	第42回日本脳卒中学会学術集会	大阪市	2017/3/17
25	カニューレカフ上吸引ラインからの送気による嚥下・発声訓練を実施した一例	筆頭演者	平出 優香	日本福祉大学中央福祉専門学校言語聴覚士科卒後研修会学術発表会	名古屋市	2017/3/26

<臨床工学室>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	当院のABO血液型不適合移植におけるDFPP処理量検討	筆頭演者	山本 雅也	愛知県臨床工学技士会第12回学術大会	名古屋市	2016/5/29
2	「DialysisDiary」TMを用いたICUと血液浄化センター間でのVA管理の連携～当院で実際に使用した2症例より～	筆頭演者	山本 雅也	第17回中部臨床工学技士会	静岡市	2016/11/5

<薬局>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	当院におけるタペンタドール徐放錠の使用状況と有効性・安全性の検討	筆頭演者	柳沼 妙子	第10回日本緩和医療薬学会年会	浜松市	2016/6/4
2	入院患者の睡眠薬服用と転倒・転落の関係についての調査	筆頭演者	鈴木 善貴	第26回日本医療薬学会年会	京都市	2016/9/17

3	日常業務に活用できる癌化学療法支援ツールの作成～「大腸癌まとめ」と「大腸癌Reference book」の作成と評価～	共同演者	鈴木 善貴	第26回日本医療薬学会年会	京都市	2016/9/17
4	早期発見、早期対策を促す副作用対策ツールの作成と評価	共同演者	鈴木 善貴	第26回日本医療薬学会年会	京都市	2016/9/17
5	小児用量調剤時におけるレベチラセタムドライシロップ50%改良品の実態調査	筆頭演者	佐藤 文美	第26回日本医療薬学会年会	京都市	2016/9/17
6	de-escalationに着目した敗血症治療状況の調査	筆頭演者	森 章典	第26回日本医療薬学会年会	京都市	2016/9/17
7	小児科入院患者への服薬指導をはじめ～保護者向け服薬補助パンフレットの有用性～	筆頭演者	石川千香子	第26回日本医療薬学会年会	京都市	2016/9/19
8	外来がん化学療法で利用可能なパクリタキセルの有害事象予測因子の探索	筆頭演者	石川 元章	第26回日本医療薬学会年会	京都市	2016/9/19
9	Practice of the team medical care to support outpatient department blood tumor cancer patient.	筆頭演者	Yoshitaka Suzuki	The54th Annual Meeting of Japan Society of Clinical Oncology (JSCO2016)	横浜市	2016/10/20
10	ブシラミンによる黄色爪症候群の1症例	筆頭演者	福井 健仁	第55回全国自治体病院学会	富山市	2016/10/20
11	メトトレキサート服用患者への指導の実際 薬剤師の立場から	筆頭演者	隅田 徹	RAチーム医療懇話会	松山市	2016/11/4
12	心臓血管外科手術における抗菌薬予防投与に対する薬剤師の関わり	筆頭演者	芳賀 友輔	愛知県病院薬剤師会東三河支部会員勉強発表会	豊橋市	2017/2/9
13	第2回抗がん薬曝露対策ワークショップ～多職種共同症例検討より抗がん薬曝露対策について考える～開催報告	共同演者	鈴木 善貴	平成28年度愛知県病院薬剤師会がん部会報告会	名古屋市	2017/3/4

<看護局>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	摂食嚥下障害看護と脳神経解剖生理の合同学習会の効果～NOBU(脳の部活)でやる気スイッチON!～	筆頭演者	黒木 聡子	日本脳卒中学会総会 STROKE2016	札幌市	2016/4/15
2	当院における脳卒中再発予防の現状と課題	筆頭演者	平井 あゆ	日本脳卒中学会総会 STROKE2016	札幌市	2016/4/15
3	安全なインスリン療法をめざしたインスリン関連インシデントレポート・アンケートの解析	筆頭演者	山口三恵子	第59回糖尿病学会	京都市	2016/5/19
4	組織変革に強いリーダーを育成するために～三年間の看護師長の小集団活動～	筆頭演者	菱田由紀子	第66回日本病院学会	盛岡市	2016/6/23
5	胃切除術を受けた患者の社会復帰に向けた目標及びその達成率と自己効力感の関連	筆頭演者	鈴木 宏昌	日本看護研究学会第42回学術集会	つくば市	2016/8/21
6	在宅人工呼吸器移行患者の退院支援フローチャートを作成した結果	筆頭演者	夏目 智依	第42回日本重症心身障害学会	札幌市	2016/9/16

7	皮膚損傷を見ない「患者にとって適切なポジショニング」を目指して	筆頭演者	菱川 早紀	平成28年固定チームナーシング全国研究集会	神戸市	2016/10/16
8	倫理カンファレンスを通じた終末期患者へのかかわりの検討	筆頭演者	星野 晴代	平成28年固定チームナーシング全国研究集会	神戸市	2016/10/16
9	帝王切開術後の疼痛緩和に着目した早期離床支援	筆頭演者	吉田 美貴	平成28年固定チームナーシング全国研究集会	神戸市	2016/10/16
10	医療介入の必要な児に対する退院支援～退院調整シートを活用して～	筆頭演者	森下 恭子	平成28年固定チームナーシング全国研究集会	神戸市	2016/10/16
11	外来における効果的な応援体制づくりの取り組み	筆頭演者	金田千恵子	平成28年固定チームナーシング全国研究集会	神戸市	2016/10/16
12	師長たちによる朝のカンファレンスの効果～業務の始まりはお互いさま精神で～	筆頭演者	間瀬 有奈	第55回全国自治体病院学会	金沢市	2016/10/20
13	ワーク・ライフ・バランス推進のための3年間の取り組み～業務と制度コラボレーション～	筆頭演者	中村由美子	第55回全国自治体病院学会	金沢市	2016/10/20
14	地域の訪問看護ステーションとの連携～看護を地域に繋げる第一歩～	筆頭演者	伊藤 恵子	第55回全国自治体病院学会	金沢市	2016/10/20
15	新生児医療センターにおけるMRSAアウトブレイク要因の考察	筆頭演者	伊藤賀代子	第55回全国自治体病院学会	金沢市	2016/10/20
16	産婦人科病棟とNMCとの連携強化と母への精神的支援の充実	筆頭演者	各務 結花	第55回全国自治体病院学会	金沢市	2016/10/20
17	受け持ち患者制を導入した看護補助者の気持ちの変化～主任としてサポートした結果から～	筆頭演者	鈴木 康予	第55回全国自治体病院学会	金沢市	2016/10/20
18	MRSAアウトブレイクの鎮静化に向けた取り組み	筆頭演者	須貝 涼子	第55回全国自治体病院学会	金沢市	2016/10/21
19	救急外来センターにおけるCPAOA患者の家族ケア	筆頭演者	小野田朱里	第55回全国自治体病院学会	金沢市	2016/10/21
20	手術担当ペアスタッフ間で患者情報を共有するための取り組み～患者の要望が継続されるために～	筆頭演者	原田 真理	固定チームナーシング研究会～第16回中部地方会～	刈谷市	2016/11/23
21	受け持ち看護師の役割向上とカンファレンス定着のための活動	筆頭演者	赤土 遥	固定チームナーシング研究会～第16回中部地方会～	刈谷市	2016/11/23
22	せん妄予防・せん妄ケアへの取り組み～日常生活にケアを取り入れて～	筆頭演者	古林 佳奈	固定チームナーシング研究会～第16回中部地方会～	刈谷市	2016/11/23
23	患者・家族の思いに沿った病棟リハビリと皮膚障害の予防への取り組み～ベッドサイドカンファレンスを通して～	筆頭演者	三田茉莉江	固定チームナーシング研究会～第16回中部地方会～	刈谷市	2016/11/23
24	生活のしやすさに関する質問票を看護に活かす～患者の思いをそのままにしないために～	筆頭演者	山田 千晶	固定チームナーシング研究会～第16回中部地方会～	刈谷市	2016/11/23
25	重症・救急患者家族の心理と要望を理解した看護実践の取り組み～CNS-FACEの実施～	筆頭演者	森 知香	固定チームナーシング研究会～第16回中部地方会～	刈谷市	2016/11/23

26	糖尿病教育入院患者に対しての個別性を重視した運動療法の取り組み～退院後継続支援していくためのアプローチ～	筆頭演者	高橋友理子	固定チームナーシング研究会～第16回中部地方会～	刈谷市	2016/11/23
27	チームで取り組んだ「高次脳機能障害患者への早期看護介入」	筆頭演者	高橋 亮治	固定チームナーシング研究会～第16回中部地方会～	刈谷市	2016/11/23
28	異動看護師に対する透析チェックリストを活用した指導の効果	筆頭演者	青木 真理	第19回日本腎不全看護学会	大阪市	2016/11/26
29	透析導入後、「透析見送り」を表明した後期高齢者が透析再導入を決断した経過を振り返る	筆頭演者	青木 真理	第19回日本腎不全看護学会	大阪市	2016/11/27
30	A病院における小児科病棟に異動した看護師の組織再社会化に関する研究	筆頭演者	鈴木 康予	第36回日本看護科学学会学術集会	東京都	2016/12/11
31	熊本地震での地域における後方支援活動	筆頭演者	坂部しのぶ	第22回日本集団災害医学会総会・学術集会	名古屋市	2017/2/14
32	脳卒中再発予防教育におけるパンフレット配布の有用性	筆頭演者	平井 あゆ	日本脳卒中学会総会 STROKE2017	大阪市	2017/3/18

座長・司会（診療技術局・薬局・看護局・事務局）

<放射線技術室>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	司会	一般演題 骨シンチの読影補助をしていくには	加藤 豊大	第95回東三河RI技術検討会	豊橋市	2016/7/8
2	座長	特別講演 核医学担当業務に必要な知識と技術	市川 肇	日本放射線技術学会第44回秋季学術大会	さいたま市	2016/10/12
3	座長	メーカ講演 会員発表	市川 肇	第2回INTEVOユーザーズミーティング	横浜市	2016/11/3
4	座長	一般演題 改めて考えよう!造影検査プロトコル	畑井 博晶	第9回中部放射線医療技術学術大会	鈴鹿市	2016/11/5
5	座長	一般演題 冠動脈CT-Angiography検査、頭部SubtractionCT-Angiography検査について	磯部 晃	第22回東三河CT研究会	豊橋市	2016/11/6
6	座長	一般演題 DatviewにおけるAssist-ACPCの精度評価	加藤 豊大	第96回東三河RI技術検討会	豊橋市	2016/11/25
7	司会	一般演題 マルチモダリティにおける小児撮影を考える	大井 康弘	愛知県診療放射線技師会第三回研修会	豊橋市	2016/12/3
8	座長	一般演題 骨シンチQ&A	加藤 豊大	第97回東三河RI技術検討会	豊橋市	2017/3/18
9	座長	一般演題 整形領域の特殊撮影について	三浦 俊一	第9回東三河一般撮影研究会	豊橋市	2017/3/25

<中央臨床検査室>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	一般演題 診断に苦慮した急性心筋梗塞の一例～非ST上昇型心筋梗塞～	笹山 里菜	第34回愛臨技東三河地区研究会	豊橋市	2016/7/10
2	座長	一般演題 Integrated PSG Systemの使用経験について	笹山 里菜	第34回愛臨技東三河地区研究会	豊橋市	2016/7/10
3	座長	一般演題 脳梗塞を契機に発見された陳旧性心筋梗塞と心尖部血栓の一例	笹山 里菜	第34回愛臨技東三河地区研究会	豊橋市	2016/7/10
4	座長	一般演題 KL-6測定試薬「ナノピアKL-6エーザイ」の基礎的検討	笹山 里菜	第34回愛臨技東三河地区研究会	豊橋市	2016/7/10
5	座長	公開講演 「肥満等生活習慣病の予防・改善」～大規模介入試験、特定保健指導、そして新たな発展に向けて～	夏目 篤二	第34回愛臨技東三河地区研究会	豊橋市	2016/7/10

<リハビリテーション技術室>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	司会	第7回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会	森嶋 直人	第39回日本顔面神経学会	大阪市	2016/5/26~ 2016/5/27
2	座長	愛知県理学療法士会東三河ブロック症例検討会	内藤 善規	第19回東三河リハビリテーション研究会学術発表会	豊川市	2017/1/29

<臨床工学室>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	セクション 一般演題1	三浦 伸一	第40回日本体外循環技術医学会東海地方会学術大会	岡崎市	2017/1/28

<薬局>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	特別講演 日常遭遇する皮膚疾患とその対応	福井 健仁	愛知県病院薬剤師会東三河支部学術講演会	豊橋市	2016/6/16
2	座長	特別講演 下垂体腫瘍における薬物治療	石川 元章	愛知県病院薬剤師会東三河支部学術講演会	豊橋市	2016/6/30
3	座長	セミナー 医薬品リスク管理計画(RMP)の利活用に向けて	石田 隆浩	第49回日本薬剤師会学術大会	名古屋市	2016/10/9
4	座長	特別講演 癌化学療法におけるG-CSFの予防投与の意義	町支 優和	愛知県病院薬剤師会東三河支部学術講演会	豊橋市	2016/10/20
5	座長	研修会 薬のリスクから患者を守る! 継続した患者観察を通して薬物治療時のリスクを最小化する	石田 隆浩	平成28年度病院診療所薬剤師研修会	名古屋市	2016/10/22
6	座長	研修会 バイタルサインの意義と使用する医療器材	石田 隆浩	第7回豊橋薬業連携研修会	豊橋市	2016/11/10
7	座長	研修会 在宅医療の広がり予見と経腸栄養療法について	石田 隆浩	第8回豊橋薬業連携研修会	豊橋市	2017/3/9

<看護局>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	院内巡回ラウンドの方法について	高橋 一嘉	第13回東三河感染対策管理者座談会	豊橋市	2016/6/11
2	座長	I群 新人育成・ペア受け持ちとチームローテーション II群 目的に添ったカンファレンスの運営	中村由美子	平成28年固定チームナーシング全国研究集会	神戸市	2016/10/17
3	座長	東三河の針刺し事故対応について	高橋 一嘉	第14回東三河感染対策管理者座談会	豊橋市	2016/10/22

4	座長	ペア体制 カンファレンス	村上美由紀	固定チームナーシング研究会第17回中部地方会	刈谷市	2016/11/23
5	座長	スタッフが求める感染対策	高橋 一嘉	第15回東三河感染対策管理者座談会	豊橋市	2017/2/18

<事務局>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	入門講座(医療情報) 「PACSのBCP策定のためのファーストステップガイド」	原瀬 正敏	第72回日本放射線技術学会総会学術大会	横浜市	2016/4/17
2	座長	ランチオンセミナー4 「異なるメーカーでシステムリプレースを乗り越えるには」	原瀬 正敏	第32回日本診療放射線技師学術大会	岐阜市	2016/9/16
3	座長	医療画像情報精度管理士分科会 「医療画像情報精度管理士の役割」	原瀬 正敏	第32回日本診療放射線技師学術大会	岐阜市	2016/9/18
4	司会	誰でもわかる、はじめてのPACS管理 「画像サーバの仕組みと機能と役割」	原瀬 正敏	日本放射線技術学会中部支部医療情報システム研究会平成28年度医療情報システム研究会セミナー	名古屋市	2017/1/15

講 演 (診療技術局・薬局・看護局・事務局)

<放射線技術室>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	放射線治療に携わって思うこと	島田 秀樹	第32回日本診療放射線技師学術大会	岐阜市	2016/9/18
2	骨シンチグラフィの正常像を知ろう!!	加藤 豊大	第96回東三河RI技術検討会	豊橋市	2016/11/25
3	小児検査における知識と技術 -核医学検査-	市川 肇	愛知県放射線技師会第3回研修会	豊橋市	2016/12/3
4	医療安全の取組を研究にできるか	市川 肇	日本放射線技術学会中国四国支部センター	宇部市	2017/1/7
5	初心者向け 頭部MRIの読影法 ~S-ABCD~	三浦 俊一	第75回東三河RF研究会	豊橋市	2017/2/10
6	操作モードと安全管理	畑井 博晶	第75回東三河RF研究会	豊橋市	2017/2/10
7	頭部MRIの読影法と読影補助について	三浦 俊一	安城更正病院放射線技術科勉強会	安城市	2017/3/10
8	核医学実験を始めるための基礎知識	市川 肇	第97回東三河RI技術検討会	豊橋市	2017/3/18
9	骨シンチQ&A 抜き打ちテスト 回答編	加藤 豊大	第97回東三河RI技術検討会	豊橋市	2017/3/18
10	放射線治療装置Vero-4DRTの紹介	島田 秀樹	東三河診療放射線技師会	豊橋市	2017/3/25

<中央臨床検査室>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	迷えるあなたの道標~欠如しがちな「躰」「教育」「評価」を考える~	山口 育男	愛知県臨床検査技師会微生物検査研究班研究会	名古屋市	2016/4/2
2	臨床検査値の見方について	榊原 沙知	第125回NST定期教育講演会	豊橋市	2016/5/18
3	初心者を対象にした形態グループ・ミーティング (症例発表)	近藤 由香	血液検査研究班研究会	豊田市	2016/5/21
4	「スペシャリストと呼ばれる技師は、何をすべきなのか」(総括)	山口 育男	第17回愛知県医学検査学会	稲沢市	2016/6/5
5	微生物検査の基礎	山本 優	平成28年度新人サポート研修会	名古屋市	2016/6/12
6	臨床検査値の見方について	小島 克枝	NST教育カリキュラム	豊橋市	2016/6/14
7	第7回穿刺液(胸水・腹水・髄液等)細胞鏡検技師養成	内田 一豊	臨床一般検査研究会	岐阜市	2016/6/25~ 2016/6/26
8	基礎講座-呼吸器-	榊原 沙知	平成28年度日本臨床細胞学会東海連合会基礎講座	豊明市	2016/7/24
9	リンパ節	内田 一豊	平成28年度日本臨床細胞学会東海連合会基礎講座	豊明市	2016/7/31
10	自動分析装置(XNシリーズ)による穿刺液測定について	内田 一豊	厚生連第6回形態検査部会	安城市	2016/8/20
11	リンパ系腫瘍細胞の見方・考え方	内田 一豊	平成28年度第1回滋臨技臨床血液部門研修会	大津市	2016/9/24

12	当院の関節エコーの現状	皆元 裕子	RAチーム医療懇話会	松山市	2016/11/11
13	肝臓検診における最新の話とPIVKA IIの使い方-NBNC肝臓・NASH肝臓の話題を中心に-	小島 克枝	第56回豊橋がん診断フォーラム	豊橋市	2016/11/17
14	"リンパ球を好きになろう"~リンパ系腫瘍を学ぼう~	内田 一豊	平成28年度日臨技中部圏支部臨床血液部門研修会	四日市市	2017/1/21~ 2017/1/22
15	関節エコーの実際とデモンストレーション	皆元 裕子	美濃加茂関節リウマチ研修会	美濃加茂市	2017/1/26
16	XN BFモード運用検討報告会	内田 一豊	XN BFモード運用研究会	名古屋市	2017/1/28
17	検討症例(急性白血病)	近藤 由香	第15回日本検査血液学会冬季セミナー	名古屋市	2017/2/11~ 2017/2/12
18	体腔液の見方	内田 一豊	第15回日本検査血液学会冬季セミナー	名古屋市	2017/2/11~ 2017/2/12
19	XN BFモードの効果的な運用について	内田 一豊	シスメックスカスタマーカンファレンス	富山市	2017/3/4
20	関節症性乾癬と超音波検査	笹山 里菜	東三河RA関節エコーセミナー	豊橋市	2017/3/18

<リハビリテーション技術室>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	顔面神経麻痺の評価 up-to-date -病的共同運動に対する評価40点法と後遺症評価-	森嶋 直人	第39回日本顔面神経学会シンポジウム	大阪市	2016/5/26
2	病的共同運動と顔面拘縮について	森嶋 直人	第7回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会	大阪市	2016/5/27
3	体の使い方からとらえる 神経疾患に対する理学療法	森嶋 直人	豊橋ミニ連絡会	豊橋市	2016/9/3
4	「小児リハビリ実施施設の役割と協力~それぞれができること、補い合えること~」「病院の立場から」	神谷 猛	第21回小児領域の地域リハビリテーション公開講座	名古屋市	2016/10/23
5	呼吸不全について 急性期リハからのメッセージ-セラピストに知ってほしい知識-	上村 晃寛	第173回豊橋リハビリテーション連絡会	豊橋市	2016/11/2
6	介護予防、各地域のネットワーク構築に取り組む必要性について-豊橋市におけるリハ職ネットワーク-	森嶋 直人	地域リハビリテーション専門職介護予防指導者育成事業豊橋地区研修会	豊橋市	2016/12/4
7	介護予防、各地域のネットワーク構築に取り組む必要性について-豊橋市におけるリハ職ネットワークと介護予防への取り組み-	森嶋 直人	地域リハビリテーション専門職介護予防指導者育成事業全体会	名古屋市	2017/1/8

<臨床工学室>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	ペースメーカーについて	後藤 成利	平成28年度第2回東三河生理検査勉強会	豊橋市	2016/11/24

<薬局>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	当院の輸液製剤について	坂部 米治	NST定期教育講演会	豊橋市	2016/6/15
2	抗がん薬について	佐藤 勝紀	平成28年度リスクマネジメント講習会	豊橋市	2016/7/12
3	注射薬について	石川 雅子	平成28年度リスクマネジメント講習会	豊橋市	2016/7/12
4	処方薬について	安藤 陽一	平成28年度リスクマネジメント講習会	豊橋市	2016/7/14
5	麻薬について	柳沼 妙子	平成28年度リスクマネジメント講習会	豊橋市	2016/7/14
6	がん薬物療法における副作用対策	町支 優和	第54回豊橋がん診療フォーラム	豊橋市	2016/7/21
7	抗菌薬使用ガイドライン活用術 -改定箇所中心に-	佐藤 勝紀	第1回院内感染対策講習会	豊橋市	2016/9/8
8	褥瘡の治療(薬剤)	菰田 容子	第5回褥瘡勉強会	豊橋市	2017/2/15

<看護局>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	豊橋市民病院の感染管理活動～事例と対応～	高橋 一嘉	岡崎市民病院感染対策講演会	岡崎市	2016/7/25
2	熊本地震におけるDMAT活動と看護師に求められること	倉島 正成 井上 真一	豊橋市立看護専門学校講演会	豊橋市	2016/10/17
3	手術室の倫理	鈴木 康代	日本手術看護学会東海地区学会 新人看護師フォローアップセミナー	名古屋市	2016/11/12
4	中材スタッフに必要な微生物の基礎知識	高橋 一嘉	第74回中部地区中材業務研究会	名古屋市	2016/11/19
5	東三河地区における感染対策活動について	高橋 一嘉	第1回西三河南部地区院内感染対策講演会	刈谷市	2016/12/10
6	認定看護管理者としての特定行為研修修了者の活用と支援	菱田由紀子	平成29年認定看護管理者会研修会	大阪市	2017/1/14
7	高齢者の糖尿病について	山口三恵子	第6回糖尿病療養指導と患者のQOLの向上を考える会	名古屋市	2017/3/22

<事務局>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	これならできるJJ1017～解決!コード作成の問題点～	原瀬 正敏	日本放射線技術学会医療情報部会第17回PACS Specialistセミナーin北海道	札幌市	2016/6/18
2	データの利活用について	原瀬 正敏	HAPPY医療情報システム研究会	東京都	2016/7/14
3	基礎から学ぶ「困ったときの知恵袋、知っておきたいガイドラインの紹介」	原瀬 正敏	日本放射線技術学会医療情報部会第6回ベーシックセミナーin鹿児島	鹿児島市	2016/9/3
4	これならできるJJ1017～解決!コード作成の問題点～	原瀬 正敏	日本放射線技術学会医療情報部会第18回PACS Specialistセミナーin金沢	金沢市	2016/9/24

5	当院における遠隔画像診断の現状	原瀬 正敏	遠隔画像診断講演会	名古屋市	2016/10/1
6	学校では教えてくれない実際 「病院が欲しい人材はどんな人？」 ～医療情報技師、診療情報管理士編～	原瀬 正敏	北海道情報大学公開講義	札幌市	2016/11/26
7	学校では教えてくれない実際 「医療記録が電子化できる時代、 今、何が足りない？」	原瀬 正敏	北海道情報大学公開講義	札幌市	2016/11/26
8	これならできるJJ1017～解決!コ ード作成の問題点～	原瀬 正敏	日本放射線技術学会医療情報部 会第19回PACS Specialistセミナ ーin広島	広島市	2016/12/10
9	IHEとJJ1017	原瀬 正敏	日本医用画像管理学会第9回フイ ルムレスセミナー	東京都	2017/1/7
10	他施設の画像が取り込めないの はなぜ?DICOMを知る	原瀬 正敏	日本放射線技術学会中部支部医 療情報システム研究会平成28年 度医療情報システム研究会セミ ナー	名古屋市	2017/1/15
11	診療データを使ってみる～問題 発見と分析～	原瀬 正敏	第23回東海自治体病院コンソー シアム	名古屋市	2017/3/17

論文・著書（診療技術局・薬局・看護局・事務局）

<放射線技術室>

No.	題 名	区分	氏名	著 書 名
1	I-8 腫瘍系	筆頭著者	市川 肇	超実践マニュアル 核医学. 2016, p.231-p.248.
2	第2章 ガンマカメラ実験	筆頭著者	市川 肇	放射線医療技術学叢書(37) 初学者のための核医学実験入門. 2016, p.21-p.30.

<中央臨床検査室>

No.	題 名	区分	氏名	著 書 名
1	臨床現場でのPOCT対応機器の精度管理	筆頭著者	内田 一豊	Diabetes Frontier. 2016; 27: 201-207.
2	当院における妊娠糖尿病 (GDM) の検討	筆頭著者	手嶋 充善	らぼ. 2016; 67: 9-11
3	II 染色 III 臨床材料から分離される微生物と検査法(胆汁・膿/分泌物/穿刺液・嫌気性菌)(その他の検査)	共同著者	山口 育男	微生物検査ナビ第2版. 2016, p.13-p.22, p.105-p.179, p.295-p.319.
4	悪性腫瘍細胞を見逃さないためにー自動血球分析装置での悪性細胞の検出ー	筆頭著者	内田 一豊	日検血会誌. 2017; 18: 147-155.

<リハビリテーション技術室>

No.	題 名	区分	氏名	著 書 名
1	病的共同運動に対する評価	筆頭著者	森嶋 直人	Facial Nerv Res Jpn. 2016; 36: 18-21.
2	反復収縮頻度を変化させた際の病的共同運動の積分筋電図評価	筆頭著者	真田 将太	Facial Nerv Res Jpn. 2016; 36: 78-79.
3	Real time tissue elastography法を用いた表情筋硬度測定を試みー信頼性の検討を中心にー	筆頭著者	森嶋 直人	Facial Nerv Res Jpn. 2016; 36: 82-83.
4	病的共同運動と顔面拘縮について	筆頭著者	森嶋 直人	ENTONL. 2017; 203: 29-34.
5	高体脂肪率を示した17歳脳性麻痺患者に対する食事と運動併用療法の効果	筆頭著者	神谷 猛	愛知県理学療法学会誌. 2016; 28: 22-26.

<看護局>

No.	題 名	区分	氏名	著 書 名
1	食事の注意点カリウム(1)	筆頭著者	青木 真理	透析ケア. 2016; 22: 334-335.
2	ワークシートで身につける穿刺のキホン	筆頭著者	青木 真理	透析ケア. 2016; 22: 645-648.
3	手術看護の流れとマニュアル(一般外科手術) 脊髄くも膜下麻酔での虫垂切除術	筆頭著者	鈴木 康代	手術看エキスパート. 2016; 10: 54-59.

<事務局>

No.	題 名	区分	氏名	著 書 名
1	第2部 システム構築編 (PACS Specialist セミナー編) 2.6. これならできるJJ1017	筆頭著者	原瀬 正敏	放射線医療技術学叢書(36) 図解 知っておきたい放射線情報システ ムの構築. 2017, p.135-p.154.
2	第3部 情報システム構築事例 3.1. 豊橋市民病院	筆頭著者	原瀬 正敏	放射線医療技術学叢書(36) 図解 知っておきたい放射線情報システ ムの構築. 2017, p.179-p.184.

VII 院内委員会の 活動記録

1. 幹部会

日付	内容等
2016年4月4日	2016年度第1回 ① 平成27年2月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ② 院内常設委員会（H28.4.1）について ③ その他 市民病院における病児保育について 発電設備の点検について
2016年4月11日	第2回 ① 平成28年度 医療安全重点目標 ② 診療情報遠隔参照システムの稼働（案）について ③ 放射線治療施設の屋上緑化（案）について ④ その他 東三河ふれあい看護フォーラム2016について
2016年12月18日	第3回 DMAT 後方支援本部設立について ① その他 平成28年度院内常設委員会について 第2期プロジェクト 全体スケジュール
2016年4月25日	第4回 ① その他 紹介・逆紹介の適正実施状況の確認について
2016年5月2日	第5回 ① 平成28年3月分病院事業活動収支（速報版） ② 事務当直の廃止について（案） ③ その他 初診時選定療養費金額改定後の算定状況について（速報値）
2016年5月9日	第6回 ① 平成28年3月分病院事業収支及び活動状況（報告） ② その他 死亡診断書の作成及び運用について
2016年5月16日	第7回 ① その他 入院支援センターに関する報告について 院内情報メディネットシステムの増設について 学生見学の来院時間について 病院慰霊祭の記念品について
2016年5月23日	第8回 ① 地域枠医師の配置に係る基礎調査について ② 事務当直の廃止に向けた検討について ③ 死亡診断書作成方法（電子化）について ④ 初診時選定療養費金額改定後の算定状況について ⑤ その他 逆紹介患者の紹介理由内訳について がんピアサポート事業について DMAT 熊本地震合同報告会について

2016年5月30日	<p>第9回</p> <p>① 放射線治療棟しゅん工式（案）</p> <p>② 中国吉林省研修生（視察・見学）の受入について</p> <p>③ その他 病院慰霊祭について 逆紹介患者の紹介先調査について 各工事の影響について（駐輪場付近・救急車進入路） 院内停電実施のお知らせ</p>
2016年6月6日	<p>第10回</p> <p>① 平成28年4月分 病院事業収支及び活動状況（報告）</p> <p>② 死亡診断書（死体検案書）作成の電子化運用について</p> <p>③ 手術室映像管理システム導入の見直しについて</p> <p>④ 事務当直の廃止に向けた検討について</p> <p>⑤ その他 平成28年度患者満足度調査の実施について 熊本地震に対する義捐金の募集について（日本病院会） エレベーター監視盤の工事について</p>
2016年6月13日	<p>第11回</p> <p>① その他 『がんピアサポート事業』の実施状況について（報告） 自治体立優良病院表彰式のPR及び掲示について 海フェスタについて</p>
2016年6月20日	<p>第12回</p> <p>① 認知症サポートチーム（DST）ラウンドの拡大について</p> <p>② その他 豊橋市民病院ホームページ開発業務及びホームページ保守委託業務について</p>
2016年6月27日	<p>第13回</p> <p>① 平成28年5月分病院事業収支及び活動状況（報告）</p>
2016年7月11日	<p>第14回</p> <p>① ハイブリッド手術室設計にかかる血管撮影装置の選定について</p> <p>② 平成28年度 市民病院地震・災害対策訓練の実施について</p> <p>③ 「訪問理美容」事業の実施について</p> <p>④ ハラスメント対策委員会の設置について</p> <p>⑤ その他 工事現場事務所の新設について 認定看護師の取得状況について</p>
2016年7月25日	<p>第15回</p> <p>① 平成28年6月分病院事業収支及び活動状況（報告）</p> <p>② ハイブリッド手術室設計にかかる血管撮影装置の選定について</p> <p>③ 手術センター棟増設、跡地改修について</p> <p>④ 放射線治療棟の名称について</p> <p>⑤ 第2次豊橋市民病院改革プラン（豊橋市病院事業中期経営計画）改訂版について</p> <p>⑥ 病院ホームページバナー広告枠の取り扱いについて</p> <p>⑦ その他 放射線治療装置 搬入時の交通規制について 放射線治療棟 案内サインについて 豊橋市民病院総合情報システム構築業務について 医療事務等委託業務：業者選定概要及びスケジュールについて</p>

2016年8月1日	<p>第16回</p> <p>① 休日・時間外診療における脳卒中症例のMRI検査について</p> <p>② 平成28年6月分 病院事業収支及び活動状況（報告）</p> <p>③ 経営改善に関する提案について</p> <p>④ 日本小児科学会における新専門医制度に関する対応について</p> <p>⑤ 平成28年度市民病院地震・災害対策訓練の実施について</p> <p>⑥ 救急外来センターの改修について</p> <p>⑦ その他</p> <p>直流電源装置更新工事の影響について</p> <p>緊急地震速報の試験放送実施について</p> <p>「Pokemon GO」に関する注意喚起について</p>
2016年8月8日	<p>第17回</p> <p>① その他</p> <p>経営改善に対する取り組みについて</p> <p>平成26年度 病院の指標の作成と公開</p> <p>緊急地震速報時の対応について</p>
2016年8月15日	<p>第18回</p> <p>① 豊橋市民病医院「高度放射線棟」しゅん工式・内覧会（案）について</p> <p>② 手術センターの現状問題点について</p> <p>③ その他</p> <p>文献複写費の自己負担の廃止について</p> <p>緊急地震速報（予報）が流れた場合の対応について</p> <p>院内保育所前の駐車場の扱いについて</p> <p>患者満足度調査回収状況について</p>
2016年8月22日	<p>第19回</p> <p>① 手術センターに関する医療機器及び診療材料の流れについて</p> <p>② その他</p> <p>ホームページ開発及び保守業務に係るプロポーザルの実施について</p> <p>東海がんプロフェッショナル養成基盤推進プランについて</p> <p>星空観望会の開催について</p> <p>職員等の駐車区分の変更と徹底について</p>
2016年8月29日	<p>第20回</p> <p>① 平成28年7月分 病院事業活動状況（速報版）</p> <p>② その他</p> <p>PET-CTに関するお知らせ</p> <p>院内がん登録2008年5年生存率の公開について</p> <p>平成28年度 情報セキュリティ研修参加状況</p> <p>高度放射線棟 医療機器搬入・移転に伴う駐車エリア規制のお知らせ</p> <p>ふるさと寄付金について</p>
2016年9月5日	<p>第21回</p> <p>① 平成28年7月分 病院事業収支及び活動状況（報告）</p> <p>② 高度放射線棟の開設にかかる既存診療棟のサイン計画について</p> <p>③ その他</p> <p>新設電気室への電源接続替作業について</p> <p>ふるさと寄付金について</p>
2016年9月12日	<p>第22回</p> <p>① 施設予約の運用について・セミナー室・スキルスラボの予約運用について</p>

2016年9月26日	<p>第23回</p> <p>① 平成28年8月分 病院事業活動状況（速報版）</p> <p>② 高度放射線棟における施設検査結果と稼働スケジュールについて</p> <p>③ 病院に対する立入検査への参加について</p> <p>④ 平成28年度インフルエンザワクチン接種について</p> <p>⑤ 院内インフルエンザ予防接種の費用負担について</p> <p>⑥ 臓器提供運営委員会要綱（案）について</p> <p>⑦ その他</p> <p>時間外における紹介用画像CD作成の運用変更について</p> <p>平成27年度 病院指標の作成と公開</p> <p>「高度放射線棟」出入口 電子錠の運用について</p> <p>新設電気室への電源接続替作業について（10月分）</p>
2016年10月3日	<p>第24回</p> <p>① 平成28年8月分 病院事業収支及び活動状況（報告）</p> <p>② 愛知県公立病院会会長会議の資料について</p> <p>③ 持参薬の使用時のオーダーについて</p> <p>④ 院内で発生している一連の置き引き事件への対応について</p> <p>⑤ その他</p> <p>「がんプロ」の参加状況について</p> <p>点滴等への異物混入への対策について</p> <p>事務当直廃止における事務当直職員の配置について</p> <p>院内クリスマス会の開催について</p>
2016年10月17日	<p>第25回</p> <p>① 経費削減に向けての取り組みについて（お願い）</p> <p>② 救急外来センターの拡張について</p> <p>③ 医療安全管理たより</p> <p>④ その他</p> <p>糖尿病週間啓発イベントについて</p> <p>新設電気室への電源接続替作業の影響について</p> <p>いむれ内科クリニックからの電話の件について</p>
2016年10月24日	<p>第26回</p> <p>① 平成27年度9月分 病院事業活動状況（速報版）</p> <p>② 医療事故調査制度について</p> <p>③ その他</p> <p>研修医マッチング結果について</p>
2016年10月31日	<p>第27回</p> <p>① 平成28年9月分 病院事業収支及び活動状況（報告）</p> <p>② 「在宅医療連携研修会」への参加について</p> <p>③ 次期病院総合情報システム優先交渉権者決定について</p> <p>④ 病院機能評価受診スケジュール（イメージ）及び準備委員会名簿（案）について</p> <p>⑤ その他</p> <p>平成28年度 空調（暖房運転について）</p> <p>地震・津波初動訓練（報告）について</p>
2016年11月7日	<p>第28回</p> <p>① 地下ピットの物品撤去について</p>
2016年11月14日	<p>第29回</p> <p>① ホームページのリニューアル案について</p>

2016年11月21日	第30回 ① その他 公立病院会会長会議資料について
2016年11月28日	第31回 ① 平成28年度10月分 病院事業活動状況（速報版）について ② 救急患者のマネジメント ～経過観察入院の意義～ について ③ 当直時の災害対応における役割分担について ④ その他 駐車場ライン引作業に伴う駐車禁止のお知らせ 中消防署におけるエレベーター閉じ込め事故対応訓練について
2016年12月5日	第32回 ① 平成28年度10月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ② 入院紙カルテ（平成19年～20年）の廃棄確認について ③ その他 平成27年度「QI推進事業」結果報告について 当直時の災害対応における役割分担について 院内クリスマスコンサートについて 高度放射線棟南面外部工事のお知らせ
2016年12月12日	第33回 ① 論文掲載料の公費負担について ② その他 平成28年度 医療安全に関する標語2次審査について
2016年12月19日	第34回 ① 院内クリスマスコンサートの開催結果について（報告）
2016年12月26日	第35回 ① 平成28年11月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ② その他 臓器移植に関する職員意識調査の実施について 患者の受入れについて（依頼） MRI更新に伴う計画（スケジュール）について
2017年1月16日	第36回 ① DPC機能評価係数Ⅱから見る当院の課題 ② その他 病棟空床状況について 次期病院総合情報システム構築・導入業者等一覧 開業医からの苦情について
2017年1月30日	第37回 ① 平成28年12月分 病院事業活動状況（速報版） ② その他 午後11時以降における乳児（1歳未満）患者の受け入れについて
2017年2月6日	第38回 ① 平成28年12月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ② その他 豊橋市民病院紹介患者予約受付時間の延長について 第7会議室の使用中断のお知らせ

2017年2月13日	<p>第39回</p> <p>① 高度放射線棟運用スケジュール</p> <p>② その他</p> <p>第2次豊橋市民病院改革プランについて（公表予定）</p> <p>平成29年度機能評価係数Ⅱ及び（データ/病床）比について</p> <p>地域枠医師の配置に係る必要数調査について</p> <p>固定チームナーシング活動報告会のお知らせ</p>
2017年2月20日	<p>第40回</p> <p>① その他</p> <p>東三河南部構想区域地域医療構想推進委員会資料</p> <p>介護関係事業所職員の来院時における退院支援充実のための新たな取り組みについて</p>
2017年2月27日	<p>第41回</p> <p>① 平成29年度1月分 病院事業活動状況（速報版）</p> <p>② 各科外来におけるMCR予約対応状況について</p> <p>③ 病棟及び科別病床数（案）について</p> <p>④ その他</p> <p>施設管理業務について（連絡）</p>
2017年3月6日	<p>第42回</p> <p>① 平成29年1月分 病院事業収支及び活動状況（報告）</p> <p>② 病院内に常設される委員会の新設について</p> <p>③ 手術センター棟の配置について</p> <p>④ その他</p> <p>豊橋市民病院ホームページに掲載の病棟電話番号について</p> <p>外来患者用ファイルの変更について</p>
2017年3月13日	<p>第43回</p> <p>① 豊橋市民病院排尿ケアチームの新設について</p> <p>② 職員必携（H29年4月）の発行について</p>
2017年3月27日	<p>第44回</p> <p>① 平成29年度2月分 病院事業活動状況（速報版）</p> <p>② 年度別収支状況について（運営会議資料）</p> <p>③ 血液浄化センター運営委員会の新設について</p> <p>④ その他</p> <p>病院職員の流行性ウイルス疾患感受性者に対する院内ワクチン接種について</p> <p>生命保険の診断書（入院証明書・通院証明書）の書式変更について（周知）</p> <p>白血病キメラ遺伝子検査17項目の検査中止について</p> <p>職員必携（H29年4月）の発行について</p>

2. 不正防止対策委員会

【未開催】

3. 運営会議

日付	内容等
2016年4月5日	2016年度第1回 ① 平成28年2月分病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（2月24日～3月18日）の集約
2016年5月17日	第2回 ① 平成28年3月分病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（3月19日～4月13日）の集約
2016年6月7日	第3回 ① 平成28年4月分病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（4月14日～5月13日）の集約
2016年7月5日	第4回 ① 平成28年5月分病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（5月14日～6月10日）の集約
2016年8月2日	第5回 ① 平成28年6月分病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（6月11日～7月8日）の集約
2016年9月6日	第6回 ① 平成28年7月分病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（7月9日～8月12日）の集約
2016年10月4日	第7回 ① 平成28年8月分病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（8月13日～9月13日）の集約
2016年11月1日	第8回 ① 平成28年9月分病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（9月14日～10月14日）の集約
2016年12月6日	第9回 ① 平成28年10月分病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（10月15日～11月15日）の集約
2017年1月10日	第10回 ① 平成28年11月分病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（11月16日～12月13日）の集約
2017年2月7日	第11回 ① 平成28年12月分病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（12月14日～1月13日）の集約
2017年3月7日	第12回 ① 平成29年1月分病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（1月14日～2月14日）の集約

4. 倫理委員会

日付	内容等
2016年7月14日	2016年度第1回 ① 先天性甲状腺ホルモン合成障害の疑いに対する遺伝子診断 ＜不承認＞
2016年9月15日	第2回 ① 先天性甲状腺ホルモン合成障害の疑いに対する遺伝子診断 ＜承認＞ ② UDP グルクロン酸転移酵素 (UGT1L1) 遺伝子多型検査 臨床検査連絡委員会へ ③ PET/CT 及び SPECT/CT のノーマルボランティア撮影 ＜承認＞
2016年11月10日	第3回 ① 事前要望書「私のリビングウィル」の院内導入 院長不在のため、委員会決定は行わず主旨説明のみ実施
2017年1月19日	第4回 ① 事前要望書「私のリビングウィル」の院内導入 ＜変更の勧告 修正し再度諮ること＞ ② 副甲状腺癌に関する疾患遺伝子の解析 ＜承認＞
2017年3月9日	第5回 ① 難治性疼痛に対するフェノールグリセリン注射液の使用 ＜承認＞ ② 事前要望書「私のリビングウィル」の院内導入 ＜変更の勧告 修正し再度諮ること＞

5. 臨床研究倫理審査委員会

日付	内容等
2016年5月12日	2016年度第1回 ① 頭頸部腫瘍に対する免疫組織学および遺伝子診断に関する臨床病理学的研究 ＜承認＞ ② 特定検診を苦心した豊橋市民病院の非肥満2型糖尿病患者が、疾患を受容し、治療や生活習慣完全に取り組むまでの認知と葛藤－予防的な保健指導の効果を上げる方策の検討－ ＜承認＞

2016年7月14日	<p>第2回</p> <p>① 骨髄破壊的前処置による移植後シクロフォスファミドを用いた血縁者間 HLA 半合致移植の多施設共同第Ⅱ相試験 -JSCT Haplo16 MAC- <承認></p> <p>② 強度減弱前処置による移植後シクロホスファミドを用いた血縁者間 HLA 半合致移植の多施設共同第Ⅱ相試験 -JSCT Haplo16 RIC- <承認></p> <p>③ IoT (Internet of Things) を活用した糖尿病モデルの生活習慣改善支援プログラム開発 <承認></p> <p>④ 子宮頸癌患者を対象とした da Vinci サージカルシステム (DVSS) によるロボット支援広汎子宮全摘術 <承認></p> <p>⑤ 婦人科悪性腫瘍手術におけるセンチネルリンパ節同定、生検の有用性と安全性を検討する臨床研究 <承認></p> <p>⑥ ダ・ヴィンチ Si 手術システムを用いたロボット支援腹腔鏡下胃手術の有用性と安全性を検討する臨床研究 <承認></p> <p>⑦ 難治性中外耳炎に対するブロー液の有効性について <却下></p> <p>⑧ ロボット支援腹腔鏡下直腸手術の周術期管理における ERAS の適応 <保留></p>
2016年8月16日	<p>書面決裁</p> <p>① ロボット支援腹腔鏡下直腸手術の周術期管理における ERAS の適応 <承認></p>
2016年9月15日	<p>第3回</p> <p>① シベレスタットナトリウム投与前後のカルニチン動態に関する検討 <承認></p> <p>② 極低出生体重児における出生早期のカルニチン動態 <承認></p> <p>③ 小児高リスク成熟 B 細胞性腫瘍に対するリツキシマブ追加 LMB 化学療法の安全性と有効性の評価を目的とした多施設共同臨床試験 <審査延期></p>
2016年11月10日	<p>第4回</p> <p>① 小児高リスク成熟 B 細胞性腫瘍に対するリツキシマブ追加 LMB 化学療法の安全性と有効性の評価を目的とした多施設共同臨床試験 <承認></p> <p>② アダリムマブ (ADA) とメトトレキサート (MTX) 併用時の MTX 減量による臨床的効果の比較 <修正の上承認></p> <p>③ 生物学的製剤治療で効果不十分時のイグラチモド (IGU) 追加併用効果の検討 <修正の上承認></p> <p>④ 関節リウマチに対するトシリズマブ治療におけるメトトレキサート併用中止後の治療効果持続性に関する研究 <修正の上承認></p> <p>⑤ 母体血中 cell-free DNA を用いた無侵襲的出生前遺伝学的検査の臨床研究 <修正の上承認></p>
2017年1月19日	第5回 (報告案件 11 件のみ)
2017年3月9日	<p>第6回</p> <p>① 小児上衣腫に対する術後腫瘍残存程度と組織型によるリスク分類を用いた集学的治療第Ⅱ相試験 <承認></p>

5-1. 臨床研究事前倫理審査会

日付	内容等
2016年4月20日	<p>2016年度第1回</p> <p>① 頭頸部腫瘍に対する免疫組織額適および遺伝子診断に関する臨床病理学的研究 <倫理審査委員会の審査に付す></p> <p>② 前立腺がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究 <承認></p> <p>③ 特定検診を苦心した豊橋市民病院の非肥満2型糖尿病患者が、疾患を受容し、治療や生活習慣完全に取り組むまでの認知と葛藤-予防的な保健指導の効果を上げる方策の検討- <倫理審査委員会の審査に付す></p> <p>④ 名古屋大学腎臓病総合レジストリー (N-KDR: Nagoya-Kidney Disease Registry) <承認></p> <p>⑤ 頭蓋内胚細胞腫における(1)bifocal tumorの意義、(2)髄液細胞診陽性症例の治療についての後方視的研究わが国の腎臓病患者における腎生検データベース構築ならびに腎臓病総合データベース構築に関する研究 (J-RBR・J-KDR)</p> <p>IgA腎症の腎病理所見と予後の関連に関する前向き多施設共同研究 (J-IgACS)</p> <p>日本急速進行性糸球体腎炎前向きコホート研究 (J-RPGNCS)</p> <p>多発性嚢胞腎患者全国登録による多施設共同研究 (J-PKD)</p> <p>糖尿病性腎症例を対象とした予後、合併症、治療に関する観察研究 (J-DNCS) <承認></p> <p>⑥ Stage III結腸癌治療切除例に対する術後補助科学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験 <承認></p> <p>⑦ 保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究-ダルベポエチン アルファ製剤低反応に関する検討- <承認></p> <p>⑧ 心不全 Frailty の予後予測妥当性と心臓リハビリテーション効果に関する研究 <承認></p>
2016年6月1日	<p>第2回</p> <p>① 当院における自己免疫性膵炎 (AIP) の再燃例の検討 <承認></p> <p>② セツキシマブ使用下に生じる重篤な低マグネシウム血症の予防効果の検討 <承認></p> <p>③ 十二指腸狭窄に対する double SEMS stenting の有効性 <承認></p> <p>④ 造血幹細胞移植前処置としての全身照射の対象疾患及び照射方法の全国調査 <承認></p> <p>⑤ 日本における骨髄腫関連疾患の予後に関する大規模他施設前向き観察研究 <承認></p> <p>⑥ 骨髄破壊的前処置による移植後シクロホスファミドを用いた血縁者間 HLA 半合致移植の多施設共同第II相試験 -JSCT Haplo16 MAC- <倫理審査委員会の審査に付す></p> <p>⑦ 強度減弱前処置による移植後シクロホスファミドを用いた血縁者間 HLA 半合致移植の多施設共同第II相試験 -JSCT Haplo16 RIC- <倫理審査委員会の審査に付す></p> <p>⑧ 成人急性前骨髄球性白血病を対象とした第III相臨床試験、APL204、の長期予後調査 (観察研究) JALSG APL204L <承認></p> <p>⑨ 非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞移植における検体保存事業 <承認></p> <p>⑩ IoT (Internet of Things) を活用した糖尿病モデルの生活習慣改善支援プログラム開発 <倫理審査委員会の審査に付す></p>

2016年7月6日	<p>第3回</p> <p>① J-DOPS（第6期調査）日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査 <承認></p> <p>② 子宮頸癌患者を対象とした da Vinci サージカルシステム (DVSS) によるロボット支援 広汎子宮全摘術 <倫理審査委員会の審査に付す></p> <p>③ 婦人科悪性腫瘍手術におけるセンチネルリンパ節同定、生検の有用性と安全性を検討する臨床研究 <倫理審査委員会の審査に付す></p> <p>④ 脳卒中患者のサルコペニアに関する研究 <承認></p> <p>⑤ 劇症心筋炎の急性期心機能指標と院内予後に関する後向き調査 <承認></p> <p>⑥ ダ・ヴィンチ Si 手術システムを用いたロボット支援腹腔鏡下胃手術の有用性と安全性を検討する臨床研究 <倫理審査委員会の審査に付す></p> <p>⑦ 難治性中外耳炎に対するブロー液の有効性について <倫理審査委員会の審査に付す></p> <p>⑧ ロボット支援腹腔鏡下直腸手術の周術期管理における ERAS の適応 <倫理審査委員会の審査に付す></p> <p>⑨ 日本人関節リウマチ患者の実臨床における MTX 週 16mg 投与の有効性と安全性の解析 <承認></p>
2016年7月27日	<p>第4回</p> <p>① 保存期慢性腎臓病の erythropoiesis stimulating agent 低反応性貧血患者に対するエポエチン ベータ ペゴル製剤投与時の維持ヘモグロビン値による腎予後の評価多施設共同、オープンラベル、ランダム化並行群間比較試験 (RADIANCE-CKD study) <承認></p> <p>② RAS 遺伝子 (KRAS/NRAS 遺伝子) 野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対する mFOLFOX6+ ベバシズマブ併用療法と mFOLFOX6+ パニツプマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験 <承認></p> <p>③ RAS 遺伝子 (KRAS/NRAS 遺伝子) 野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対する mFOLFOX6+ ベバシズマブ併用療法と mFOLFOX6+ パニツプマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験における治療感受性、予後予測因子の探索的研究 <承認></p> <p>④ 出産体重 500g 以下の児の生存限界と、生存児の長期予後 <承認></p> <p>⑤ 認知症サポートチームの実績と検討 <承認></p>
2016年8月24日	<p>第5回</p> <p>① 本邦における悪性腫瘍合併妊娠の調査 <承認></p> <p>② シベレスタットナトリウム投与前後のカルニチン動態に関する検討 <倫理審査委員会の審査に付す></p> <p>③ 極低出生体重児における出生早期のカルニチン動態 <倫理審査委員会の審査に付す></p> <p>④ 術中に新鮮凍結血漿を必要とする産科手術を対象としたクリオプレシピテート導入の臨床的効果に関する後ろ向き調査 <承認></p> <p>⑤ 頭蓋内胚細胞腫における (1)bifocal tumor の意義、(2) 髄液細胞診陽性症例の治療についての後方視的研究 <承認></p> <p>⑥ 小児高リスク成熟 B 細胞性腫瘍に対するリツキシマブ追加 LMB 化学療法の安全性と有効性の評価を目的とした多施設共同臨床試験 <倫理審査委員会の審査に付す></p>

2016年9月28日	<p>第6回</p> <p>① アダリムマブ（ADA）とメトトレキサート（MTX）併用時のMTX減量による臨床的効果の比較 <倫理審査委員会の審査に付す></p> <p>② 生物学的製剤治療で効果不十分時のイグラチモド（IGU）追加併用効果の検討 <倫理審査委員会の審査に付す></p> <p>③ 母体血中 cell-free DNA を用いた無侵襲的出生前遺伝学的検査の臨床研究 <承認></p> <p>④ 急性脳症・痙攣重積症例の後方視的解析 <承認></p> <p>⑤ 愛知県における小児死因究明制度の導入に関する後方視的調査 <承認></p>
2016年10月26日	<p>第7回</p> <p>① 関節リウマチ患者の治療継続性からみた至適医療に関する臨床研究 <承認></p> <p>② 関節リウマチに対するトシリズマブ治療におけるメトトレキサート併用中止後の治療効果持続性に関する研究 <倫理審査委員会の審査に付す></p> <p>③ 腹部手術におけるポビドンヨードアプリケーション1回消毒の安全性と有効性についての評価 <承認></p> <p>④ 口唇裂・口蓋裂児出生に関する実態調査 <承認></p>
2016年11月30日	<p>第8回</p> <p>① 術中に新鮮凍結血漿を必要とする手術を対象としたクリオプレシピテート導入の臨床的効果に関する後ろ向き調査 <修正の上承認></p> <p>② 開胸術後疼痛におけるアセトアミノフェン定時点滴併用フェンタニル持続点滴と硬膜外麻酔の鎮痛効果の比較：後方視的観察研究 <承認></p> <p>③ お薬手帳の持参率、かかりつけ薬剤師の普及率に関する共同調査 <修正の上承認></p> <p>④ 2型糖尿病の診断告知に対する、非肥満の患者の認知と葛藤に関する検討－疾病受容プロセスから保健指導介入方策の検討－ <修正の上承認></p>
2017年1月4日	<p>第9回</p> <p>① 名古屋腎臓病研究コンソーシアム（NNRC） <却下></p> <p>② 乳児（口唇口蓋裂児）に対する超音波装置を用いた末梢静脈ライン確保の有効性の検討 <修正の上承認></p> <p>③ 切除不能進行・再発大腸癌における BRAF 遺伝子変異に関する多施設共同観察研究 <承認></p> <p>④ 急性虫垂炎における、術前 CT 画像と手術所見の比較検討 <承認></p> <p>⑤ 染色体・遺伝子変異が成人急性骨髄性白血病の予後に及ぼす影響に関する観察研究 -JALSG AML209 Genetic Study (AML209-GS)- ver 2.0 <承認></p> <p>⑥ JALSG AML209GS 試験付随研究 成人急性骨髄性白血病の発症・進展および治療反応性、副作用に関係する遺伝子異常の網羅的解析 (JALSG AML209 genome-wide study: AML209GWS) ver4.0 <承認></p> <p>⑦ ERCP 後膵炎の重症化因子に関する検討 <承認></p>
2017年2月1日	<p>第10回</p> <p>① 初発フィラデルフィア染色体陽性成人急性リンパ性白血病を対象としたダサチニブ併用化学療法および同種造血幹細胞移植の臨床第Ⅱ相試験（JALSG Ph+ALL213） v2.5 <承認></p> <p>② 放射線治療を施行した骨転移患者の予後 <承認></p> <p>③ 豊橋市民病院における過去10年間の18歳未満の死亡例の検討 <承認></p> <p>④ 小児救急重篤疾患登録調査 <承認></p> <p>⑤ 第24回川崎病全国調査 <承認></p>

2017年2月22日	<p>第11回</p> <p>① 小児固形腫瘍観察研究 <承認></p> <p>② 小児上衣腫に対する術後腫瘍残存程度と組織型によるリスク分類を用いた集学的治療第Ⅱ相試験 <倫理審査委員会の審査に付す></p> <p>③ 臨床経験による乳房穿刺吸引細胞診の検体不適正率を検討する臨床研究 <承認></p> <p>④ 切除不能・再発大腸癌に対する抗EGFR抗体投与下に生じる低マグネシウム血症への予防効果を検討する臨床研究 <承認></p> <p>⑤ 慢性腎臓病の透析導入期における管理状況と透析導入後の予後との関連に関する多施設共同観察研究 <承認></p> <p>⑥ 免疫性神経疾患における自己抗体の系統的測定と機能解析 <承認></p>
------------	--

6-1. 接遇委員会

日付	内容等
2016年11月1日	<p>2016年度第1回</p> <p>① 平成28年度接遇研修の講師選定について</p>
2017年3月7日	<p>第2回</p> <p>① 平成29年度接遇目標について</p>

6-2. 患者満足度調査検討会

日付	内容等
2015年5月31日	<p>2016年度第1回</p> <p>① 平成28年度の患者満足度調査結果を踏まえた今後の改善案について</p> <p>② 平成29年度患者満足度調査の基本的な考え方について</p> <p>③ 調査スケジュールについて</p> <p>④ 新規調査項目等について</p>

7. 災害対策検討委員会

日付	内容等
2016年12月5日	<p>2016年度第1回災害対策検討委員会</p> <p>① 南海トラフ地震における津波災害への対応について</p> <p>② 今後の災害対策検討委員会のメンバーのあり方について</p>

7-1. DMAT運営部会

日付	内容等
2016年5月24日	<p>第13回DMAT運営部会</p> <p>① 伊勢志摩サミット開催中の災害医療体制について</p> <p>② 地方ブロックにおける研修・訓練の実施予定について</p> <p>③ EMISの入力訓練について</p> <p>④ 平成28年度総合防災訓練における大規模地震時医療活動訓練について</p> <p>⑤ DMAT出動に関する確認事項</p>

2016年7月12日	第14回DMAT運営部会 ① 平成28年度総合防災訓練における大規模地震時医療活動訓練について ② 平成28年度豊橋市総合防災訓練への参加について ③ メディカルラリーの開催について ④ 日本集団災害医学会総会・学術集会について
2016年9月13日	第15回DMAT運営部会 ① 86訓練・豊橋市総合防災訓練について ② 日本集団災害医学会総会・学術集会について ③ 記録用紙の統一について ④ ユニフォームなどの購入について
2016年11月8日	第16回DMAT運営部会 ① 災害対策本部の設置（準備）について ② 起震車訓練について ③ 日本集団災害医学会総会・学術集会について ④ 技能維持研修について ⑤ 86訓練のアンケートについて ⑥ その他
2017年1月17日	第17回DMAT運営部会 ① 会議・研修等状況、今後の予定 ② DMAT資格有効期限の確認について
2017年3月14日	第18回DMAT運営部会 ① 平成29年度豊橋市総合防災訓練 ② その他

8. 年報編集委員会

日付	内容等
2016年5月13日	2016年度第1回 ① 病院年報第25巻（2015年版）の編集方針について（案） ② 2015年版作成スケジュール（案） ③ 病院年報第25巻（2015年版）の原稿依頼（案）について ④ 編集後記執筆者について ⑤ その他
2017年3月1日	第2回 ① 病院年報第26巻（2016年版）の編集方針について（案） ② 2016年版作成スケジュール（案） ③ 病院年報第26巻（2016年版）の原稿依頼（案）について ④ 編集後記執筆者について ⑤ その他

9. 広報紙編集委員会

日付	内容等
2016年4月27日	第9回 青竹第69号の編集について
2016年8月22日	第10回 青竹第70号の編集について

2016年11月28日	第11回 青竹第71号の編集について
2017年2月27日	第12回 青竹第72号の編集について

10. 院内感染対策委員会

[定期報告事項]

MRSA検出状況

MRSA病棟別・材料別一覧 感染症情報 監視 耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)(月・基幹定点)

病原体サーベイランス報告 [メチシリン耐性黄色ブドウ球菌：MRSA]

耐性菌 一覧表 (ESBL等)

感染症情報 インフルエンザウイルス抗原検査 ※シーズン中のみ報告

日付	内容等
2016年4月5日	第247回 ① 多剤耐性アシネトバクター (MDRA) の検出報告 ② 職員健康外来 平成27年度実績 ③ EPI-Net 報告書 (2015年4月1日～2016年3月31日) ④ 豊橋市民病院機構図・感染症管理センターの位置付けについて
2016年5月17日	第248回 ① 速乾性手指消毒薬使用量調査報告 ② 院内感染対策マニュアル, 抗菌薬使用ガイドラインの改訂について ③ 職員のインフルエンザワクチン/プレフィルドシリンジ化について
2016年6月7日	第249回 ① 未滅菌の消毒スワブについて ② 中東呼吸器症候群 (MERS) 疑い患者の診察について ③ 院内感染対策マニュアル, 抗菌薬使用ガイドラインの改訂について ④ N95 マスク定量フィット試験について
2016年7月5日	第250回 ① 院外医療従事者の針刺し対応について
2016年8月2日	第251回 ① 電子カルテ感染プロファイル改訂について ② 平成28年度第1回院内感染対策講習会 ③ ICT 巡回ラウンド開始について ④ 輸液ルート内の汚染事例報告 ⑤ 身体者障害者施設の腸管出血性大腸菌感染症報告 ⑥ 感染防止対策地域連携加算 相互訪問評価受審結果報告
2016年9月6日	第252回 ① 特定抗菌薬使用届集計 (2015年7月1日～2016年6月30日) ② 院内感染対策講習会について ③ 感染症対策のコンサルテーション態勢について ④ 院内感染対策委員会会議の開催について
2016年10月4日	第253回 ① 平成28年度第1回院内感染対策講習会 参加状況 ② 2016年度第1回血液浄化業務に対する感染対策講習について ③ 感染症対策のコンサルテーション態勢/院内感染対策マニュアル改訂について

2016年11月1日	第254回 ① 平成28年度第1回院内感染対策講習会 集計報告 ② 院内感染対策マニュアル第7版 更新について ③ 院内感染対策委員会開催方法について
2016年12月6日	第255回 ① 院内インフルエンザワクチン接種状況(2016-17シーズン) ② 平成28年度愛知県新型インフルエンザ等対策総合訓練(机上・伝達)12月13日(火)終日 ③ 平成28年度豊橋市新型インフルエンザ等対策訓練(PPE着脱・搬送・他)1月27日(金)午後 ④ 高病原性鳥インフルエンザの発生について ⑤ 入院時発熱様スクリーニングについて ⑥ 性感染症予防啓発リーフレットについて(サンプル参照)
2017年1月10日	第256回 ① 医療監視(保健所の立入検査)の指示事項について ② 2016年度第1回血液浄化業務に対する感染対策講習 勉強会開催報告
2017年2月7日	第257回 ① 平成28年度第2回院内感染対策講習会(開催案内)
2017年3月7日	第258回 ① NMC/GCUにおけるRSウイルス感染症発生報告 ② 次年度スケジュール ③ ICT会議等の変更について

11. 脳死判定委員会

【未開催】

12. 救命救急委員会

日付	内容等
2016年5月24日	第124回 ① 平成27年度救命救急センター患者取扱状況 ② ヘリポート使用記録 ③ 内科輪番当番表 ④ コードブルー連絡票
2016年7月12日	第125回 ① 平成28年度救命救急センター患者取扱状況 ② ヘリポート使用記録 ③ コードブルー連絡票
2016年9月13日	第126回 ① 平成28年度救命救急センター患者取扱状況 ② ヘリポート使用記録 ③ コードブルー連絡票
2016年11月8日	第127回 ① 平成28年度救命救急センター患者取扱状況 ② ヘリポート使用記録 ③ コードブルー連絡票

2017年1月17日	第128回 ① 平成28年度救命救急センター患者取扱状況 ② ヘリポート使用記録 ③ コードブルー連絡票 ④ 不応需報告票 ⑤ 12誘導伝送実績
2017年3月14日	第129回 ① 平成28年度救命救急センター患者取扱状況 ② ヘリポート使用記録 ③ コードブルー連絡票 ④ 12誘導伝送実績

13. 集中治療室運営委員会

日付	内容等
2016年5月24日	第27回 ① 2016年西病棟3階患者統計 ② その他
2016年7月12日	第28回 ① 2016年西病棟3階患者統計 ② その他
2016年9月13日	第29回 ① 2016年西病棟3階患者統計 ② その他
2016年11月8日	第30回 ① 2016年西病棟3階患者統計 ② その他
2017年1月17日	第31回 ① 2016年西病棟3階患者統計 ② その他
2017年3月14日	第32回 ① 2016年西病棟3階患者統計 ② その他

14. 診療材料選定委員会

日付	内容等
2016年6月13日	2016年度第1回 ① マルチチャンネルドレナージカテーテル（日本コヴィディエン）
2017年3月13日	第2回 ② ヘモダイアフィルター（ニプロ）

15. 手術センター運営委員会

日付	内容等
2016年4月25日	2016年度第1回 ① 平成27年度第12回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（平成27年度手術件数、3月手術件数等） ③ 平成28年度手術センター運営委員会委員について ④ 手術センター内更衣室の噴霧処理について ⑤ 小荷物エレベータの使用制限について ⑥ ドレーンサンプル使用後の結果報告について ⑦ 緊急部屋の設置について ⑧ その他
2016年5月23日	第2回 ① 平成28年度第1回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（4月手術件数等） ③ 平成28年度下半期手術室予定表について ④ 臨床工学室への業務依頼方法について ⑤ 緊急手術の優先順位決定について ⑥ その他
2016年6月27日	第3回 ① 平成28年度第2回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（5月手術件数等） ③ 手術室用外科イメージ（Cアーム）の購入について ④ 手術センターで使用するエネルギー-デバイスの運用等について ⑤ その他
2016年7月25日	第4回 ① 平成28年度第3回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（6月手術件数等） ③ 手術室優先権と臨時手術の取り扱いについて ④ タイムアウトについて ⑤ その他
2016年8月22日	第5回 ① 平成28年度第4回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（7月手術件数等） ③ 超緊急帝王切開の対応について ④ 災害時の取り決めについて ⑤ 平成29年度予算要求書の提出について ⑥ その他
2016年9月26日	第6回 ① 平成28年度第5回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（8月手術件数等） ③ 手術室 不要枠の提出について（平成29年4月～9月分） ④ 手術センター男女更衣室の噴霧処理について ⑤ 手術室で使用する物品請求について ⑥ 災害時の取り決めについて ⑦ その他

2016年10月24日	<p>第7回</p> <p>① 平成28年度第6回手術センター運営委員会議事録について</p> <p>② 定例報告について（9月手術件数等）</p> <p>③ 手術センター内で使用する医療器械備品の予算要求状況について</p> <p>③ 手術センター効率化支援業務（オペラマスター導入）について</p> <p>④ 年末年始における手術制限と申し込みについて</p> <p>⑤ その他</p>
2016年11月28日	<p>第8回</p> <p>① 平成27年度第7回手術センター運営委員会議事録について</p> <p>② 定例報告について（10月手術件数等）</p> <p>③ その他手術室内生体情報モニタの設置スケジュールについて</p> <p>④ 手術用手袋について</p> <p>⑤ 年末年始の手術制限と申込みについて</p> <p>⑥ その他</p>
2016年12月26日	<p>第9回</p> <p>① 平成28年度第8回手術センター運営委員会議事録について</p> <p>② 定例報告について（11月手術件数等）</p> <p>③ 手術室予定表（部屋割り）について</p> <p>④ 手術センターの災害対策（案）について</p> <p>⑤ 予防的抗菌薬の投与について</p> <p>⑥ インフューザーポンプの使用について</p> <p>⑦ 予定手術遅延時の連絡について（特に午前午後の診療科が異なる場合）</p> <p>⑧ その他</p>
2016年1月23日	<p>第10回</p> <p>平成29年度第9回手術センター運営委員会議事録について</p> <p>① 定例報告について（12月手術件数等）</p> <p>② アクシデントの情報提供（医療安全管理室より）－術後右前腕の運動麻痺の事例－（術中体位が頭低位、右低位であるため右前腕の神経圧迫が起こったと考えられる）</p> <p>③ 訪問規定について</p> <p>④ 手術センター内の落とし物について</p> <p>⑤ 午後5時以降の予定手術申し込みについて</p> <p>⑥ その他</p>
2016年2月27日	<p>第11回</p> <p>平成29年度第10回手術センター運営委員会議事録について</p> <p>① 定例報告について（1月手術件数等）</p> <p>② 次期手術映像システムについて（業者説明）</p> <p>③ 年末における手術制限について（検証）</p> <p>④ 患者家族用PHSについて</p> <p>⑥ その他</p>
2016年3月27日	<p>第12回</p> <p>① 平成29年度第11回手術センター運営委員会議事録について</p> <p>② 定例報告について（2月手術件数等）</p> <p>③ 手術映像管理システムについて</p> <p>④ 手術センター増設部分（2F・3F）図面について</p> <p>⑤ 手術室優先枠の喪失について</p> <p>⑥ 手術センター入口（外来手術入口含む）セキュリティーについて</p> <p>⑦ 病理標本の取扱いについて</p> <p>⑧ その他</p>

16. 医療器械・備品機種選定委員会

日付	内容等
2016年6月6日	2016年度第1回 超音波診断装置（消化器内科）
2016年6月20日	第2回 超音波診断装置（中央臨床検査室）
2016年9月12日	第3回 人工呼吸器（新生児用）（小児科（新生児））
2016年11月14日	第4回 ナビゲーションシステム（脳神経外科・耳鼻科） 磁気共鳴断層撮影装置（MRI）（放射線技術室）
2016年12月12日	第5回 人工呼吸器（集中治療センター）
2017年1月16日	第6回 乳房用X線診断装置（放射線技術室）

17. 図書委員会

日付	内容等
2016年8月10日	2016年度第1回 ① 平成29年度予算について ② 文献複写費の自己負担について ③ その他

18. 研修委員会

日付	内容等
2016年5月18日	2016年度第1回 ① 平成28年度 研修委員会名簿について ② 平成28年卒 オリエンテーション評価について ③ 東海北陸地区臨床研修病院合同説明会について（報告） ④ 研修医の評価について ⑤ 平成26年卒 研修医（修了者）の評価集計について ⑥ 平成28年度 病院説明会について ⑦ 平成28年度 研修委員会開催日程について ⑧ その他
2016年10月5日	第2回 ① 研修医の評価について ② 初期臨床研修 修了判定について ③ 研修医アンケートについて ④ 医学部学生見学におけるアンケート集計について ⑤ 専任指導医制度について ⑥ 外来研修について ⑦ レポート様式の変更について ⑧ 基本的臨床能力評価試験について

2017年2月15日	第3回 ① 研修医の評価について ② 今年度の新たな取り組みについて ③ ローテート作成について ④ オリエンテーションについて ⑤ その他
------------	---

19. 研修管理委員会

日付	内容等
2016年7月6日	2016年度第1回 ① 委員長あいさつ ② 研修医リーダーによる研修状況説明 ③ 平成27年卒 研修医（2年次研修医）について ④ 平成28年卒 研修医（1年次研修医）について ⑤ 今年度より開始した制度について ⑥ 外来研修について ⑦ 平成28年度 東海北陸地区臨床研修病院合同説明会について ⑧ 院内病院説明会について
2016年11月30日	第2回 ① 委員長あいさつ ② 研修医リーダーによる研修状況説明 ③ 平成27年卒 研修医（2年次研修医）について ④ 平成28年卒 研修医（1年次研修医）について ⑤ 医学部学生の大学別、診療科別の見学者数について ⑥ 初期臨床研修医 平成29年度採用について ⑦ 今年度の新たな取り組みについて
2017年3月8日	第3回 ① 委員長あいさつ ② 研修医リーダーによる研修状況説明 ③ 研修医の評価について ④ 今年度の新たな取り組みについて ⑤ 平成29年卒 採用予定研修医について ⑥ 平成29年度 研修管理委員会開催日程について ⑦ 平成29年度 研修プログラムについて

20. 安全衛生委員会（労働安全）

日付	内容等
2016年4月28日	2016年度第1回 ① 平成28年度市民病院安全衛生管理体制について ② 4月の実施状況について ③ 5月の実施目標について ④ 平成27年度事業及び活動報告 ⑤ 平成28年度交通事故削減目標について ⑥ 交通事故撲滅キャンペーンについて ⑦ 安全衛生委員会日程変更について ⑧ 平成28年度職場巡視内容について ⑨ その他（災害発生状況等）
2016年5月26日	第2回 ① 5月の実施状況について ② 6月の実施目標について ③ 平成27年度事業及び活動報告について（未報告分） ④ 全国安全週間に伴う交通安全標語募集について ⑤ ガラス製額縁の交換について ⑥ 交通安全啓発について ⑦ その他（災害発生状況等）
2016年6月23日	第3回 ① 6月の実施状況について ② 7月の実施目標について ③ 労働基準監督署への報告書について ④ 交通安全標語優秀作品の選考について ⑤ 携帯型針捨て容器の使用状況について ⑥ その他（災害発生状況等）
2016年7月28日	第4回 ① 7月の実施状況について ② 8月の実施目標について ③ 中央安全衛生委員会主催無事故無違反推進キャンペーン参加者募集について ④ 院内インフルエンザワクチン接種対象者について ⑤ ストレスチェック実施について ⑥ 衛生管理者による週1回の職場巡視（案）について ⑦ 「針刺し予防の日」に伴う啓発活動について ⑧ その他（災害発生状況等）
2016年8月25日	第5回 ① 8月の実施状況について ② 9月の実施目標について ③ ストレスチェック実施について ④ 額縁落下防止措置について ⑤ 無事故無違反推進キャンペーン参加者について ⑥ 交通事故・違反削減に向けて ⑦ 針刺し事故等削減のための対策について ⑧ その他（災害発生状況等）

2016年9月29日	<p>第6回</p> <ul style="list-style-type: none"> ② 平成28年度市民病院 安全衛生管理体制変更について ② 9月の実施状況について ③ 10月の実施目標について ④ 院内インフルエンザワクチン接種について ⑤ ストレスチェック個人結果票（案）について ⑥ 針刺し事例検討について ⑦ その他（災害発生状況等）
2016年10月27日	<p>第7回</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 10月の実施状況について ② 11月の実施目標について ③ 院内健康診断における受診体制の変更について ④ 作業環境測定結果報告について ⑤ ストレスチェック関係について ⑥ 患者持参による自己注射針の廃棄方法について ⑦ その他（災害発生状況等）
2016年11月17日	<p>第8回</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 11月の実施状況について ② 12月の実施目標について ③ 結核菌感染検査におけるハイリスク部署対象者について ④ ストレスチェック関係について ⑤ 院内交通安全講座について ⑥ ホルマリン入り容器変更検討について ⑦ 夜勤回数等の実績報告について ⑧ その他（災害発生状況等）
2016年12月22日	<p>第9回</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 12月の実施状況について ② 1月の実施目標について ③ 針刺し事例検討について ④ 院内インフルエンザワクチン接種状況報告について ⑤ ストレスチェック関係について ⑥ 流行性ウイルス疾患ワクチン接種について ⑦ その他（災害発生状況・年度状況等）
2017年1月26日	<p>第10回</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 1月の実施状況について ② 2月の実施目標について ③ 労働基準監督署への健康診断結果報告について ④ ストレスチェック関係について ⑥ 職員のインフルエンザに対する状況について ⑦ 交通事故・違反削減について ⑦ その他（災害発生状況・年度状況等）
2017年2月23日	<p>第11回</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 2月の実施状況について ② 3月の実施目標について ③ ストレスチェック関係について ④ ホルマリン保管容器（スクリーバイアル）の変更について ⑤ その他（災害発生状況・年度状況等）

2017年3月23日	第12回 ① 3月の実施状況について ② 平成29年度委員会年間計画について ③ 4月の実施目標について ④ 「豊橋市職員交通事故防止マニュアル」の改訂について ⑤ ホルマリン保管容器スクリュウ型への変更について ⑥ 流行性ウイルス疾患ワクチン接種について ⑦ その他（災害発生状況・年度状況等）
------------	---

21. 教育・研究委員会

【未開催】

22. 省エネルギー推進委員会

日付	内容等
2016年7月11日	2016年度第1回 ① 前年度エネルギー使用量および取組実績の報告 ② 院内照明LED化の実績と今後の計画 ③ 運用改善型省エネルギーサービス活用の説明
2017年3月13日	第2回 ① 平成28年度エネルギー使用量の見込および分析結果報告 ② 運用改善による省エネ対策案について ③ 院内照明LED化の実績報告

23. 情報セキュリティ委員会

日付	内容等
2016年8月1日	2016年度第1回 ① 情報セキュリティポリシー実施手順書の改定（案）について ② 情報セキュリティ研修について ③ その他
2016年12月19日	第2回 ① 管理者向け情報セキュリティ研修 ② 平成28年度情報セキュリティ監査について ③ 個人情報保護法の改正について
2016年3月14日	第3回 ① 手術映像管理システムのデータ取扱いについて ② 平成28年度情報セキュリティ内部監査報告 ③ 平成28年度情報セキュリティアクシデント・インシデント報告

24. 医療情報委員会

【未開催】

25. 診療記録管理委員会

日付	内容等
2016年7月4日	2016年度第1回 ① 平成28年度第1回診療記録監査 結果報告について ② 診療記録監査実施要領の改正について ③ 平成28年度カルテ廃棄について
2016年11月15日	第2回 ① 平成28年度第2回診療記録監査 結果報告について ② 診療記録に関する記載規約について ③ 診療記録管理室運営要綱について
2017年2月17日	第3回 ① 平成28年度第3回診療記録監査 結果報告について ② 平成29年度の紙カルテの移動・廃棄について ③ 次期総合病院情報システムの文書スキャンについて ④ その他

26. 医師事務作業補助業務検討委員会

日付	内容等
2016年6月30日	2016年度第1回 ① 医師事務作業補助者の現状報告 ② 要綱及び内規の見直しについて ③ その他

27. 第2期次期システム構築委員会

日付	内容等
2016年4月13日	2016年度第1回 ① 基本計画書について ② 次期病院総合情報システム構築第2期プロジェクトのスケジュールの説明 ③ 新業務運用マニュアル（案）作成および要求定義書作成の作業体制について ④ 今後の議事予定について ⑤ その他
2016年7月22日	第2回 ① 要求定義書作成作業進捗確認について ② 新業務運用マニュアル（案）作成作業進捗確認について ③ 次期システム選定について ④ 今後のスケジュールについて ⑤ その他

28. がん診療委員会

日付	内容等
2017年3月24日	第9回 ① 各部会からの報告事項 がん登録部会、がん教育部会、化学療法部会、緩和ケア部会 ② ピアサポート事業の実績報告 ③ 当院におけるPDCAサイクルの取り組み

28-1. がん登録部会

【未開催】

28-2. がん教育部会

日付	内容等
2016年12月9日	2016年度第1回 ① 教育セミナーの実施状況 ② 平成29年度の教育セミナーについて ③ がん診療フォーラム参加の評価について ④ 学校におけるがん教育について がん診療委員会教育部会において、院内・院外の医療関係者等を対象に、「豊橋がん診療フォーラム」を開催。

平成28年度豊橋がん診療フォーラム

日付	内容等
2016年5月19日	第53回 参加人数 90人 ① 当院における臨床研究支援体制 ② 診断時からの緩和ケアと痛み
2016年7月21日	第54回 参加人数 60人 ① 当院におけるペグフィルグラスチムの使用状況 ② がん薬物療法における副作用対策
2016年9月15日	第55回 参加人数 88人 ① 当院における胃癌検診の現状と推移 ② 進行胃癌 ～化学療法を中心に～
2016年11月17日	第56回 参加人数 81人 ① 肝癌診療における最新の話題とPIVKA-IIの使い方 —NBNC肝癌・NASH肝癌の話題を中心に— ② これからの肝臓内視鏡外科手術
2017年1月19日	第57回 参加人数 100人 ① STAS-Jを活用した1事例の学び ② あなたの施設はどうしますか？ —リンパ浮腫治療の知識と環境づくり—
2017年3月16日	第58回 参加人数 73人 ① 当院の嚥下機能評価とがん患者に対する嚥下訓練の意義 ② 膀胱癌診療の現状
	参加人数計 492人

28-3. 化学療法部会

日付	内容等
2016年5月11日	2016年度第1回 ① 前回議事録の確認 ② がん診療委員会化学療法部会設置要綱の改正について ③ 外来治療センター 月別データ ④ 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 ⑤ 外来治療センター 化学療法患者数 ⑥ 抗がん剤調製本数推移
2016年7月13日	第2回 ① 前回議事録の確認 ② がん診療委員会化学療法部会設置要綱について ③ 外来治療センター 月別データ ④ 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 ⑤ 外来治療センター 化学療法患者数 ⑥ 抗がん剤調製本数推移 ⑦ その他 外来治療センター当番医の変更について PDCA サイクルについて
2016年9月14日	第3回 ① 前回議事録の確認 ② 外来治療センター 月別データ ③ 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 ④ 外来治療センター 化学療法患者数 ⑤ 抗がん剤調製本数推移 ⑥ その他 外来治療センター当番医について 入院時間切れオーダー医師ごと集計 抗がん薬廃棄処方の詳細 PDCA サイクルについて
2016年11月9日	第4回 ① 前回議事録の確認 ② 外来治療センター 月別データ ③ 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 ④ 外来治療センター 化学療法患者数 ⑤ 抗がん剤調製本数推移 ⑥ その他 PDCA サイクルについて 入院時間切れオーダー医師ごと集計：配付文書（案）
2017年1月11日	第5回 ① 前回議事録の確認 ② 外来治療センター 月別データ ③ 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 ④ 外来治療センター 化学療法患者数 ⑤ 抗がん剤調製本数推移 ⑥ その他 PDCA サイクルについて

2017年3月8日	第6回 ① 前回議事録の確認 ② 外来治療センター 月別データ ③ 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 ④ 外来治療センター 化学療法患者数 ⑤ 抗がん剤調製本数推移 ⑥ その他 PDCA サイクルについて
-----------	--

28-4. 緩和ケア部会

日付	内容等
2016年5月18日	2016年度第1回 ① 緩和ケア部会組織構成 ② 「緩和ケア研修会」について ③ 緩和ケアチームの活動 ④ 平成27年度の緩和ケア関係実施状況
2016年10月19日	第2回 ① 「緩和ケア研修会」について ② 緩和ケアチームについて ③ 平成28年度上半期の緩和ケア関係実施状況 ④ がん疼痛緩和マニュアルの改訂について ⑤ がんの痛みからの解放に向けて（講演）

29. 保険診療委員会・DPC コーディング委員会

日付	内容等
2016年5月18日	第134回 ① 前回議事録の確認について ② 査定の状況について ③ その他 調剤薬局からの疑義照会の回答について <DPC コーディング委員会> ④ DPC 請求状況について
2016年7月20日	第135回 ① 前回議事録の確認について ② 査定の状況について ③ その他 救急医療管理加算1を算定していない傷病名について ポジトロン断層撮影保険請求上の留意点について 不要病名の整理（案）について 調剤薬局からの疑義照会の回答について <DPC コーディング委員会> ④ DPC 請求状況について

2016年9月21日	<p>第136回</p> <p>① 前回議事録の確認について</p> <p>② 査定の状況について</p> <p>③ その他 用法外の処方が多い内用薬について</p> <p><DPC コーディング委員会 ></p> <p>④ DPC 請求状況について</p>
2016年11月16日	<p>第137回</p> <p>① 前回議事録の確認について</p> <p>② 査定の状況について</p> <p>③ その他 返戻となった事例について 保険診療に関する講習会のお知らせについて</p> <p><DPC コーディング委員会 ></p> <p>④ DPC 請求状況について</p>
2017年1月18日	<p>第138回</p> <p>① 前回議事録の確認について</p> <p>② 査定の状況について</p> <p>③ その他 救命救急入院料等を算定する際の算定要件について 査定理由等の審査機関への確認結果について (返戻実例) 胃癌に対して施行したPET-CTについて 平成28年度第1回保険診療に関する講習会参加実績について</p> <p><DPC コーディング委員会 ></p> <p>④ DPC 請求状況について</p>
2017年3月15日	<p>第139回</p> <p>① 前回議事録の確認について</p> <p>② 査定の状況について</p> <p>③ その他 抗がん剤投与患者に対する副作用チェックのための検査施行について (査定実例) 直腸癌に対して施行したPET-CTについて (返戻実例) 原発不明癌に対して施行したPET-CTについて 救急医療管理加算1算定患者数について 救急医療入院以外の予定外入院の患者について 保険診療に関する講習会のお知らせについて 再診受付機の通過可能期間の変更について (提案)</p> <p><DPC コーディング委員会 ></p> <p>④ DPC 請求状況について</p>

30. クリニカル・パス委員会

日付	内容等
2016年9月28日	第19回 ① 委員会要綱の改正について ② クリニカル・パスの状況について ③ パスの検討について
2017年3月29日	第20回 ① クリニカル・パスの状況について ② 年末に行った研究の結果について ③ 来年度の活動計画について

31. 健康診断事業運営委員会

【未開催】

32. 患者総合支援センター運営委員会

日付	内容等
2016年6月16日	2016年度第1回 ① 平成27年度実績報告 ② 退院支援加算1取得に向けた取り組みについて ③ 患者総合支援センターセミナーについて
2016年9月14日	第2回 ① 平成28年度(4月～8月)実績報告 ② 退院支援加算1取得に向けた取り組み状況 ③ 退院調整看護師の訪問指導の実施状況 ④ 「患者総合支援センター通信(仮)」の発刊について
2016年12月15日	第3回 ① 平成28年度(9月～10月)実績報告 ② 広報誌「Bridge」の発刊について ③ 介護連携について ④ 退院調整加算進捗状況について
2017年3月23日	第4回 ① 平成28年度(11月～1月)実績報告 ② 介護連携について ③ 退院支援加算の進捗状況

33. 虐待対策委員会

日付	内容等
2017年1月12日	2016年度第1回 ① 平成27～28年度虐待通告の実績 ② 次年度の事業計画について

34. 退院調整検討委員会

長期入院患者カンファレンス、病棟ラウンド 12回開催

35. 呼吸療法運営委員会

日付	内容等
2016年6月13日	第11回 ① 前回議事録の確認 ② 今年度の委員会名簿とRSTチーム名簿について ③ 昨年度の活動状況について（RST活動報告、人工呼吸器使用状況からの報告） ④ 呼吸ケアチーム加算算定実績について ⑤ 今年度の活動計画について
2017年2月20日	第12回 ① 前回議事録の確認 ② RST活動のまとめ ③ 人工呼吸器使用状況からの報告 ④ 呼吸ケアチーム加算算定実績について ⑤ 人工呼吸器離脱プロトコル作成に関して ⑥ EtCO ₂ モニター（持ち運び可能）の運用方法について ⑦ 来年度に向けた呼吸療法委員会及びRSTの目標

36. 医療安全管理委員会・リスクマネジメント部会

日付	内容等
2016年4月7日	2016年度第1回 ① 2016年度委員会委員について ② 2016年2月分インシデント報告について ③ 2015年度重点目標の達成度調査について ④ 2016年度年間計画について ⑤ 医療安全管理の動向について
2016年5月6日	第2回 ① 2016年3月分インシデント報告について ② 2015年度インシデント年間集計について ③ 2016年度重点目標について ④ 2016年度院内安全ラウンドについて ⑤ 医療安全管理の動向について
2016年6月2日	第3回 ① 2016年4月分インシデント報告について ② リスクマネジメント講習会（薬剤）・放射線技術室との合同開催について ③ 医療安全管理の動向について
2016年7月7日	第4回 ① 2016年5月分インシデント報告について ② リスクマネジメント講習会（薬剤）・放射線技術室との合同開催について ③ 医療安全管理の動向について
2016年8月4日	第5回 ① 2016年6月分インシデント報告について ② 医療安全講習会の開催について ③ 医療安全管理の動向について

2016年9月1日	第6回 ① 2016年7月分インシデント報告について ② 医療安全講習会の開催について ③ 医療安全管理の動向について ④ 内部監査について
2016年10月6日	第7回 ① 2016年8月分インシデント報告について ② 医療安全講習会の結果について ③ 医療安全管理の動向について ④ 内部監査の結果について
2016年11月4日	第8回 ① 2016年9月分インシデント報告について ② 2016年度上半期(4月～9月)インシデント集計について ③ リスクマネジメント講習会(医療機器)の開催について ④ 医療安全管理の動向について
2016年12月1日	第9回 ① 2016年10月分インシデント報告について ② リスクマネジメント講習会(医療機器)の開催について ③ 医療安全に関する標語の審査について ④ 医療安全管理の動向について
2017年1月5日	第10回 ① 2016年11月分インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について
2017年2月2日	第11回 ① 2016年12月分インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について
2017年3月2日	第12回 ① 2017年1月分インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について

医療安全研修会の実施

日付	内容等	
2016年7月12日	リスクマネジメント講習会(薬剤・放射線)	受講者 194人
2016年7月14日	リスクマネジメント講習会(薬剤)	受講者 146人
2016年9月13日	医療安全講習会	受講者 200人
2016年9月14日	医療安全講習会	受講者 105人
2016年12月5日	リスクマネジメント講習会(医療機器)	受講者 86人
2016年12月7日	リスクマネジメント講習会(医療機器・放射線)	受講者 120人
2016年12月12日	リスクマネジメント講習会(医療機器)	受講者 116人
2017年1月31日	医療安全講習会	受講者 200人
2017年2月1日	医療安全講習会	受講者 126人
		計 1,293人

37. 医療機器安全管理委員会（透析機器安全管理部会）

日付	内容等
2017年3月3日	2016年度 医療機器安全管理委員会 ① 平成28年度医療機器保守実施報告 ② 平成28年度医療機器研修実施報告 ③ 平成28年度AED使用状況報告 ④ 平成29年度医療機器研修・保守管理計画案について ⑤ 単回使用機器の再滅菌申請件数確認 ⑥ その他 報告事項
2016年8月31日	第9回透析機器安全管理部会（血液浄化センター） ① 平成28年度透析機器安全管理部会委員確認 ② 平成28年度水質管理、細菌検査報告（平成28年度上半期） ③ 平成28年度透析機器管理報告 ④ 医療機器異常報告 ⑤ その他 血液浄化センター臨床工学より
2017年2月22日	第10回透析機器安全管理部会（血液浄化センター） ① 平成28年度水質管理・細菌検査報告（平成28年度下半期） ② 平成28年度水質管理に関する予定報告（平成29年度計画） ③ 平成28年度透析機器管理報告 更新対象機器報告 ④ 平成29年度更新機器更新計画 ⑤ 平成30年度予算機器更新計画 ⑥ その他

38. 栄養管理委員会

日付	内容等
2016年5月25日	第23回 ① 平成28年度栄養管理委員会名簿について ② 第22回栄養管理委員会に行った米飯アンケートの結果について ③ 平成27年度食事アンケートの結果について ④ 病院給食改善会議、検討項目集計について
2017年2月3日	第24回 ① 平成28年度患者満足度調査（入院中の食事）の結果について ② 平成28年度食事アンケート調査について ③ 病院給食改善会議、検討項目集計について

39. NST運営委員会

日付	内容等
2016年5月11日	第31回 ① 平成28年度NST運営委員会名簿について ② 平成27年度NST活動実績について ③ 栄養管理計画書について ④ 栄養サポートチーム加算について ⑤ 平成28年度NST教育カリキュラムの実施について ⑥ NST年間計画について
2017年3月1日	第32回 ① 栄養管理計画書について ② 栄養サポートチーム加算について ③ NST教育カリキュラムの実施について

NST定期教育講演会

日付	内容等
2016年4月20日	第124回 高齢者の栄養の問題と今後の展望 講師 荒井秀典（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター）
2016年5月18日	第125回 臨床検査値の見方について 講師 榊原沙知（中央臨床検査室） NST回診依頼について 講師 藤崎順子（看護局）
2016年6月15日	第126回 当院の輸液製剤について 講師 坂部米治（薬局） 当院の患者食について 講師 藤田克宣（栄養管理室）
2016年7月29日	第127回 栄養サポートのための糖尿病の知識 講師 山守育雄（糖尿病・内分泌内科 部長）
2016年9月29日	第128回 慢性腎不全と透析について 講師 山川大志（腎臓内科 部長）
2016年11月22日	第129回 静脈栄養の重要性を考える 講師 標葉隆三郎（相馬中央病院 院長）
2017年1月18日	第130回 チーム医療と抗がん剤治療 ～患者となって受けてみて 講師 西村元一（金沢赤十字病院 第一外科部長 兼 副院長）
2017年2月15日	第131回 ※褥瘡勉強会と共催 褥瘡と栄養 講師 藤田克宣（栄養管理室） 褥瘡の治療（薬剤） 講師 菰田容子（薬局）

40. 褥瘡対策委員会

日付	内容等
2016年6月9日	第30回 ① 前回議事録の確認 ② 今年度の名簿等について ③ 昨年度の活動状況について 褥瘡対策チームの活動結果 褥瘡の発生状況 診療計画書作成状況と褥瘡ハイリスク対応状況 体圧分散寝具について ④ 今年度の活動計画について
2017年3月6日	第31回 ① 前回議事録の確認 ② 今年度の褥瘡発生・治療の実績について 今年度の褥瘡発生状況 診療計画書作成状況と褥瘡ハイリスク対応状況 褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定状況 体圧分散寝具について ③ 褥瘡対策チーム活動のまとめについて ④ 来年度に向けた褥瘡対策の目標について 褥瘡発生件数を減少させるための取り組み

41. 薬事委員会

日付	内容等
2016年5月25日	2016年度第1回 ① 前回議事録について報告 ② 試用薬品5品目について審議 ③ 試用薬品10品目について審議 ④ 変更薬品について審議 ⑤ 中止薬品について審議 ⑥ 後発医薬品への変更について審議 ⑦ 試用薬品の延長について審議
2016年6月29日	臨時 ① 採用薬品1品目について審議 ② 後発医薬品への変更について審議 ③ その他
2016年8月31日	第2回 ① 前回議事録について報告 ② 採用薬品32品目について審議 ③ 試用薬品8品目について審議 ④ 変更薬品について審議 ⑤ 中止薬品について審議 ⑥ その他
2016年9月28日	臨時 ① 後発医薬品への変更について審議 ② 変更薬品について審議その他

2016年11月30日	<p>第3回</p> <p>① 前回議事録について報告</p> <p>② 試用薬品5品目について審議</p> <p>③ 試用薬品15品目について審議</p> <p>④ 変更薬品について審議</p> <p>⑤ 中止薬品について審議</p> <p>⑥ 試用薬品の延長について審議</p> <p>⑦ その他</p>
2017年1月25日	<p>臨時</p> <p>① 後発医薬品への変更について審議</p> <p>② 先発医薬品への変更について審議</p> <p>③ 変更薬品について審議</p> <p>④ その他</p>
2017年2月22日	<p>第4回</p> <p>① 前回議事録について報告</p> <p>② 採用薬品33品目について審議</p> <p>③ 試用薬品3品目について審議</p> <p>④ 規格追加について審議</p> <p>⑤ 変更薬品について審議</p> <p>⑥ 中止薬品について審議</p> <p>⑦ その他</p>
2017年3月22日	<p>臨時</p> <p>① 試用薬品2品目について審議</p> <p>② 後発医薬品への変更について審議</p> <p>③ その他</p>

42. 治験審査委員会

日付	内容等
2016年5月25日	<p>2016年度第1回</p> <p>① 前回議事録について報告</p> <p>② 平成27年度 治験・フェイズIV実施状況の報告</p> <p>③ 実施中の治験の安全性について審議</p> <p>④ 重篤な有害事象に関する報告</p> <p>⑤ 実施中の治験実施計画および概要書等の変更について審議</p> <p>⑥ 治験実施状況について審議</p> <p>⑦ 治験の終了について報告</p> <p>⑧ 治験の迅速審査について報告</p> <p>⑨ 製造販売後調査の迅速審査について報告</p> <p>⑩ その他</p>
2016年6月29日	<p>第2回</p> <p>① 前回議事録について報告</p> <p>② 治験の審査</p> <p>③ 実施中の治験の安全性について審議</p> <p>④ 実施中の治験実施計画および概要書等の変更について審議</p> <p>⑤ 治験実施状況について審議</p> <p>⑥ 治験の終了について報告</p> <p>⑦ 製造販売後調査の迅速審査について報告</p>

2016年8月31日	<p>第3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 前回議事録について報告 ② 治験の審査 ③ 実施中の治験の安全性について審議 ④ 実施中の治験実施計画および概要書等の変更について審議 ⑤ 治験実施状況について審議 ⑥ 治験の終了について報告 ⑦ 治験の迅速審査について報告 ⑧ 治験の開発中止等について報告 ⑨ 製造販売後調査の迅速審査について報告
2016年9月28日	<p>第4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 前回議事録について報告 ② 治験の審査 ③ 実施中の治験の安全性について審議 ④ 実施中の治験実施計画および概要書等の変更について審議 ⑤ 治験の終了について報告 ⑥ 製造販売後調査の迅速審査について報告
2016年11月30日	<p>第5回</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 前回議事録について報告 ② 治験の審査 ③ 実施中の治験の安全性について審議 ④ 実施中の治験実施計画および概要書等の変更について審議 ⑤ 治験実施状況について審議 ⑥ 治験の迅速審査について報告 ⑦ 治験の開発中止等について報告 ⑧ 製造販売後調査の迅速審査について報告
2017年1月25日	<p>第6回</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 前回議事録について報告 ② 実施中の治験の安全性について審議 ③ 重篤な有害事象に関する報告 ④ 実施中の治験実施計画および概要書等の変更について審議 ⑤ 治験実施状況について審議 ⑥ 治験の迅速審査について報告 ⑦ 治験の開発中止等について報告 ⑧ 製造販売後調査の迅速審査について報告 ⑨ その他
2017年2月22日	<p>第7回</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 前回議事録について報告 ② 実施中の治験の安全性について審議 ③ 治験の審査 ④ 実施中の治験実施計画および概要書等の変更について審議 ⑤ 治験の終了について報告 ⑥ 治験の開発中止等について報告 ⑦ その他の報告 ⑧ 製造販売後調査の迅速審査について報告

2017年3月22日	<p>第8回</p> <p>① 前回議事録について報告</p> <p>② 治験の審査</p> <p>③ 実施中の治験の安全性について審議</p> <p>④ 実施中の治験実施計画および概要書等の変更について審議</p> <p>⑤ 治験実施状況について審議</p> <p>⑥ 治験の迅速審査について報告</p> <p>⑦ 製造販売後調査の迅速審査について報告</p>
------------	---

43. 輸血療法委員会

日付	内容等
2016年4月19日	<p>第130回</p> <p>① 前回議事録の確認</p> <p>② RBC、FFP、ALBの使用量推移と輸血管理料</p> <p>③ 廃棄率集計報告</p> <p>④ 血液製剤等使用量、廃棄量年次推移</p> <p>⑤ 輸血副作用集計報告</p> <p>⑥ 製剤大量使用・ノークロス依頼事例 2016年2月9日～2016年4月17日</p> <p>⑦ クリオプレシピテート使用状況 2016年2月9日～2016年4月17日</p> <p>⑧ 輸血運用の確認</p> <p>⑨ 5%アルブミン製剤名称変更について</p> <p>⑩ 赤血球抗原情報検索システムの利用について</p> <p>⑪ 委員の確認</p> <p>⑫ I&A 認証取得</p> <p>⑬ その他</p>
2016年6月14日	<p>第131回</p> <p>① 前回議事録の確認</p> <p>② RBC、FFP、ALBの使用量推移と輸血管理料</p> <p>③ 廃棄率集計報告</p> <p>④ 輸血副作用集計報告</p> <p>⑤ 製剤大量使用・ノークロス依頼事例 2016年4月18日～2016年6月8日</p> <p>⑥ クリオプレシピテート使用状況 2016年4月18日～2016年6月8日</p> <p>⑦ 「血液製剤引き換え票」発行状況</p> <p>⑧ 「輸血完了」入力状況</p> <p>⑨ 血液浄化センターでの輸血運用について</p> <p>⑩ その他</p>

2016年8月9日	<p>第132回</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 前回議事録の確認 ② RBC、FFP、ALBの使用量推移と輸血管管理料 ③ 廃棄率集計報告 ④ 輸血副作用集計報告 ⑤ 製剤大量使用・ノークロス依頼事例 2016年6月8日～2016年8月8日 ⑥ クリオプレシピテート使用状況 2016年6月8日～2016年8月8日 ⑦ 輸血指示（運用確認） ⑧ 輸血療法および自己血の説明書と同意書について ⑨ 血液搬送装置について ⑩ その他
2016年10月11日	<p>第133回</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 前回議事録の確認 ② RBC、FFP、ALBの使用量推移と輸血管管理料 ③ 廃棄率集計報告 ④ 輸血副作用集計報告 ⑤ 製剤大量使用・ノークロス依頼事例 2016年8月9日～2016年10月7日 ⑥ クリオプレシピテート使用状況 2016年8月9日～2016年10月7日 ⑦ HBV等感染陽性患者の自己血採血について ⑧ 自己血保存液（MAP、CPDA）の選択について ⑨ TS条件がそろっている場合の運用について ⑩ その他
2016年12月13日	<p>第134回</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 前回議事録の確認 ② RBC、FFP、ALBの使用量推移と輸血管管理料 ③ 廃棄率集計報告 ④ 輸血副作用集計報告 ⑤ 製剤大量使用・ノークロス依頼事例 2016年10月8日～2016年12月7日 ⑥ クリオプレシピテート使用状況 2016年10月8日～2016年12月7日 ⑦ 平成28年度年末年始の血液製剤供給体制 ⑧ 血液製剤搬送装置について ⑨ 25%アルブミン製剤の変更について ⑩ その他
2017年2月14日	<p>第135回</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 前回議事録の確認 ② RBC、FFP、ALBの使用量推移と輸血管管理料 ③ 廃棄率集計報告 ④ 輸血副作用集計報告 ⑤ 製剤大量使用・ノークロス依頼事例 2016年12月7日～2017年2月8日 ⑥ クリオプレシピテート使用状況 2016年12月7日～2017年2月8日 ⑦ 輸血拒否への対応について ⑧ 血液製剤搬送装置の運用について ⑨ その他

44. 臨床検査連絡委員会

日付	内容等
2016年5月31日	第45回 ① 前回議事録の確認 ② 検査実施状況について ③ 平成28年度機器等更新について ④ 平成28年度新規業務について ⑤ 検査登録申請について ⑥ 感染症管理センター業務について ⑦ 病理部門遺伝子検査の院内運用について ⑧ 国際標準検査管理加算（ISO15189認定）取得について ⑨ 検査項目「血小板凝集能」検査項目削除について ⑩ その他

45. 剖検・CPC委員会

日付	内容等
2016年5月24日	2016年度第1回 ① 第2回平成26年度解剖数につて ② 慰霊祭について ③ その他

46. 放射線技術室連絡委員会

日付	内容等
2016年10月5日	第16回 ① 委員会要綱と平成28年度委員会名簿の確認 ② 平成28年度高額放射線機器の予算執行状況 ③ 放射線機器の機種選定委員会への上申について ④ 平成29年度の放射線機器の要求について ⑤ その他
2016年10月19日	第17回 ① 委員会要綱の修正 ② MRI装置機種選定について ③ その他
2016年11月11日	第18回 ① MRI装置推薦機種について

47. リハビリテーションセンター運営委員会

日付	内容等
2016年11月24日	2016年度第1回 ① 目標設定等支援・管理料について ② その他

48. 放射線安全委員会

日付	内容等
2016年6月7日	2016年度第1回 ① 平成28年度放射線安全委員について ② 平成27年度従事者登録と教育および健康診断の実施状況報告 ③ 平成27年度管理状況報告書の提出について ④ 平成28年度保管線源の登録について ⑤ 豊橋市民病院放射線障害予防規程の変更について ⑥ 医療被ばく低減施設認定申請について ⑦ その他

49. PET 診療放射線安全委員会

日付	内容等
2016年6月7日	2016年度第1回 ① 安全管理規程、運用規則、委員の承認について

50. 医療ガス安全・管理委員会

日付	内容等
2017年3月24日	2016年度第1回 ① 平成28年度医療ガス設備保守点検の結果について ② 診療棟改修に伴う医療ガスの工事について ③ 手術センター棟整備に伴う医療ガス工事について ④ 液化酸素ガスの保有数量の状況について ⑤ その他

51. 豊橋市医師会・豊橋市民病院病診連携協議会

【V 診療業務概要、活動報告 患者総合支援センターに記載】

52. 地域医療支援委員会

日付	内容等
2016年5月21日	2016年度第1回 ① 地域医療支援病院の取り組み状況について 平成27年度 紹介率逆紹介率の状況 平成27年度の地域連携登録医の状況 平成27年度の地域連携登録医による共同利用等の状況 平成27年の地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績 平成28年度地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修計画 ② 各委員所属団体からの情報提供事項について ③ その他

2016年8月18日	<p>第2回</p> <p>① 地域医療支援病院の取り組み状況について 平成28年度紹介率逆紹介率の状況 平成28年度の地域連携登録医の状況 平成28年度の地域連携登録医による共同利用等の状況 平成28年度の研修実績計画について</p> <p>② 各委員所属団体からの情報提供事項について</p> <p>③ 「高度放射線棟」の整備状況について</p>
2016年11月17日	<p>第3回</p> <p>① 地域医療支援病院の取り組み状況について 平成28年度紹介率逆紹介率の状況 平成28年度の地域連携登録医の状況 平成28年度の地域連携登録医による共同利用等の状況 平成28年度の研修実績計画について</p> <p>② 各委員所属団体からの情報提供事項について</p> <p>③ その他 ホームページのリニューアル及びリニューアルに伴う「地域連携登録医紹介ページ」の変更について 広報誌『Bridge ～市民病院と地域をつなぐ～』の発刊について</p>
2017年2月9日	<p>第4回</p> <p>① 地域医療支援病院の取り組み状況について 平成28年度紹介率逆紹介率の状況 平成28年度の地域連携登録医の状況 平成28年度の地域連携登録医による共同利用等の状況 平成28年度の研修実績計画について</p> <p>② 各委員所属団体からの情報提供事項について</p> <p>③ その他 紹介患者予約受付時間の変更について 次年度の委員選出について</p>

52-1. 共同利用運営委員会

【未開催】

52-2. 地域医療従事者研修委員会

【未開催】

53. 総合周産期母子医療センター運営委員会

日付	内容等
2016年4月22日	2016年度第1回 ① 委員会設置要綱及び委員名簿 ② 2015年度総合周産期母子医療センター活動状況 ③ 症例検討 ④ その他（パースセンター症例、その他）
2016年8月26日	第2回 ① 2016年4月～7月度総合周産期母子医療センター活動状況 ② 症例検討 ③ その他（パースセンター症例、超緊急帝王切開 GradeA 対応）
2016年12月16日	第3回 ① 2016年4月～11月度総合周産期母子医療センター活動状況 ② 症例検討 ③ その他（パースセンター症例）

54. 認知症対策委員会

日付	内容等
2016年4月26日	2016年度第1回 ① 新たな診療報酬の算定にかかる体制について ② 認知症サポートチームの活動状況について ③ 院内デイケアについて
2016年10月11日	第2回 ① 認知症サポートチームの活動状況について ② 院内デイケアの実施状況について ③ その他

55. 臓器提供運営委員会

日付	内容等
2016年6月14日	2016年度第1回準備会 ① 委員会の発足、要綱について ② 平成28年度の流れ ③ 役割 ※随時マニュアルの作成、作り込み作業を実施
2016年9月13日	第2回準備会 ① 要綱の制定 ② 行うべき業務の整理 ③ スケジュール
2016年12月13日	第1回 ① 要綱の制定 ② 委員会が行う業務 ③ 平成28年度心停止下臓器提供シミュレーション ※随時マニュアルの作成、作り込み
2016年12月20日	臓器提供勉強会の開催 41人

2016年12月27日	心停止下臓器提供シミュレーションの開催 17人
2017年2月1日	当院にて厚生労働大臣感謝状を授与される。
2017年3月6日	職員意識調査の実施
2017年3月14日	第2回 ① 愛知県施設内移植情報担当者（院内移植コーディネーター）会議の状況報告 ② 心停止下臓器提供シミュレーションの振り返り、及びアンケート報告 ③ 職員意識調査の実施 ④ 当院における摘出事例の収支状況の報告 ⑤ 平成29年度事業計画の検討 ⑥ 平成28年度心停止下臓器提供シミュレーション

56. ハラスメント防止対策委員会

【未開催】

57. 豊橋市民病院院外処方連絡協議会

日付	内容等
2017年3月9日	2016年度第1回 ① 前回議事録について報告 ② 調剤過誤について ③ 後発医薬品について ④ 薬薬連携研修会について ⑤ その他

編集後記

病院年報「第26巻」は、9月中旬に発刊することができそうである。今年は、9月下旬に病院機能評価の更新受審を行うこともあり、それまでの完成を最大の目標とした。

現在の編集方針を始めたのが、前回の機能評価受審を控えた2012年であった。当時の編集課題は、見やすさを維持したままで内容の充実をすること、毎年完成が遅れることなく発刊することであった。管理課 庶務担当が各部署からのデータ提出を用いて編集する体制から、電子カルテあるいはDWHからデータを抽出して医療情報課が編集する体制とした。この方法は一見容易と思われたが、電子カルテに記録された一次診療情報の精度が十分とは言えずに完成に時間を要した。病名の整理などの一次診療情報の精度を高めるのは容易でなく、実際にデータ抽出には人手と訓練が必要であり、医療情報課のスタッフ、ドクタークラーク（医師事務作業補助者）の充実が必要であった。

現在の方式がほぼ完成するのに5年も要してしまっただが、そのときには病院機能評価を受審することになる。ひとつの良い区切りとなっている。来年度には、芸術性の高い表紙とともにさらに洗練された病院年報を編集したい。

年報編集委員会委員長 杉浦 勇

編集委員

平成29年4月1日

区分	職名	氏名
委員長	副院長 兼医局血液・腫瘍内科第一部長 兼輸血・細胞治療センター長 兼診療記録管理室長 兼臨床研究管理室長 兼初期臨床研修センター長	杉浦 勇
編集委員	循環器内科第二部長	成瀬 賢伸
編集委員	消化器内科第四部長	松原 浩
編集委員	一般外科第三部長 兼外来治療センター長	吉原 基
編集委員	小児科第二部長 兼臨床研究管理室副室長	伊藤 剛
編集委員	女性内視鏡外科部長	梅村 康太
編集委員	放射線技術室長主幹	平田 政和
編集委員	中央臨床検査室長主幹	三ツ矢 康乃
編集委員	薬局次長補佐	菰田 容子
編集委員	看護局管理科長	萩原 有子
編集委員	管理課主幹	中野 浩二
編集委員	医事課長補佐	武田 有祐
編集委員	医療情報課長補佐	沼田 敏明

事務局	医療情報課企画推進グループ主査	原瀬 正敏
事務局	医療情報課企画推進グループ	倉知 弥生
事務局	医療情報課企画推進グループ	小島 早智
事務局	医療情報課企画推進グループ	都築 磨美子

豊橋市民愛市憲章

わたくしたち豊橋市民は

1. 心をあわせ美しい町をつくりましょう
1. よく働き豊かな町をつくりましょう
1. 愛情をもちあたたかい町をつくりましょう
1. きまりを守り明るい町をつくりましょう
1. 教養をたかめ文化の町をつくりましょう

伊東隆雄（いとう・たかお） 1928-2015

《飾窓》 1951年 208.0 × 149.0cm 紙本着彩

豊橋市民病院蔵

愛知県豊橋市に生まれる。豊橋中学校を卒業後、豊橋市立南部中学の教師となるが、翌年退職して画業に専念。1950年に第6回日展に初入選、以後10回入選を重ねる。52年より中村岳陵に師事し、〈蒼野社〉に入門。60年〈蒼野社〉を退き日展からも離れる。翌年、森緑翠、我妻碧宇、浅田蘇泉、永井繁男らと〈白士会〉を結成。同展に出品するほか、個展での発表を続けた。《飾窓》は、第7回日展入選作。夏の装いをした女性がショーウィンドウの前に佇んでいる。ガラス面はまぶしい日差しをあらゆる方面から集め、マネキンの姿をはっきりと捉えることは困難である。店内には色とりどりの用布が並べられている。パステル調の色彩は、モチーフの性格と相乗効果で、爽やかで華やいだ雰囲気伝える。

病院年報 第26巻

平成 29(2017)年 9月 発刊

発 刊：豊橋市民病院

〒441-8570

豊橋市青竹町字八間西50番地

TEL (0532) 33-6111 (代表) FAX (0532) 33-6177

編 集：豊橋市民病院年報編集委員会

印 刷：有限会社 伊藤印刷



豊 橋 市 民 病 院

〒441-8570 豊橋市青竹町字八間西50番地

TEL 〈0532〉 33-6111

FAX 〈0532〉 33-6177

インターネットホームページ

<https://www.municipal-hospital.toyohashi.aichi.jp>